

2003年3月

DVに対する男性の意識とDV防止のための 加害者教育に関する実情調査

委託調査報告書

社団法人 家庭問題情報センター

財団法人 女性のためのアジア平和国民基金

無断転載を禁じます。

(財)女性のためのアジア平和国民基金（アジア女性基金）

2003年3月発行

この報告書は、アジア女性基金が、社団法人家庭問題情報センターに委託した調査研究の報告です。

目 次

一 はじめに.....	1
二 アンケート結果の分析と考察.....	2
2-1 第1部 好感のもてる女性像・男性像.....	3
2-2 第2部 男女の役割と家庭について.....	23
2-3 第3部 あなたの経験について.....	39
三 面接、電話相談結果の考察.....	62
3-1 ケースA.....	62
3-2 ケースB.....	69
3-3 ケースC.....	76
四 考 察.....	79
五 まとめと提言.....	83
5-1	83
5-2	84
資 料.....	87
1 アンケート集計結果表.....	89
2 アンケート用紙.....	149

一 はじめに

1 目的

当センターでは、配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律（以下DV法という）の成立にさきがけ、過去5年にわたって「家庭内における女性の尊厳侵害に関する電話相談」を実施してきた。その間、相談内容を、配偶者からの暴力（以下DVという）の被害者救援の観点から、被害の態様、被害者特性、子どもへの影響、世代間伝達等について分析し、DVの子どもへの影響と世代間伝達の問題の重大性を他に先駆けて指摘してきた。DV法および児童虐待防止法が実現し、被害者救援のためには、一定の知見を提供することができたものと考えている。

しかし、子どもへの影響と世代間伝達の重大性を指摘してきた立場からは、予防・対策のためにも、「女性と子どもは救済対象、男性は加罰対象」という二分法を超えて、子どもとして世代間伝達を受けてきた男性の被害者としての側面にも関心を払わざるを得ない。すでに、男性学、メンズリブなどの領域においては、男性加害者への教育的、治療的試みが始まってはいるが、まだ緒についたばかりである。

そこでこのたび、当センターでは、夫として加害にいたる前の青年期の男性を中心に、家庭観、異性観、暴力被害の経験等、加害者意識の形成過程に焦点を当てた基礎的資料の収集と分析を行い、教育的、治療的方策のみならず、暴力発現の予防的教育のあり方を探るための提言を試みる。

2 研究方法

次の二つの方法を相互補完的に用いて調査・分析を行う。

(1) 高校生を対象としたアンケート調査の実施

アンケートの回答を数量的に整理する手法によって、男子高校生の意識を、女子との対比を含めて分析する。

(2) 調査期間に開設する男性のための電話相談および面接相談

相談者の問題解決への援助事例について、加害要因、援助のあり方などについての試行的分析を行う。

ニ アンケート結果の分析

(1) 調査方法

首都圏の1県内の高校6校に協力を仰ぎ、平成14年9月から12月の期間中に、添付資料としたアンケート用紙の各項目に回答してもらう方法で、クラス単位に調査を実施した。

回収総数878のうち、全問無回答、男女の性別不詳、機械的に五十音順に回答しているような明らかな無効回答33を除き、一部でも有効な回答のある総数845（男子358、女子487）を有効回答者として集計を行った。

(2) 回答者の属性

男子高校生の意識調査を目的とするものであるが、実施の都合及び対照群としての有効性から、女子高校生も同時に実施した結果、回答者数は女子の方が129名多くなっている。回答者の所属学年については、実施の時期、方法を協力校の都合にゆだねたため、無作為となっている。

6校の内訳は、A、B、C、D、E、Fの6群として、有効回答者数は、A群145（男49、女96）、B群185（男100、女85）、C群107（男51、女56）、D群96（男49、女47）、E群143（男60、女83）、F群169（男49、女120）である。

(3) アンケート項目（添付資料 アンケート用紙）

アンケート項目の構成は、大きくわけて次の3部構成となっている。

第1部は、「好感のもてる女性像・男性像について」

第2部は、「男女の役割と家庭について」

第3部は、「あなたの経験について」

第1部の「**好感のもてる女性像・男性像について**」は、社会・経済的な男女の役割の変化と、従来期待されてきた固定的な男性像、女性像とのずれが、夫婦間に軋轢を生じさせ夫婦間暴力の背景になっているとの認識から、高校生における固定的男女観の変化、男女相互の期待のありよう、自己像などを探ろうとするものである。

設問の下位項目は、問1と問2に分かれ、問1は、男女相互の期待する男女観を問う6方向からの質問に対して、20個の選択肢から3択回答する項目である。

問2は、親や友人からの期待や評価に対する回答者自身の感じ方を、快、不快の2方向から問う4つの質問に対して、25個の選択肢から複数選択回答を可とする項目である。（「うれしかった」の選択肢20、「不快だった」の選択肢

15、ただし、双方からの選択もありうるので、選択肢としての区別はない)

調査項目の作成にあたっては、東京都中野区「子どもの性意識調査」(平成7年を参考とした。

第2部は、「男女の役割と家庭について」

夫婦間暴力の原因のひとつと考えられる、夫婦の家族役割に対する期待や認識のずれについての高校生の考え方を探る項目である。この項目では、同時に、家族役割のモデルとしての両親の考え方が、子どもである回答者にどのように映じているかをも問うている。

調査項目の作成にあたっては、夫婦カウンセリング、家族療法の援助の中で焦点を当てる夫婦関係にとっての重要課題から、体力差と平等(2問)、権利の侵害(2問)、パワー構造(2問)、家事分担と役割(6問)、暴力(4問)、家庭内コミュニケーション(5問)の6つの枠組みを設定した。その枠組みに関する21個の意見への賛否を問う項目である。回答者は、それぞれの意見に対し、各問とも賛成から反対までの4意見からひとつを選択するものである。

第3部は、「あなたの経験について」

暴力行為が過去の経験の再生産であることは、各方面ですでに指摘されている。この項目は、高校生のこれまでの暴力的被害の経験を、内容、加害者、時期について具体的に探るための設問である。ただし、被害経験だけを想起することの心理的抵抗を考慮し、よかった経験についての質問を混在させる方法をとった。

下位項目は、問1、問2、問3から構成されている。問1は、21個(いやな経験14、よかった経験6、その他1)の「経験内容」に対して、該当番号を選択した上で、「誰から」、「いつ」についても、それぞれ8個、4個の選択肢から選択して回答するものである。該当する限り、「経験内容」、「誰から」、「いつ」の何れも複数回答できる設問となっている。

問2は、それらの経験のなかから最良の経験と、問3(1)で最悪の経験をそれぞれ1択し、(2)で最悪経験に対する気持ちを10個の選択肢の中から複数回答するものである。

調査項目の作成にあたっては、東京都『「女性に対する暴力」調査報告書』1998年、内閣府「男女間における暴力に関する調査」平成11年を参考とした。

2-1 第1部 好感のもてる女性像・男性像

参照：資料(表1-1-1から1-10-2)

(グラフ1-1-1から1-10-2)

A 問1の集計結果

A-1 問1の集計方法について

回答者数 845 (男子 358、女子 487) から得られる回答総数合計点 5,070 (男子 2,148、女子 2922)、一人が3 答する択選者総数 (回答者総数) 2,535 (男子 1,074、女子 1,461) について集計した。

問1の各問は、3つの回答を求める設問である。回答の順位に意味があると思われるが、単純集計して回答の構成比率、無回答比率を算出しても選択順位の比重を計ることができないので、回答数比率の算出には次のような重要度加点了を行った。すなわち、第1位の欄を3点、第2位の欄を2点、第3位の欄を1点として集計した。この集計法によると、例えば、「あなたの好きな男の子」として、女子回答者は、回答者数比率 (選択人数比) でみると「頼りになる」(53.2%) が「優しい」(45.6%) を引き離してトップを占めている (グラフ1-6-2)。しかし、重要度を加点すると、1位の欄に選択されることの多い「優しい」(回答数比率 18.5%) が「頼りになる」(同 14.9%) を押さえてトップになる (グラフ1-6-1)。「頼りになる」と「優しい」という二つの選択肢間における、量的支持と質的支持の違いを見出すことができる。この集計方法では、無回答の場合も同様に計算されるので、3欄全部無回答でなくとも部分回答者の空欄部分は無回答率に反映されてくる。無回答は無回答者数でなく、無回答率となる。

回答者数比率 (選択人数比) は、重要度に関係なく、選択肢ごとに回答者中の何割がその選択肢を選んだかをみることができる。例えば、選択肢「おもしろい子」は、男の子の好む男の子のタイプとして、男子回答者の 69.6% が選択し、問1のすべての選択結果の中での最高値を示している。この集計結果は、回答者一人に3 答ずつあるので合計すると全体が300パーセントになるが、選択肢間の選択比率としてそのまま比較することができる。この場合も、部分回答者の空欄部分はコマ数分だけ無回答として計上されるので、無回答は無回答者数ではなく無回答率である。

無回答率は、一般に異性の意識を推測する質問への比率が高い。

(1) 女の子に好かれる女の子

男子 (回答数比率 5.4%、回答者数比率 17.0%)、女子 (0.1%、0.6%)

(2) 男の子に好かれる男の子

男子 (1.3%、4.2%)、女子 (10.0%、29.8%)

(3) 女の子に好かれる男の子

男子 (5.3%、16.8%)、女子 (1.0%、3.0%)

(4) 男の子に好かれる女の子

男子 (1.7%、5.6%)、女子 (8.9%、26.9%)

(5) あなたの好きな女の子

男子 (3.3%、10.9%)、女子 (3.4%、10.5%)

(6) あなたの好きな男の子

男子 (5.9%、18.7%)、女子 (4.8%、14.6%)

A-2 問1各問の集計結果の分析

(1) から (6) までの6方向からの質問のそれぞれに、上位3位までに挙げられた、好ましい男女像の選択肢をまとめると次のような結果となった。

(順位は重要度加点による回答数比率。回答者数比率でも3者内の順位の入れ替わりはあるが、他の選択肢との入れ替わりはない)

質 問	回答者	1 位	2 位	3 位
(1) 女の子に好かれる女の子	男	明るい	優しい	面白い
	女	明るい	優しい	面白い
(2) 男の子に好かれる男の子	男	面白い	明るい	心が広い
	女	面白い	明るい	スポーツが得意
(3) 女の子に好かれる男の子	男	優しい	面白い	頼りになる
	女	優しい	面白い	頼りになる
(4) 男の子に好かれる女の子	男	優しい	可愛い	明るい
	女	優しい	可愛い	明るい
(5) あなたの好きな女の子	男	優しい	明るい	可愛い
	女	優しい	面白い	明るい
(6) あなたの好きな男の子	男	面白い	心が広い	明るい
	女	優しい	頼りになる	面白い

ベスト3で見る限り、「優しく」(上欄中1位に7個、3位までに9個)、「面白い」(1位に3、3位までに9)、「明るい」(1位に2、3位までに9)に集約される。男女を問わず、「面白い」に対して高い選択が行われていることが注目される。男子に対しては、ベスト3以外にも「心が広い」、「スポーツが得意」、「頼りになる」というように、それなりの多様性と自立した人格への期待が寄せられているが、女子には「可愛い」が加わるのみであり、対人関係的側面だけを強調して求められてきた旧来の女性像が変化していないことを感じさせる。

しかし、各質問ごとの回答の内容を吟味していくと、もう少し違った特徴もみられるので、以下にそれらを記述していく。

(1) 女の子に好かれる女の子

参照：資料(表1-1-1、1-1-2)(グラフ1-1-1、1-1-2)

女子自身が好ましく思う女の子像は、「明るい」と「面白い」の2本柱に「優しい」が続いて3本柱を形成している。「心が広い」がやや落ちて、さらに、「よ

く気がつく」、「素直」、「頼りになる」が一定の選択を得て下位グループをつくっている。この傾向を男子が少しずつ数値を下げながらなぞるような選択をしている。回答した男子は女子の意識をよく理解しているといえそうである。「明るい」（回答者数比率男子 53.9%、女子 54.6%）は、男女の回答者が共通してトップに挙げている。重視するかどうかでみると、1位は変わらないが、男女ともに2位の「面白い」と3位の「優しい」の順序が入れ替わり、女子では「優しい」がトップの「明るい」と並立する所まで伸びてくる。

その他の傾向として、女性に期待されてこなかった「自己主張できる」、「意志が強い」、「勇敢」、「たくましい」、「スポーツが得意」、「てきぱきしている」などがあまり選択されていない。同時に、「家庭的」、「落ち着いている」などいわゆる成人女性の女性らしさといわれてきた一部の選択肢も、最も選択率の低いグループに属している。

（2）男の子に好かれる男の子

参照：資料（表1-2-1、1-2-2）（グラフ1-2-1、1-2-2）

男子の意識を問う本問では、女子の無回答が多い。回答者の選択傾向は男女ともに、圧倒的に「面白い」（回答数比率男子 26.0%、女子 24.3%、回答者数比率男子 69.6%、女子 61.1%）に集中し、他の選択傾向についても、男女がほぼ同傾向を示している。問1の全問中、最高の選択数を獲得した「面白い」は、女子より男子自身の選択度がさらに高く、男同士の世界で、「面白い」ということが他者から好感をもたれるための最重要要素であることがわかる。

「面白い」に次いで男子が選んでいるのは、「明るい」、「心が広い」、「頼りになる」であり、その回答者数比率は、「面白い」から順に7：4：3：2.5と下がっていく。これらに比べ、「優しい」（回答者数比率 15.6%）はあまり選ばれていない。男子が3位に挙げている「心が広い」についての男女の選択率の差が全選択肢の中で最も大きいことも注目される。「優しい」よりも「心が広い」ことを重視している男子の世界は、女子にはあまり見えていないようである。

その他に、設問（3）で、女子から男子に期待する選択肢として挙げられている回答者比率 32%の「スポーツが得意」には及ばないが、「スポーツが得意」、「活発」は男子仲間でも回答者数比率 20%を超える支持を受けている。他の質問に対するより多く、「責任感がある」、「意志が強い」、「自己主張できる」、「勇敢」、「たくましい」なども男女双方から選択されている。男子同士の間では、これらの要素も好ましさとして期待されていることが推察される。

（3）女の子に好かれる男の子

参照：資料（表1-3-1、1-3-2）（グラフ1-3-1、1-3-2）

男子の無回答が多く、ほとんどの選択肢に対し、女子の選択率が高い。無回答者の異性への関心が低いとは考えられず、異性からの期待像がわからない迷

いの結果なのか、異性の期待と自分の現実との乖離に直面したくない回避的心理が働いた結果なのか、関心がもたれるところである。いずれにしても、異性との人間関係は男女高校生にとって避けては通れない解決課題となっているようである。

本問では、回答している男子は、3位まで「優しい」、「面白い」、「頼りになる」という女子と同じ3つの選択肢を選んでいる。男子が、回答者数比率で40%台の水準に3選択肢が鼎立状態になっているのに対して、女子は「優しい」を1位とし、3選択肢の選択率が（回答者比率50%台から40%台へ）漸減していく。男子が思っている以上に、女子の対男性への好みは「優しい」を優先していることを示していることになる。重要度を加味すると、男も「優しい」の比重は増してくる。その他、重要度でみると、4位の「スポーツが得意」が3位の「頼りになる」との差を縮めてくる。「頼りになる」は、男女とも40%台の選択率を獲得している多数支持の必要要件ではあるが、「優しい」「面白い」のように、特に重視されるほどの重みはもっていないことになる。

（4）男の子に好かれる女の子

参照：資料（表1-4-1、1-4-2）（グラフ1-4-1、1-4-2）

女子の無回答が多い。前問（3）で指摘したのと同様に、異性に対する態度・構えに一種のとまどいを指摘することができるのではないだろうか。集計結果にも、やや複雑な側面が現れている。

回答者数比率では男女とも「可愛い」（約60%）が最も高く、「優しい」（50%後半）、「明るい」（男50%、女45%）が続く。女子にとって、自己責任を負いきれない「可愛い」という要素を過半数の男女が意識していることは、無回答者にも全く意識されていないとは思われない。回答しないことで、消極的抵抗としての意見を表明しているようにもみえる。しかし、重要度加点でみると、「優しい」（回答数比率男子22.6%、女子20.5%）の方が「可愛い」（回答数比率男子17.8%、女子18.8%）を上回る。しかも、その変化の幅は男子の方がかなり大きい。男子は「可愛い」子に好感を寄せるものの、「優しさ」の方をより大切だと考える現実的な判断ももちあわせている。

3本柱に次ぐのが、回答者数比率で、「素直」（男23%、女21%）、「よく気がつく」（男10%強、女20%強）、「家庭的」（17%）、「おしゃれ」（15~6%）などである。「家庭的」と「おしゃれ」は、男女がほぼ同率で選択をし、かつ、ともに「家庭的」を重視している。これに対して、「素直」と「よく気がつく」は、男女の選択率が近似ながらやや異なり、重要度を加味すると、「素直」を重視する男子と「よく気がつく」を重視する女子が反対の方向に離れていく。

また、男子が、男子女子を問わず、同性同士の世界では第一級の価値を持つと思っている「面白い」を、本問においては、男女とも、あまり選んでいない

(回答者数比率男子 15.6%、女子 10.5%)。男子は女子に面白さを期待していないし、女子自身もそのことがわかっていることになる。「責任感がある」、「頼りになる」、「意思が強い」、「自己主張ができる」などの一群は、「面白い」にも及ばない、微々たる選択率でしかない。

ここに示された男子の期待する女性像は、優しく、可愛く、明るく、ほどほどにおしゃれで素直で、家庭的な女性ということになる。これに対して、男子の認識を追認したくない女子は無回答をもって回答しているといえるのではあるまいか。

(5) あなたの好きな女の子

参照：資料(表1-5-1、1-5-2)(グラフ1-5-1、1-5-2)

男女の無回答がほぼ同率で、しかも低い。積極的な回答を得たと考えられる。集計結果には、男女に最も著しい違いが出た。

男子は、2位と3位が入れ替わっただけで、男子の一般論と同様に、回答者数比率で「優しい」(55%)、次いで、「明るい」(43%)、「可愛い」(43%)を選んでいる。これに多少水をあげられたかたちで続くのが、「素直」(29%)である。第3グループとして、10%台の選択率にある「家庭的」、「面白い」、「心が広い」、が並ぶ。一般論との違いは、少数ながら、個人的には、「意志が強い」、「責任感がある」、「頼りになる」、「自己主張できる」などを挙げる男子が存在していることが示されたことである。男子も決して一枚岩ではない。とはいっても、前問(4)の回答内容に見られるように、少数派も、一般論の現状をよく認識している。

女子も、「面白い」、「明るい」、「優しい」、の3要素は一般論と変らない。「明るい」、「優しい」については、男女が共通して選んでいるが、「可愛い」と「面白い」については男女が対照的な選択をしているのが際立つ。男子は「可愛い」を選択し女子は選択しない(回答者数比率男 43%、女 10%)、女子は「面白い」を選択し男子は選択しない(回答者数比率男 17%、女 46%)という現象がみられる。その他の選択肢においても、ごく低率の選択肢をのぞき、ほとんどの選択肢がシーソーのように、男女がすれ違いの選択をして、同率支持のものが見当たらない。例えば、「素直」、「家庭的」、「落ち着いている」は男子の選択率が高く、「心が広い」、「よく気がつく」、は女子が選択するというように。あからさまにみえやすいベスト3のような好みは、男女が双方で分かっているが、微妙な期待の違いは、双方ともによくわかっていないという、一般論に垣間見えた傾向が一層明瞭になったといえる。

女子のもうひとつの特徴は、「頼りになる」、「責任感がある」、「自己主張ができる」、「意志が強い」といった選択肢グループへの女子自身の支持が顕在化したことである。比率としては決して高くはないものの、女子像を問う設問の中

の回答者数比率で比較すると、「頼りになる」(設問1-20%、設問4-3.5%→設問5-20%)、以下同様に「責任感がある」(5.5%、1.8%、→9.7%)、「自己主張ができる」(4.1%、1.2%、→8.0%)、「意志が強い」(4.1%、0.4%、→6.4%)といった具合である。男女ともに、個人としての本音が見えた設問である。

(6) あなたの好きな男の子

参照：資料(表1-6-1、1-6-2)(グラフ1-6-1、1-6-2)

男子は「面白い」を設問(2)に次ぐ高い選択率57%で第1位に挙げている。他はぐんと下がるが、「心が広い」(回答者数比率以下同じ32%)、「頼りになる」(28%)、「明るい」(26%)、「責任感がある」(20%)、「優しい」(19%)と20%水準までにいくつもの選択肢が並ぶ多様性が注目される。(2)で、男子が男子に対する一般的期待のときに2位に選ばれていた「明るい」は、個人レベルの選択では「心が広い」、「頼りになる」に取って代われ順位を下げている。また、男子同士の選択(22%)や女子から男子への期待(32%)で、いずれも比較的高い選択率を示していた「スポーツが得意」も、個人としての男子自身は、それほど選択していない(17%)。それに対して、上に挙げた「頼りになる」、「責任感がある」をはじめ、それに近い要素と思われる「意志が強い」、「自己主張ができる」、「勇敢」、「たくましい」などの選択肢は、個人としても、男子同士の一般論あるいはそれ以上に選ばれている。

男子が個人として期待する男性像は、いまどきの対人関係を維持するために「面白い」の重要性ははずせないとしても、表面的な要素よりも、多面的に人格的な幅のある成熟した人間像であると推察される。

B 問2の集計結果

B-1 問2の集計方法について

「うれしかった」に対する選択肢21、「不快だった」に対する選択肢15から、該当例があれば選んで記入させ、記入された該当数だけを集計の対象とした。「なし」の記述が少数ながらあったが、「無し」の選択肢がないために無回答となった回答との区別ができないので、不明を含めてこれらすべてを無回答として扱った。

問2における回答内容の分析は、回答数比率と回答者数比率をもって行った。

B-2 問2各問の集計結果の分析

(1) 親から言われてうれしかったこと

参照：資料(表1-7-1、1-7-2)(グラフ1-7-1、1-7-2)

男子の回答者総数358から、490件の選択があり、無回答者は52であった。女子は、回答者総数487から、691件の選択があり、無回答者は49であった。回答者総数において、200の差があるとはいうものの、男子の女子に対する回答者比率と回答数比率は、それぞれ73.5%、70.1%となり、男子の回答数は、実数

としてだけではなく、割合としても少ない。反対に無回答者は、男子の方が多い。

回答内容については、男子で、最も回答数比率の高いのは、「優しい」(12.7%)であり、女子では「しっかりしている」(9.3%)である。以下、男子では、いずれの選択肢にも10%を超える該当がない。比較的高いのが、「頼りになる」(8.2%)、「面白い」(8.0%)、「よく気がつく」(7.1%)、「しっかりしている」(6.7%)、「素直」(6.1%)などである。

女子は、第1位の比率が男子ほど高くない代わりに、「男らしい」、「優しい」、「面白い」、「よく気がつく」の4選択肢以外では男子を上回り、「頼りになる」(9.0%)、「優しい」(8.7%)、「素直」(8.1%)、「明るい」(6.5%)、「特技がある」(6.1%)、「よく手伝う」(6.1%)と多数の選択肢が並ぶ。

男子の回答が少ないという回答状況の背景には、何件かの回答紙の余白に、ほめられたことがないとの記述があったことから推察されるように、親のかかわりの中で、男子が女子ほどうれしい体験をしていないことが考えられる。また、親子の間に距離があり、親が男子をほめることと、男子自身がほめられてうれしいと感じることに、ずれのようなものがあるにもかかわらず、親がそれに気づいていないのではないかとも思われる。感情表出をせず、しっかりしていて頼りがいのあるように期待され育てられる男子が、優しいとの評価を一番うれしく思うとしていることに、男子の感性の変化を感じる。

(2) 友達から言われてうれしかったこと

参照：資料(表1-8-1、1-8-2)(グラフ1-8-1、1-8-2)

回答者総数男子358、女子487から、回答総数は、男子502、女子812、無回答数男子46、女子25である。

男子は、回答比率の高い順に次のような選択肢が選ばれている。

優しい(回答数比率16.7%、回答者数比率23.5%)

面白い(13.1%、18.4%)

頼りになる(9.2%、12.8%)

特技がある(6.8%、9.5%)

しっかりしている(6.0%、8.4%)

明るい(5.2%、7.3%)

勉強ができる(5.0%、7.0%)

よく気がつく(4.6%、6.4%)

「優しい」が1位であることも、2位、3位での順位の入替わりはあっても、上位3つも「親から」の言葉であがったものと同じである。「親から」で2位だった「頼りになる」が3位に下がっているが、友達の間では「面白い」の方が価値がある。問1の結果にみるとおりである。

男子で、全 20 個の選択肢の中で、「特技」が 4 位、「しっかりしている」が 5 位、「勉強」が 7 位にある。周囲の目や評価とのかかわりが深いこれらの選択肢が中上位に選ばれていることの意味はどのように理解したらよいだろうか。第 3 部でみるように、女子の周囲への関心が、受容、共感を求める愛情・承認欲求に傾いているのに対して、ここにみられる男子の関心は、自らの自信、力の欲求の充足のように推察される。「勉強ができる」、「特技がある」が女子より高い比率を占め、女子の「女らしい」(0.3%) に比べると「男らしい」(1.8%) が多少比率が高いことなども、自信、力の欲求とみることができよう。

女子の方は、高比率の順につぎのように並ぶ。

面白い (回答数比率 16.9%、回答者数比率 28.1%)

優しい (13.4%、22.4%)

明るい (12.2%、20.2%)

可愛らしい (9.7%、16.2%)

頼りになる (9.1%、15.2%)

おしゃれ (6.0%、10.1%)

しっかりしている (5.4%、9.0%)

女子の「面白い」は、男子の「優しい」と回答数比率が同率の 17% 弱で、女子の「面白い」と男子の「優しい」が対のように他の選択肢の中で抜きん出ている。

男子との選択に最も大きな開きがあるのは、「可愛らしい」である。女子には 5 位の「頼りになる」を、友達からいわれて不快と感じるとの記述があるし、親からの言葉で 1 位だった「しっかりしている」も、友達からでは 5 位に後退している。「勉強ができる」、「特技がある」の回答数比率も男子より低く 3% に満たない。女子にとっては有能であるよりも、友人関係を明るく、軽くこなせる資質の方が大切なのであろう。高順位に並んでいる「面白い」、「明るい」、「おしゃれ」は、それを物語っているのではないか。

(3) 親から言われて不快だったこと

参照：資料 (表 1-9-1、1-9-2) (グラフ 1-9-1、1-9-2)

回答総数 1,195 (男子 469、女子 726)、無回答総数 105 (男子 63、女子 42) について分析した。

男子は、「あきっぽい」(回答数比率 14.7%、回答者数比率 19.3%)、「やる気が無い」(14.7%、19.3%)、「手伝わない」(14.3%、18.7%)、「ぐずぐずする」(10.7%、14.0%)、「キレやすい」(7.0%、9.2%) が高い比率で挙がっている。

女子は、「手伝わない」(16.8%、25.1%)、「ぐずぐずする」(11.2%、16.6%)、「やる気がない」(10.2%、15.2%)、「太っている」(9.4%、13.0%)、「あきっぽい」(8.5%、12.7%)、「キレやすい」(8.1%、12.1%) である。

男女とも同じような言葉を不快に感じているが、これらは 1 割程度以上の回答者が挙げ、一部を除いて、回答者としての人数が少ない男子の方が比率が高い。効率が期待される世の中で、持続力があり、すばやくテキパキしていることを期待され、期待に応えられなければ否定され、傷つく経験は男子の方が多いのであろう。男子は、選択肢では表現しきれない傷つきをしているのではなかろうか。

女子の方が多く経験をしているのは、いそいそと手伝うことであり、男子に比べ女子が能力よりも役に立つという使用価値を期待されているように思われる。男子が挙げない「太っている」を 1 割以上の女子が挙げている。可愛らしさに価値がある女子にとってこの不快感は、摂食障害にまでつながりかねない問題を潜ませている。また、女子の「女らしくない」(5.5%、8.2%)、「気が強い」(5.0%、7.4%)と男子の「男らしくない」(4.1%、5.3%)、「気が強い」(0.9%、1.1%)を比較すると、親からは女子の方が伝統的な性別像を期待され、抵抗感をもつことが多いことがわかる。

(4) 友達から言われて不快だったこと

参照 資料(表 1-10-1、1-10-2)(グラフ 1-10-1、1-10-2)

回答総数 952 (男子 419、女子 533)、無回答総数 218 (男子 91、女子 127) について分析した。

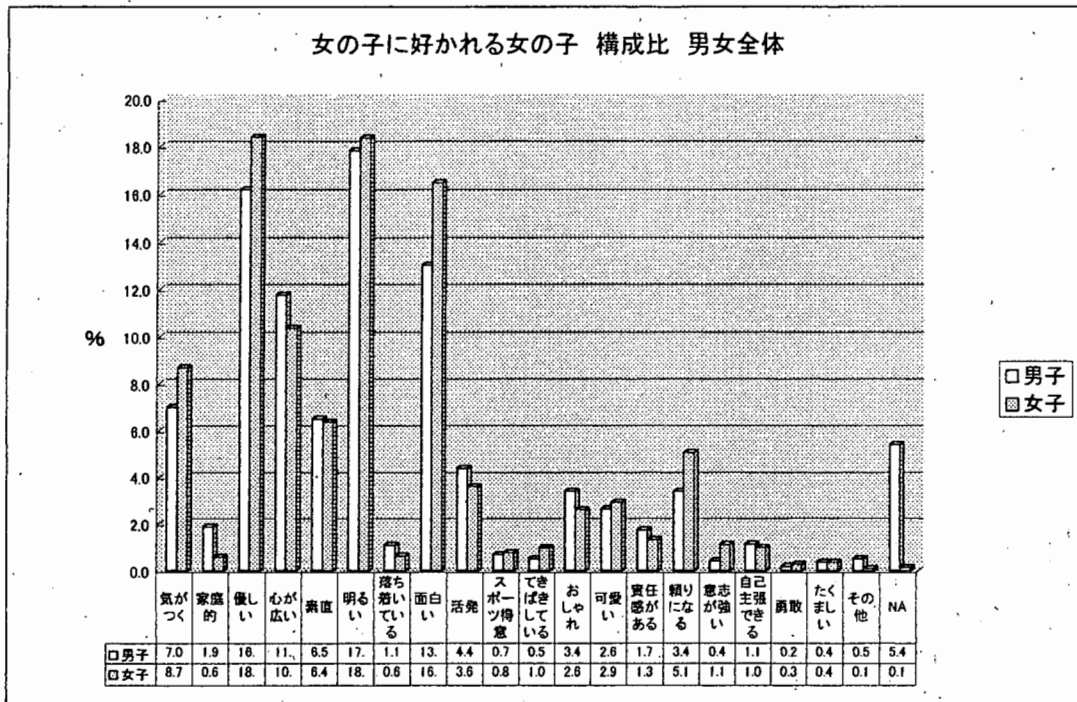
男子は、「やる気がない」(16.2%、19.0%)、「男らしくない」(6.9%、8.1%)、「あきっぽい」(6.2%、7.3%)、「ぐずぐずする」(6.2%、7.3%)、「意気地がない」(6.4%、7.5%)、「キレやすい」(9.1%、10.6%)が、女子は、「やる気がない」(10.1%、11.5%)、「太ってる」(9.2%、10.5%)、「キレやすい」(8.7%、9.9%)、「気が強い」(7.4%、8.4%)、「女らしくない」(7.2%、8.2%)、「あきっぽい」(6.1%、7.0%)が、比率の高い選択肢群として挙がっている。

優しいといわれることを一番うれしいと感じる男子にとって、体育会系の強さを求めるような友達の言葉は、自分の価値を否定され、自尊心を傷つけられることになるのであろう。親との関係を問う質問以上に無回答率が高い男子の世界には、第 3 部の被害体験にみるように「殴る、蹴る」型のいじめも存在する。「男らしさ」に抵抗し、感性を変化させつつある男子は、二重基準(ダブルバインド)で生きなければならない苦しい現状におかれているようである。

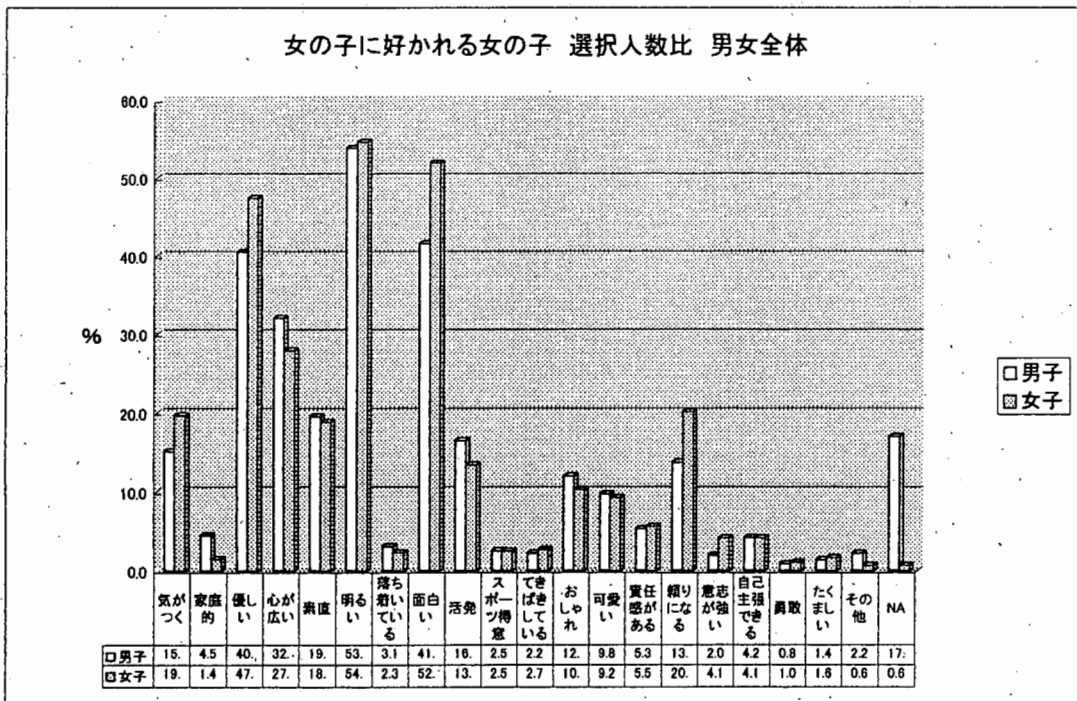
女子の交友関係からも男子と同じような矛盾したメッセージが聞こえてくる。女子もまた、というより一層苦しい二重基準を生きている時代といえよう。

そのような現状は、次ぎのような選択肢外に記述されたことばからも、伝わってくる。付き合い悪い、きつい、無愛想、無口、計画性がない、気持ち変、むかつく、おとなしい、仕切りや、うざい、さめている、嫌い、微妙、などである。

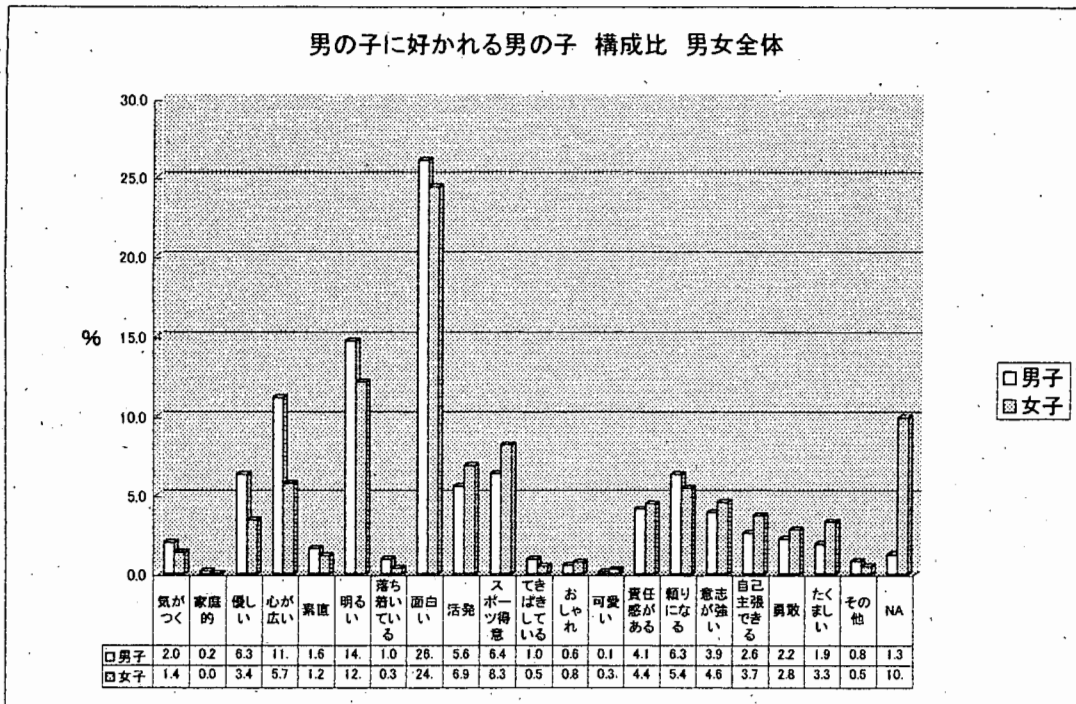
グラフ1-1-1



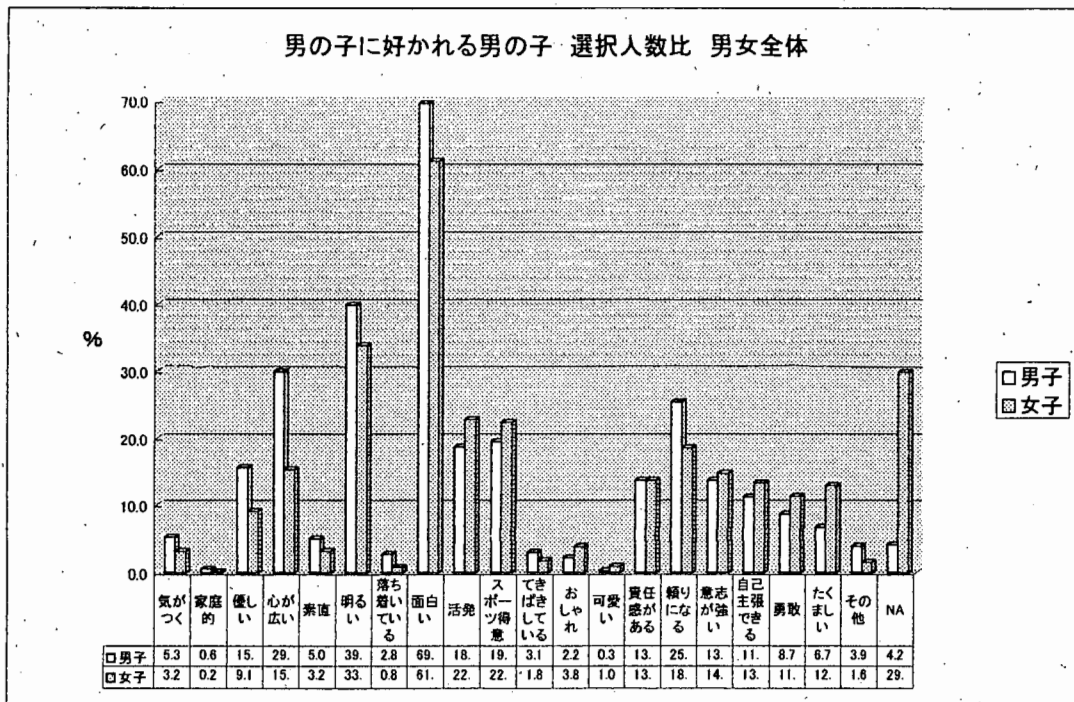
グラフ1-1-2



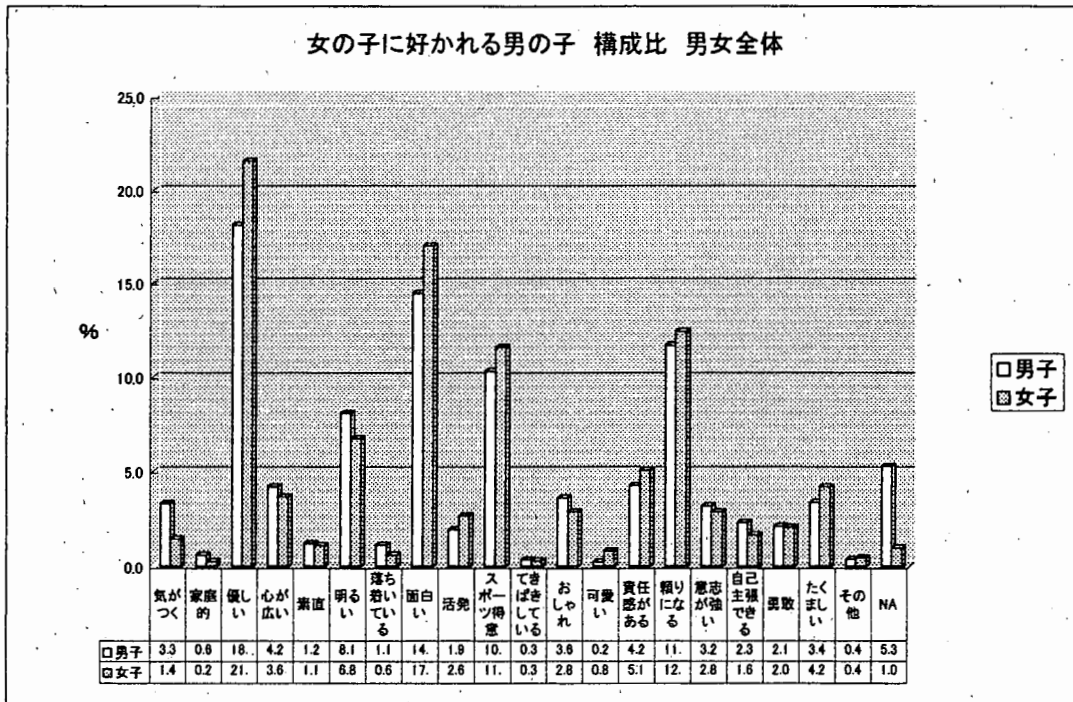
グラフ1-2-1



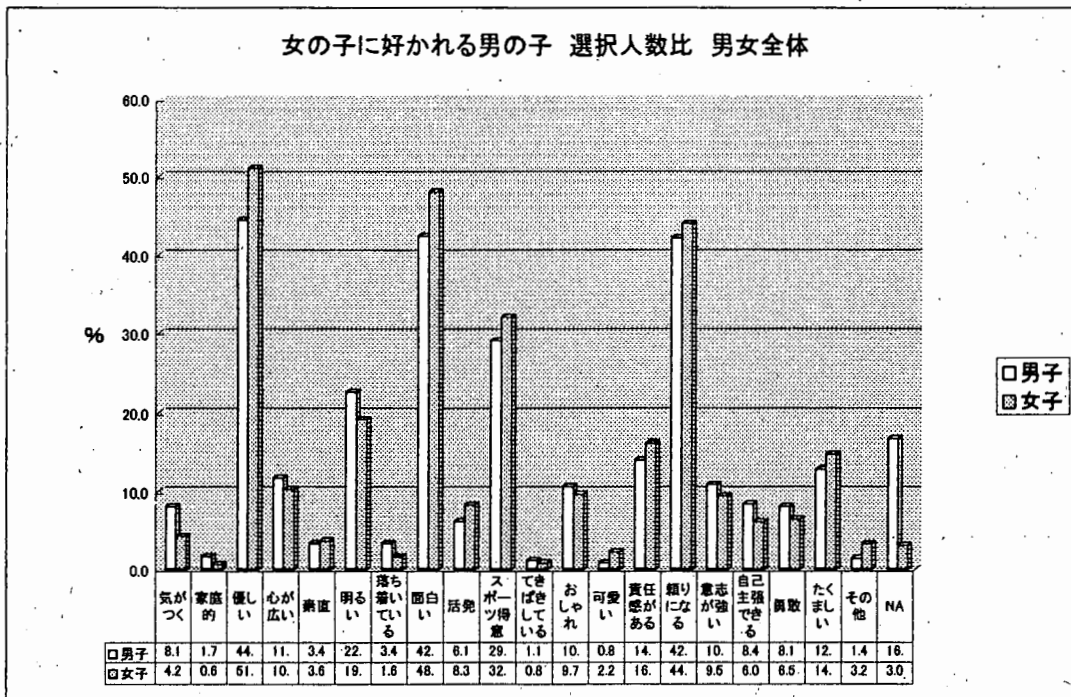
グラフ1-2-2



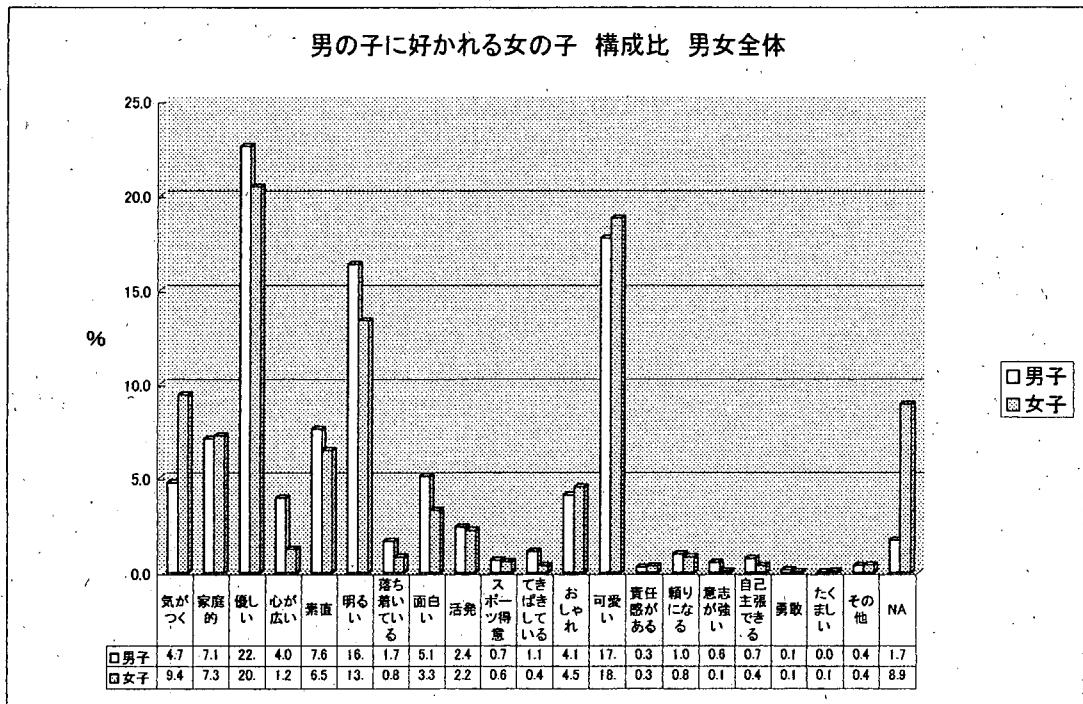
グラフ1-3-1



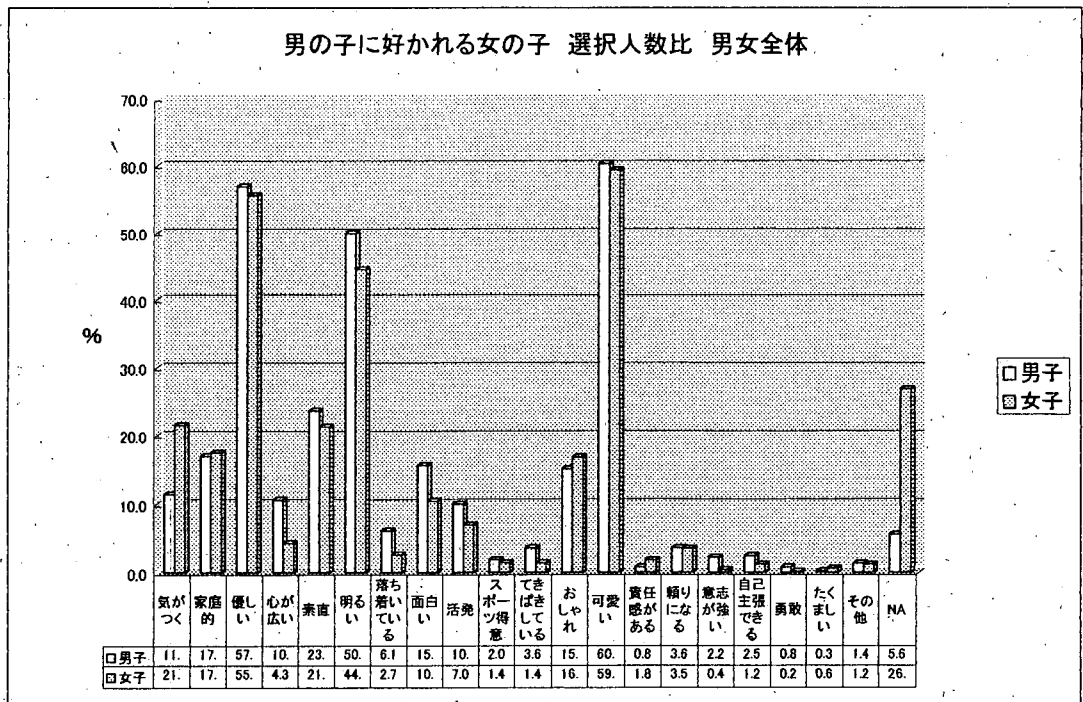
グラフ1-3-2



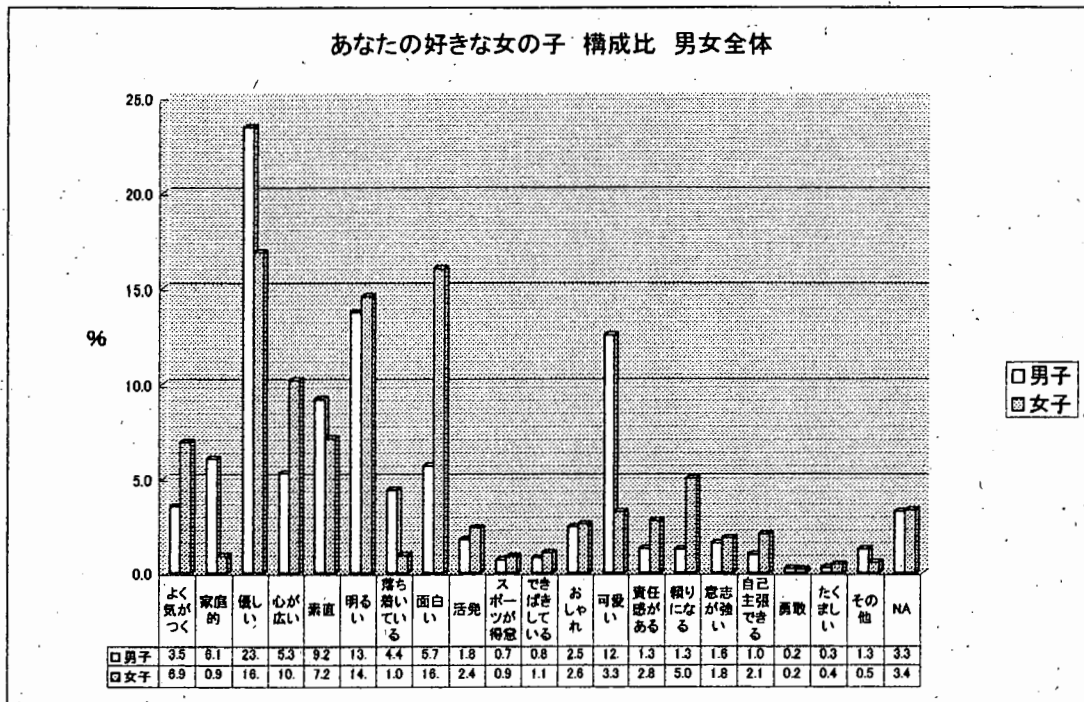
グラフ1-4-1



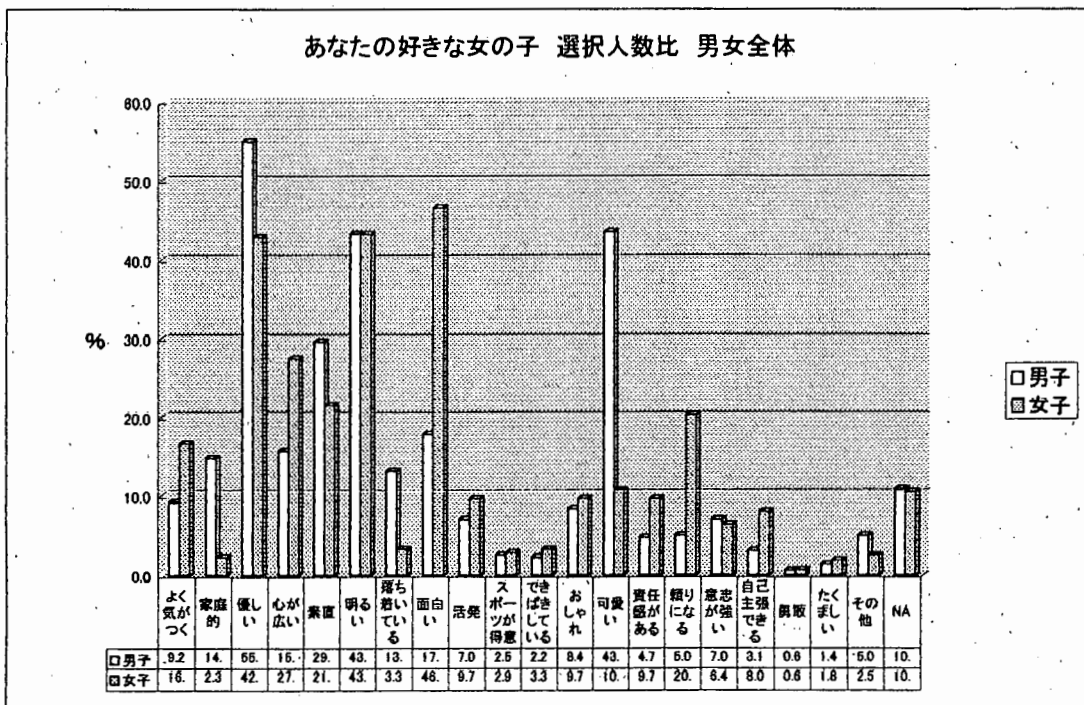
グラフ1-4-2



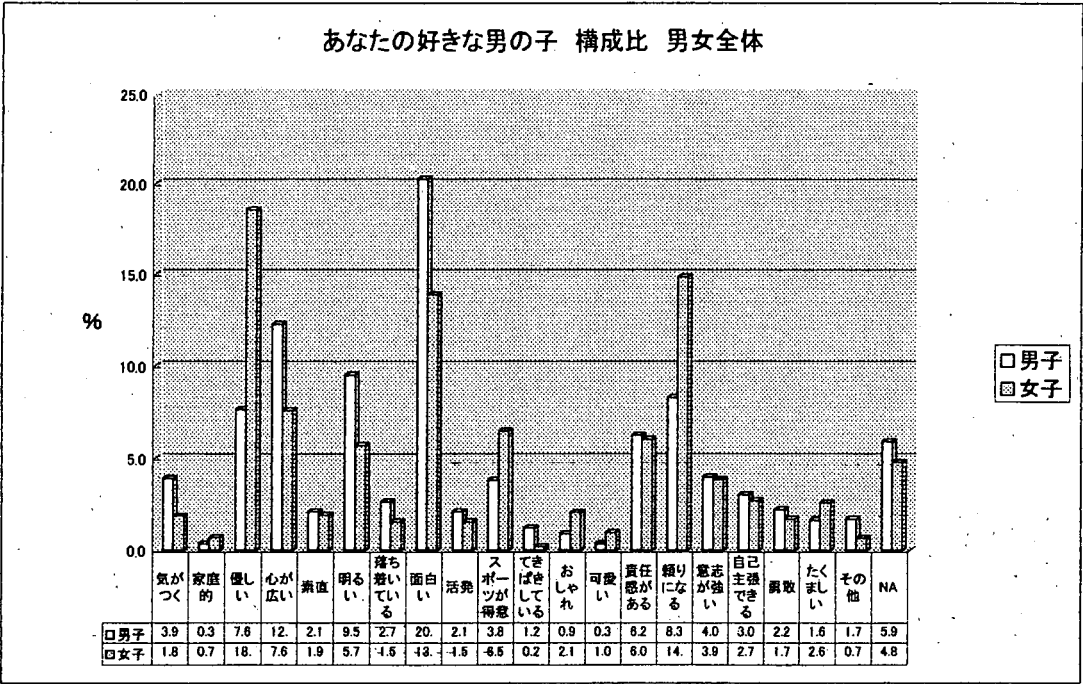
グラフ1-5-1



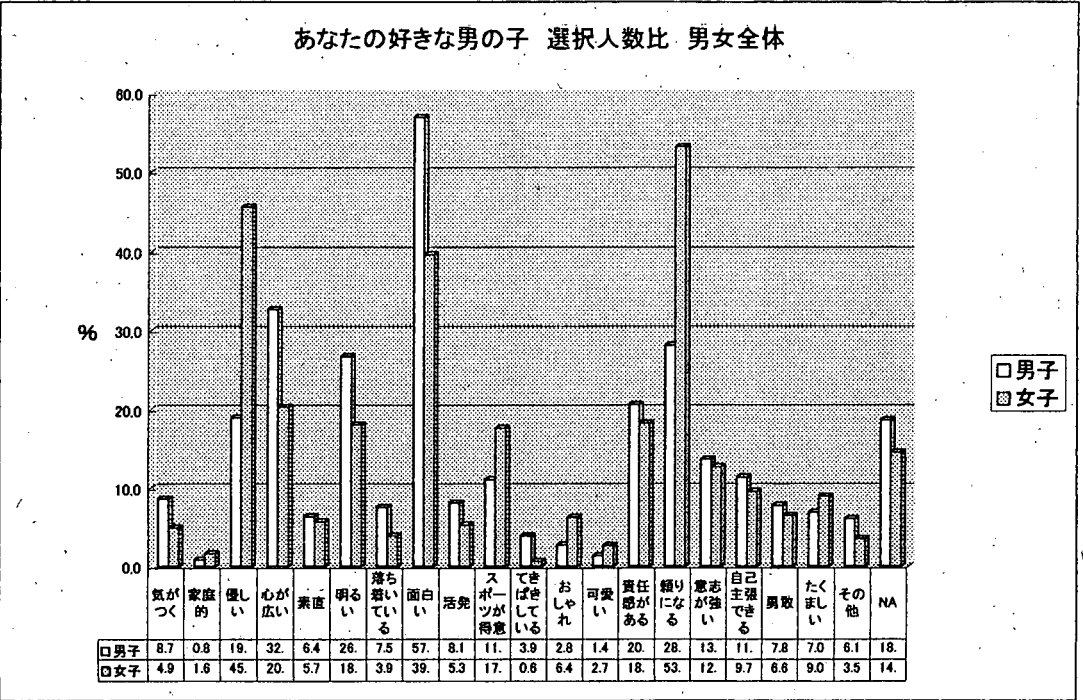
グラフ1-5-2



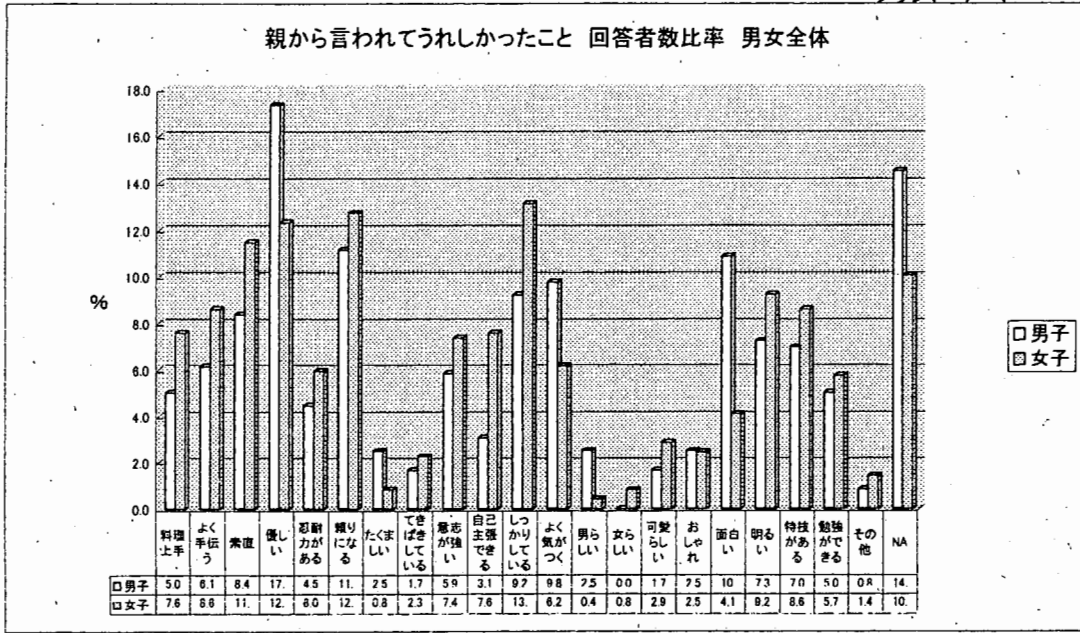
グラフ1-6-1



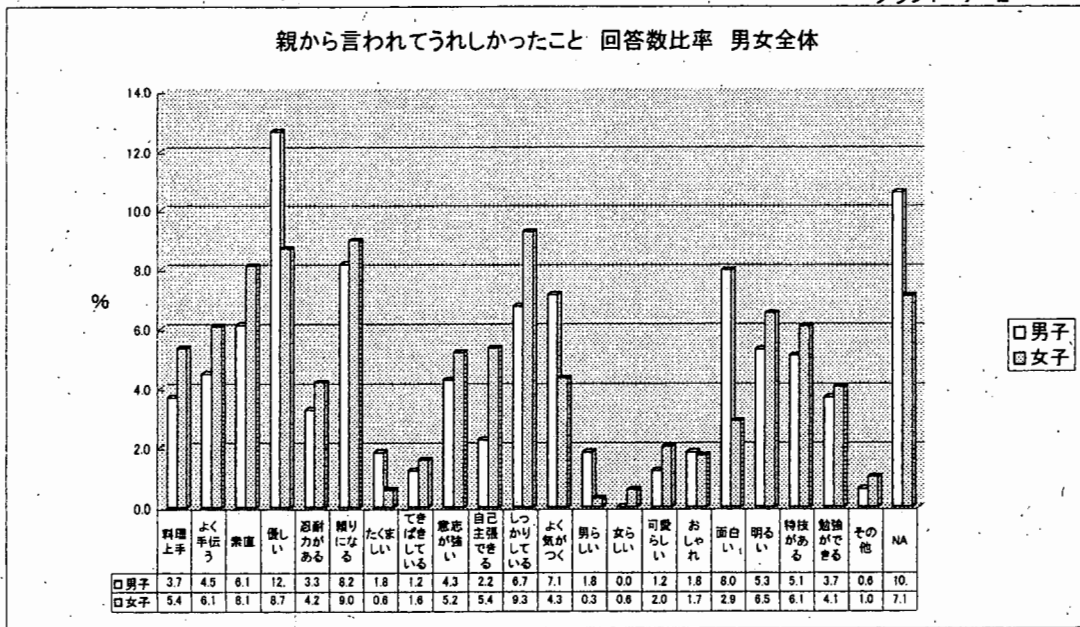
グラフ1-6-2



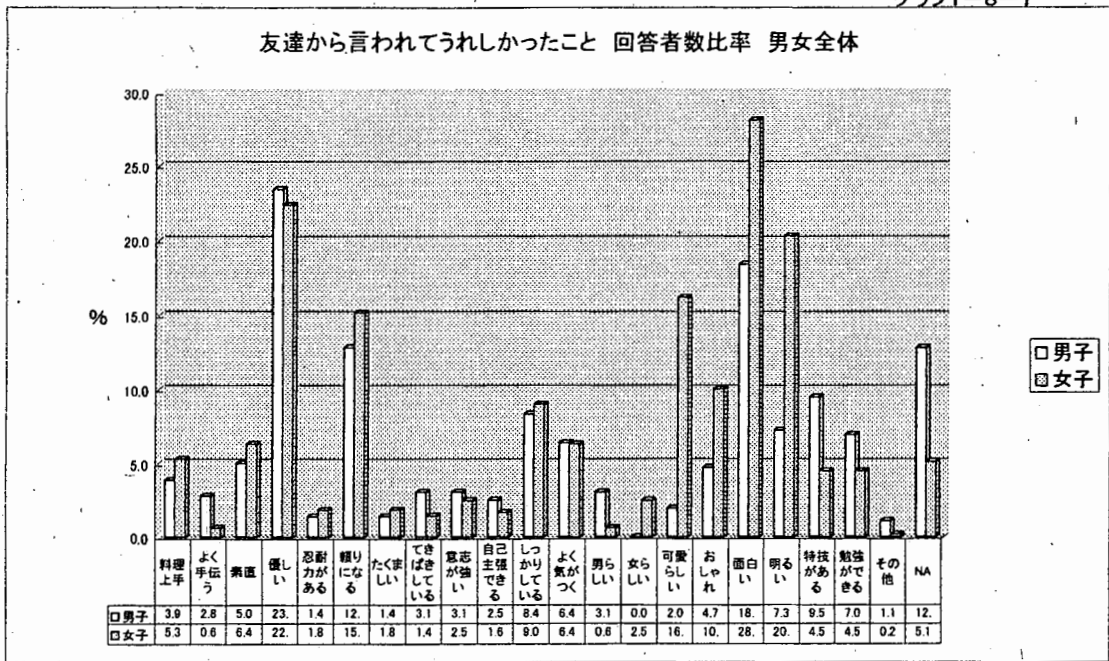
グラフ1-7-1



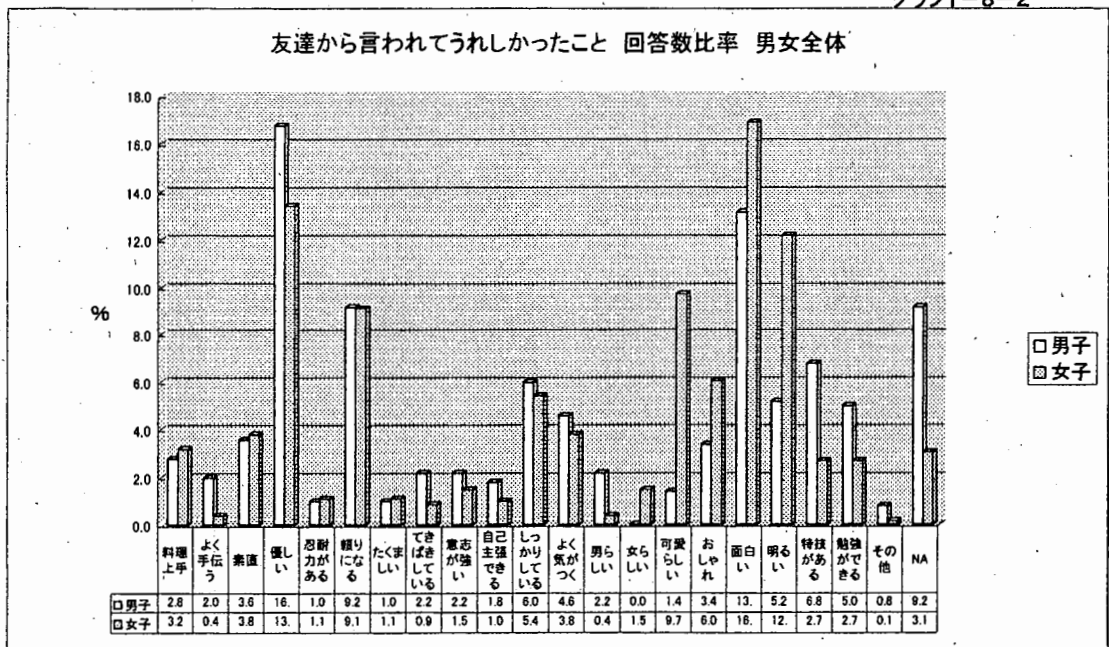
グラフ1-7-2



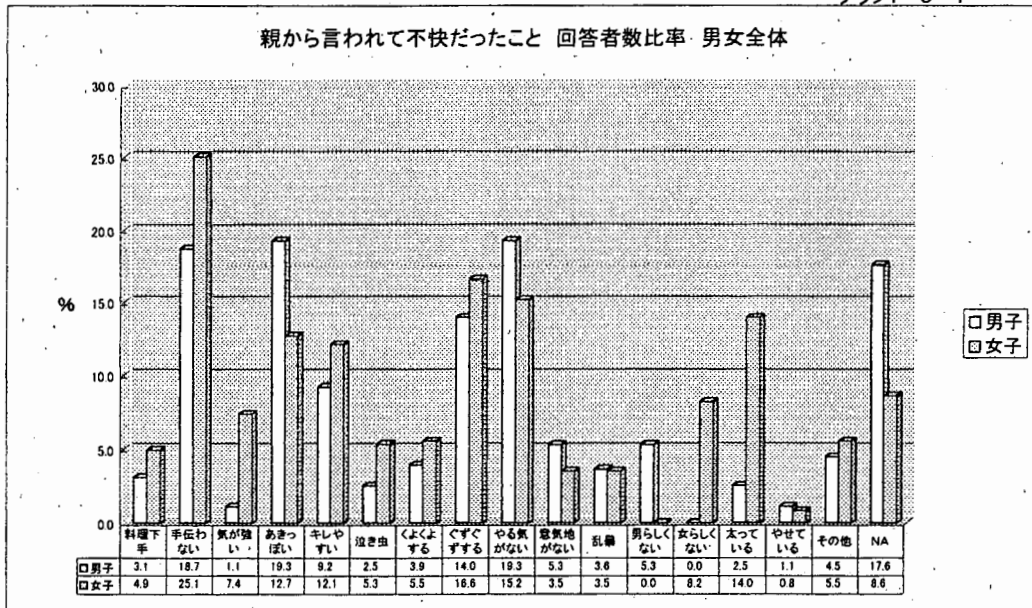
グラフ1-8-1



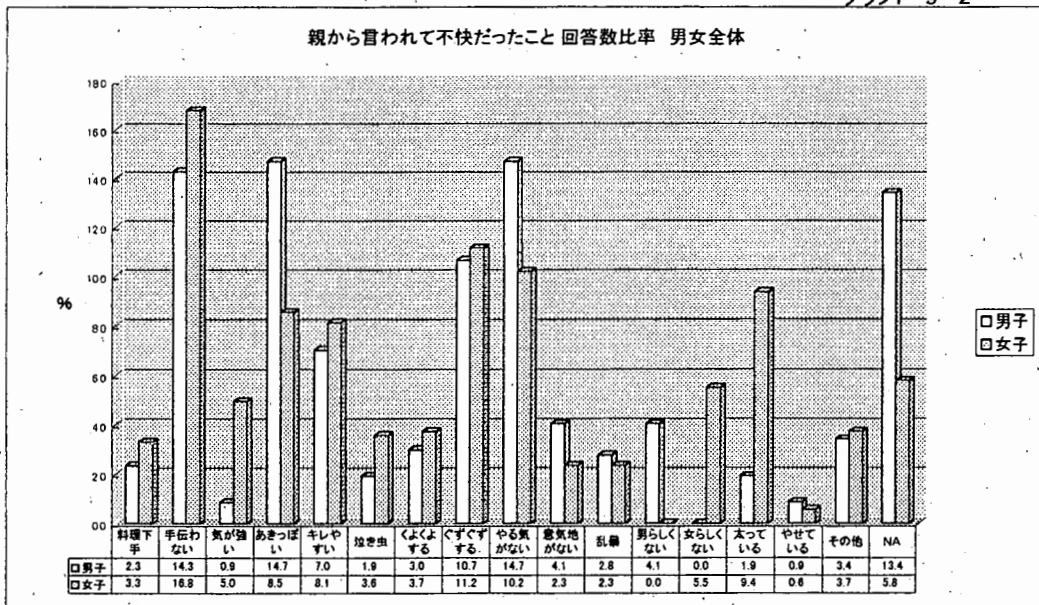
グラフ1-8-2



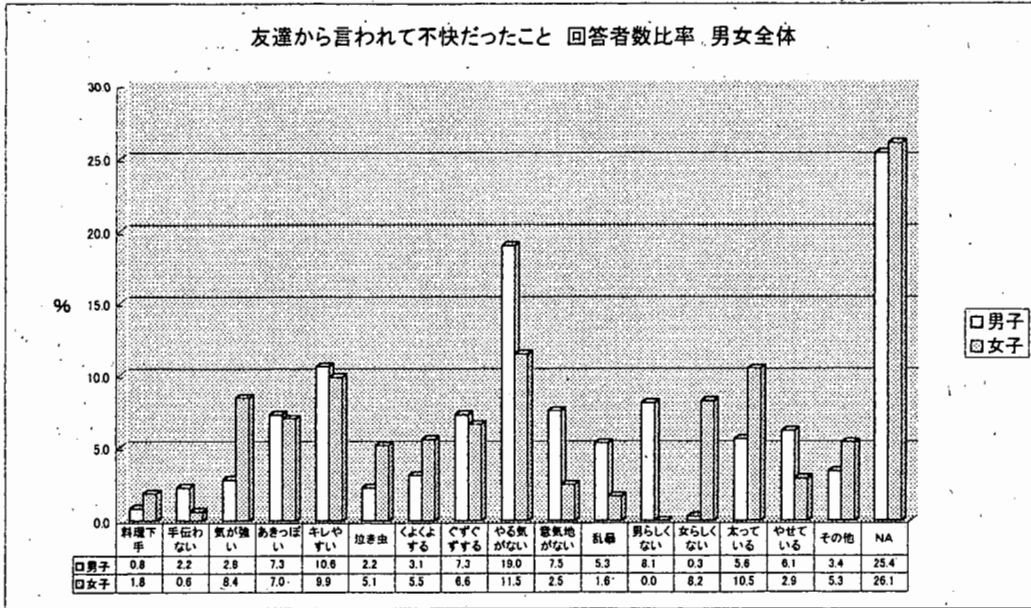
グラフ1-9-1



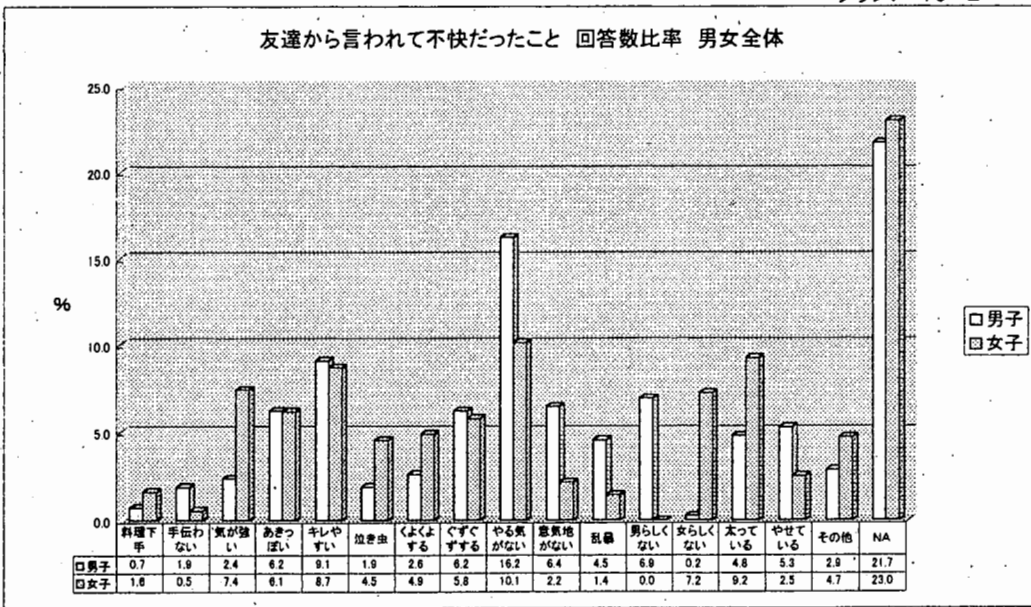
グラフ1-9-2



グラフ1-10-1



グラフ1-10-2



2-2 第2部 男女の役割と家庭について

参照：資料（表2-1-1から2-21-2）（グラフ2-1から2-21）

家族内での男女の役割分担、パワーと暴力の問題、コミュニケーションなどについての21項目の意見に対し、賛成か反対かを4段階で答えさせた。さらに自分の父と母がどのくらい賛成するか反対するかを予想させた。

高校生が家族内での夫婦のあり方、役割やパワー構造について、どのように考えているか、将来自分自身家庭を築くための基礎となる意識を知るための設問である。また両親の答えを予想させることで、自分の家族の現状を高校生自身がどう捉えているか、その状況に本人が批判的か同調的かをある程度見ることができるとは思われる。

21項目の意見は6つの側面から出題された。A 男女の体力差と男女平等について（2問）、B 男女の権利の侵害について（2問）、C 家庭内のパワーの優劣について（2問）、D 家事分担と役割について（6問）、E 暴力について（5問）、F 家庭内のコミュニケーションについて（4問）である。できるだけ男女それぞれの立場からの裏返しの意見を対応させるように構成した。

回答者数は男子358人、女子487人、各問ごとの有効回答数によって賛成と反対の意見の割合を算出した。

自分の意見ばかりでなく、両親がそれぞれどんな意見を持つかを予想させる質問は複雑で、本人と父母を同意見とする答えが多いのではないかと心配したが、結果は予想外に両親それぞれの差異がかなりはっきり出るものとなった。

以下それぞれの側面についての結果を検討する。

A 体力差と男女平等について

問1：男性と女性は体力が違うのだから、それを生かす場が違って当然だ。

問7：社会でも家庭でも、体力の差があっても男女は平等に扱われるべきだ。

この2問について比較した。体力差があっても男女は平等であるという意見に対しては、男子女子共に本人も父母も80%台の賛成率を示し、女子本人が85パーセントといちばん高率であることを除いては、ほとんど差は認められない。観念的な平等思想に対しては、反対意見はあまり出ないだろう。しかし体力の差があるゆえに活躍の場は違うのだという意見となると、両親間の意見が異なっていると高校生達は受け取っているようだ。父親は80%が賛成し、反対派は20%弱であるのに対し、母親の意見について、とくに男子は母親が63%しか賛成しないと考えている。男子と女子はほとんど差がなく、両者とも、父親と母親の意見の中間くらいに位置するが、男子はやや父親の意見に近い。以上の結果は何を意味するのだろうか。観念的な男女平等と言う考えに対しては賛成しても、現実的な社会生活や家庭での役割の平等には必ずしも直結

していない。そのときに体力の差や、男女の性差が現実の差別を正当化する理由になる。体力差は活躍の場の違いにある程度影響はするとしても、体力差だけで決定的に活躍の場が限定される事にはならないであろう。このアンケートの父母の意見の差は、父親は伝統的な男女役割をそのまま肯定しているのに対し、母親達が実際に性差を感じないような活躍をしていると言うよりは、社会的な活躍の場がないことを不満に感じていると、高校生達が受け取っている結果だと思われる。しかし、高校生自身はむしろ体力差による役割の別を、父親ほどではないにしても、受け入れているように思われる。

B 男女の権利の侵害について

問2：最近では女性の権利ばかり主張されて、男性の権利が侵害されている。

問8：今の社会は男性に都合のよい社会で、女性の権利は軽く見られがちだ。

現代社会で、男女の権利がそれぞれ尊重されているか、家庭の中ではどうかを高校生達がどのように受け取っているかを見た。全体的に女性の権利が軽く見られがちだという意見が男性の権利が侵害されているという意見を上回って賛成に傾いた。すべてのグループで女性の権利が侵害されがちだという意見への賛成が50%を超えたが、男子の父親、女子の父親では賛成は50%を僅かに上回るにすぎず、ほぼ半分はそう思っていないと高校生達は考えている。そして男子本人の意見も賛成は56.5%、反対が43.5%とやや賛成が反対を上回っているに過ぎない。これに反し、女子および男子と女子の母親達は66から69%賛成を示し、男子の母親の意見が69.1%の賛成で、いちばん高い。一方男性の権利が侵害されているという意見に対しては、男子と父親、女子と母親の意見は反対方向にずれている。男子、男子の父親および女子の父親の意見は半数以上が賛成し、女子および男子と女子の母親は65%近く反対意見を表明している。男子生徒の半数程度は女性の権利が軽く見られがちだと認めるが、男性の権利が侵害されることをより強く感じ、父親も同様に感じていると見ている。しかし、男子も女子も母親は逆に女性の権利が軽く見られ、男性の権利は侵害されていないと見ていると感じているようだ。

C 家庭内のパワーの優劣について

問5：夫と妻の権利は平等とはいえ、実際には経済力のある夫の方が力を持っている。

問10：家庭内では結局女性のほうが強く、男性は女性の言うことに従うことになる。

家庭内のパワーは、妻の発言力がかなり強くなっていると予想して設問を作ったが、男性が女性に従うという意見は反対が賛成を大きく上回った。男子の母親がいちばん高い賛成率を示したが、43.2%に留まり、半数以下であった。そして夫が力を持っているという意見に対しては、父親の意見のみが賛成

多数で、高校生と母親はそれを認めることが少ないという結果を示した。父親のパワーは、母親や子どもにはパワーとして認められていないが、父親だけはパワーを行使しているつもりでいると、高校生達は見ているということであろうか。最初の予想では、パワーを実際に行使している者は自覚がなく、パワーを行使されて従っている者はパワーを発揮する人物を認めているのではないかと考えていた。たとえば父親が家の中で力を持っているとすれば、父親自身にはその自覚がなく、子どもや妻から父親が力を振るっていると見られているのではないか、もし母親が隠然たる勢力を家庭内で発揮するなら、子どもと夫は母親に力が集中し、自分たちは無力だと感じるのではないかと予想した。しかし結果は逆で、父親のみが父親にパワーがあると思っていると高校生は見ている。また女性がパワーを持つという意見には賛成者は少なく、男子の母親が43%賛成を表明しているのが最も高く、他のグループでは60%以上が反対している。ここから家庭内での父親の勢力は父親が思っているほど強力ではなくなっていて、母親もその力で家庭内で主導権を持つほど強くもないという結論が導き出される。家庭内のパワーや権威は誰かが集中的に所有するのではなく、その時その時で力関係が流動すると見られているのかもしれない。親が権威を失い、子どもを躾ける力が失われているという問題との関連性も、さらに検討する必要があるようだ。

D 家事分担と役割について

家事の分担、家庭内の役割については、6項目の意見の賛否を調査した。

3: 家族のために働いているのだから、夫は家事を手伝う必要はない。

11: 本来夫婦は平等なのだから、夫も積極的に家事を分担すべきだ。

この2問については、対照的な結果が得られた。家事を手伝う必要がないということに関して、高校生と母親は90%近く反対し、父親のみが半数以上賛成していると男女とも答えている。そして積極的に分担すべきだというちょうど正反対の意見に関しては、高校生と母親は90%近く賛成し、父親のみ約半数の賛成に留まっている。夫が家事を分担するのは当然だと妻や子どもの意識は変わっていても、父親のみ男子厨房に入らず式的意見になんとか留まる事で、家事分担を免れようとしている実態を現していると思われる。

14: 家事や育児は主として女性がするのが自然だと思う。

21: 女が家事をしない家庭があっても良い。

女性の家事分担について述べられたこの2つの設問についても、前の設問ほど極端ではないが同様の結果が得られたが、高校生男子と女子の意見に開きが見られた。家事や育児は女性がするのが自然という意見に賛成した男子は62.1%であるが、女子は46.7%に留まった。男子の意見は父親の意見に近づ

いている。また女が家事をしない家庭があっても良いという意見には男子はかなり賛成が多かったものの、ここでもまた、女子と母親の75%の賛成意見にはついていかず、父親ほどではないが10%ほど反対の方向に寄っている。

17：夫も家事を手伝うが、あくまでも主体は妻だ。

20：妻は家族に迷惑をかけなければ、外で働いても良い。

20番の設問の仕方は失敗だったと、調査を終えた段階で気づいて反省した。家事の主体が妻のみにあるのか、社会的活動をする妻の場合に社会活動を主体的に考えて、家事を家族内で自由に分担し合うのかを対比する必要があった。家族に迷惑をかけなければ、という条件が入ったため、賛成率が上がり、統計上はあまり意味のない結果となってしまった。

家事の主体は妻だという意見に賛成がかなり多いのが印象的だった。女子の61%が賛成し、女子の母親も57%が賛成すると見られている。男子の母親だけが50%を割り、やや反対意見が賛成を上回っている。

家事全体から見ると、男子高校生は、本来家事は女性が主体的にすることが自然であると見、その場合夫は家事に積極的に協力すべきで、妻が外で働いたり、家事をしなかったりする場合も認める必要がある、というのが平均的意見のようである。女性の社会進出を積極的に認めようという意識がないわけではなく、男子の母親の意見が女子の母親の意見より革新的である場合が多い事からも察せられる。ただし、男子は、自分の意見としては父親の見方に近く、第1部問(2)で、女子が親からの不快経験の1位に、「手伝いをしない」を挙げていることを考えると、男子の母親の意見は、家事助力者のいない現状への不満の表明とみることもできる。女子は母親から家事手伝いを期待され、不満足ながらも一定程度の家事分担をしているものと推察される。男子は、将来、結婚したときには現在の父親と似た行動をとる事になるのではないかと予想される。

E 暴力について

暴力については5つの意見に賛否を求めた。

4：暴力はどんな理由があっても、絶対に許されるべきではない。

18：権威や正義を守るためには暴力もやむを得ないことがある。

暴力はどんな理由であれ、絶対許されないとする意見は、女子が80%以上の賛成を示したのを最高とし、男子と男子の父親が70%、女子の父親と母親が73~75%の賛成という結果だった。しかし、権威や正義が脅かされるとなると、この意見は微妙に変化してくる。男子と男子の父親は約半数が暴力肯定に傾き、女子、女子の父親、母親、男子の母親も30%がやむをえないと認める。すなわち男子の約20%、女子の10%程度がどんな場合にも暴力は許されないという観念的な暴力否定論から現実的な暴力肯定に変化したということを意味している。

そのとき、権威とは何か、正義とは何かが大きな問題になるであろう。すなわち自分の権威、自分だけの正義を守るための暴力が振るわれる可能性があるのではないかと危惧される。

12：夫の意見に従わない場合、妻は暴力を振るわれても仕方がない。

15：子どもが間違っているときには、殴ってでも親は正しい考えを教えるべきだ。

この2問への賛否の対比も興味深かった。さすがに妻が夫に従わないからといって、暴力を振るうことに賛成する人はほとんどいなかった。しかし父親は賛成するかもしれないと考えた男子と女子が各10%程度あり、数で見ると男子26人、女子39人もいるということは注目に値する。すなわち家庭で日常的に暴力が振るわれている可能性が大きい。また男子の18名、女子の15名がこの意見に賛成と回答していることも非常に気になることである。

夫が妻に暴力を振るうことに関しては95%の反対があったとしても、対子どもとなると、その様相は大きく変わる。女子高校生が70%近く反対しているのが突出していて、他のグループでは回答は賛否が半々になっている。子どもを殴って教えるというやり方が、これほどまでに支持されているという事実は、調査者にとっては衝撃的であった。暴力はどんな理由があっても、絶対に許されるべきではないという主張は、子どもには適用されないのであろうか？子どもである高校生自身が子どもへの暴力を認めていることが、今後の暴力の問題を考える上で、取り組むべき課題になってくると思われる。

6：相手を軽蔑したり、嫌がることを言うのも一種の暴力である。

この設問に関しては90%が賛成を示した。言葉の暴力という概念が一般に浸透し、少なくとも観念的には理解されるようになったという事実を表した結果だと見られる。この事に関しては現実をチェックする設問が作り難かったため対比できないが、第3の実際の体験を聞く質問の中で明らかになるであろう。

F 家庭内のコミュニケーションについて

家族が良く機能する上でコミュニケーションの果たす役割は大きい。夫婦間暴力の問題はコミュニケーションの不全から起ることが良く知られている。

13：家族に対する優しい言葉かけを忘れてはいけない。

16：夫は外で頑張っているのだから、家に帰って不機嫌になっても仕方がない。

13番のような観念的な、きれいごとの設問に関しては、やはり90%賛成の回答が出てしまい、あまり意味をなさない。しかし疲れて帰ってきた夫が家族に不機嫌に接するという具体的な状況になると、意見の相違が明らかになる。女

子と女子の母親は約 80%が反対意見を示し、外で疲れたからと言って家庭内で不機嫌になる理由にはならないと考えているようだ。しかし男子の父親と女子の父親は賛成が半数を超え、とくに男子の父親は 67%賛成していると男子は見ている。男子はそのような甘えた考えに反対はするものの、女子よりは父親に同情的であるようだ。

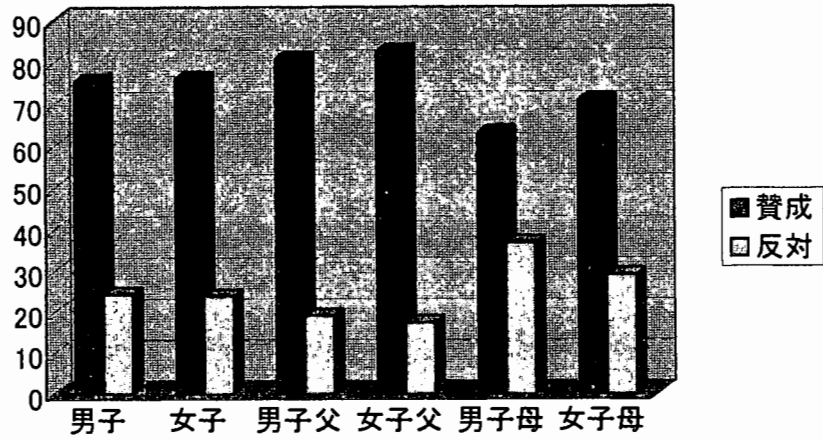
9： 家族の中では話し合いが自由にできることが大切だ。

19： お互いに分かり合っていれば、家族の間では自分の気持ちを取りたてて言葉で表現する必要はない。

問9は90%から94%が賛成を示し、この設問も家族のコミュニケーションの大切さを多くの人が頭では理解していることを意味する。しかし、実際には家族の間で話し合いが自由にされているのではなく、分かってくれているだろうとか、分かる筈だ、分かるべきだと言う思い込みの上に、コミュニケーションの不全が生じることになる。高校生という年代は、家族に自分のことを知られたくない気持ちが強いので、男子の52%、女子の47%が言葉で表現する必要はないという意見に賛成しているとも思われるが、父親、母親の意見としても、反対がそれほど高くないことから見て、現実には家族の自由な話し合いがそう豊かにあるとは思えない。

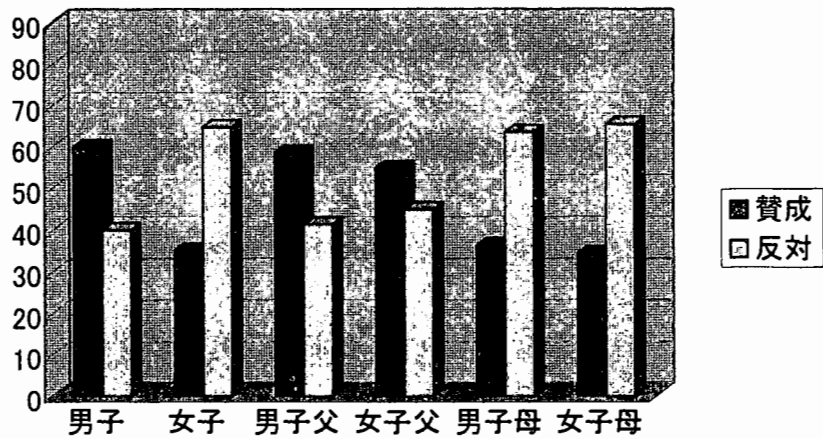
グラフ2-1

体力が違うのだから生かす場が違って当然だ



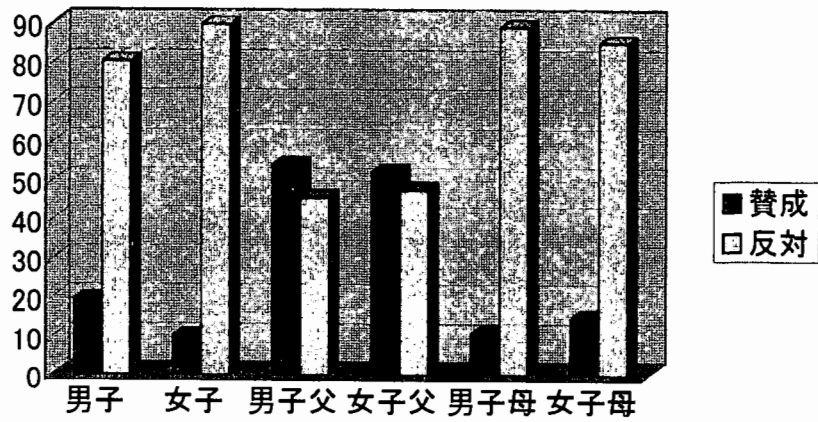
グラフ2-2

女性の権利が主張され男性の権利が侵害されている



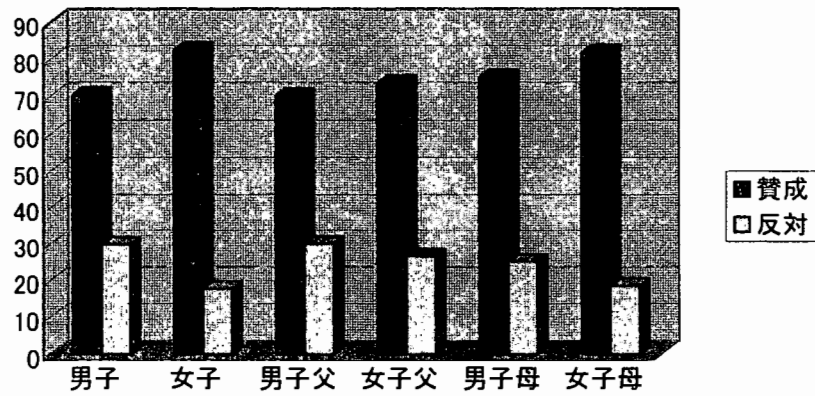
グラフ2-3

働いているのだから夫は家事を手伝う必要はない

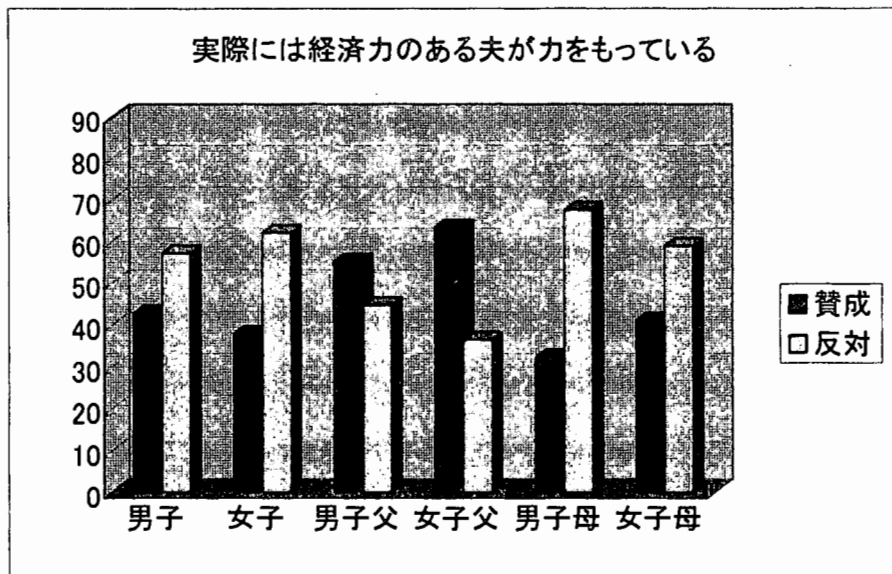


グラフ2-4

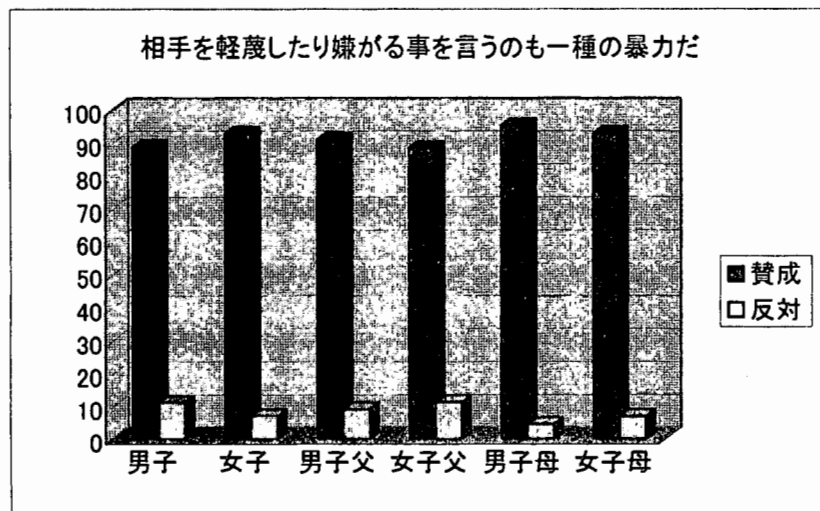
暴力はどんな理由があっても許されるべきではない



グラフ2-5

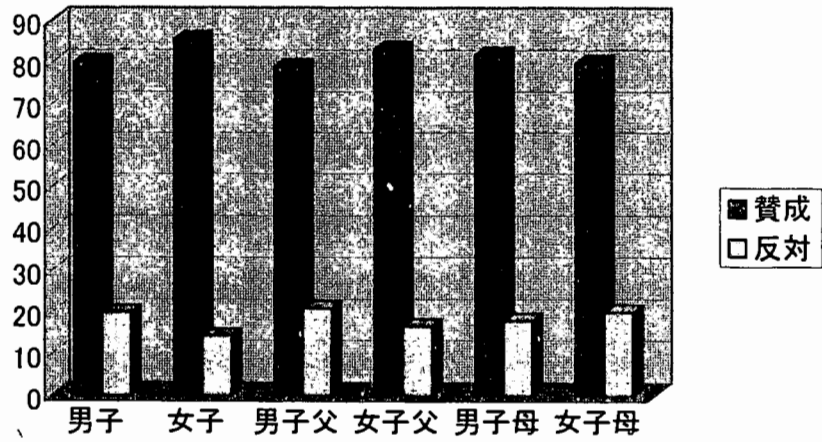


グラフ2-6



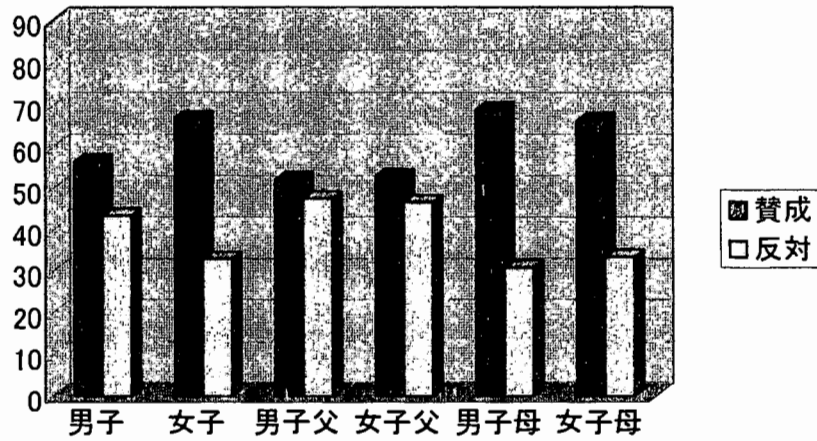
グラフ2-7

体力の差はあっても男女は平等に扱われるべきだ



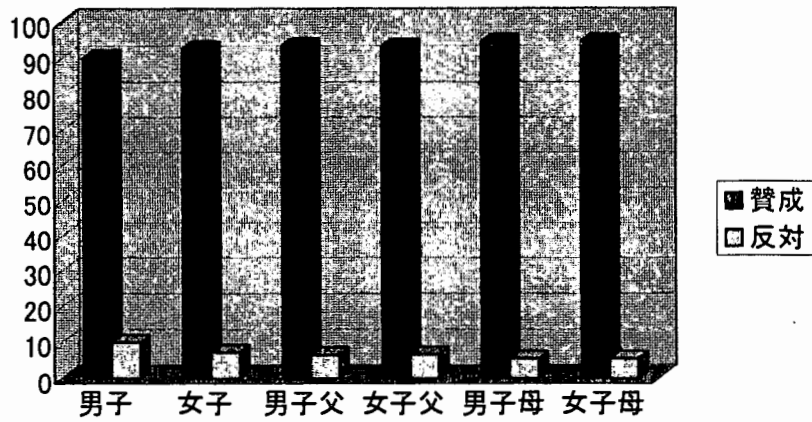
グラフ2-8

男性に都合のよい社会で女性の権利軽く見られがちだ



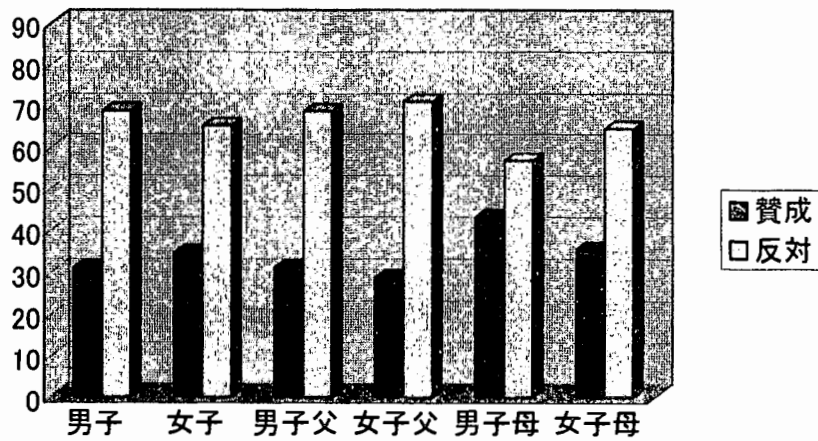
グラフ2-9

家族の中では話し合いが自由にできる事が大切だ



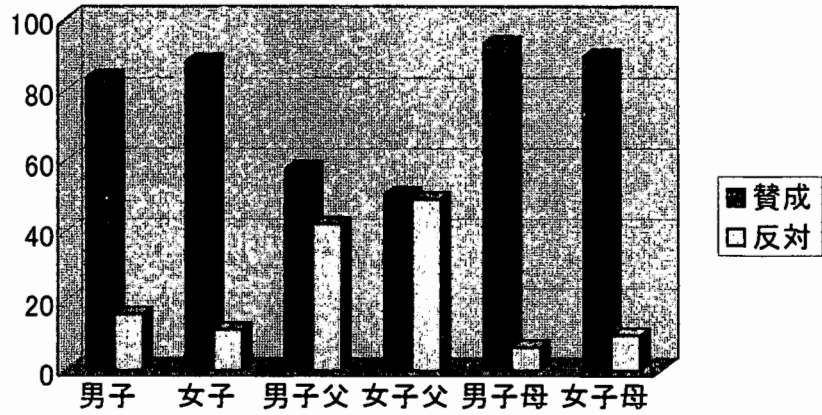
グラフ2-10

家庭内で女性のほうが強く男性が従うことになる



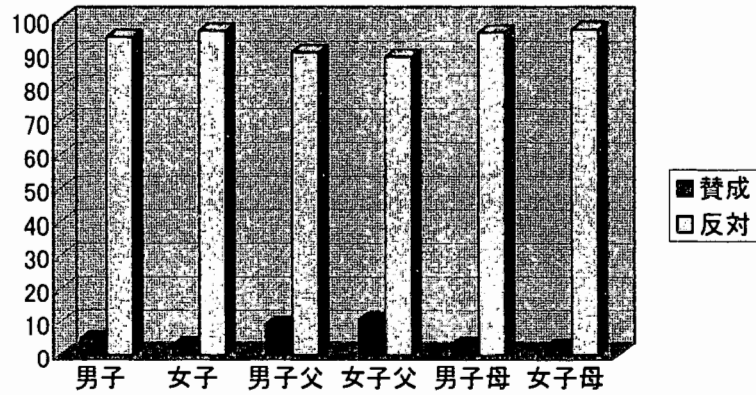
グラフ2-11

夫婦は平等だから夫は家事を分担すべきだ



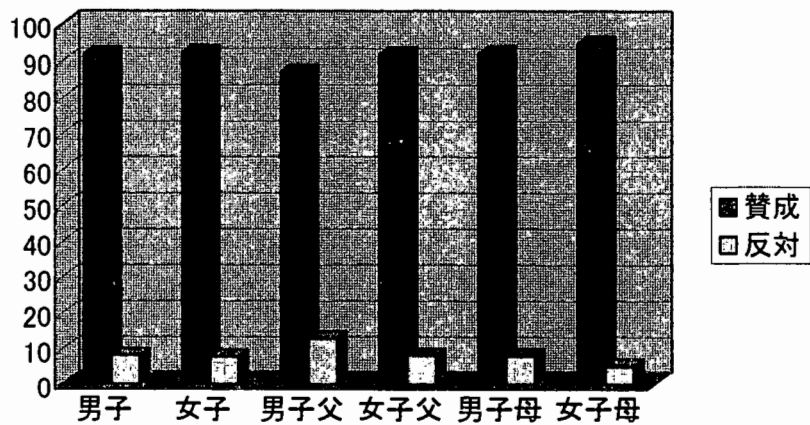
グラフ2-12

夫の意見に従わない妻は暴力を振るわれても仕方ない



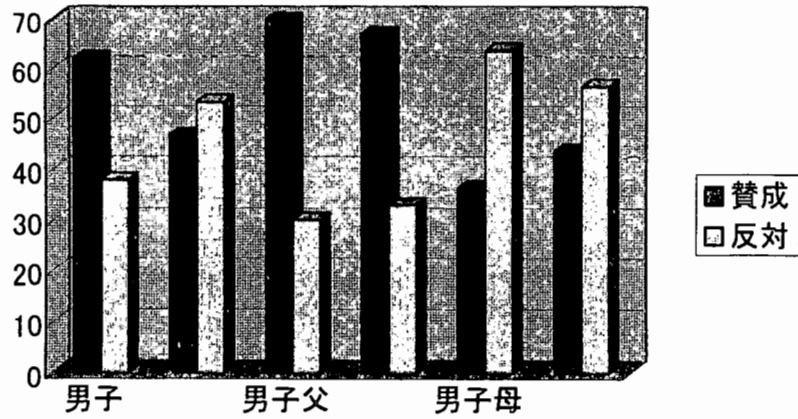
グラフ2-13

家族に対するやさしい言葉かけを忘れてはいけない



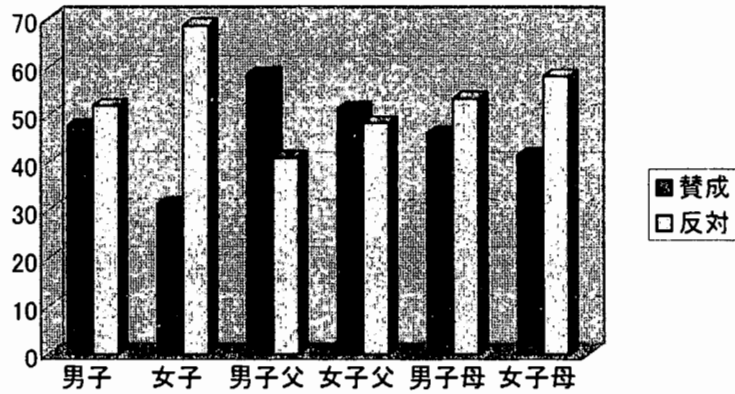
グラフ2-14

家事や育児は女性がするのが自然だと思う



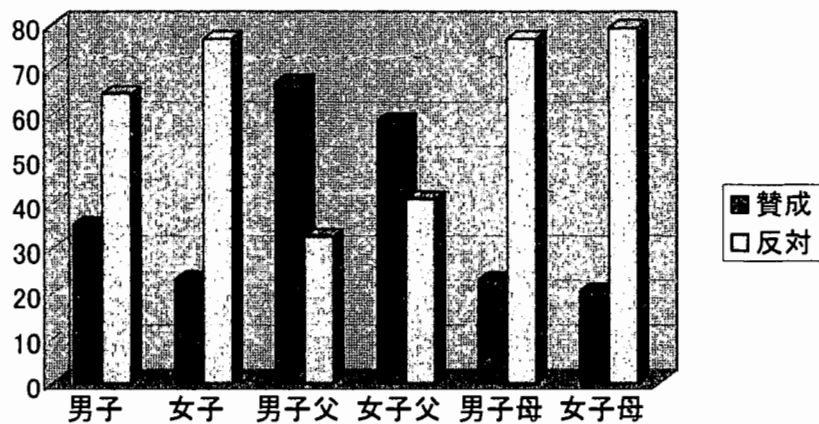
グラフ2-15

子どもが間違っているとき親は殴ってでも教えるべきだ



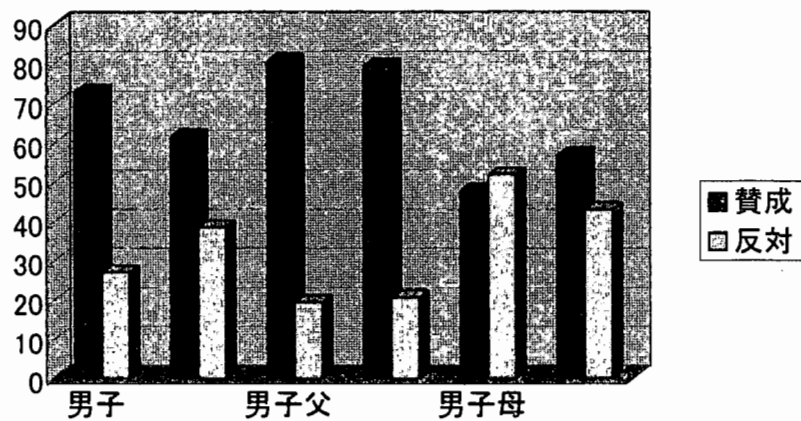
グラフ2-16

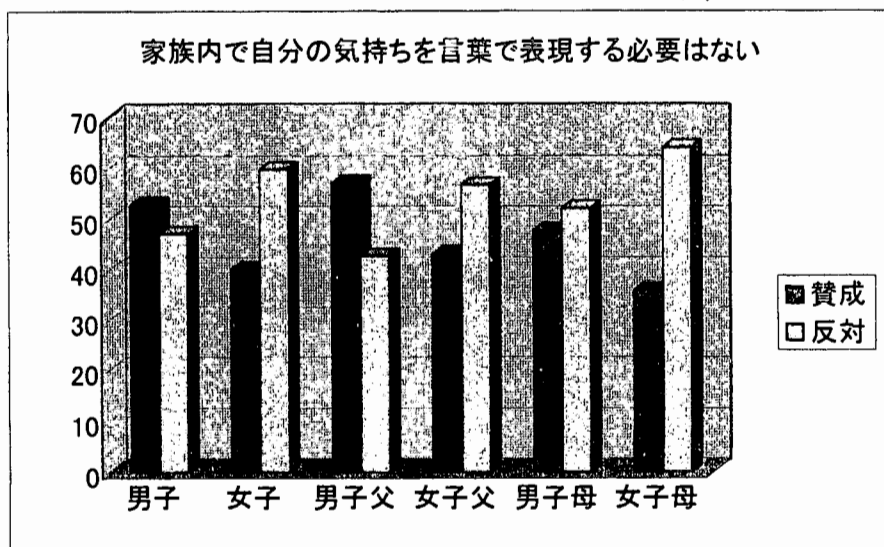
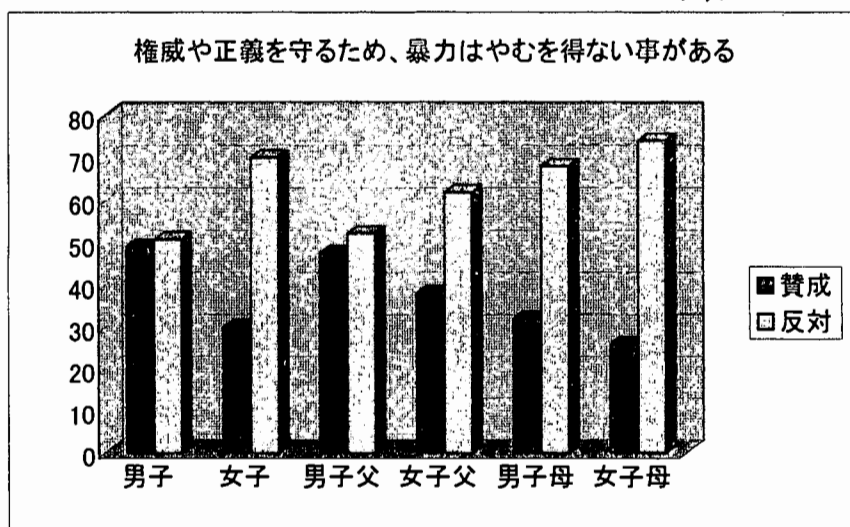
夫は外で頑張っているから家で不機嫌でも仕方ない



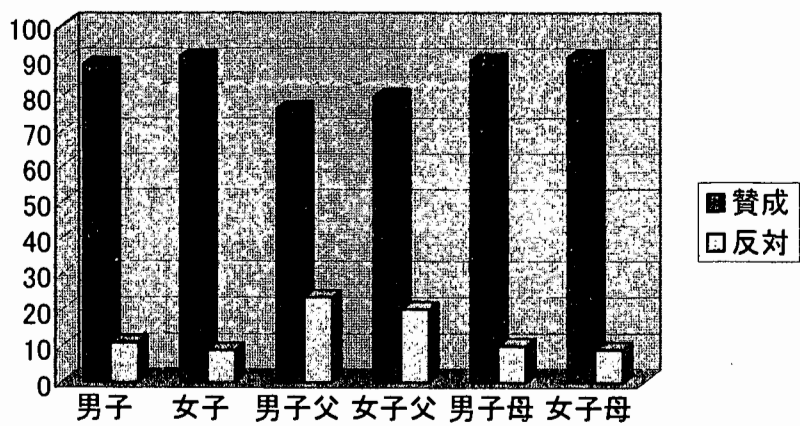
グラフ2-17

夫は家事を手伝う方が良いが、主体は妻だ

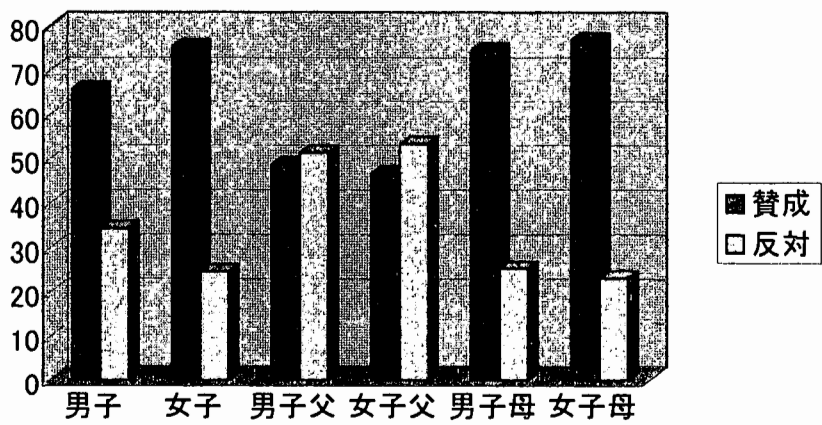




妻は家族に迷惑をかけなければ外で働いて良い



女が家事をしない家庭があっても良い



2-3 第3部 あなたの経験について

第3部では、暴力の被害体験を調査・分析することを目的としている。回答者の心理的抵抗を考慮し、よい経験も回答させているが、よい経験の集計は、総数把握にとどめた。

A 経験内容 第3部問1の(1)

A-1 よい経験、いやな経験の有無

参照：資料(表3-1-1~3-2-16-2)

(グラフ3-1-1~3-2-16-5)

この項は、第3部問1の(1)に相当する。回答者総数 875 (男子 358、女子 487) のうち、問1の回答者総数 795 (男子 327、女子 468)、無回答総数 50 (男子 31、女子 19) であり、実に 91% という高回答率となっている。

経験内容では、複数回答で、いやな経験の経験数合計 3,847 (男子 1,523、女子 2,324)、平均経験数 4.8 (男子 4.7、女子 5.0)、よい経験の経験総数 2,938 (男子 1,170、女子 1,768)、平均経験数 3.7 (男子 3.5、女子 3.8) である。いやな経験 15 (その他 1 を含む)、よい経験 6、という異なる選択肢の数に対する選択総数であるため、両者の比較は行えない。しかし、回答者数比率をみると、いやな経験の最高比率が男子の「意見を押し付けられた」にみる 60.2% で、他には男女を通じて 60% に達する選択が行われた経験はない。よい経験の方は、男女とも 70% を超える経験が 4 つあり、男子のよい経験の中で最も少ない「かわいい子、いい子だと言われた」でも、33.9% に達している。いやな経験では 21 個の選択肢から平均 4.8 の経験が選ばれ、よい経験では 6 個の選択肢から平均 3.7 の経験が選ばれている。圧倒的によい経験が高い回答者数比率の 22.9% < 63.3% と併せ、高校生たちが、いやな経験だけでなく、たくさんのよい経験の中で成長していることには救いを感じる。

A-2 経験内容の分析

いやな経験の中で最も多い経験は、男女とも次の 3 つである。

「一方的に意見を押し付けられたり、説教された」

(男子回答数比率 12.9%、回答者数比率 60.2%)

(女子 11.7%、58.1%)

「きょうだいや友達と比較された」

(男子回答数比率 12.6%、回答者数比率 58.7%)

(女子 11.3%、56.2%)

「出て行けと言われたり、家に入れてもらえなかった」

(男子回答数比率 10.7%、回答者数比率 49.8%)

(女子 10.1%、50.2%)

21個のいやな経験の中で、回答数比率、回答者数比率において、ともに男子が女子を上回るのは、1位の意見の押付けと2位の他との比較だけである。男子は女子との比較において、経験に対する拒否感情や被害感情がこの2項目にやや集中している。よい経験の中で、男子が唯一女子より高い選択傾向を示しているのが「自分の判断や行動の自由を認めてもらった」（回答者数比率男子51.4%、女子44.2%）であることとも合わせ考えると、男子は自分の独自性、独立性を否定・侵害されるときに、最も自尊感情を損ねる傾向にあることがわかる。女子より強固な自我を形成しつつあるともいえるが、未熟な人格であれば、それは、独善、排他感情が強いということにもなる。

その次に、以下の4つの経験が、回答数比率9%前後、回答者数比率40%台で並んでいる。

「話をろくに聞いてもらえなかった。無視された」

(男子回答数比率 9.0%、回答者数比率 41.9%)

(女子 9.5%、 47.2%)

「馬鹿にされたり、ののしられたり、怒鳴られた」

(男子回答数比率 9.8%、回答者数比率 45.6%)

(女子 9.5%、 47.0%)

「殴られたり、物でたたかれたり、蹴られたりした」

(男子回答数比率 9.2%、回答者数比率 42.8%)

(女子 9.1%、 45.3%)

「誰のおかげで食べさせてもらっているのか」

(男子回答数比率 9.1%、回答者数比率 42.2%)

(女子 8.8%、 53.6%)

これらの経験に対しては、回答者数比率のいずれもが女子の方が高い。特に、「誰のおかげで食べさせてもらっているのか」と「話を聞いてもらえず無視された」という経験は、同水準に並ぶ4つの経験の中で、回答数比率に反映するほど回答者数比率の差が最も大きい（誰のおかげ 11.4%差、話をきいてもらえない 5.3%差）。よい経験の中で、「よく話を聞いてもらえた。気持ちがわかってもらえた」、「つらいとき、病気のときなどに心配してくれたり、支えてくれた」、「ほめてくれたり、励ましてくれた」などを、回答者数比率でいずれも女子が男子を4~5%も多く選んでいることを合わせ考えると、女子は対人関係に敏感で、対人関係上の経験において傷つきやすいことが推察される。主体性、独自性への侵害に最も強く反応する男子とは異なり、女子は受容、承認への拒否に最も強く反応し、やや他者依存的、受動的傾向にあることがうかがえる。

暴力行為の被害経験については、次のような2つの特徴がみられる。

ひとつは、男女とも、半数に近い高校生が殴る、たたく、蹴るといった身体

への直接的暴力を経験していながら、それが量的に最も多い経験でもなく、質的に最もいやな経験でもないということである。暴力の程度にもよるものと思われるが、回答の中に「自分にも悪いところがあった」との自己批判的傾向の記述も散見され、調査結果は、高校生男女が暴力に対する肯定感ないしは受忍感情を有していることを示している。殴られた者が、将来、殴ることを是として暴力を振るう暴力再生産の構図がすでに存在していることは、否定できない。

二つ目は、身体的な暴力行為の被害を挙げる者は、回答者数比率 2.5% 差ではあるが女子の方が多い。にもかかわらず、被害の中での割合（回答数比率）では逆転して、僅か 0.1% ながら男子の方が高くなっていることである。この逆転現象は、女子の方が被害を多く受けている経験が他にもあり（「性的被害」、「産まなければよかった」、「信書を見る」等）、女子の経験割合は、それらの経験に分散、吸収されるため、結果として男子を下回る比率になったものと推定される。

今回の調査で挙がってきた性的被害は、猥褻行為の目撃など、必ずしも身体的暴力として扱うことが妥当ではないものを含んでいる。しかし身体的直接暴力（殴る、たたく）、間接暴力（物を壊す、捨てる）、性的被害、これらに「産まなければよかった。生まれなければよかった」のような暴力の内在発言を加え、暴力連鎖行為としてまとめてみると、男女の被害体験には次のような質的相違がみえてくる。

女子の 1 割は、産まなければよかったと言われており、中には、13.4%、14.3% の高い回答者数比率を示す群も存在する。男子では、最も高い群でも 9.3% であり、女子の平均である 10% には達していない。問 3 で後述するように、女子は性的被害を最もいやな経験として突出して 1 位に挙げているが、次いで、「産まなければ」といわれたことを 2 位に挙げている。男女を問わず子どもたちが、親や周囲の気分に振り回され、言いたい放題、したい放題をされながら育っているという現実を突きつけられるが、とりわけ女子は、男子より多く殴られたり、たたかれたりするだけでなく、物に当たられ、出て行けといわれて家に入れてもらえず、性的に不快な経験をさせられ、挙句の果てに 10 人にひとり「産まなければ」と存在そのものを否定する言葉を浴びている。後にみるように、加害者の中心が親であることを考えると、親にとって女子の存在がいかに軽いものでしかないかがよくわかる。男子は、自分も被害を受けつつではあるが、そういう親の意識を日々感受しながら育っているわけである。

親には、よい経験によって、いやな経験が相殺されているとの思い込みがあるかもしれない。しかし、調査結果は、子どもにとってはそれぞれが別物であるということを示している。男子に比べ女子が親や周囲の感情に敏感で、いわゆる「よい子」とあるといわれるが、女子がこのような危難を避けて無事に生

き続けるために、「よい子」が必要不可欠な防衛手段になっていることを再認識させられる。調査者は、回答用紙をびっしりと埋めた回答者たちが、何を訴えようとしているのか、そして、無回答者たちの沈黙の奥にある、もっと深刻な訴えが何なのかを明らかにする責務を感じさせられる。

(回答者数比率%)

経 験 内 容	男子	女子
殴る、蹴る、物でたたく	42.8	45.3
大切な物を壊す、捨てる	36.4	37.4
性的に不快な経験	5.2	12.6
産まなければ、生まれなければよかった	6.7	10.0
平 均	22.8	26.3

B いやな経験の加害者、時期 第3部問1の(2)

参照：資料(表 3-2-1-1~3-2-16-2)

(グラフ3-2-16-1~3-2-16-5)

B-1 加害者の全体像

複数回答で、加害者総数4,950(男子1,960、女子2,990)、が挙げられた。この項でも女子の回答数が多い。回答は回答数比率によって分析した。用意した選択肢外に、おば、祖母、祖父、友達の親が出てきたので、集計では、「その他」を設けたが、男女合わせて計7件である。用語として多少過激であるが、便宜上、回答者に経験を与えた者を「加害者」と呼ぶこととした。

全体でみると、加害者に占める割合は、母が34~38%で際立って1位にある。2位は父で、父母合わせると60~64%になる。3位以下の者は、1、2位の半分にも達しない。父母の加害者比率を男女別にみると、男子に対して、母が33.6%、父が25.9%、父母合わせて59.56%、女子に対しては、母が38.0%、父が25.5%、父母合わせて63.5%である。父が男子より女子に対して微減しているのに反し、母は女子に対する方が4.4%増加し、女子への加害が多い。子どもに接する機会の多い母親が、ひとりで悪役をおおせつかっているという格好であるが、この状況は児童虐待における加害者状況に重なるものがある。男女いずれに対しても、加害者となる割合は父母が合わせて6割前後、きょうだいを合わせた家族が、男子65.6%、女子72.1%である。家庭は決して、安全でも居心地のよい場所でもないことがわかる。

加害者に関してもうひとつ特徴がみられる。第3位の加害者に男女とも同性の友達、男子は男友達(15.4%)、女子は女友達(10.8%)を挙げていることである。

第1部問2(2)の友達から言われて不快だったことを尋ねた項目への無回

答が、男女ともに回答者数比率 25%を上回っていることが注目されたが、回答者たちの経験は、重く深刻で、選択肢から選べるような軽い不快体験ではなかったことを推察させられる。後述するように、最もいやな経験への気持ちを尋ねた第3部問3・(2)に、仕返し願望、加害者の死による安堵感、加害者の死を願う記述などがあることを思うと、高校生の友人関係には、かなりの不安と緊張が漂っていることがうかがえる。「ピエロ」と同様に、安全で緊張感を与えない「面白い」子が好まれるのもよく納得がいく。

B-2 加害者と経験内容との関係

母が男子、女子ともに独走的に高比率を示す経験

- * 「交友関係をうるさくチェックされた」(対男子 65.1%、対女子 62.5%)
- * 「きょうだい、友達との比較」(対男子 59.2%、対女子 59.9%)
- * 「大切な物を壊され、捨てられた」(対男子 41.1%、対女子 37.4%)

母の女子に対する比率が特に高い経験

- * 「産まなければよかった、生まれなければよかった」(対男子 43.5%、対女子 76.9%)
- * 「放って置かれたり、関心をもってもらえなかった」(対男子 25.5%、対女子 40.2%)

他の高い比率の加害者が存在するが、その中でも母が最も高い比率の経験

- * 「手紙、日記、ケイタイを無断で見られた」(対男子 21.4%、対女子 40.7%)
他に高いのは男子に対する男友達 (38.6%)
- * 「その他のいやな経験」(対男子 28.6%、対女子 40.0%)

その他の内容を具体的に記入した回答者は稀有であり、推測の域を出ない。日常の相談経験からは、父への批判や愚痴の聞き役などが考えられる。記入例としては、「母に男関係を打ち明けられた」がある。

他に高いのは、男子の男友達からの経験であるが、内容はわからない。

「いじめ」との記述が2件あった。

父母がともに高い比率の経験

父だけが、特別高い比率を占めている経験はない。父母がともに高いのは次の4つで、意見の押し付けと食べさせているという言葉は、母より父の方が多い。

- * 「一方的に意見を押し付けられたり、説教された」(父の対男子 31.4%、対女子 28.4%。母の対男子 23.7%、対女子 27.8%)
父の男子に対する比率が最も高い。
- * 「誰のおかげで食べさせてもらっているのか」(父の対男子 50.9%、対女子 51.9%。母の対男子 42.6%、対女子 46.0%)
父母に特有の発言ともいえる。ともに女子に対して高い。

- * 「殴られたり、物でたたかれたり、蹴られたりした」(父の対男子 25.0%、対女子 30.7%。母の対男子 14.1%、対女子 30.4%)

父母がともに女子に対して高頻度で暴力を振るっている。

- * 「出て行けといわれたり、家に入れてもらえなかった」(父の対男子 43.8%、対女子 40.6%。母の対男子 53.2%、対女子 56.0%)

この言葉は、父は息子に、母は娘に対してより多く向けられている。

友達からの被害経験、

男子は男友達から加害される傾向が目立ち、男子に対する男友達の加害者比率は 15.4% である。

- * 「馬鹿にされたり、ののしられたり、怒鳴られたりした」(男友達の対男子 32.0%、対女子 16.7%)

- * 「手紙、日記、ケイタイを無断で見られた」(男友達の対男子 38.6%、対女子 6.5%)

上述のとおり、女子も同性の女友達からの被害の方が多く、女子に対する女友達は加害者比率で 10.9% を占めている。

男女がともに高率で同性の友達からこうむる被害体験は、

- * 「あなた(おまえ) なんか嫌いだと言われた」(女友達の対女子 33.1%、男友達の対男子 32.6%) である。異性の友達からの経験は、それぞれ 11~12% 程度である。

先生からの被害経験

以下の 4 つと男子に対する「性的な不快体験」に一定の比率を占めている。

- * 「一方的に意見を押し付けられたり、説教された」(対男子 24.1%、対女子 22.9%) 先生の比率の中では最も高いが、父母には及ばない。

- * 「話をろくに聞いてもらえなかった。無視された」(対男子 13.5%、対女子 13.9%) この経験は、女子の女友達からの経験が特別高い。それ以外は、先生は母、男友達、父に次ぐ順位であるが、誰もが加害者になっているといった方が妥当である。

- * 「馬鹿にされたり、ののしられたり、怒鳴られたりした」(対男子 14.6%、対女子 8.8%)

- * 「殴られたり、物でたたかれたり、蹴られたりした」(対男子 11.5%、対女子 5.4%)。

先生の暴力的行為は男子に向けられることが多いようである。

「性的な不快体験」の加害者

女子に対する加害者が、面識の無い人 (44%) に集中しているのに対して、男子は男友達 (36.8%) をはじめ、先生 (31.6%)、女友達 (15.8%)

など加害者が多様である。その中で、女子の男友達(24.0%)、父(14.0%)が気になるところである。

B-3 嫌な経験をした時期

回答総数 5,674 (男子 2,180、女子 3,494) を回答数比率によって分析した。経験の時期を幼児、小学生、中学生、高校生の 4 時期に区分して複数回答を得ているが、時期の記入のない回答者がある一方で、一人の回答者が、4 期のすべてを選択している状況もみられた。よい経験だけを選択した一定数の回答者があったことを考えると、深刻な被害体験は偏在しているのかもしれない。さらに詳細な分析が必要なところである。

経験の時期は、男女とも、中学がピークであり、小学校、高校、幼児期の順に少なくなっていく。その比率は、男子がおおむね 4 : 3 : 2 : 1 であるのに対して、女子は経験数が中学時代に多いが、高校になっても被害が減少していない。例えば、女子は「殴る、たたく」の経験では、小学生期(36.3%)が最も多く、ついで、中学(30.9%)であるが、高校時代(16.9%)の方が、わずかではあるが幼児期(16.0%)よりも多い。「大切なものを壊す、捨てる」、(小 40.7%、中 35.8%、高 12.8、幼 10.7%)、「出て行けといわれたり、家に入れてもらえない」(小 40.3%、中 27.8%、高 18.2、幼 13.7%)においても同様の傾向が認められる。また、「性的な不快経験」では小(20.4%)、中(29.6%)、高(50.0%)と増加している。

女子の被害が母と父を加害者とする、殴る、たたく、出て行け家に入れない、産まなければとか誰に食べさせてもらうなどの発言、信書の秘密の侵害など、家庭内での経験が多いことと、男子のように体力、筋力面で親を凌駕することがないためではないかと思われる。

「産まなければ、生まれなければ」の経験に、男女の被害時期に関して興味ある相違が出ている。男子では、幼児期の被害比率の中で、この経験が最も高い(17.4%)が、この経験でのその時期の女子の比率(2.6%)は、全経験の中で最も低い。幼児期の女子が最も高いのは、「殴る、たたく」(16.0%)の経験であるが、それは男子も高い(13.5%)。そして、男子が小学、中学期とピークを過ぎて高校期に 17.4%に比率が落ちたとき、女子は 29.5%という小学生期(28.2%)より高い比率を占めたままである。育てやすいといわれる幼少期の女子と異なり、男子は育てにくさのゆえに、幼児期に「産まなければ」の類の言葉を浴びやすいのであろう。素直でコントロールしやすいと思われていた女子は、第 1 部の問 2「親からいわれて不快だったこと」のトップスリーに「手伝いをしないといわれた」を挙げているように、親の期待に添わなくなると、高校期にいたっても、「産まなければ」といわれたり、たたかれたりしているのではないかと推察される。上記問 2 と同様に、女子が人としての存在価値ではな

く、使用価値でみられがちな傾向のあることを、ここでも指摘できる。

C 問2、問3の集計結果の分析

参照：資料（表 3-3-1～3-3-4）

（グラフ3-3-1～3-3-6）

C-1 最もよい経験

有効回収者数 845（男子 358、女子 487）のうち、回答者数 712（男子 279、女子 433）、無回答者数（男子 79、女子 54）について分析した。「無し」が男子に 8、女子に 11 あるが、集計上は無回答に入れた。

最もよい経験のトップは、男女とも「話をよくきいてもらえた。気持ちがわかってくれた」（であり、2 番目は、「ほめたり、はげましてくれた」、であり、最も後順位が「あなた（おまえ）はかわいい子だ、いい子だといわれた」については同じ傾向である。

男女に違いが見られるのは、次の 2 点である。

- * 1 位の経験の女子の比率が男子に比べて著しく高い。

回答数比率男子 28.0%、女子 37.9%。

最良経験としての選ばれやすさ（回答総数比率では、）男子 33.8%、女子 46.8%

- * 回答総数比率でみると 3～5 位の順位に男女の性向の違い、親との親密さ、心理的距離感などの違いが読み取れる。男子の行動的、自己主張的傾向に対して、女子は受容、承認など関係性重視の傾向にあるといえよう。

男子は 3 位「遊びや旅行によく連れて行ってくれた」

4 位「自分の判断や行動の自由を認めてもらえた」

5 位「つらいとき、病気のと看などに心配し、支えてくれた」

女子は 3 位「つらいとき、病気のと看などに心配し、支えてくれた」

4 位「自分の判断や行動の自由を認めてもらえた」

5 位「遊びや旅行によく連れて行ってくれた」

C-2 最も嫌な経験

有効回収者数 845（男子 358、女子 487）のうち、回答者数 646（男子 264、女子 382）、無回答者数 199（男子 94 女子 105）の複数回答数 649（男子 264、女子 385）について分析した。「無し」が男子に 6、女子に 3 あるが、集計上は無回答に入れた。

回答数比率と選択比率（最悪としての選ばれやすさ、回答総数比率）では、大きく順序が異なってくことに特徴がある。

男子について回答数比率でみていくと、

「一方的に意見を押し付けられたり、説教された」（17.8%、）

「馬鹿にされたり、ののしられたり、怒鳴られたりした」（16.7%、）

「きょうだいや友達と比較された」(12.6%)

「殴られたり、物でたたかれたり、蹴られたりした」(10.4%) と並び、それ以外の経験が 10% を割りながらさまざまに並んでいる。

選択比率(回答総数比率)でみていくと、

「馬鹿にされたり、ののしられたり、怒鳴られたりした」(30.2%)

「産まなければよかった、生まれなければよかった」(22.7%)

「一方的に意見を押し付けられたり、説教された」(24.4%)

「殴られたり、物でたたかれたり、蹴られたりした」(20.0%)

「産まなければ」を選択したものは、回答の中に 22 しかない。しかし、22 件の中の 22.7% にあたる 5 件が最も嫌な経験として挙げられているのである。少数の経験ではあっても、それを経験した者にとっては、きわめて嫌な経験になっていることがわかる。男子の場合、逆に最も選択比率の低いのは、「放っておかれたり、関心をもってもらえなかった」(4.4%) で、この経験は深い傷になっていないということになる。

女子の場合は、回答数比率でみていくと、

「一方的に意見を押し付けられたり、説教された」(15.3%)

「話をろくに聞いてもらえなかった。無視された」(13.2%)

「殴られたり、物でたたかれたり、蹴られたりした」(11.7%) と並び、それ以

「馬鹿にされたり、ののしられたり、怒鳴られたりした」(10.4%)

「きょうだいや友達と比較された」(9.6%)

「性的に不快な経験」(7.3%) と並ぶ。

選択比率(選ばれやすさの割合)でみていくと、

「性的に不快な経験」(47.5%) が突出し、次に、

「産まなければよかった、生まれなければよかった」(25.5%) が挙がってくる。

「生まなければ」の経験は回答の中に 51 あり、そのうちの 13 が最も嫌な経験に数えられたわけである。男子より女子の方がさらに深く、出生否定の言葉に傷つくことがわかる。次いで、

「話をろくに聞いてもらえなかった。無視された」(23.1%)

「殴られたり、物でたたかれたり、蹴られたりした」(21.2%)

「一方的に意見を押し付けられたり、説教された」(21.2%) と続く。

女子の選択比率で最も低いのは、「大切なものを壊されたり、捨てられたりした」(7.4%) であるが、男子の「放っておかれた」(4.4%) より高い。

C-3 最も嫌な経験に対する気持ち

この設問への回答者数は 687 (男子 279、女子 408)、無回答者数は 158 (男子 79、女子 79)、回答数は複数回答で 1,494 (男子 621、873) あり、回答者数の約 2.2 倍である。しかも、最も嫌な経験を特定しなかった回答者の 41 (男子

15、女子 26) 人がこの設問には回答している。男子の無回答比率 (28.3%) は、女子 (19.4%) を 9% 近くも上回っている。回答数比率で分析をした。

内容を見ると、

男子 (高順位から %)	女子
くやしい (18.8)	くやしい (16.8)
相手が嫌いになった (15.0)	相手が嫌いになった (16.7)
自分が悪かったので仕方ない (11.3)	悲しい (11.7)
悲しい (9.5)	自分が悪かったので仕方ない (8.9)
仕返しをしたい (8.2)	仕返しをしたい (7.9)
自信がなくなった (6.4)	自信がなくなった (7.7)
自分が強くなれた (6.3)	自分が強くなれた (5.7)
人に優しくなれた (5.2)	人に優しくなれた (5.4)
誰かに相談したい (1.9)	誰かに相談したい (4.5)

2 位、3 位が男女で入れ替わる以外は、まったく感じ方が同順位である。男女の違いとすれば、男子の方が非を認めて経験を是認し、くやしさをバネに自力でそれを乗り越えられたと感じる傾向が強く、女子の方が受動的で相手から引いて気持ちとしては落ち込む傾向が強い。「誰かに相談したい」は男女いずれにおいても、最下位であるが、落ち込み型の女性の方が、やや高い。

その他に、具体的に記述された内容には、高校生のなまの声が聞かれる。いくつかを例示すれば、次のようなものである。加害者ではない、被害を受けた側であるのに、回答者の心がかわき、すさみ、人間不信のさめたまなざしになっているのがわかる。被害者が、将来の加害者になる可能性を十分示している。

男子 全ての恨みを返したい。

このことで性格が変わった。

世の中のため、生かしてはいけなかった。

息の根をとめようと思った。

今となってはどうでもよい。忘れた。

お前なんか死んでろ、バカーと思った。

そんなこと言われると、こちらは何も言えない。

ぶっとばしたい。

あまり大人になりたくない。

深く考えていないし、自分も自分だから。

むかつく。まだ、むかむかしてしょうがない。ボコしたい。

おかしいと思った。

合わない人もいると思った。

女子 おかしいと思った。

むかつく。むかつくとかの問題じゃない。

忘れない。

今は気にしていない。何とも思っていない。

そういう人だから仕方ないと思った。

相手と口をきくことができない。

免疫がついた。些細なことでは何とも思わなくなった。

誰一人信用していない。人間不信となった。

殴り殺したい。死ねと思った。死んでくれてうれしかった。

自分は絶対悪くない。すごく憎い。嫌だ。

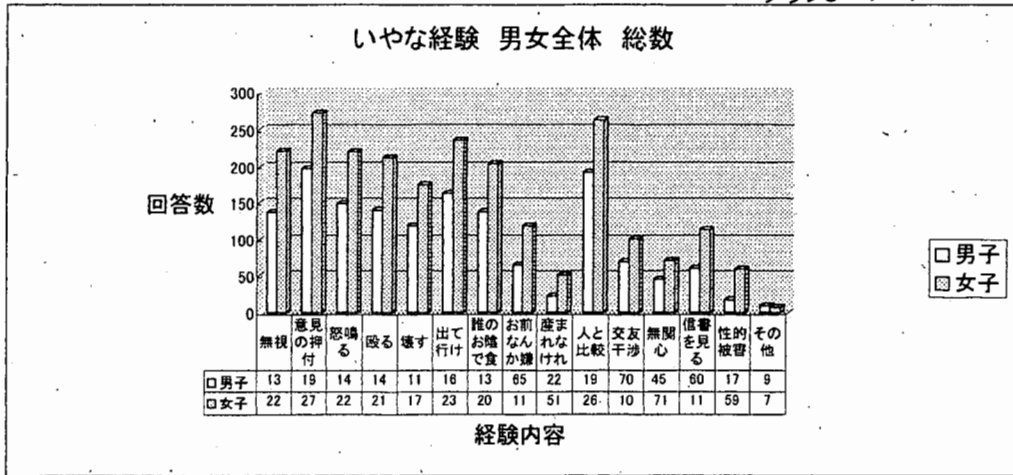
仕返しをした。

うざい。きもい。

父がろくに聞かずに手を出すのがいや。

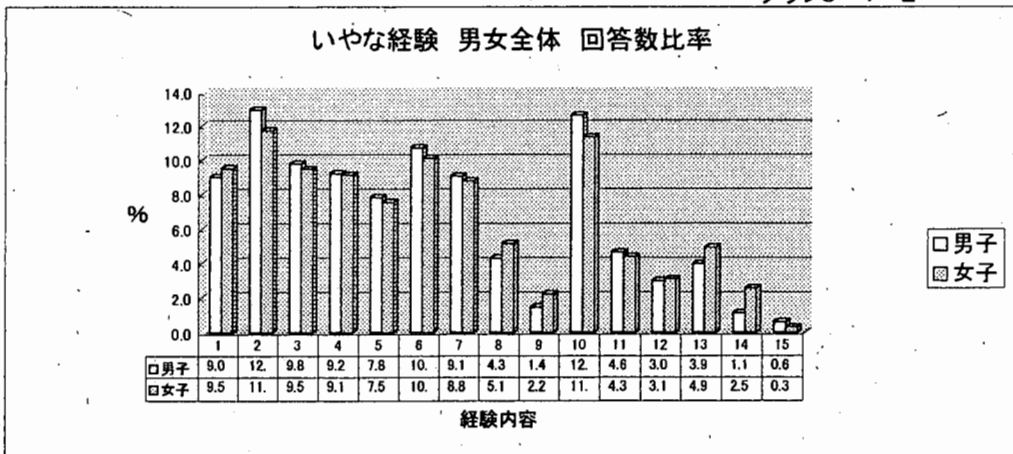
はやく家を出たい。

グラフ3-1-1

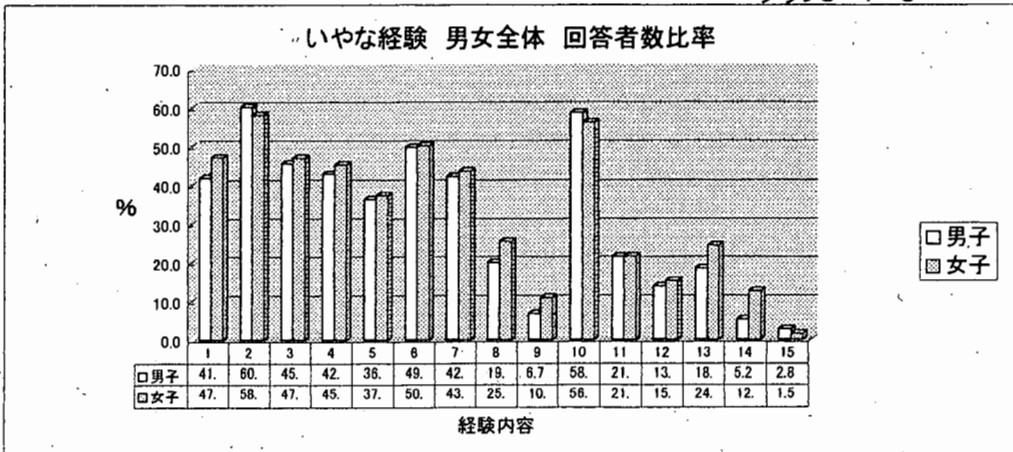


- 1 話をろくに聞いてもらえなかった。無視された。
- 2 一方的に意見を押し付けられたり、説教された。
- 3 馬鹿にされたり、ののしられたり、怒鳴られたりした。
- 4 殴られたり、物でたたかれたり、蹴られたりした。
- 5 大切なものを壊されたり、捨てられたりした。
- 6 出ていけと言われたり、家に入れてもらえなかった。
- 7 誰のおかげで食べさせてもらっているのかと言われた。
- 8 あなたは(おまえ)なんか嫌いだと言われた。
- 9 産まなければよかった、生まれなければよかったと言われた。
- 10 きょうだいや友達と比較された。
- 11 交友関係をうさくチェックされた。
- 12 放って置かれたり、関心をもってもらえなかった。
- 13 手紙、日記、ケータイを無断で見られた。
- 14 性的にいやな経験を受けた。
- 15 その他

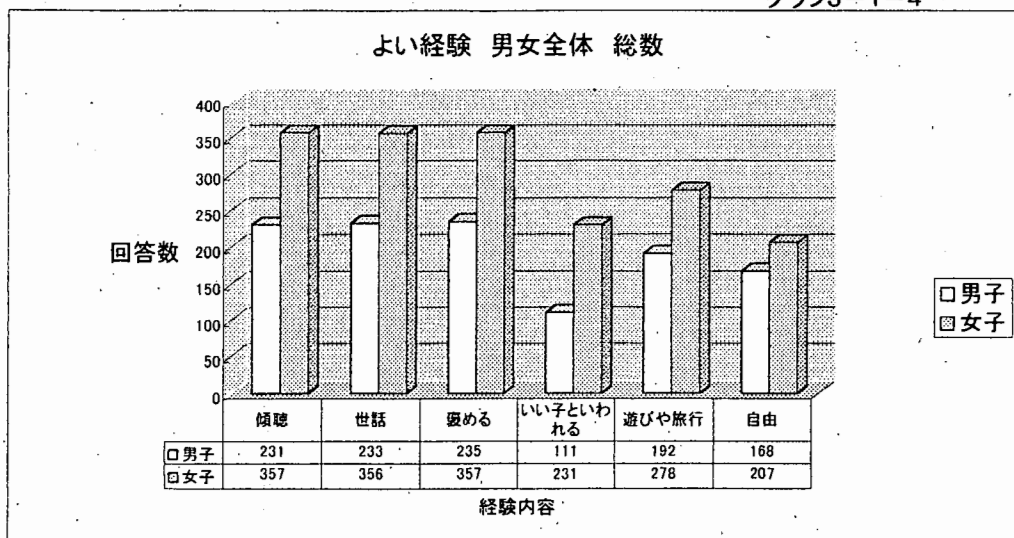
グラフ3-1-2



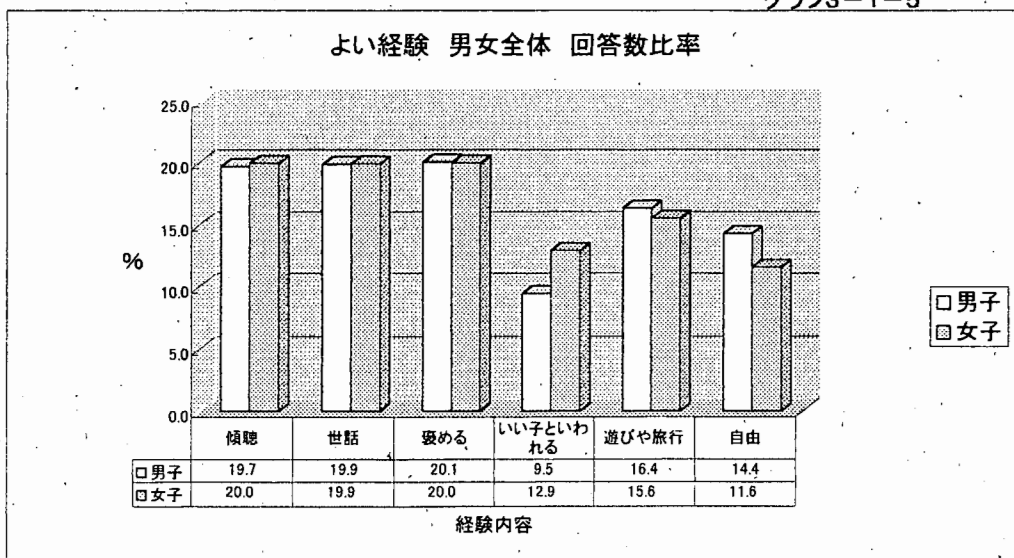
グラフ3-1-3



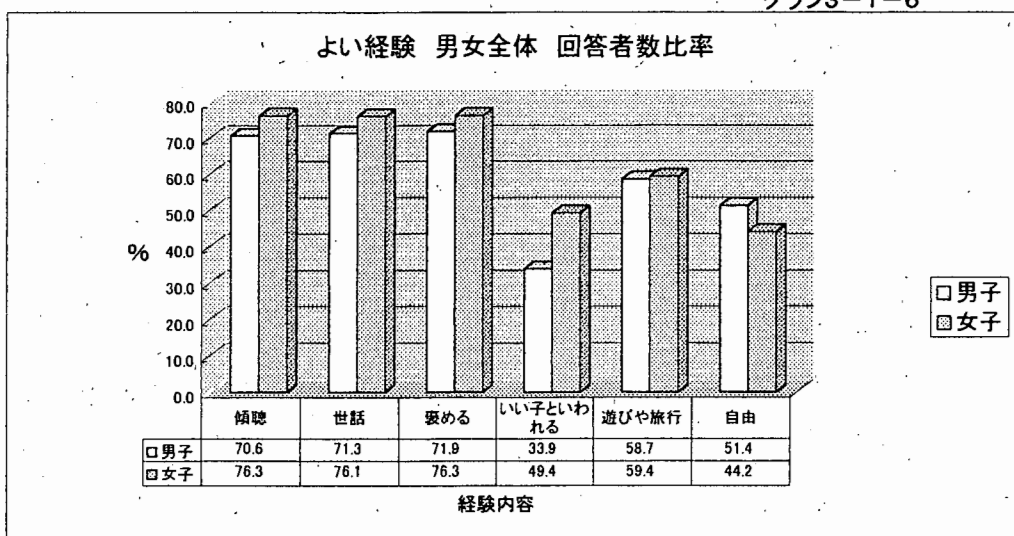
グラフ3-1-4



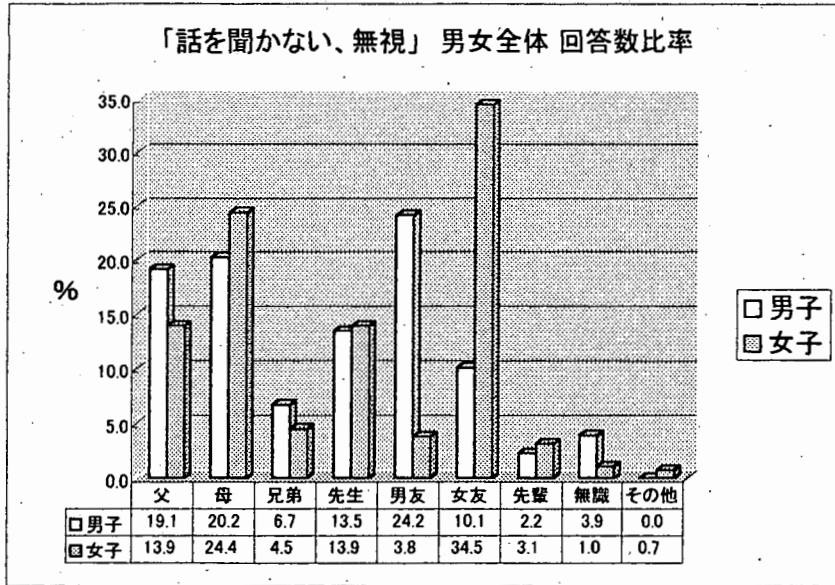
グラフ3-1-5



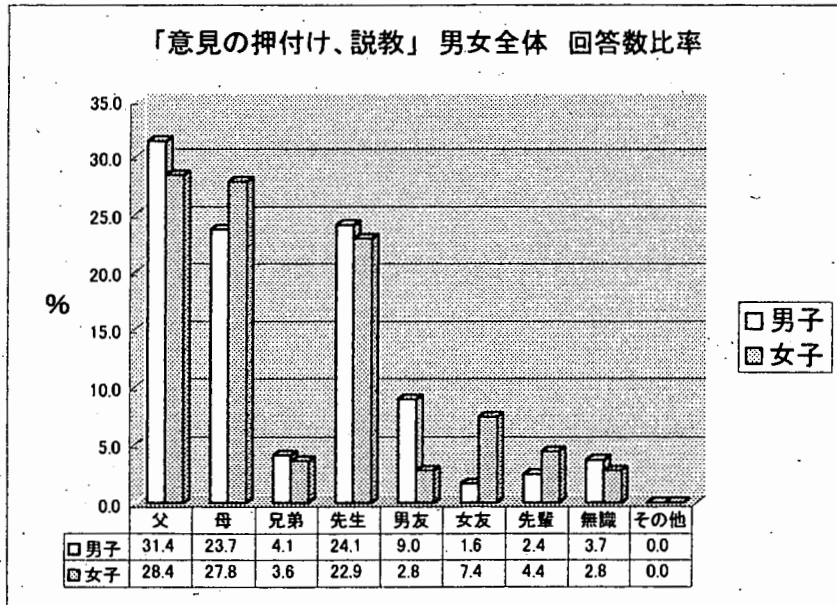
グラフ3-1-6



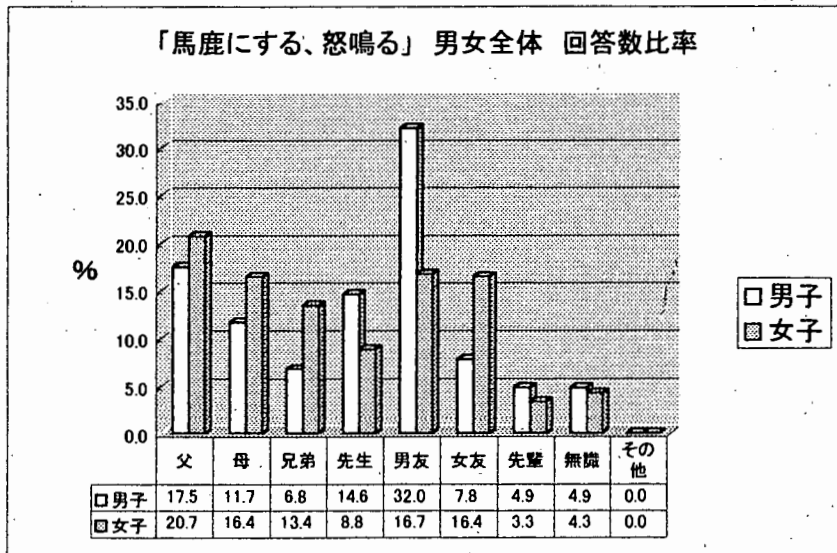
グラフ3-2-1



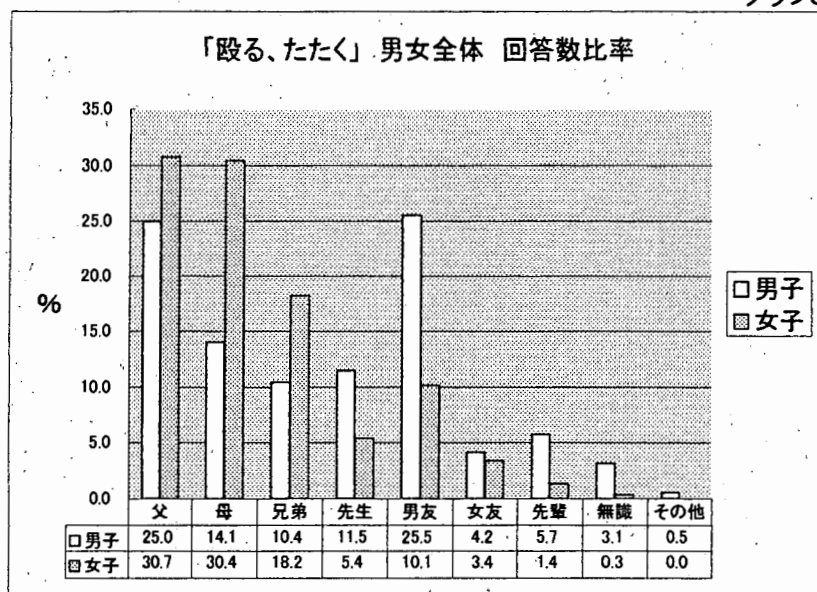
グラフ3-2-2



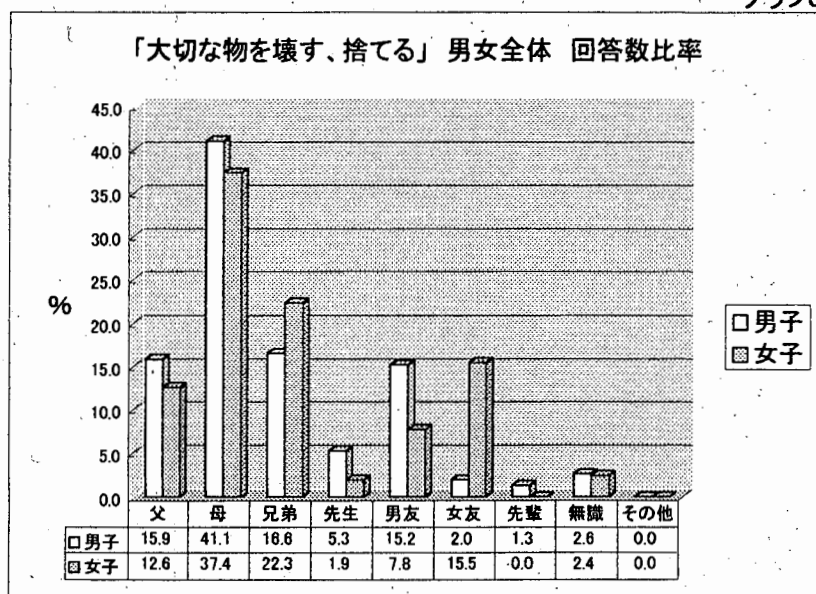
グラフ3-2-3



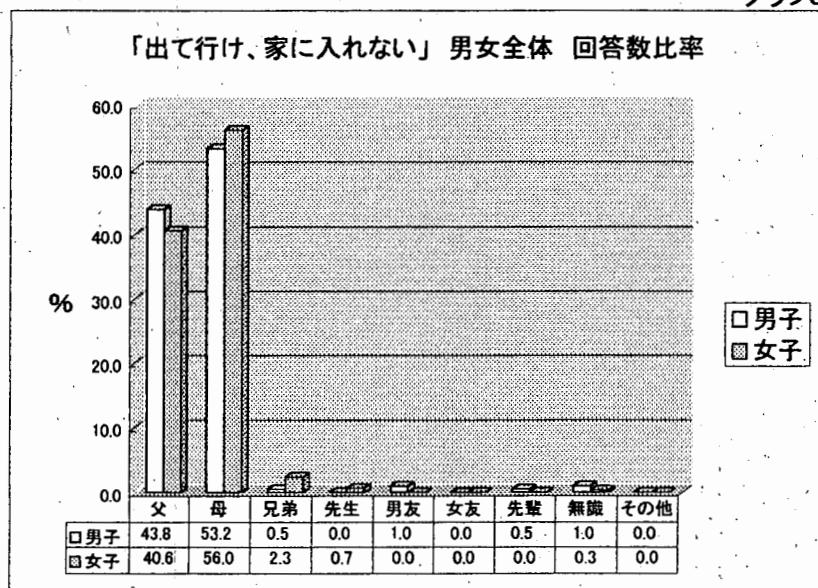
グラフ3-2-4



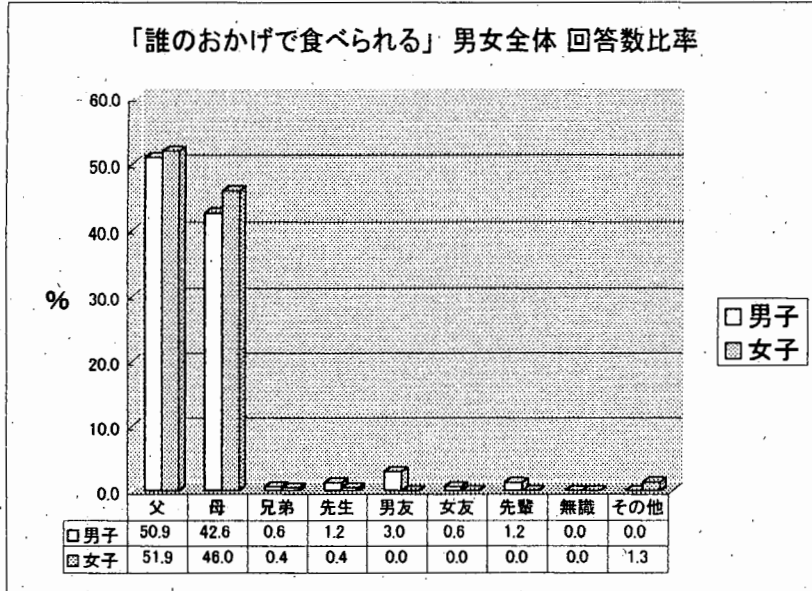
グラフ3-2-5



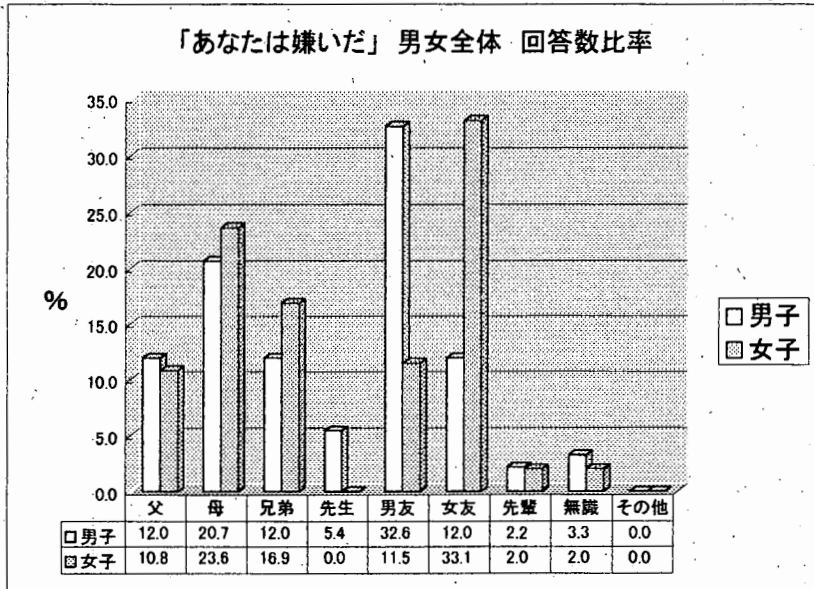
グラフ3-2-6



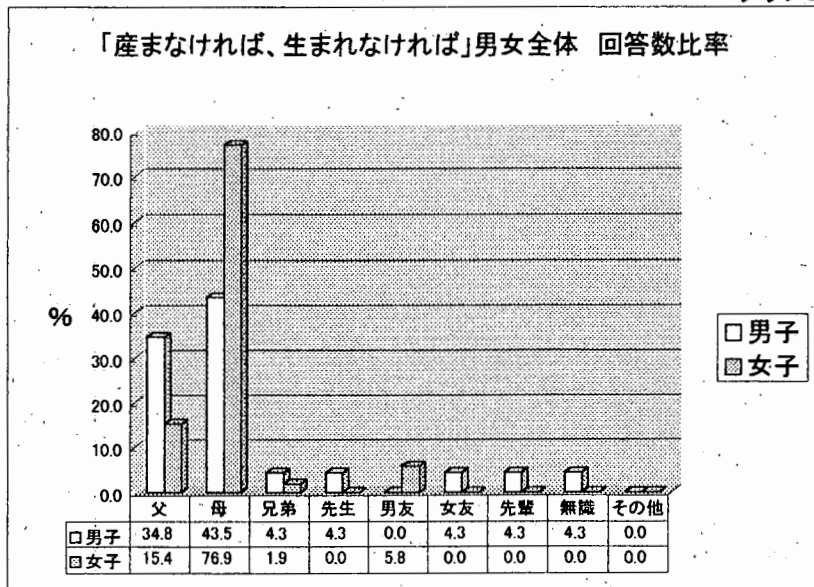
グラフ3-2-7



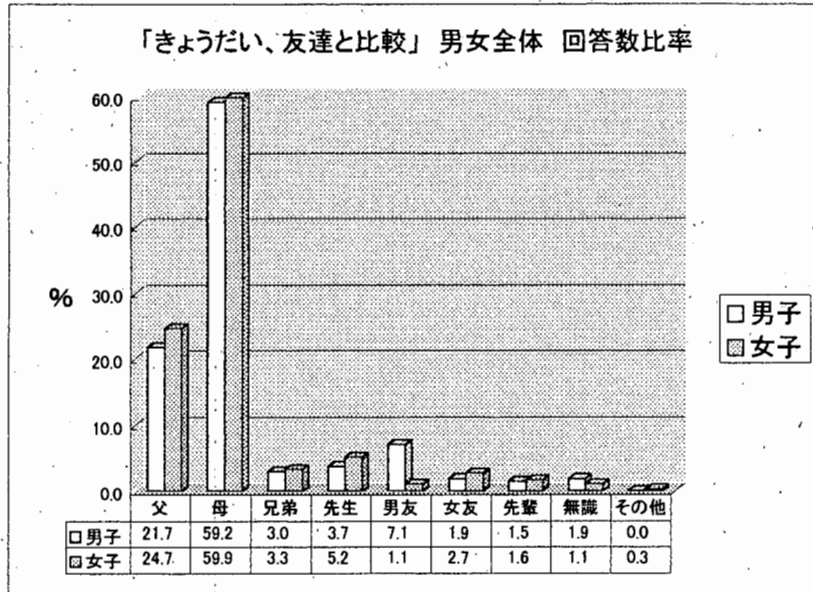
グラフ3-2-8



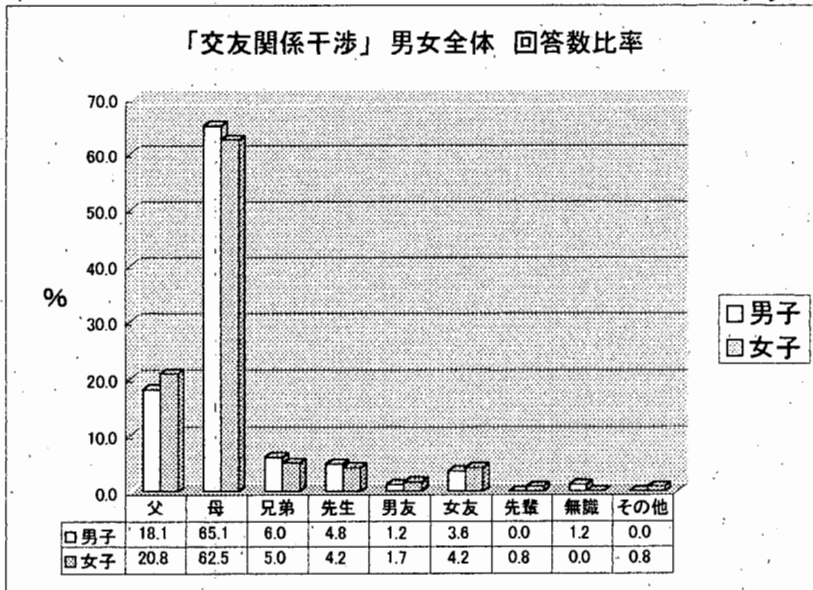
グラフ3-2-9



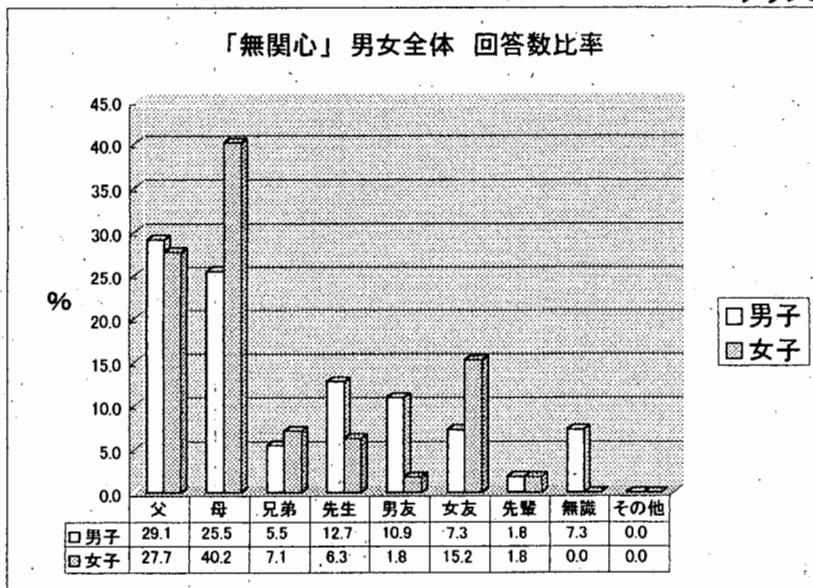
グラフ3-2-10



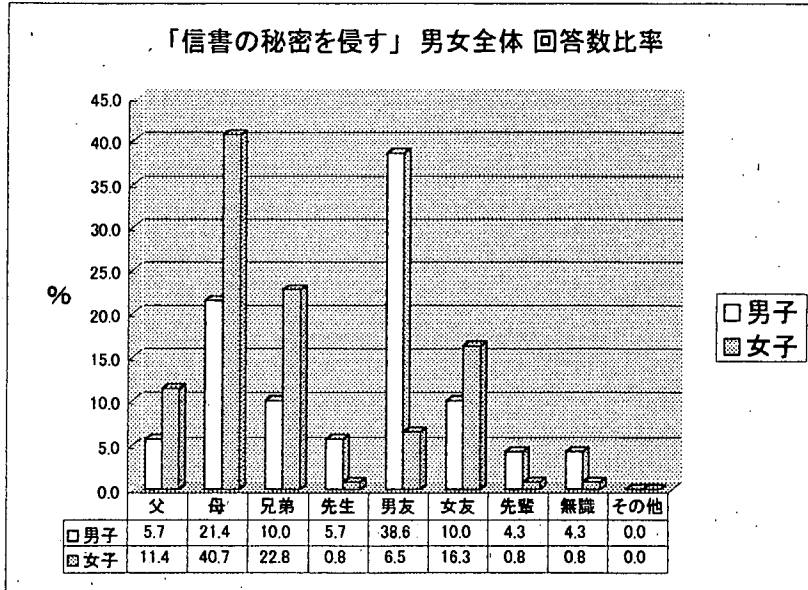
グラフ3-2-11



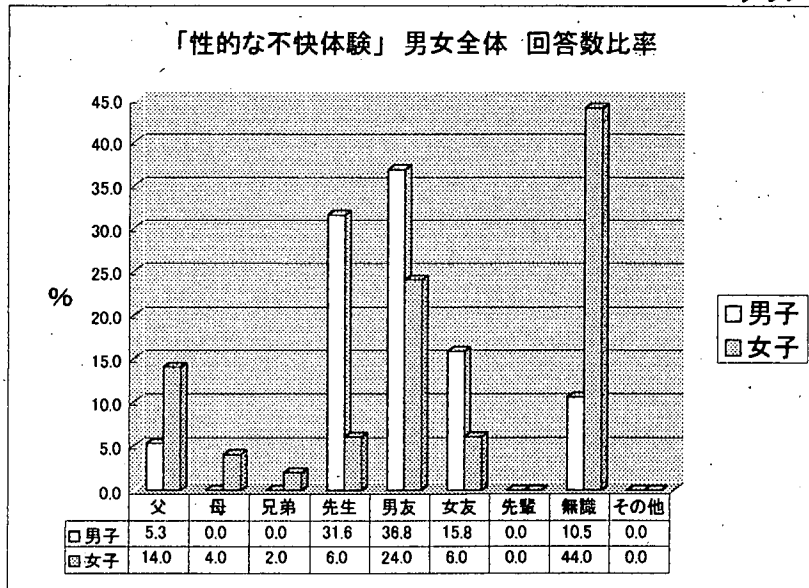
グラフ3-2-12



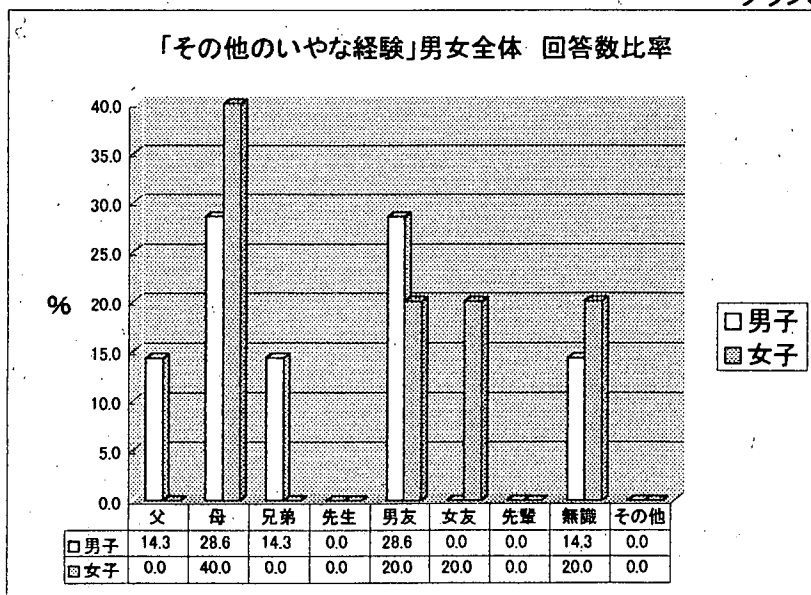
グラフ3-2-13



グラフ3-2-14



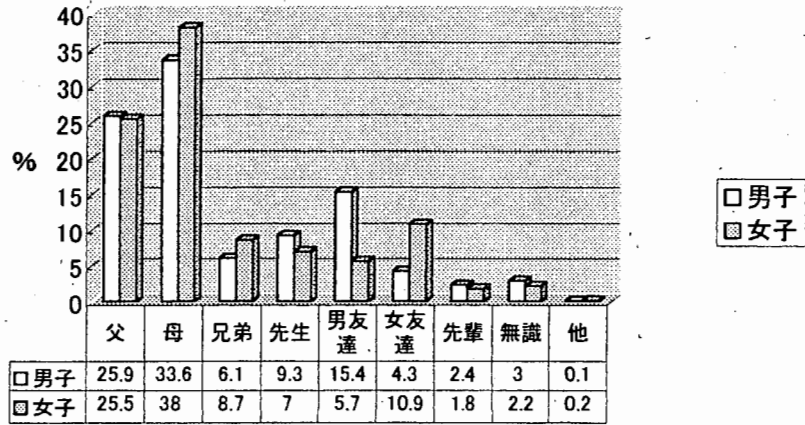
グラフ3-2-15



グラフ3-2-16-1

いやな経験 誰から 男女全体 回答数比率

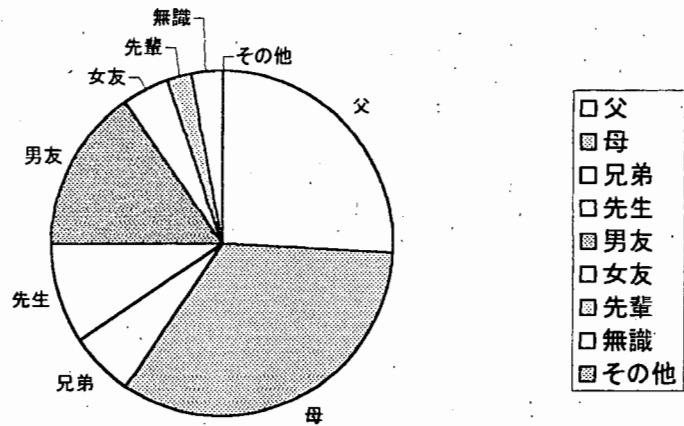
加害者	男子	女子
父	25.9	25.5
母	33.6	38
兄弟	6.1	8.7
先生	9.3	7
男友達	15.4	5.7
女友達	4.3	10.9
先輩	2.4	1.8
無識	3	2.2
他	0.1	0.2
計	100	100



グラフ3-2-16-2

いやな経験 誰から 男子 回答数比率

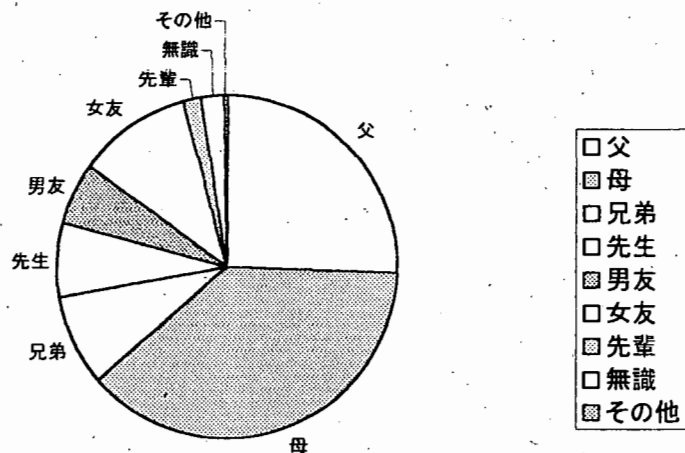
父	25.9
母	33.6
兄弟	6.1
先生	9.3
男友	15.4
女友	4.3
先輩	2.4
無識	3
他	0.1
計	100



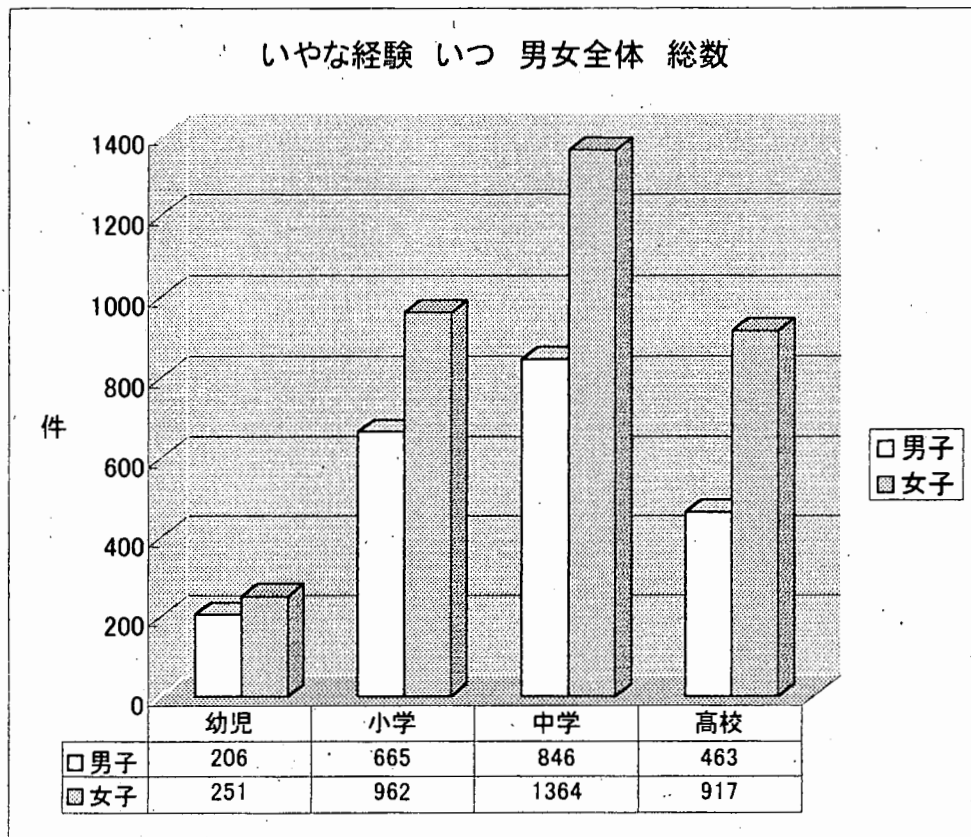
グラフ3-2-16-3

いやな経験 誰から 女子 回答数比率

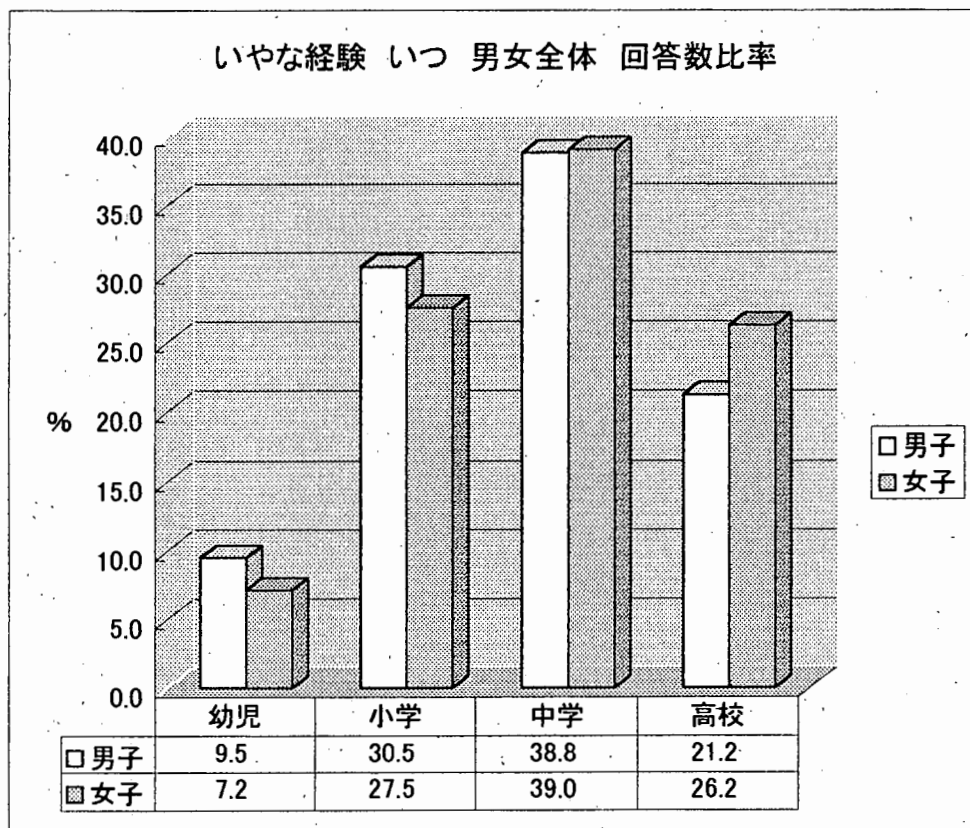
父	25.5
母	38
きょうだい	8.7
先生	7
男友達	5.7
女友達	10.9
先輩	1.8
知らない	2.2
その他	0.2
計	100



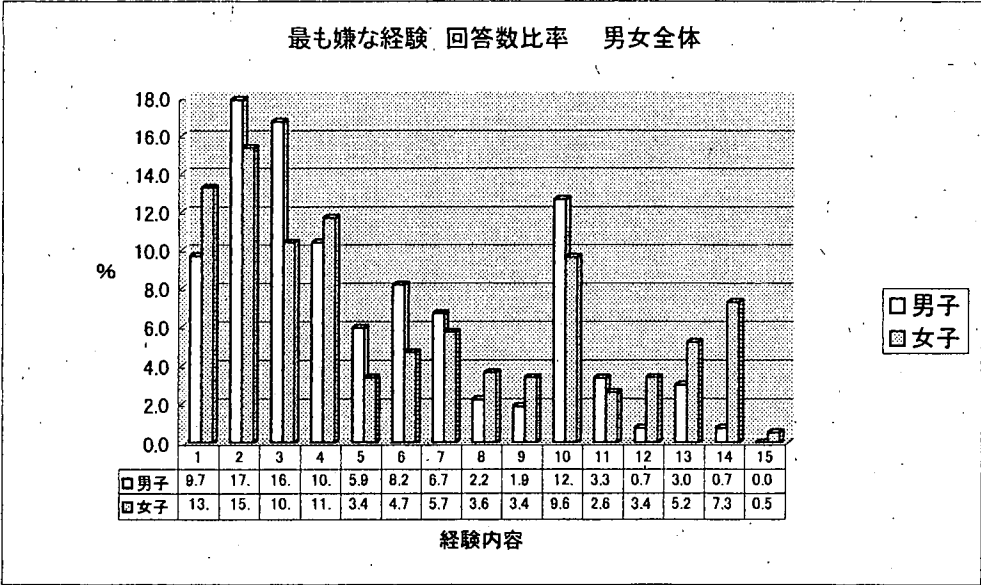
グラフ3-2-16-4



グラフ3-2-16-5



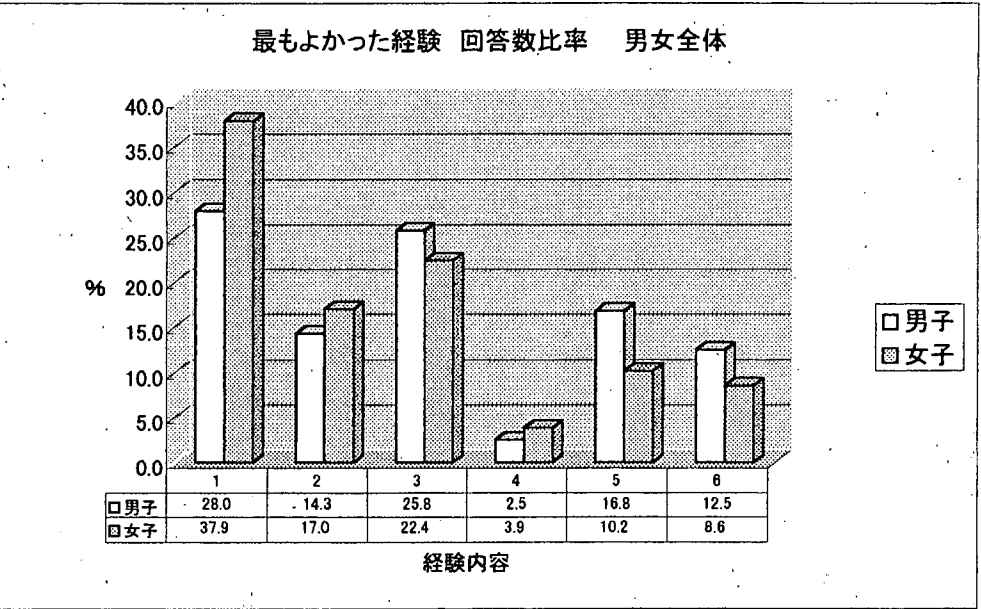
グラフ3-3-1



経験内容の番号

- 1 話をろくに聞いてもらえなかった。無視された。
- 2 一方的に意見を押し付けられたり、説教された。
- 3 馬鹿にされたり、ののしられたり、怒鳴られたりした。
- 4 殴られたり、物でたたかれたり、蹴られたりした。
- 5 大切なものを壊されたり、捨てられたりした。
- 6 出ていけと言われたり、家に入れてもらえなかった。
- 7 誰のおかげで食べさせてもらっているのかと言われた。
- 8 あなた(おまえ)なんか嫌いだと言われた。
- 9 産まなければよかった、生まれなければよかったと言われた。
- 10 きょうだいや友達と比較された。
- 11 交友関係をうさくチェックされた。
- 12 放って置かれたり、関心をもってもらえなかった。
- 13 手紙、日記、ケータイを無断で見られた。
- 14 性的にいやな経験を受けた。
- 15 その他

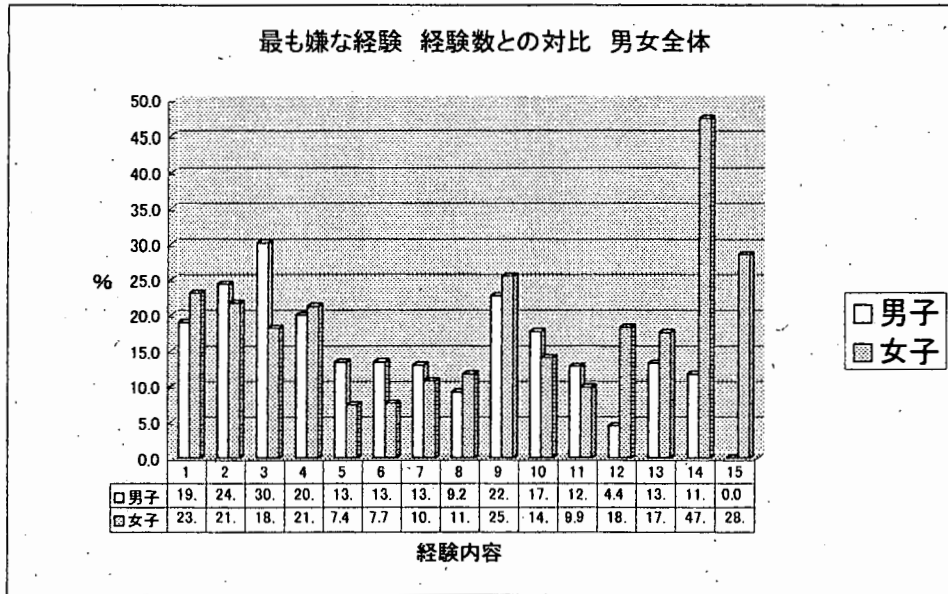
グラフ3-3-2



経験内容の番号

- 1 話をよく聞いてもらえた。気持ちがわかってくれた。
- 2 つらいとき、病気のときなどに心配してくれたり、支えてくれた。
- 3 ほめてくれたり、励ましてくれた。
- 4 あなた(おまえ)はかわいい子だ、いい子だといわれた。
- 5 遊びや旅行によく連れて行ってくれた。
- 6 自分の判断や行動の自由を認めてもらえた。

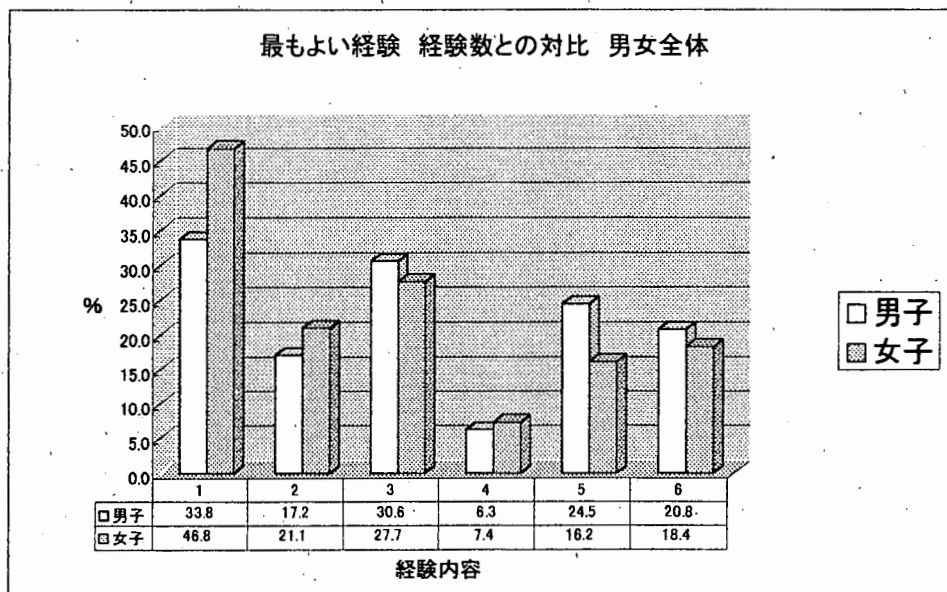
グラフ3-3-3



経験内容の番号

- 1 話をろくに聞いてもらえなかった。無視された。
- 2 一方的に意見を押し付けられたり、説教された。
- 3 馬鹿にされたり、ののしられたり、怒鳴られたりした。
- 4 殴られたり、物でたたかれたり、蹴られたりした。
- 5 大切なものを壊されたり、捨てられたりした。
- 6 出ていけと言われたり、家に入れてもらえなかった。
- 7 誰のおかげで食べさせてもらっているのかと言われた。
- 8 あなた(おまえ)なんか嫌いだと言われた。
- 9 産まなければよかった、生まれなければよかったと言われた。
- 10 きょうだいや友達と比較された。
- 11 交友関係をうるさくチェックされた。
- 12 放って置かれたり、関心をもってもらえなかった。
- 13 手紙、日記、ケータイを無断で見られた。
- 14 性的にいやな経験を受けた。
- 15 その他

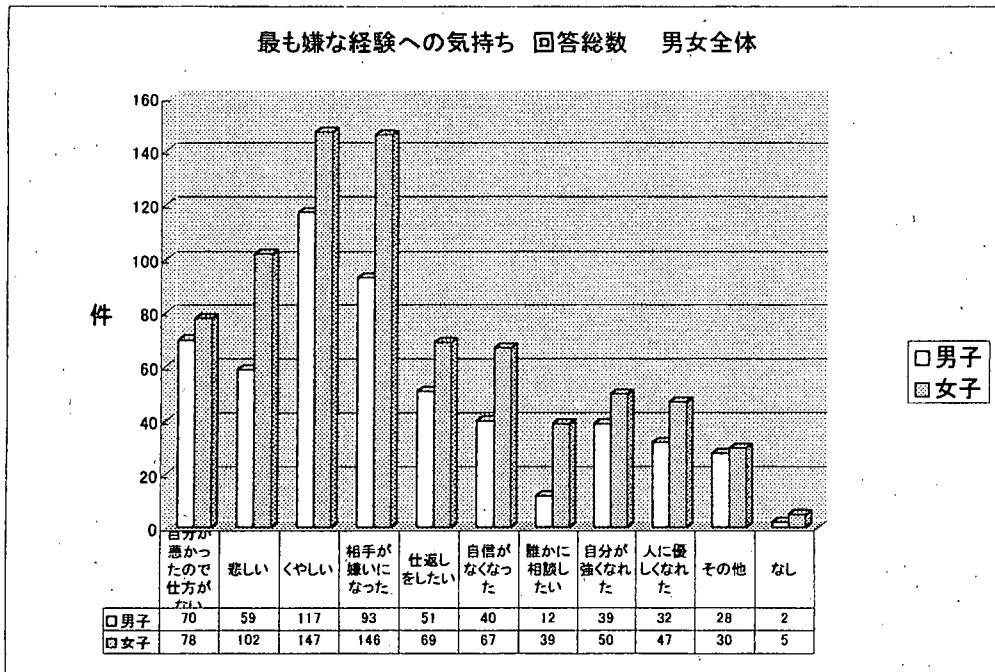
グラフ3-3-4



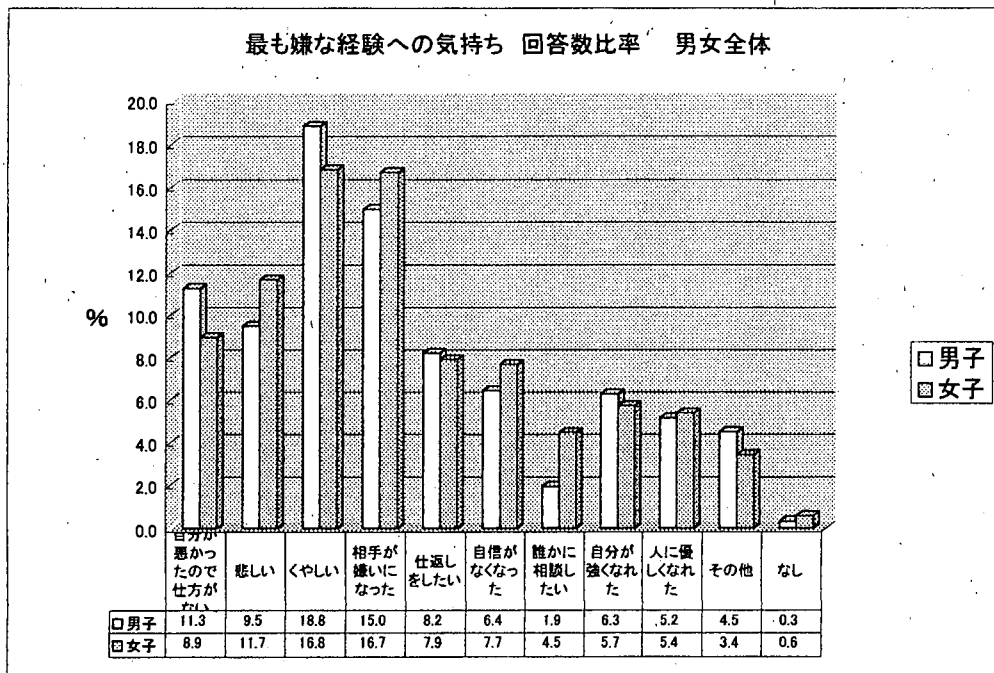
経験内容の番号

- 1 話をよく聞いてもらえた。気持ちがわかってくれた。
- 2 つらいとき、病気のときなどに心配してくれたり、支えてくれた。
- 3 ほめてくれたり、励ましてくれた。
- 4 あなた(おまえ)はかわいい子だ、いい子だといわれた。
- 5 遊びや旅行によく連れて行ってくれた。
- 6 自分の判断や行動の自由を認めてもらえた。

グラフ3-3-5



グラフ3-3-6



三 面接・電話相談結果の考察

情報収集のための電話相談

アンケート調査を中心とする本調査に並行して、情報収集の難しい男性被害者の声を聞くためのアンテナとして、平成14年8月から10月までの3ヶ月間（土曜の午後）、男性のためのDV電話相談を開設した。期間限定であり、かつ当法人のホームページ上に限った告知方法であったが、8件の相談があった。

地方からの相談や調停中に相談実績を夫側の情状として使いたいとする相談などがあったが、いずれも妻に離婚を迫られた夫のSOS相談であることが特徴的であった。

これらの相談事例の中から、2例の夫婦面接相談が実施された。本調査への協力については当事者の了解が得られている。

3-1 ケースA

A-1 相談経過

このケースは、加害者である夫から、「些細なことで夫婦喧嘩を繰り返すが、夫婦喧嘩にとどまらず妻に暴力をふるってしまう。今までに、妻の頭を殴ったりもした。妻は口うるさく、感情的にまくしたていらだたせられる。自分が怒る原因を知ろうとしてくれない。二人で相談に出かけたい」との連絡があり、夫婦面接が開始された。

相談は、これまでに6回行われ、現在も進行している。面接は、いつも夫婦合同で行っているが、3回目からは、前後に合同面接を15分、間に個別相談をおのおの15分～20分行ってきた。面接の間隔は月2回（2週間おき）行ってきたが、5回目からは月1回行っている。7回目は、1月中旬に行われる予定である。

（1）ケース概要

妻は大学卒業後、高校を卒業して現在の職場にシステムエンジニアとして同期入社した夫と出会った。長女である妻は、東京近郊で両親と妹の四人暮らしであった。

夫は、東京都内で銀行員を脱サラして中華料理店を自営している父、それを手伝っている母、姉二人で末っ子の五人暮らしであった。

妻が29歳時、夫25歳時に結婚した。

妻が病気で会社を休んでいた時に、夫が花束を携えて、車に乗って妻のもと

に見舞いに来てくれたことを機に、それまでの遊び仲間としての交際から親密な関係になり結婚にいたった。

結婚当初は、妻の両親、妹との二世帯住宅に居住していたが、約2年前の夫の暴力をともなった喧嘩に、妻が家族に応援を求めたことから妻の父親から「家を出て頭を冷やせ」と夫は叱られ、夫は単身でアパート生活をし、別居した。

別居後間もなく、妻が家庭裁判所に「夫婦円満調整」の申立をし、夫は、暴力を振るわない約束をし、互いの立場を尊重するとの円満条項を作成して3ヵ月後に同居した。

夫婦同居に際して、妻の両親が夫婦たちとの同居を嫌い、妻の実家近くの現在のアパートに長女（3歳）、長男（2歳）の四人で暮らしている。

妻は育児休業1年が終わった後、妻の母親に二人の子どもの保育を一時頼んでいたが、昨年11月頃より、二人とも近くの保育園に預けている。妻が朝一時間育児時間を取り、夫婦で子どもの送迎をし、夫は育児にも積極的に参加している。

妻の家庭は、父は会社員、母はパートで働いているが、以前は家庭の主婦で家事に専念して来てやや過干渉傾向にある。また、父は短気な性格で、子どもへの体罰はないものの言葉はきつい人柄という。妹は面接3回目頃に結婚して家を出た。妻は性格は生真面目で頑張り屋でやや神経質そうである。

夫の家庭は、姉二人は未婚、一人は獣医志望。母は明るくしっかり者。父は短気でしかもすぐ手が出る方である。バイク好きで活発傾向の夫は、父の体罰を受けて育ったという。しつけの範囲のものと夫はとらえている。率直で明るい、やや依存的な人柄。

夫の暴力は、2年前の別居までに2~3回はあったというが、双方ともエピソードは語れない。記憶にあるのは、夫の友人が遊びに来て泊まることになった折に、友人に渡すパジャマをめぐって夫と妻で意見が対立し、腹を立てた夫が、飲酒して酔っていたこともあり、妻の頭を殴ったという。夫は洗いざらした自分が使用していたパジャマに固執し、妻は客用の新しい浴衣に固執したらしい。

別居にいたった暴力は、長男出生間近かに妻が切迫流産となり自宅静養中に、夫は友人との付き合いで飲酒して帰宅が朝帰りとなったことで、妻がそれをとがめたことから、夫は怒って妻をベッドに押付け（妻はえびぞり状態だったと言う）、こわくなった妻が妹に応援を求めたものである。

調停成立後、夫と妻の日常の些細なことで考えや意見が対立すると口論になりやすく、妻への直接の暴力はないものの、物への当てつけの暴力は2~3回繰り返されていた。

当センターへの相談一週間前に、外出を嫌がる妻に対して、夫は子どもの前で「そんな奴はいらない」と言い、その言葉に腹を立てた妻は、駐車場から自

宅アパートに戻ってしまい、買い物リストと金を持っている妻を追いかけてきた夫に対して、妻が「あなたなんかと話したくない」と反発し、口論から夫が妻を押し、逃げようとした妻が戸棚の角で背中をすりむき、暴力が止まない夫に、当センターへの連絡を勧めたものである。

(2) 一回目の面接

夫は、「暴力を振るうのはいけないとは思っている。しかし、妻は自分が男子であるという理由を理解してくれないし、話を聞いてくれない。妻のあり方も考えてもらいたい」と語る。

一方妻は、「怒ると暴力的になる夫をいさめてほしい。夫に対して侮辱したことは言っていない。夫が暴力を振るってしまうほど怒るのがよくわからない」と語る。

二人の間では離婚が取りざたされているが、二人の子どももいて決心しがたい様子である。「第三者の人に二人の話を聞いてもらい、何とか変わりたい」と意欲的な様子である。

夫は、「妻はいつもいらだち、口やかましい。ゆとりにも欠ける。家でゆっくり落ち着いて話ができない」、「妻の剣幕に遭うと自分も話ができなくなり、暴力で怒りを表現している感じ」という。

妻は「夫の父親が体罰傾向にあって、夫も殴られて育ったらしい」と、夫の暴力傾向が治らないのではないかとといった不安も抱いている様子であった。

二人の様子は、離婚が取りざたされていると言いながら、顔を見合わせて笑って話し合ったりする様子が見られ、面接者は、さほど深刻なDVではないかとも思ったりした。

互いに相手の様子、自分の様子が生々しく語れないので、日常生活で対立し、喧嘩した時に互いの様子を観察してみるよう勧めた。

(3) 二回目の面接

日常些細なことでの口論、いさかいが引き続きあったと妻から語られたエピソードをもとにして、それぞれ自分を振り返ってみた。

妻は「妹の結婚式の洋服を仕事を休んで買い物していた時に、突然夫から子どもの迎えを頼まれた。その日バイクで通勤し、渋滞に巻き込まれたらしいが、依存的で、急に連絡されても、予定は狂うし、保育所にも迎えが遅れて迷惑をかけてしまった。バイク通勤すること自体を考えるべきではないか」と語る。

夫は「妻はすぐ怒り出す。なんでそんな気持ちになったのかわからないので、もう少し、自分の気持ちを怒らないで話してほしい」と語る。

双方ともに、なかなか自分を振り返ることはできず、相手を非難しがちであ

る。夫に対しては、怒りから暴力にいたるまでの責任の自覚が乏しいので、暴力の認識の甘さを指摘し、自分の問題をみつめる必要のあること、妻に対しては、対立したときの自分の気持ちや考えをできるだけ言葉にするよう助言した。

また、妻は、夫が娘に対しても、言うことを聞かないとすぐ頭を殴るが、しつけのときは仕方ないとしても頭は止めて欲しいと語った。

(4) 三回目の面接

約束時間より早く、子どもが病気で出向けない旨の連絡が入る。面接者宛てに再連絡の指示がされていたので連絡をすると、子どもの病気ではなく、いつものパターンで夫婦喧嘩になってしまい、出発時間が遅くなったためとわかる。一週間後に面接を変更した。

キャンセル当日の夫婦喧嘩のいきさつを双方の立場から語ってもらった。夫が車のエンジンを切らないまま子どもの迎えに行ったことを妻がみとがめたことで口論になった。一足先に自宅に帰った妻が、夫が地下駐車場からすぐには昇ってこられないように、エレベーターの上行き指示ボタンを押してエレベーターが下降しないように嫌がらせをしたと恨みに思った夫が、エレベーターをきつく蹴ったという。これに対して妻が、「暴力への認識が甘いという話が前回あったが、考え方が変わらない限り、カウンセリングに行っても効果がない」と思い、行きたくない」とい言ったという。

夫は「妻は怒ると相変わらずまくしたてる。エンジンをつけたままでどうしていけないのか。私が部屋に入る時間を遅くするような嫌がらせをして許せない。感情的になって、離婚だと口走ってもいた」と語る。

面接者は夫に対して、暴力をふるう責任は自分にある。暴力を振るうことで何をしたかったのか、冷静に考えてみるよう勧めた。妻に対しては、離婚は避けたいと語っていたので、離婚と口走ったときの自分の気持ちを言葉にしていこうように助言した。

(5) 四回目の面接

相談直前に起きた夫婦喧嘩、キャンセル当日の夫婦喧嘩についての振り返りの作業を行った。

夫は当日の様子をかなり細かく語った。週末に子どもたちといっしょに外出したがない妻、子どもをすぐに面倒見てもらおうとする妻に不満を抱いているようである。暴力にいたった経過については、子どもの前で妻のことを「そんな奴はいらない」との暴言を吐いたことに妻が怒り、買い物リストや金をもって帰ってしまったので後を追いかけた。しかし、妻は怒りまくっていて「あんたなんかと話したくない」とふてくされていたので妻を押したら傍にあった

戸棚の角で傷を負ってしまったと語った。

一方妻は、「仕事が多忙で、週末はゆっくり家で過ごしたい方であるが、夫は元気でいつも外出したが。子どもはいっしょに出かけたいであろうと思ってお供して出たのに、子どもの前で馬鹿にされ、怒っている夫の傍にいたくないので部屋に帰った」と語る。夫が怒り、妻を押付ける暴力に至った細かいいきさつは、夫ほどには語れない。妻は、感情的になると、そこで起きていることをじっくり観察できないようである。

妻は仕事が多忙らしく疲れた様子であったので、ねぎらった上で、妻に対して夫の暴力は世間で言われている深刻なDVとは異なるのではないかと伝え、互いに双方の気持ちを伝える努力をしていくことの大切さを伝えた。妻は自分も短気な面があると語り、友人の助言により、夫婦がゆっくり話し合える時間をとるためにも、もう少し通勤時間を短縮しようと考えていて、物件探しに週末が多忙であり、そのためにも疲れているとも語った。

夫には、妻のゆとりのなさや疲れに気持ちを傾けるよう助言した。

(6) 五回目の面接

物件探しのときに、書店でDVの本『愛する二人、別れる二人』を見つけて、妻が先に読み終え、夫が今読んでいると夫より報告があり、暴力に対する考え方の変化を語った。「子どもへの影響や妻への傷つけのためにしかならず、何にも役に立たないこと、暴力は相手を押さえつけようとする気持ちであることなどが書かれていた。妻にまくしたてられると、止めてくれという意味で暴力をふるっていたような気がする。この4週間、暴力を我慢してきて、実際に我慢できている。妻も変わってきている感じ」と語る。

一方妻は、夫婦でいっしょに読んだ本の報告も、努力の話も語らない。面接者から、夫が暴力に対して考えを変えた話や様子を伝えた。夫婦間は、何事もなく、落ち着いて過ぎている様子であった。

前回指摘したように、双方自分の気持ちをどう伝え、互いに分かり合って助け合っていけるかということの大切さを再度強調して助言した。

(7) 六回目の面接

夫は眼精疲労から体調を崩した由。妻から、些細な食い違いが語られたが、3歳の長女が反抗期で、夫は育児疲れもあるのか気持ちがうつ状態のようであると夫を気遣う。

夫が会社を休んだ日に、結婚記念日でもあり、夫が妻とワインでも飲もうと肉料理を作ったが、妻は感謝の言葉もなく、すぐ料理を食べようともせず、翌日の子どもの預かりを母に頼む電話をしたことを、夫が嫌がり不機嫌になった

エピソードが妻から語られた。面接場面で、妻が、夫に逆の立場を考えたことがあるのかしらと問いかけたところ、夫は、「せっかく作った温かい料理を早く食べて欲しくて注意したので、感謝しないことで不機嫌になったのではない」と語った。これに対して妻は、「両親と夫は不仲なので、私が電話することも面白くないんだろうと思っていた」とも語った。双方、相手に対する自分の思い込みの違いに驚いている。

引き続き喧嘩はしていない様子であるが、さらに、自分の気持ちを相手に伝え、互いをよく知って理解しあうことの大切さを伝えた。

A-2 考察

ケースAは、夫の暴力をやめさせて欲しい、また、夫に変わって欲しいとの妻の願いを夫が受けながらも、夫は自分を暴力に駆り立てる妻のまくしたてや怒り方を妻にも考えて欲しいとの要求があって、夫婦同伴で相談を依頼してきたケースである。二人とも「現状ではよくない」との思いを共通に抱いていて、たいへん意欲的な夫婦である。

はじめは、互いに相手への要求が大きく、相手の気持ちや考えを少し離れて観察することもなく、また、一方的に自分の考えや思い込みで、自分と同じでない相手と対立し、自分の思いや考えを押し通そうとしている夫婦と思われた。

夫は幼少時から活発でいたずらも多く、父から体罰を受けて育っており、暴力をコントロールの手段とすることに抵抗感が少なく、怒りを人や物への暴力に移行させやすい傾向が認められた。

妻は、父から体罰を受けてはいないが、短気で言葉のきつい父のもとで育ち、愛情をじっくりことばにする訓練を受けていない。侮辱や暴言を受けると、不安感やいらだちがつのり、怒りや暴言を表出しやすい。

互いのコミュニケーションスキルの稚拙さが、同じパターンの喧嘩を繰り返させ、夫の暴力、妻の暴言という状態を作り出していたと思われる。

暴力を抑制し、夫婦の関係の改善のためには、まず夫婦がそのことに気づき、自分の気持ちをできるだけ言葉にしていく努力と、相手の言葉をじっくり聴き、相手を理解していく努力が必要と思われる。

ケースAでは、現時点ではまだ相手の言葉をじっくり聴くところまでは進められていない。しかし、自分の思い込みだけの世界から少し出てきて、相手と自分の感じ方の違いを理解しはじめている。

DVの相談ケースでは、加害者が人格的問題を抱えていたり、命にかかわるような深刻な被害ケースも決して少なくない。しかし、コミュニケーション能力の低さのために、同じパターンの喧嘩が繰り返され、固定的な男性優位意識にまだまだ深く染まっている夫が、暴力で妻をコントロールしようとする姿勢が

崩せず、暴力行為に及んでいる場合も多いのではないかとと思われる。

一般に、DVケースについては、問題を相手のせいにする傾向があるだけでなく、不安感や恐怖心を増幅する危険をさけるため、合同面接は禁じる考え方にあるが、暴力の程度によっては、コミュニケーションスキルの問題を抱えているケースAのように、合同面接が可能な場合もある。被害者救済の視点からだけでなく、加害者サポートのプログラムの中でも、コミュニケーションスキルの向上の訓練の必要性が強調されてきているが、ケースAにおいても、その必要性和有効性が肯ける。

なお、ケースAでは、夫婦合同面接が主になっているので、双方の個別の問題への取り組みは十分できていない。いまだ、問題への気づきは浅い。特に、夫については体罰の経験についての深い話、妻については父のきつい言葉による傷つきの話が何も語られていない状況である。

3-2 ケース B

夫 37才 セールスマン

妻 34才 専業主婦

B-1 相談経過

妻からの電話で面接相談することになったケースで、2年間継続している。初期の段階で暴力は収まったが、口喧嘩や小競り合いはときどき起こり、2ヶ月に1回の面接で、解決策を話し合ったり、カウンセラーが双方の言い分を良く聞いて、正当性を認めながら、少しずつ歩み寄りを提案したりといった行動療法的、教育的手段を用いて夫婦関係が少しでも向上するようにサポートしているという現状維持モデルケース。

(1) ケースの概要

夫婦は再婚同士である。面接のきっかけは妻からの電話で、夫が暴力を振るったために今実家に戻って避難している。絶対に許せない。どうしたら良いか相談したいということであった。面接してみると妻は小柄で華奢な体つきであったが、話し方は勢いがあり、論理的で自分の言い分を聞いてもらいたいと、夫がいかに病的、暴力的性格であるかについて語った。妻の話によると二人は2年半前にバツイチパーティーで知り合い、その日に彼から積極的に誘われて一緒に帰った。その後毎日のようにデートに誘われ会ったが、べたべたしているような彼が好きになれず4回断わった。引っ張ってくれるような強い男が好みだった。断わっても断わっても会うだけでも会ってと懇願され、仕方なく付き合ううちに結婚を承諾し、婚約した。妻は身体的な病気を持っていて1年前に手術を受け、こんな身体では結婚してくれる人を今後見つけられないかもしれないと思ったからだ。彼は病院の検査や治療に嫌がらず付いて来てくれたということで頼りになると思った。ところが婚約してみると彼の態度が変わり、すべてのことにケチになった。生活費を節約し無駄をなくそうと、携帯電話のナンバーディスプレイやキャッチフォンの機能を解約する事で300円を浮かそうとしたり、テレビの待機ランプは消す、交通費やガソリン代を浮かすために出かけるときは一緒に出て、道順もできる限り最短距離を選ぶ、駐車場も1円でも安いところを探すといった具合だった。またひどく怒りっぽく、怒っていると車で100キロのスピードで飛ばし、急ブレーキをかけるなど、乱暴をした。喧嘩したとき怒って殴る。ちょっと小突かれたのも入れれば、現在までに6回直接暴力を振るわれた。自分としては本音を言うと離婚したくない。経済力が無いし、自分ひとりでやっていく自信がない。だからもしカウンセリングに通って彼が改善できるならそれがいちばん望ましいと言う。妻は浪人中に不眠症になり、大学卒業後OLになったが、眠れないために会社を8ヶ月で退職した。現

在は睡眠薬がないと眠れなくて、病院から睡眠薬を貰って毎日飲んでいる。また夫は結婚前躁病にかかって入院した事があるという事だった。

妻の話を聞いてカウンセラーは、かなり病的な感じの夫と、自分一人で自立する気のない妻との関係が改善される可能性が薄いと感じ、妻の希望に対し、暴力のある男性は改善意欲が長続きしないことが多いし、よほど本気で治りたいと思わない限り回復の望みは持てないかもしれない。もし彼が夫婦でカウンセリングを受けたいと言うなら、次回一緒につれて来るようにと答えた。

1週間後妻は再び一人でやってきた。彼の様子をもっと話しておいた方が良くと思って、と言う。妻は夫の異常性を強調し、精神病院に連れて行き、薬を飲ませたいと考えているようだった。たしかに夫は躁病の既往があり、性格的に相当問題がありそうなので、カウンセリングでは対応できないと思うし、これは妻には伝えなかったが、妻もかなり神経症的である上、攻撃的な物言いをしているようなので、二人が喧嘩をしなくなり、夫が暴力を振るわなくなるように二人で努力する事を約束するなら多少改善の手伝いはできるかもしれないが、効果は保証できないと伝えた。妻は夫が精神病院に行く気がないことを承知しているので、せめてカウンセリングに連れてきて何とかしたいと思っているようだったが、カウンセラーとしてはカウンセリングで効果が望めないこのケースには消極的だった。

(2) 夫婦面接

1週間後、妻は夫を連れて面接に現われた。このときまでに妻は夫に絶対暴力を振るわないと約束させ、夫のもとに帰っていた。この夫婦は再婚同士で、前の結婚はどちらも暴力がらみで離婚に至っていた。夫の方は21才で結婚し、2～3年で破綻した。妻の浮気から暴力を振るったと言っているが、暴力はそれ以前からあったのではないかと推察される。妻の方は29才で最初の夫と結婚し、1年で夫の暴力で破綻している。どう見てもこの二人が暴力無しに結婚を続けられるとは思えなかった。しかし二人には結婚を続けたい理由があった。夫は妻を愛している上、淋しがりで妻といつも一緒にいることを望んでいた。妻の方は夫を軽蔑していたが、自分の両親とはうまくいかず、実家には戻りたくなかった。また病気を抱えていて働けないし、自分一人で自立する事ができないと思ってかなり打算的に夫を頼りにしていた。妻は離婚したくない気持ちをカウンセラーに打ち明けてはいたが、夫に対しては喧嘩するたびに離婚してやると怒鳴って夫を脅かしていた。

このような悪条件の中で、二人の間の喧嘩を減らし、暴力はなくすという目標を決めてカウンセリングが始まった。最初のうちは1～2週間に1度のインターバルで夫婦面接を行った。後に1ヶ月1回程度になったが、いつも二人で約束通り通ってきた。夫は非常に強迫的な人で、とくに金銭と時間にこだわっていた。

また暴力的な言動は習慣化していて、かなり自覚的に気をつけていないと暴力を押さえられない様子だった。経済観念はあっても論理的でなく、気分左右されていた。基本的には不安が強く、金銭にこだわるのも不安からきていた。妻もまた不安を抱えていたが、あまり自覚されていなかった。むしろ楽天的な性格だと自分では思っていて、夫より知的に優れているように見え、夫を理屈でやり込めようとする傾向があった。他人と自分の境遇を比較するなど、価値観はひどく表面的、即物的であり内省的ではなかった。このため面接は二人の間の喧嘩をどう減らすかという話し合いを中心とした行動療法的なものになった。二人とも自分の性格や行動傾向を振り返り分析したり、洞察したりすることは不得手で、具体的な行動での話し合いで解決するしか方法がなかったからである。再び同居をはじめてから間もなく妻から緊急の電話があり、夫がまた暴力を振るった、もう我慢できない、何とかしてと言うものだった。

(3) 喧嘩をしないためのルール作り

次の面接で二人に喧嘩になるときの様子を詳しく話してもらった。喧嘩の始まりは、たいてい夫の強迫的な言動から発していた。テレビの待機電力がもったいないからリモコンを使わないでテレビ本体の電源を切っておけとか、部屋の電気をつけ放すとか、体調の悪い妻を乗せているのに車でまっすぐ帰らないでガソリン代を節約しようと他の用事をついでに済ませるため何箇所も寄り道して、妻がますます具合が悪くなるとか、そんなことが原因になって妻が怒りだし、理屈で夫の行動を批判し始めると、夫は苛々し始めて大声を上げ興奮する。暴力を振るいそうになり危険だと思って自分から寝てしまうが、そうすると妻は自分の言い分が認められず、夫が逃げてしまったと感じ、寝ている夫を起しに行き挑発的に喧嘩の続きをしようとする。興奮と怒りをやっとなぐさえていた夫は、妻を振り払うように殴りつけたり、蹴飛ばしたりする。妻は怒って自分も蹴飛ばしたり反撃するが結局身体が2倍もある夫に更に殴られてしまうといった事が続いていた。夫の金銭と時間へのこだわりはまさに病的だった。セールスの仕事では会社から命じられているノルマよりもずっと厳しいノルマを自分に課して無理やり仕事をこなしていた。今日のノルマが達成されても、明日の成績が不安で、早く夕食を食べて早く眠りたかった。食事にもこだわりがあり、味噌汁は熱々でなければいけないとか、料理は手作りでないと承知できないとか注文が多かった。妻は自分の基準で考えて夫のこだわりを全く理解せず、そんなことを言うのはおかしいと反撃していた。しかし妻はかなりの程度まで実際には夫のわがままを受け容れて従うようにはしていた。

二人とも自分の気持ちを内省したり、相手の気持ちを思いやったりする精神的ゆとりといったものが不足していて、小さな子どものように、自分の気持ちを理解しないとってお互いに責め合っていた。妻はすぐ「この人は非常識です。」

とか、「頭おかしいんじゃないの?」と夫の行動を批判し、夫の強迫的行動を止めさせようとするし、夫は何が何でも自分の強迫行動をしないと不安だし、いらつくと暴言や暴力的行動、例えば車で他の運転者を怒鳴るとか、ペットをいじめるとか、妻への直接的暴行は止めても、暴力的傾向まで止めたわけではなかった。そこで一つ一つの出来事を詳しく聞いて、よりよい解決法を一緒に考え、約束をすると言う、子どもじみた方法が選択された。カウンセリングでは対応できないケースで、普通なら継続しないケースだった。しかし二人に動機はあった。妻は離婚を望まず、夫婦関係の改善を願っていた。しかし妻は、自分は正常で夫が病気のなのだから、すこしでも夫を変えたいと言う動機だった。夫の方は主として金銭的理由でカウンセリングを続けたくはなかったが、行かないと妻が離婚すると脅かすので、仕方なく来ていた。しかし、このようなかなり無理な形ではあっても、継続して二人で通うことは、夫婦関係を改善することに役立った。相談室に来ると、妻が訴えるような調子で夫の批判を話しだし、夫がそれを夫側の言い分として説明する。妻はそれを聞いて、さらに批判し、病的だとか、自分のことを全く考えてくれないとか、夫は私のためにしてくれたのではなく、夫がそうしたいからしただけだとか、ケチをつける。普段はそういうことから喧嘩が始まるようだ。そこで妻の不満から始めて、両方の言い分を聞き、妥協できる点を探る。たとえば、毎月28万円を妻に生活費として渡しているが、夫はそれが多すぎると思っている。妻はそれですべてを賄っているし、貯金も適当にしているので、無駄に使っているわけではないと思っている。夫は妻が無駄使いしているのではないかと心配になり、また、家の中でもっと節約できることを妻が実行しないと思って、口やかましく節約するように言い立てる。妻はあまりうるさく言われるので怒り出す、といった状況が二人の説明から見えてくる。そこでカウンセラーが少し違う見方を提案する。

まず夫に向かって、28万も渡すには大変な努力が必要だろう、しかしそれを実行している夫は偉い。その28万円を無駄遣いせず、きちんと節約している妻も良くやっていると思わないか?と尋ねると、夫はその通りだと言うと答える。では28万円渡したら、妻にすっかり任せて、その使い道についてうるさく言うのは止めなさい。28万円を無駄に使って足りないことになったら、文句を言っても良いが、28万円の範囲だったら何も言わないほうが良い。無駄な喧嘩をして離婚になったら、財産を半分分けなければならないし、一人で生活するとなったら幸せも半分になってしまう。28万円を無条件で渡して、喧嘩をしないほうがずっと経済的だと思う、というような話をして納得してもらう。妻のほうにも夫の強迫的な性格は直らないのだから、理解して、ストレスにならない程度に、節約生活に協力するようにと話す。幸い、カウンセラーを交えて話し合ったことは、夫はかなり頑張って守って実行した。このようなカウンセ

リングとは言えない、調停のような話し合いが続き、根本的な解決には至らないものの、確かに二人の喧嘩は減り、楽しい時間が増えた。文句ばかり言っていた妻も、夫はここに来ると誉めてもらえるから気分が良いし、先生から言われることは、結構守ってくれるようになったと話し、効果を認めた。

この妻が最初から訴えていたことは、自分は不幸せだと言うことだった。夫から愛されているのではないかと指摘すると、あんな夫は尊敬できないし、私が愛している人ではない、愛されるより、愛する方が幸せだ、と言う。ある日やってきて、私の友人が結婚したのでショックを受けた、今までその人がいるから私はまだ幸せだと思っていた。でもその子が結婚して幸せになっちゃったから、私より不幸な人がいなくなっちゃったと訴え、カウンセラーを驚かせた。妻はいつも幸福になりたい、なりたいと夢を見て、実際の生活に満足できない人だった。理想的な夫ではない自分の夫への不満ばかり口にしていて、しかし面接が続くうちに、最近では笑いながら、「完全な夫なんか、どこにもいないのかしら？小説の中だけなの？私ハーレークインみたいな小説でも書けば良いのかしら？」と言うようになった。実際妻には何か手応えのある仕事が必要だから、物を書くことは役に立つに違いないと思われた。現実を受け入れ、満足することから、相手に対する思いやりも生れてくる。強迫的で病的な夫との現実的な生活の中で、自分の幸せを自分で築いていく積極的な姿勢をすこしずつ妻が持ち始めたことが感じられた。

B-2 考察

夫の生育歴を聞くと、非常に意地の悪い両親に虐待され、しかもひどく甘やかされてもいる、矛盾に満ちた養育を受けていることが分かる。幼稚園のとき、母親から手足を縛られ、押入れに閉じ込められたり、ろうそくの燭を手足にたらされるなどの虐待を受けている。母親から竹刀で打たれたこともある。父親の暴力はひどく、母親に対して日常的に暴力が振るわれていた。父親は、息子が大事に貯めているお金や、野球カードを、息子が学校に行っている間に捨てちゃったぞ、と言ってからかい、息子が必死で探し回るのを見て笑っているような意地悪をした。父親は短気でわがままで、酒飲みだった。母親は短気で気が強く、口が達者だった。息子を叱ってひどい折檻もするが、高価なものを買ったり、息子の好きな食べ物を作って食べさせたりした。今でも何かと実家に呼ぼうとしたり、干渉してくることが多い。夫は勉強があまり好きでなく、高校を中退したあと転職を重ね、21才で最初の結婚、子どもも生まれたが、同棲1年くらいで暴力を振るって離婚している。この結婚については夫は大変後悔している。子どもを嫌って、邪魔だと思っただけのひどい、情けない男だったと述懐している。相手も結婚しながら何人もの男と付き合うような問題の多

い女性だったという。その後女性と付き合ってもなかなか結婚に至らず、現在の妻と結婚して、3年になる。

妻も両親が仲の悪い家庭で育った。父親が酒を飲んで帰宅して、母親が怒り、大喧嘩をしていた。母親はヒステリックで、過干渉だった。妻は学校では優等生だったが、気が強く、理屈にあわなければ規則を破ってでも自己主張するような闘士だった。家でも、母親の過干渉とお小遣い管理に抵抗してなんとか自由を勝ち取った。身体が弱く、良く熱を出し学校を休んだ。母親が暴力的で、自分中心だった。例えば、頭痛がするときに子どもが話し掛けたと言って殴りつけたりした。母親に殴られて鼻血を出したのを父親が見て、もっとやれと母親に命令したこともあった。成人してからも母親に殴られたことがある。母親の親戚にはヒステリー的な性格の人が数人いると言う。勉強は好きで、大学を出てしばらく働いたが、不眠症のため8ヶ月で退職した。26才のときから胸部にできた腫瘍のため、治療を受け、入院したり、手術を受けたりして、定期的に検査を受けている。29才で初婚。暴力を振るわれ1年で離婚している。離婚後1年位してから現在の夫と知り合った。

二人の経歴を見ると、二人が喧嘩と暴力でしか関係を築けないと言うことを納得せざるを得ないほどの惨憺たる生育歴である。とくに夫は気まぐれで暴力的で、意地悪い両親に育てられ、父親に対する恐怖心が強く、母親の愛情も不確かで、自分を守るために強迫的行動を取らざるを得ず、金銭と時間とに病的な嗜癖を持っている。自分でも苦しいと訴えるほど、金銭を失うことへの不安が強く、節約することで安心感を得ようとする。酒はその不安を鎮めるので飲みたいが、飲むと暴力的になるので、今のところできるだけ飲まないようにし、飲むときは誰か他人と一緒にいると緊張しているのであまりひどく酔っ払うことがないと言う。夫は妻を頼りにし、良く喧嘩をするが、妻と一緒に海外旅行に行くのを楽しみにしている。妻も暴力的な親に厳しく育てられ、反抗心はあるものの、内実は依存心の強い性格である。結婚相手は暴力的で、被害者になってしまうが、夫の暴力を止めさせようとしたり、断固拒否したりする力はある。しかしその気の強さが、却って夫の怒りと暴力の引き金になってしまうことも多かった。妻の方が高学歴であり、知的で論理的であるはずであるが、理屈はこねても、人の気持ちを推し量るとか、少し自分の主張を押さえて、相手に譲るとか、そう言ったゆとりを持つことができない。それは彼女の生育歴の問題でもあって、自分の気持ちを両親から受け取って貰えなかったり、包み込むような愛情を与えてもらえなかった結果であろう。妻が自分自身の問題としてこの点についてのカウンセリングを受ければ、妻が精神的成長を遂げる可能性はあるが、現在のところ妻は、夫を変えることのみを考え、不満を述べることに終始している。

このような夫婦の場合、性格的な偏りがあまりに大きく、自分自身の問題に取り組むだけの力を持たない場合、現状維持をして、最低限暴力を振るわないこと、できるだけ喧嘩をしないこと、喧嘩をした場合に上手に解決する方法を学ぶこと、二人がお互いに助け合う機会を多くし、平和な家庭を築くことを目標にし、カウンセリングの機会を支えを得る機会として行くという、消極的ではあっても、息の長い援助が必要だと思われる。二年の間に、少なくとも大きな暴力はなく、喧嘩は相変わらずでも、妻が夫の性格を少しは理解し、夫がいろいろな自分なりの工夫をしながら、強迫的な行動を押さえようとしているだけでも、この夫婦の場合、精一杯努力していると見なければならぬと思われる。

3-3 ケースC

C-1 相談経過

夫は45歳。会社員である。妻と二人の子どもがいるが、妻は夫が暴力をふるうので二人の子どもを連れて実家に戻り、最近、離婚を言い出した。夫は子どもがいることや、子どもの将来を考えると離婚に応じる気持ちにはなれないが、妻の意思は固いようである。夫の暴力が理由で妻が離婚を言い出しているの、やり直すためには暴力を振るわないなど、自分の性格を直すことが大事だと考え、夫が「DV被害者のための電話相談」に電話してきた。できれば、直接相談したいとのことで面接相談が始まった。

(1) 結婚生活の実情

夫婦は職場結婚で、妻は結婚退職をして主婦専業になった。その後、夫は海外転勤になり妻も同伴し、その間に長女が出生した。夫は仕事に追われ家事育児は妻任せであったが、夫婦仲はよかった。

2年後に帰国し、その後夫は転職した。転職先の会社で仕事のストレスからイライラするようになり、加えて、二人の子育てをしていた妻の清潔好きが高じて口うるさくなり、夫は家庭でもイライラするようになった。そのため、仕事や家庭のストレスを風俗店で解消するようになり、時々、風俗店に出入りするようになった。ある時それを妻にみつき、以来、妻は夫との性交渉を拒否するようになった。妻の清潔好きは「不潔恐怖症」となり、子どもに対しても口うるさくなった。妻は頻度の手洗いや家中の掃除、あるいは外出から帰宅した子どもや夫に玄関で服を脱がせ、掃除機で埃を払い、手足を洗わせたりするようになった。

そして、2年前の春、夫は妻と「不潔恐怖症」のことで口論し、平手で殴ったところ、妻は子どもを連れて実家に帰ってしまったので、夫の方が家を出ることで別居した。しかし、子どものことが心配になり、3ヵ月後に自宅に戻り同居した。その後も妻の「不潔恐怖症」はひどくなり、夫婦は家庭内別居状態になった。夫は妻の異常に気づき医師の受診を再々勧めるが、妻は「病気ではない」と拒否した。昨年の夏、夏休み中の子どもを連れて家族旅行をしたが、旅行中に夫婦喧嘩になり、妻は、また二人の子どもを連れて実家に帰り、離婚したいとやってきた。

(2) 夫の暴力と言い分

夫は、妻に直接暴力を振るったのは二回だけであるという。1回目は、最初の別居のときで、平手で顔を殴っている。2回目は、家族旅行中、旅館で喧嘩になり殴っている。また、言葉の暴力もあり、会社と家庭のストレスを妻にあたっていたという。夫の暴力の原因は、妻の極度の「不潔恐怖症」にあり、妻も自

分の態度を反省してほしいという。

(3) 夫婦の家庭環境

夫の両親は、父親は商売人、母親は元教師で、夫は一人っ子である。父親は横暴で母親に暴力を振るい、また、女性関係や金銭にもルーズで母親を泣かせていた。母親は感情を抑え、父親の横暴に我慢し耐えていた。夫婦仲も悪く、夫はそのような両親を見ていて、「将来、父親のようにはなりたくない」と思っていた。しかし、だんだん父親と同じ態度や言動をしている自分に気づき、愕然としたという。

妻は、二人姉妹の長女で、会社経営の父親と主婦専門の母親の裕福な家庭で大事に育てられている。夫には、妻が結婚後も親に依存し、親も何かにつけて口を出し、夫の親を馬鹿にしているように感じられている。

(4) 妻の言い分

夫は妻に「性格は直らない、特に暴力夫は直らない」と言われ、離婚を言い出された。夫は自分の性格を直し、妻とやり直したいため、妻にもいっしょに相談してほしいと希望し、妻に伝えたが反対されたという。その後、夫から相談担当者へ電話があり、夫が暴力のことで相談したことを言わずに妻に来室を勧めてほしいとの依頼により、担当者が妻に電話した。妻は「話し合いはもう遅い、また、家庭の問題を第三者に相談する気持ちはない」と言い、来室を拒否している。

C-2 考察

ホームページの告知だけによる期間限定の電話相談は、人数にすれば十人にも満たない相談者数であったが、ほとんどが妻から離婚を突きつけられてあわてたDV夫からの離婚回避相談であった。ケースCに限らず、「夫の気づき始めは、妻の我慢の限界」といわれる事例である。

ケースCでは、妻が相談に参加しない現時点では、夫婦カウンセリングとして進めることは難しい。今後の方向としては、次のような検討がされている。夫には、離婚回避から暴力の問題を含めた自分の成長という課題に、優先課題を変更する必要性を気づかせていく。妻の不安神経症的な症状の軽減のために必要な「対応のしかた」についても話題にしていく。妻には、しばらく時期をおいてから、協議離婚でない限り、第三者関与は避けられない離婚制度についての情報提供を行う。その上で、調停前の夫婦または個人カウンセリングの希望の有無を再度たずねてみる。

DVが世間での認知度を高めるに従い、夫側は暴力を止める必要性については多少の認識をもちはじめている。しかし、問題を「暴力行為」、「不倫」というように行為や表面的な現象に矮小化しているきらいがあり、妻の方も、「DV夫」というレッテル貼りをして、話し合いの道を閉ざしてしまうことがある。

DVにも、さまざまな程度内容があり、多くの妻は、「暴力行為」そのものだけではなく、人格の尊重、家族像の共有、分かりあうための話し合いができていないことなどに問題の根を感じている。ケースCのように「遅すぎる」結果にならないためには、夫が妻の求めていることに早く気づいて話し合いの土俵に上れるようにすることであろう。妻の方も、夫を刺激するだけに終わってしまう会話を、目的にかなった会話に改善していく余地は十分ある。コミュニケーションスキルの改善を目的とする教育的カウンセリングが有効なDV夫婦は、潜在的には相当数存在しているものと思われる。

四 考 察

配偶者に対する暴力（以下DVという）の被害者支援のためには、最近、不十分ながら法的整備をはじめ施策の一步前進をみることができた。これに対して、加害者と同定された主として男性を支援するための施策は、治療、教育等を含めいまだ遅々として進んでいない。調査者たちは、家族、家庭の問題に悩む人々の相談活動をおとして、日頃から、加罰主義にのみ偏り過ぎない男性支援の必要性を認識し、特に、支援のありかたにおける「女性と子どもが被害者で男性が加害者」というステレオタイプな構造認識を超えた、男性もまた子どもとして被害者であったという視点に立った支援施策の必要性を痛感していた。

そのような認識のもとに、このたび、男性加害者の支援のありかたについて、予防的観点をも含めた基礎的資料を得る目的で、結婚前の青年として男女高校生を対象にアンケート調査を実施した。調査内容は、家庭内暴力（DV）の発現の背景と考えられてきた、同性・異性観、家庭観に関する意識の調査及び暴力の被害経験の調査である。有効回答を得た875人について分析した。

4-1 第1部

調査結果はこれまでに詳述したとおりであるが、3部構成の第1部では、高校生のいづく同性像、異性像、自己像を分析し、現在の高校生の男女に関する価値観、感性、交友関係の内実等がある程明らかにすることができた。高校生たちは、一般論として、非攻撃的で、安心感があり、緊張関係の緩和剂的効果の期待できるような、優しく、明るく、面白い人柄に価値を置き、周囲の伝統的、守旧的な男女観に同調しながら自己の存在の不安を防衛している。同時に、個別的には、男子が優しさを女子がしっかりしていることなどを自己価値としてバランスのよい人格への成長欲求ももち、伝統的価値観を超えて自己の感覚、価値観に正直に生きようとする姿勢も示している。本音と建前、期待と現実のずれ、矛盾しあった周囲の要求に悩み、傷つきながら、ダブルバインドを生き抜いている状況をそこにみることができる。

他方、一般的傾向として、男子には、独自性、自主性を希求する自己主張的な傾向特性が、女子には、受容、共感を求め対人関係に敏感で、他者依存的な傾向特性が見出された。男女それぞれが、自己の性向に無自覚で未熟なままであれば、男子は独善性、自己中心性として他者侵害を、女子は自己無価値的な被支配関係を生じさせる可能性を潜在させているといえる。

子に対する親の期待からみえる男女像は、用語としては多用されないまでも、いわゆる「男らしさ」、「女らしさ」の範疇にはいるものである。加えて、男子には、有能や意欲が、女子には人格的期待よりも役に立つ使用価値が求められている。男子が競争的、対立的な友達関係に追い込まれ、女子が人格よりも外

見を重視する思考に陥っていることと親の期待が無関係とは思われない。

4-2 第2部

第2部では、高校生自身と高校生の目に映じた両親の、男女の家族役割、家族内男女平等についての意識を、観念的レベルと具体的、実態的レベルにおいて分析し、男女の意識の違い、意識と実態の乖離、男性の暴力容認傾向等が明らかになった。

男女の意識の違いでは、極論的な言い方をすれば、「家族の中の母親ひとりのフェミニズム」を男子高校生が一番強く感じ取っているという構図になる。高校生は男女ともに、巷間に言われるほどには妻・母の家庭内での力はないとみており、母の意見は現状への異議申し立てと理解される。娘は他の家族より母に同調的、共感的であるが、母親の不満を最もよく知る男子が将来妻に向けて暴力を振るうことになるのであれば、それは、自らの被害体験の影響はもとより、第1部で明らかになった男子の女性観、すなわち人格を軽視した「外見（可愛い）優先」の女性観や、娘を人格より「（役に立つ）使用価値」で評価する、自らも女性である母親の子ども観の影響を首肯させる。

男女平等や家事分担は、本音と建前がかなり明瞭にわかれる。観念的には9割が賛成する場合でも、本音となると、男性は7割、5割になり、女性と逆のベクトルで変化することも少なくない。男子高校生は、父親ほどではないと思っているが、母親より父親の傾向に近似している。

暴力容認の傾向は、妻・母に対してはきわめて否定的である。しかし、数十人の単位で、賛成している男女の高校生が存在している。現実には被害を受けている妻・母の存在を推測せられる。さらに、権威や正義を守るという正当化が行われると、観念的否定論は現実的肯定論に変化する。男子の父子は半数が賛成にまわり、女子の親子でも、3割がやむなしとする。権威や正義が主観的に判断され、それを守るための暴力が振るわれる可能性が示されている。

子どもに対しての暴力は女子の7割は反対するが、他は賛否半ばで男子高校生の賛成がその父親を上回って一番多い。問2、問10にみられるように、子どもが父母の権威や力を認めていない家庭で、子ども自身が認めている暴力をもって、しつけや教育が行われる可能性はきわめて高い。

4-3 第3部

第3部では、高校生が生育過程で実際に経験した暴力被害について、暴力の内容、加害者、被害の時期、そして、被害者としての意識、感情を分析した。

暴力の概念規定がないままの調査であったが、第2部で9割が「ことばも一種の暴力」としているのも、回答者には違和感がなく、9割の回答を得ている。

暴力の内容では、第1部の男女の傾向特性に対応するような男女差が出ている。男子は、自己の独自性、主体性を侵害するような言動の支配性、強要性に

反応し、女子は受容、共感の不充足に反応している。

身体的暴力は、男女とも半数以上が被害経験をもち、女子の方が多い。しかし、暴力の被害は、量的、質的に最多、最悪の経験とはされていない。むしろ、自己批判的に、受忍、肯定する傾向すらみられる。このような事実をもってすれば、被害が加害として再生産される構図の存在は否定できない。身体的暴力には、量的に女子が多いだけでなく、男女に質的相違がみられる。女子は、男子より多くたたかれ、物に当たられ、出て行けと言って家に入れてもらえず、性的に不快な体験をし、挙句の果てに、女子の10人に一人は母親から「産まなければよかった。生まれなければよかった」と存在を否定されている。出生否定の発言は、存在の抹殺という意味で、身体的暴力でもあると考えるが、男女高校生が数多くの被害経験の中で最悪の経験として記憶している。

加害者の筆頭に立つのは母親であり、父母で加害者の6割以上を占める。被害の時期は、中学生期がピークであるが、幼児期以来、被害を受け続けている回答者もある。女子は高校生になってもたたかれ続けており、男子のような減少をみせない。女子にとって、家庭は、決して安全でも居心地のよい場所でもない。現に、スクールカウンセラーの現場からは、性的被害だけでなく、女子生徒の身体的暴力被害の事例は後を絶たないと聞いている。最近、調査者の知るところでも、女子高校生が自ら婦人相談所に家出した事例がある。

男女高校生にとって、同性の友達関係もまた、危険で緊張の高い関係である。同性の友達からの被害が家庭外では最も高く、1~1.5割は同性の友達からの被害である。同性の友達との関係を防衛的に安全に維持するためには、ピエロ的に「面白い」人柄が歓迎される理由がよくわかる。

被害者は、くやしい、仕返しをしたいと思っている。その感情を乗り越えて強くなれた、人に優しくなれた者もいる。しかし、死んでくれてうれしい、殺したい、大人になりたい、人間不信になった、自分の人格が変わったなどの記述があり、被害事実への心理的否認も行われている。被害経験は予想以上に被害者の人格荒廃をもたらしていることが明らかになった。

4-4 相談事例

今回報告した夫婦カウンセリングの事例の夫たちは、世間で取り沙汰されているような、極度に危険な暴力を振るう夫ではない。しかし、軽度な暴力行為であっても、問題への対処方法としてすでに習慣化するまでの長い年月を経過している事例を含んでいる。相談経過にあるように、成人後、結婚後になってから、その行動パターンを修正するには、たいへんな努力とエネルギーがいる。電話相談の事例では、加害者の夫がその気になったとき、妻は精神状態が低下し、もう遅いといって、修復の話し合いの土俵に乗れなくなっている。それでも、この程度の暴力ならば、個別面接や夫婦のコミュニケーション能力を高め

る訓練によって暴力も夫婦関係も改善の方向に向かう可能性はある。加罰によって暴力が根絶するものでもないことを思えば、今後、さまざまな治療的、教育的援助の道が探られることが必要であろう。

五 まとめと提言

5-1 まとめ

アンケート調査は、高校生から将来夫となったときの暴力を振るう素地としての意識を探り、それを予防的措置に生かすための基礎的資料にすることが目的であった。得られた調査結果は、高校生の現状がすでに将来的素地の段階ではなく、親からは被害を受け、友人に対しては加害・被害をともに経験し、彼らが暴力とともに生活していることを明らかにすることとなった。

従来から指摘されてきた加害者・被害者意識の特徴は、高校生においても、絵に描いたようにみごとに描き出された。①人間観における人格軽視の男子の女性観、②未熟であれば独善的な加害者心性にもなりうる、男子の自己主張的傾向と独自性、自主性に対する侵害への敏感な反応、③自己無価値的な被害者の心性ともいえる女子の依存・受動的傾向と受容・共感拒否への受傷感、そして、④観念と実態の乖離した男女平等の家庭観、家族の役割意識などである。

親から多くの身体的暴力をこうむりながら、その被害を自己批判的に受け止め、男子高校生の半数に暴力を容認する傾向が認められたことは、親の暴力の模倣的学習以上に、暴力の再生産構造を支える危険性として注目された。

また、被害者の心理として、PTSD的な状態はあまり明らかにできなかったが、予想以上に精神的荒廃を体験していることは明らかになった。女子の被害が多い母親による出生否定（10人に1人）が、数が予想以上に多かったのみならず、性的被害とともに他のあらゆる被害体験にもまして、男女の被害者に大きなダメージを与えていることもわかった。今後の親教育の中で配慮される必要があろう。

回答者のメンタルヘルスへの配慮から加えた「よい経験」への質問には、被害経験を上回る比率で多くのよい体験が挙げられた。よい経験だけを回答した者も少なからずあり、調査者は救われる思いを抱いた。同時に、良否両経験の多数列举は、振幅のある気分や感情まかせの親の養育態度を疑わせ、生育過程での長期の被害経験者や被害だけの列举者の存在は、被害の偏在として、さらに詳細な分析を行う必要を感じさせる。両極的に経験の違う男女の結婚生活が、相談事例のケースCのように、将来摩擦を起こすことは容易に予測できるからである。

まとめの最後に、男女高校生の新たな感性について触れたい。高校生たちは、外に向かっては世間知に同調しつつも、内に向かっては、男子は「優しさ」、女子は「しっかりしている」ことを肯定的な自己像と感じている。ともに、旧来の固定的男女観からすると、異性の側が求められていた資質である。高校生たちの中に育ちつつある、両性具有的な人格への成長欲求とみることができるが、

そのために、彼らはダブルバインドの生活を余儀なくされている。友人関係では、「面白い」人柄に価値がおかれている。ピエロのような資質が必要なほど、友人関係は自己開示の難しい、緊張に満ちた関係になっているようである。

5-2 提言

A 人権教育

最も基本的な課題である人権意識の徹底が、改めて痛感させられる。相手の正当な権利を認め、暴力のない相互尊重的な人間関係を築くためには、それにふさわしい人間観が前提になければならない。風貌、外見重視の男子高校生の女性観は、決してそれにふさわしいとはいえない。

また、自分の権利の正当性を自覚し、それを適切な表現で主張できることも、相互尊重的な関係維持には不可欠である。しかし、信頼とか尊敬とはいささか距離のある「面白い」という表面的、防衛的な関係しか結べない男子高校生自身の人間観も、決してそれにふさわしいとはいえない。

いずれも、軌道修正が必要である。観念的理解と実践的場面での意識や行動のずれも、暴力に対する認識の甘さの現われとして修正が必要である。

したがって、これらを修正する教育は、被害者の痛みが実感できるような具体的、実践的プログラムでなければならない。例えば、児童虐待防止教育のプログラムCAPのような具体的なレベルにおいて、男女平等、暴力防止の人権教育プログラムが用意される必要がある。

学校教育は、DVを含めた人権教育を各教科に散在させるのではなく、家庭科、保健などの一部にしっかりと位置づけて、見えるかたちで教育を行って欲しい。

B 情報提供

女子高校生が自ら家出して婦人相談所を訪ねた事例について触れた。女子高校生がそこに助けを求めることができたのは、婦人相談所の存在や機能についての情報がそこまで届いていたからである。

加害者のための情報は現在のところ、量的にも質的にもきわめて限られているが、先進的な海外の取り組みや加害者教育プログラムの紹介も続いており、日本での取り組みも拡大していくことは間違いない。今回の調査研究のために期間限定で開設したアンテナ的な電話相談に対しても、一定量の反応があり、教育的夫婦カウンセリングによる関係改善可能な対象群の存在がみえてきた。

加害者が、必要な情報を時期を逸しないで得られるように、関係者間に迅速、適切な情報提供のためのネットワークが構築されることを期待する。情報提供を目的とするNPOがつくられてもよい。

C 法的整備

被害者救援のための法整備もいまだ十分とはいえない段階ではあるが、米国のDV加害者教育の普及は、加害者に対する義務的命令を定めた法律の存在に負うところが大きい。DV防止法の改正の機会には、加害者への義務的教育規定が盛られることを切望する。法律の存在は、それ自体が適用されて機能することを第一義とするが、その存在が民間機関で任意のDVカウンセリングを受ける者への動機付けを強める一種の波及効果を生むはずであり、その効果もまた重要であると認識しているからである。

D 個別的、治療・教育的支援

本調査研究のための電話相談は、調査者に、ケースAのような夫婦カウンセリングの対象群の存在とカウンセリングの可能性を再認識させた。すなわち、一口にDVといっても、その程度内容は実にさまざまであり、夫婦喧嘩の域を出ない程度の夫婦は、コミュニケーションの訓練教育により、いわゆるDVケースへの移行を未然に防止することができる。しかも、ケースA程度の問題を抱えた夫婦が数としては一番多いのではないかという認識である。海外から紹介されたプログラムでも、コミュニケーショントレーニングが中心に置かれているようであるし、夫婦で行うことは、被害者支援と一体で進められる加害者支援である。今後の法的整備を期待しながら、公私の相談機関が、加害者の個人ワークだけでなく、DVをテーマとした夫婦カウンセリングにも、さまざまな取り組みを進めることを望みたい。

E 地域的、集団的支援

世代間伝達によるといわれる暴力の防止のために、子どもの被害防止は急務である。しかし、本調査の結果でも明らかなように、子どもの被害は予想以上に多い。家庭教育など、生涯学習場面では、これまでも教育的取り組みが続けられてきたが、最も深刻な問題は、むしろ生涯学習場面に参加しない家庭層にある。親教育には、限界があり、子育てを親に任せることは危険ですらある。

今後の取り組みは、親・家庭教育から、地域集団的サポートに比重を移す必要がある。保健所、児童相談所、子ども家庭支援センター、保育所、幼稚園、学校、学童クラブ、児童館など、子どもに関わる機関のチームサポートが重要になってくる。これらの機関の機能の充実と、相互のネットワークの強化が望まれる。

資 料

アンケート集計結果表

第1問1の(1)全校集計

(男子)

女の子に好かれる女の子はどんな子だと思いますか

3択回答 第1順位 3点 第2順位 2点 第3順位 1点

表1-1-1

群	選択肢	気がつく	家庭的	優しい	心が広い	素直	明るい	落ち着いている	面白い	活発	スポーツ得意	てきぱきしている	おしゃれ	可愛い	責任感がある	頼りになる	意志が強い	自己主張できる	勇敢	たくましい	その他	NA	合計
A	合計点	20	8	58	29	28	59	3	35	6	2	1	6	6	5	16	1	4	2	3	2	0	294
	構成比(%)	6.8	2.7	19.7	9.9	9.5	20.1	1.0	11.9	2.0	0.7	0.3	2.0	2.0	1.7	5.4	0.3	1.4	0.7	1.0	0.7	0.0	100.0
	選択数/人数	7	3	23	13	13	29	2	20	4	2	1	5	5	3	10	1	2	1	1	2	0	147
	49	14.3	6.1	46.9	26.5	26.5	59.2	4.1	40.8	8.2	4.1	2.0	10.2	10.2	6.1	20.4	2.0	4.1	2.0	2.0	4.1	0.0	
B	合計点	49	15	94	85	25	110	10	97	21	1	1	18	20	18	22	1	5	0	0	2	6	600
	構成比(%)	8.2	2.5	15.7	14.2	4.2	18.3	1.7	16.2	3.5	0.2	0.2	3.0	3.3	3.0	3.7	0.2	0.8	0.0	0.0	0.3	1.0	100.0
	選択数/人数	18	6	39	38	13	60	4	50	13	1	1	11	11	9	15	1	4	0	0	2	4	300
	100	18.0	6.0	39.0	38.0	13.0	60.0	4.0	50.0	13.0	1.0	1.0	11.0	11.0	9.0	15.0	1.0	4.0	0.0	0.0	2.0	4.0	
C	合計点	25	5	60	40	26	43	0	28	16	0	0	14	11	6	9	0	4	0	0	0	19	306
	構成比(%)	8.2	1.6	19.6	13.1	8.5	14.1	0.0	9.2	5.2	0.0	0.0	4.6	3.6	2.0	2.9	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0	6.2	100.0
	選択数/人数	9	2	26	18	14	24	0	14	11	0	0	7	7	3	5	0	3	0	0	0	10	153
	51	17.6	3.9	51.0	35.3	27.5	47.1	0.0	27.5	21.6	0.0	0.0	13.7	13.7	5.9	9.8	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0	19.6	
D	合計点	12	0	48	37	21	51	4	50	21	6	3	14	4	3	6	2	5	1	4	1	1	294
	構成比(%)	4.1	0.0	16.3	12.6	7.1	17.3	1.4	17.0	7.1	2.0	1.0	4.8	1.4	1.0	2.0	0.7	1.7	0.3	1.4	0.3	0.3	100.0
	選択数/人数	4	0	20	16	10	21	3	26	13	3	2	8	2	2	6	2	3	1	3	1	1	147
	49	8.2	0.0	40.8	32.7	20.4	42.9	6.1	53.1	26.5	6.1	4.1	16.3	4.1	4.1	12.2	4.1	6.1	2.0	6.1	2.0	2.0	
E	合計点	30	5	46	37	17	69	6	46	18	6	1	17	11	5	15	1	5	0	1	3	21	360
	構成比(%)	8.3	1.4	12.8	10.3	4.7	19.2	1.7	12.8	5.0	1.7	0.3	4.7	3.1	1.4	4.2	0.3	1.4	0.0	0.3	0.8	5.8	100.0
	選択数/人数	11	2	20	18	9	33	2	24	11	3	1	10	8	2	10	1	2	0	1	1	11	180
	60	18.3	3.3	33.3	30.0	15.0	55.0	3.3	40.0	18.3	5.0	1.7	16.7	13.3	3.3	16.7	1.7	3.3	0.0	1.7	1.7	18.3	
F	合計点	14	7	42	25	23	51	0	24	12	0	5	4	4	0	5	4	1	1	0	3	69	294
	構成比(%)	4.8	2.4	14.3	8.5	7.8	17.3	0.0	8.2	4.1	0.0	1.7	1.4	1.4	0.0	1.7	1.4	0.3	0.3	0.0	1.0	23.5	100.0
	選択数/人数	5	3	17	12	11	26	0	15	7	0	3	2	2	0	3	2	1	1	0	2	35	147
	49	10.2	6.1	34.7	24.5	22.4	53.1	0.0	30.6	14.3	0.0	6.1	4.1	4.1	0.0	6.1	4.1	2.0	2.0	0.0	4.1	71.4	
全体	合計点	150	40	348	253	140	383	23	280	94	15	11	73	56	37	73	9	24	4	8	11	116	2148
	構成比(%)	7.0	1.9	16.2	11.8	6.5	17.8	1.1	13.0	4.4	0.7	0.5	3.4	2.6	1.7	3.4	0.4	1.1	0.2	0.4	0.5	5.4	100.0
	選択数/人数	54	16	145	115	70	193	11	149	59	9	8	43	35	19	49	7	15	3	5	8	61	1074
	358	15.1	4.5	40.5	32.1	19.6	53.9	3.1	41.6	16.5	2.5	2.2	12.0	9.8	5.3	13.7	2.0	4.2	0.8	1.4	2.2	17.0	

第1問1の(1)全校集計 (女子)

女の子に好かれる女の子はどんな子だと思いますか

3択回答 第1順位 3点 第2順位 2点 第3順位 1点

表1-1-2

群	選択肢	気がつく	家庭的	優しい	心が広い	素直	明るい	落ち着いている	面白い	活発	スポーツ得意	てきぱきしている	おしゃれ	可愛い	責任感がある	頼りになる	意志が強い	自己主張できる	勇敢	たくましい	その他	NA	合計
A	合計点	48	2	114	51	39	116	2	102	18	11	7	3	16	9	29	1	2	1	3	2	0	576
	構成比(%)	8.3	0.3	19.8	8.9	6.8	20.1	0.3	17.7	3.1	1.9	1.2	0.5	2.8	1.6	5.0	0.2	0.3	0.2	0.5	0.3	0.0	100.0
	選択数/人数	19	1	48	24	21	55	2	56	11	5	3	3	8	5	18	1	2	1	3	2	0	288
		96	19.8	1.0	50.0	25.0	21.9	57.3	2.1	58.3	11.5	5.2	3.1	8.3	5.2	18.8	1.0	2.1	1.0	3.1	2.1	0.0	
B	合計点	38	5	116	60	29	84	2	78	22	3	0	14	18	3	22	2	13	1	0	0	0	510
	構成比(%)	7.5	1.0	22.7	11.8	5.7	16.5	0.4	15.3	4.3	0.6	0.0	2.7	3.5	0.6	4.3	0.4	2.5	0.2	0.0	0.0	0.0	100.0
	選択数/人数	14	2	49	26	14	45	1	39	15	2	0	9	11	2	15	2	8	1	0	0	0	255
		85	16.5	2.4	57.6	30.6	16.5	52.9	1.2	45.9	17.6	2.4	0.0	10.6	12.9	2.4	17.6	2.4	9.4	1.2	0.0	0.0	0.0
C	合計点	33	0	61	30	22	59	1	51	13	3	8	12	6	9	23	1	0	2	1	0	1	336
	構成比(%)	9.8	0.0	18.2	8.9	6.5	17.6	0.3	15.2	3.9	0.9	2.4	3.6	1.8	2.7	6.8	0.3	0.0	0.6	0.3	0.0	0.3	100.0
	選択数/人数	12	0	25	13	11	30	1	26	8	2	3	7	3	7	16	1	0	1	1	0	1	168
		56	21.4	0.0	44.6	23.2	19.6	53.6	1.8	46.4	14.3	3.6	5.4	12.5	5.4	12.5	28.6	1.8	0.0	1.8	1.8	0.0	1.8
D	合計点	24	0	55	28	26	42	4	40	14	2	2	5	5	8	13	8	1	2	2	1	0	282
	構成比(%)	8.5	0.0	19.5	9.9	9.2	14.9	1.4	14.2	5.0	0.7	0.7	1.8	1.8	2.8	4.6	2.8	0.4	0.7	0.7	0.4	0.0	100.0
	選択数/人数	8	0	23	12	12	21	2	21	8	2	1	4	3	5	10	5	1	1	1	1	0	141
		47	17.0	0.0	48.9	25.5	25.5	44.7	4.3	44.7	17.0	4.3	2.1	8.5	6.4	10.6	21.3	10.6	2.1	2.1	2.1	2.1	0.0
E	合計点	35	10	69	46	30	87	8	91	11	3	10	19	15	7	35	10	8	0	1	0	3	498
	構成比(%)	7.0	2.0	13.9	9.2	6.0	17.5	1.6	18.3	2.2	0.6	2.0	3.8	3.0	1.4	7.0	2.0	1.6	0.0	0.2	0.0	0.6	100.0
	選択数/人数	16	4	31	21	14	42	4	42	9	1	5	13	6	6	20	6	6	0	1	0	2	249
		83	19.3	4.8	37.3	25.3	16.9	50.6	4.8	50.6	10.8	1.2	6.0	15.7	7.2	7.2	24.1	7.2	7.2	0.0	1.2	0.0	2.4
F	合計点	76	0	122	88	40	148	1	120	27	0	1	23	25	2	26	10	5	2	4	0	0	720
	構成比(%)	10.6	0.0	16.9	12.2	5.6	20.6	0.1	16.7	3.8	0.0	0.1	3.2	3.5	0.3	3.6	1.4	0.7	0.3	0.6	0.0	0.0	100.0
	選択数/人数	27	0	55	40	20	73	1	69	14	0	1	14	14	2	19	5	3	1	2	0	0	360
		120	22.5	0.0	45.8	33.3	16.7	60.8	0.8	57.5	11.7	0.0	0.8	11.7	11.7	1.7	15.8	4.2	2.5	0.8	1.7	0.0	0.0
全体	合計点	254	17	537	303	186	536	18	482	105	22	28	76	85	38	148	32	29	8	11	3	4	2922
	構成比(%)	8.7	0.6	18.4	10.4	6.4	18.3	0.6	16.5	3.6	0.8	1.0	2.6	2.9	1.3	5.1	1.1	1.0	0.3	0.4	0.1	0.1	100.0
	選択数/人数	96	7	231	136	92	266	11	253	65	12	13	50	45	27	98	20	20	5	8	3	3	1461
		487	19.7	1.4	47.4	27.9	18.9	54.6	2.3	52.0	13.3	2.5	2.7	10.3	9.2	5.5	20.1	4.1	4.1	1.0	1.6	0.6	0.6

第1問1の(2)全校集計

(男子)

男の子に好かれる男の子は、どんな子だと思いますか

3択回答 第1順位 3点 第2順位 2点 第3順位1点

表1-2-1

群	選択肢	気がつく	家庭的	優しい	心が広い	素直	明るい	落ち着いている	面白い	活発	スポーツ得意	てきぱきしている	おしゃれ	可愛い	責任感がある	頼りになる	意志が強い	自己主張できる	勇敢	たくましい	その他	NA	合計
A	合計点	0	0	28	37	3	60	2	74	8	11	2	2	0	14	27	14	2	5	3	2	0	294
	構成比(%)	0.0	0.0	9.5	12.6	1.0	20.4	0.7	25.2	2.7	3.7	0.7	0.7	0.0	4.8	9.2	4.8	0.7	1.7	1.0	0.7	0.0	100.0
	選択数/人数	0	0	10	15	2	28	1	35	4	7	1	1	0	7	17	9	2	5	1	2	0	147
	49	0.0	0.0	20.4	30.6	4.1	57.1	2.0	71.4	8.2	14.3	2.0	2.0	0.0	14.3	34.7	18.4	4.1	10.2	2.0	4.1	0.0	
B	合計点	10	1	30	79	16	72	5	164	23	39	9	1	0	37	37	22	15	19	16	2	3	600
	構成比(%)	1.7	0.2	5.0	13.2	2.7	12.0	0.8	27.3	3.8	6.5	1.5	0.2	0.0	6.2	6.2	3.7	2.5	3.2	2.7	0.3	0.5	100.0
	選択数/人数	4	1	14	35	7	34	3	71	16	20	5	1	0	18	26	12	10	10	9	2	2	300
	100	4.0	1.0	14.0	35.0	7.0	34.0	3.0	71.0	16.0	20.0	5.0	1.0	0.0	18.0	26.0	12.0	10.0	10.0	9.0	2.0	2.0	
C	合計点	8	0	28	22	3	46	3	89	20	11	1	4	0	8	20	13	13	3	4	4	6	306
	構成比(%)	2.6	0.0	9.2	7.2	1.0	15.0	1.0	29.1	6.5	3.6	0.3	1.3	0.0	2.6	6.5	4.2	4.2	1.0	1.3	1.3	2.0	100.0
	選択数/人数	3	0	11	11	2	20	1	38	12	7	1	3	0	4	14	8	10	1	2	2	3	153
	51	5.9	0.0	21.6	21.6	3.9	39.2	2.0	74.5	23.5	13.7	2.0	5.9	0.0	7.8	27.5	15.7	19.6	2.0	3.9	3.9	5.9	
D	合計点	11	0	17	38	4	55	1	77	20	22	2	5	0	11	10	6	4	4	5	1	1	294
	構成比(%)	3.7	0.0	5.8	12.9	1.4	18.7	0.3	26.2	6.8	7.5	0.7	1.7	0.0	3.7	3.4	2.0	1.4	1.4	1.7	0.3	0.3	100.0
	選択数/人数	5	0	8	16	2	23	1	35	10	11	1	3	0	8	8	4	3	4	3	1	1	147
	49	10.2	0.0	16.3	32.7	4.1	46.9	2.0	71.4	20.4	22.4	2.0	6.1	0.0	16.3	16.3	8.2	6.1	8.2	6.1	2.0	2.0	
E	合計点	10	0	11	40	4	44	4	86	35	37	4	0	3	9	18	12	13	9	11	3	7	360
	構成比(%)	2.8	0.0	3.1	11.1	1.1	12.2	1.1	23.9	9.7	10.3	1.1	0.0	0.8	2.5	5.0	3.3	3.6	2.5	3.1	0.8	1.9	100.0
	選択人数/人数	4	0	5	19	2	20	2	39	18	16	2	0	1	5	11	6	10	7	7	2	4	180
	60	6.7	0.0	8.3	31.7	3.3	33.3	3.3	65.0	30.0	26.7	3.3	0.0	1.7	8.3	18.3	10.0	16.7	11.7	11.7	3.3	6.7	
F	合計点	4	3	22	24	5	40	6	69	14	18	3	0	0	10	24	17	9	8	2	6	10	294
	構成比(%)	1.4	1.0	7.5	8.2	1.7	13.6	2.0	23.5	4.8	6.1	1.0	0.0	0.0	3.4	8.2	5.8	3.1	2.7	0.7	2.0	3.4	100.0
	選択数/人数	3	1	8	11	3	18	2	31	7	9	1	0	0	7	15	10	5	4	2	5	5	147
	49	6.1	2.0	16.3	22.4	6.1	36.7	4.1	63.3	14.3	18.4	2.0	0.0	0.0	14.3	30.6	20.4	10.2	8.2	4.1	10.2	10.2	
全体	合計点	43	4	136	240	35	317	21	559	120	138	21	12	3	89	136	84	56	48	41	18	27	2148
	構成比(%)	2.0	0.2	6.3	11.2	1.6	14.8	1.0	26.0	5.6	6.4	1.0	0.6	0.1	4.1	6.3	3.9	2.6	2.2	1.9	0.8	1.3	100.0
	選択人数/人数	19	2	56	107	18	143	10	249	67	70	11	8	1	49	91	49	40	31	24	14	15	1074
	358	5.3	0.6	15.6	29.9	5.0	39.9	2.8	69.6	18.7	19.6	3.1	2.2	0.3	13.7	25.4	13.7	11.2	8.7	6.7	3.9	4.2	

第1問1の(2)全校集計 (女子)

男の子に好かれる男の子は、どんな子だと思いますか

3択回答 第1順位 3点 第2順位 2点 第3順位 1点

表1-2-2

群	選択肢	気がつく	家庭的	優しい	心が広い	素直	明るい	落ち着いてい	面白い	活発	スポーツで得意	てきぱきしている	おしゃれ	可愛い	責任感がある	頼りになる	意志が強い	自己主張できる	勇敢	たくましい	その他	NA	合計
A	合計点	9	1	28	39	10	102	0	156	41	56	0	2	4	26	34	13	17	16	8	1	13	576
	構成比(%)	1.6	0.2	4.9	6.8	1.7	17.7	0.0	27.1	7.1	9.7	0.0	0.3	0.7	4.5	5.9	2.3	3.0	2.8	1.4	0.2	2.3	100.0
	選択数/人数	3	1	13	16	5	49	0	70	23	28	0	2	3	14	20	9	10	9	5	1	7	288
	96	3.1	1.0	13.5	16.7	5.2	51.0	0.0	72.9	24.0	29.2	0.0	2.1	3.1	14.6	20.8	9.4	10.4	9.4	5.2	1.0	7.3	
B	合計点	3	0	17	25	7	70	6	152	26	52	2	2	0	21	26	24	21	17	19	0	20	510
	構成比(%)	0.6	0.0	3.3	4.9	1.4	13.7	1.2	29.8	5.1	10.2	0.4	0.4	0.0	4.1	5.1	4.7	4.1	3.3	3.7	0.0	3.9	100.0
	選択数/人数	1	0	8	13	3	32	2	63	17	25	1	2	0	11	16	12	12	12	14	0	11	255
	85	1.2	0.0	9.4	15.3	3.5	37.6	2.4	74.1	20.0	29.4	1.2	2.4	0.0	12.9	18.8	14.1	14.1	14.1	16.5	0.0	12.9	
C	合計点	12	0	17	16	4	51	0	99	29	19	7	2	0	8	18	15	10	8	3	3	15	336
	構成比(%)	3.6	0.0	5.1	4.8	1.2	15.2	0.0	29.5	8.6	5.7	2.1	0.6	0.0	2.4	5.4	4.5	3.0	2.4	0.9	0.9	4.5	100.0
	選択数/人数	5	0	7	8	2	24	0	41	17	10	4	2	0	4	12	8	7	5	3	1	8	168
	56	8.9	0.0	12.5	14.3	3.6	42.9	0.0	73.2	30.4	17.9	7.1	3.6	0.0	7.1	21.4	14.3	12.5	8.9	5.4	1.8	14.3	
D	合計点	5	0	12	23	6	31	2	62	15	30	2	4	0	19	14	11	9	10	13	2	12	282
	構成比(%)	1.8	0.0	4.3	8.2	2.1	11.0	0.7	22.0	5.3	10.6	0.7	1.4	0.0	6.7	5.0	3.9	3.2	3.5	4.6	0.7	4.3	100.0
	選択数/人数	2	0	7	10	2	16	1	25	8	13	1	4	0	11	5	9	6	6	7	2	6	141
	56	3.6	0.0	12.5	17.9	3.6	28.6	1.8	44.6	14.3	23.2	1.8	7.1	0.0	19.6	8.9	16.1	10.7	10.7	12.5	3.6	10.7	
E	合計点	4	0	7	31	3	40	0	110	51	38	1	3	2	26	32	33	24	13	23	6	51	498
	構成比(%)	0.8	0.0	1.4	6.2	0.6	8.0	0.0	22.1	10.2	7.6	0.2	0.6	0.4	5.2	6.4	6.6	4.8	2.6	4.6	1.2	10.2	100.0
	選択人数/人数	2	0	3	14	2	19	0	45	26	16	1	3	1	14	18	16	14	11	15	3	26	249
	83	2.4	0.0	3.6	16.9	2.4	22.9	0.0	54.2	31.3	19.3	1.2	3.6	1.2	16.9	21.7	19.3	16.9	13.3	18.1	3.6	31.3	
F	合計点	7	0	19	34	4	62	2	132	40	47	2	9	2	30	35	37	27	18	31	2	180	720
	構成比(%)	1.0	0.0	2.6	4.7	0.6	8.6	0.3	18.3	5.6	6.5	0.3	1.3	0.3	4.2	4.9	5.1	3.8	2.5	4.3	0.3	25.0	100.0
	選択人数/人数	3	0	7	15	2	28	1	59	22	19	2	6	1	14	21	19	17	13	20	1	90	360
	120	2.5	0.0	5.8	12.5	1.7	23.3	0.8	49.2	18.3	15.8	1.7	5.0	0.8	11.7	17.5	15.8	14.2	10.8	16.7	0.8	75.0	
全体	合計点	40	1	100	168	34	356	10	711	202	242	14	22	8	130	159	133	108	82	97	14	291	2922
	構成比(%)	1.4	0.0	3.4	5.7	1.2	12.2	0.3	24.3	6.9	8.3	0.5	0.8	0.3	4.4	5.4	4.6	3.7	2.8	3.3	0.5	10.0	100.0
	選択数/人数	16	1	45	76	16	168	4	303	113	111	9	19	5	68	92	73	66	56	64	8	148	1461
	496	3.2	0.2	9.1	15.3	3.2	33.9	0.8	61.1	22.8	22.4	1.8	3.8	1.0	13.7	18.5	14.7	13.3	11.3	12.9	1.6	29.8	

第1問1の(3)全校集計

(男子)

女の子に好かれるのは、どんな男の子だと思いますか

3択回答 第1順位 3点 第2順位 2点 第3順位 1点

表1-3-1

群	選択肢	気がつく	家庭的	優しい	心が広い	素直	明るい	落ち着いてい	面白い	活発	スポーツ得意	てきぱきしている	おしゃれ	可愛い	責任感がある	頼りになる	意志が強い	自己主張できる	勇敢	たくましい	その他	NA	合計
A	合計点	12	3	68	9	0	30	0	37	13	29	2	9	0	14	37	16	2	4	9	0	0	294
	構成比(%)	4.1	1.0	23.1	3.1	0.0	10.2	0.0	12.6	4.4	9.9	0.7	3.1	0.0	4.8	12.6	5.4	0.7	1.4	3.1	0.0	0.0	100.0
	選択数/人数	4	2	26	5	0	16	0	19	5	15	1	5	0	8	21	8	2	3	7	0	0	147
	49	8.2	4.1	53.1	10.2	0.0	32.7	0.0	38.8	10.2	30.6	2.0	10.2	0.0	16.3	42.9	16.3	4.1	6.1	14.3	0.0	0.0	
B	合計点	11	4	104	31	10	50	16	105	5	59	4	19	1	25	74	14	18	18	20	2	10	600
	構成比(%)	1.8	0.7	17.3	5.2	1.7	8.3	2.7	17.5	0.8	9.8	0.7	3.2	0.2	4.2	12.3	2.3	3.0	3.0	3.3	0.3	1.7	100.0
	選択数/人数	5	2	42	13	6	23	7	51	4	28	2	10	1	13	41	9	10	12	13	2	6	300
	100	5.0	2.0	42.0	13.0	6.0	23.0	7.0	51.0	4.0	28.0	2.0	10.0	1.0	13.0	41.0	9.0	10.0	12.0	13.0	2.0	6.0	
C	合計点	9	6	63	12	0	18	2	38	6	33	0	11	4	16	40	9	10	5	6	0	18	306
	構成比(%)	2.9	2.0	20.6	3.9	0.0	5.9	0.7	12.4	2.0	10.8	0.0	3.6	1.3	5.2	13.1	2.9	3.3	1.6	2.0	0.0	5.9	
	選択数/人数	5	2	27	7	0	7	1	18	3	14	0	4	2	9	25	7	6	3	4	0	9	153
	51	9.8	3.9	52.9	13.7	0.0	13.7	2.0	35.3	5.9	27.5	0.0	7.8	3.9	17.6	49.0	13.7	11.8	5.9	7.8	0.0	17.6	
D	合計点	12	0	53	16	2	32	0	50	2	38	0	12	0	14	29	8	6	3	16	1	0	294
	構成比(%)	4.1	0.0	18.0	5.4	0.7	10.9	0.0	17.0	0.7	12.9	0.0	4.1	0.0	4.8	9.9	2.7	2.0	1.0	5.4	0.3	0.0	100.0
	選択数/人数	4	0	22	8	1	16	0	24	2	16	0	7	0	7	20	4	5	2	8	1	0	147
	49	8.2	0.0	44.9	16.3	2.0	32.7	0.0	49.0	4.1	32.7	0.0	14.3	0.0	14.3	40.8	8.2	10.2	4.1	16.3	2.0	0.0	
E	合計点	21	0	62	13	8	32	4	47	11	38	0	15	0	19	44	10	9	4	10	3	10	360
	構成比(%)	5.8	0.0	17.2	3.6	2.2	8.9	1.1	13.1	3.1	10.6	0.0	4.2	0.0	5.3	12.2	2.8	2.5	1.1	2.8	0.8	2.8	100.0
	選択数/人数	8	0	26	6	3	13	2	24	6	18	0	7	0	11	28	6	4	3	8	1	6	180
	60	13.3	0.0	43.3	10.0	5.0	21.7	3.3	40.0	10.0	30.0	0.0	11.7	0.0	18.3	46.7	10.0	6.7	5.0	13.3	1.7	10.0	
F	合計点	6	0	39	9	6	12	2	34	4	25	1	11	0	3	27	11	4	11	11	2	76	294
	構成比(%)	2.0	0.0	13.3	3.1	2.0	4.1	0.7	11.6	1.4	8.5	0.3	3.7	0.0	1.0	9.2	3.7	1.4	3.7	3.7	0.7	25.9	100.0
	選択数/人数	3	0	16	3	2	6	2	16	2	13	1	5	0	2	16	5	3	6	6	1	39	147
	49	6.1	0.0	32.7	6.1	4.1	12.2	4.1	32.7	4.1	26.5	2.0	10.2	0.0	4.1	32.7	10.2	6.1	12.2	12.2	2.0	79.6	
全体	合計点	71	13	389	90	26	174	24	311	41	222	7	77	5	91	251	68	49	45	72	8	114	2148
	構成比(%)	3.3	0.6	18.1	4.2	1.2	8.1	1.1	14.5	1.9	10.3	0.3	3.6	0.2	4.2	11.7	3.2	2.3	2.1	3.4	0.4	5.3	
	選択数/人数	29	6	159	42	12	81	12	152	22	104	4	38	3	50	151	39	30	29	46	5	60	1074
	358	8.1	1.7	44.4	11.7	3.4	22.6	3.4	42.5	6.1	29.1	1.1	10.6	0.8	14.0	42.2	10.9	8.4	8.1	12.8	1.4	16.8	

第1問1の(3)全校集計

(女子)

女の子に好かれるのは、どんな男の子だと思いますか

3択回答 第1順位 3点 第2順位 2点 第3順位 1点

表1-3-2

群	選択肢	気がつく	家庭的	優しい	心が広い	素直	明るい	落ち着いている	面白い	活発	スポーツ得意	てきぱきしている	おしゃれ	可愛い	責任感がある	頼りになる	意志が強い	自己主張できる	勇敢	たくましい	その他	NA	合計
A	合計点	1	0	138	11	7	45	2	102	23	66	2	9	8	20	88	17	6	12	13	3	3	576
	構成比(%)	0.2	0.0	24.0	1.9	1.2	7.8	0.3	17.7	4.0	11.5	0.3	1.6	1.4	3.5	15.3	3.0	1.0	2.1	2.3	0.5	0.5	100.0
	選択数/人数	1	0	54	5	5	21	1	51	13	32	1	6	3	11	49	10	4	6	10	3	2	288
	96	1.0	0.0	56.3	5.2	5.2	21.9	1.0	53.1	13.5	33.3	1.0	6.3	3.1	11.5	51.0	10.4	4.2	6.3	10.4	3.1	2.1	
B	合計点	5	0	107	23	14	31	0	79	16	66	0	19	0	28	69	8	8	9	26	2	0	510
	構成比(%)	1.0	0.0	21.0	4.5	2.7	6.1	0.0	15.5	3.1	12.9	0.0	3.7	0.0	5.5	13.5	1.6	1.6	1.8	5.1	0.4	0.0	100.0
	選択数/人数	3	0	45	11	7	16	0	40	8	29	0	12	0	16	39	4	5	6	13	1	0	255
	85	3.5	0.0	52.9	12.9	8.2	30.2	0.0	47.1	9.4	34.1	0.0	14.1	0.0	18.8	45.9	4.7	5.9	7.1	15.3	6.5	0.0	
C	合計点	4	0	81	9	0	25	3	52	7	64	5	12	0	14	31	8	6	3	10	2	0	336
	構成比(%)	1.2	0.0	24.1	2.7	0.0	7.4	0.9	15.5	2.1	19.0	1.5	3.6	0.0	4.2	9.2	2.4	1.8	0.9	3.0	0.6	0.0	100.0
	選択数/人数	2	0	31	4	0	13	1	24	4	30	2	6	0	9	20	5	3	3	10	1	0	168
	56	3.6	0.0	55.4	7.1	0.0	23.2	1.8	42.9	7.1	53.6	3.6	10.7	0.0	16.1	35.7	8.9	5.4	5.4	17.9	1.8	0.0	
D	合計点	8	0	69	14	3	15	2	54	4	32	1	9	0	10	30	6	2	6	10	1	6	282
	構成比(%)	2.8	0.0	24.5	5.0	1.1	5.3	0.7	19.1	1.4	11.3	0.4	3.2	0.0	3.5	10.6	2.1	0.7	2.1	3.5	0.4	2.1	100.0
	選択数/人数	4	0	27	7	2	7	1	24	2	16	1	6	0	5	20	3	2	4	6	1	3	141
	56	7.1	0.0	48.2	12.5	3.6	12.5	1.8	42.9	3.6	28.6	1.8	10.7	0.0	8.9	35.7	5.4	3.6	7.1	10.7	1.8	5.4	
E	合計点	13	3	92	22	6	41	4	77	14	36	0	15	6	29	60	18	7	12	28	3	12	498
	構成比(%)	2.6	0.6	18.5	4.4	1.2	8.2	0.8	15.5	2.8	7.2	0.0	3.0	1.2	5.8	12.0	3.6	1.4	2.4	5.6	0.6	2.4	100.0
	選択数/人数	6	1	36	11	3	19	2	37	6	17	0	9	4	17	33	10	6	6	17	3	6	249
	83	7.2	1.2	43.4	13.3	3.6	22.9	2.4	44.6	7.2	20.5	0.0	10.8	4.8	20.5	39.8	12.0	7.2	7.2	20.5	3.6	7.2	
F	合計点	11	4	143	27	2	41	6	133	13	74	0	19	9	47	85	26	19	17	35	2	7	720
	構成比(%)	1.5	0.6	19.9	3.8	0.3	5.7	0.8	18.5	1.8	10.3	0.0	2.6	1.3	6.5	11.8	3.6	2.6	2.4	4.9	0.3	1.0	100.0
	選択人数/人数	5	2	60	13	1	19	3	62	8	35	0	9	4	22	57	15	10	7	17	7	4	360
	120	4.2	1.7	50.0	10.8	0.8	15.8	2.5	51.7	6.7	29.2	0.0	7.5	3.3	18.3	47.5	12.5	8.3	5.8	14.2	5.8	3.3	
全体	合計点	42	7	630	106	32	198	17	497	77	338	8	83	23	148	363	83	48	59	122	13	28	2922
	構成比(%)	1.4	0.2	21.6	3.6	1.1	6.8	0.6	17.0	2.6	11.6	0.3	2.8	0.8	5.1	12.4	2.8	1.6	2.0	4.2	0.4	1.0	100.0
	選択数/人数	21	3	253	51	18	95	8	238	41	159	4	48	11	80	218	47	30	32	73	16	15	1461
	496	4.2	0.6	51.0	10.3	3.6	19.2	1.6	48.0	8.3	32.1	0.8	9.7	2.2	16.1	44.0	9.5	6.0	6.5	14.7	3.2	3.0	

第1問1の(4)全校集計

(男子)

男の子に好かれるのは、どんな女の子だと思いますか

3択回答 第1順位 3点 第2順位 2点 第3順位 1点

表1-4-1

群	選択肢	気がつく	家庭的	優しい	心が広い	素直	明るい	落ち着いた している	面白い	活発	スポーツ 得意	てきぱき している	おしゃれ	可愛い	責任感 がある	頼りに なる	意志が 強い	自己主 張できる	勇敢	たくまし い	その他	NA	合計
A	合計点	10	7	87	8	36	47	4	16	10	3	3	15	44	0	2	0	1	0	0	1	0	294
	構成比(%)	3.4	2.4	29.6	2.7	12.2	16.0	1.4	5.4	3.4	1.0	1.0	5.1	15.0	0.0	0.7	0.0	0.3	0.0	0.0	0.3	0.0	100.0
	選択数/人数	4	3	34	3	18	25	2	10	5	1	2	10	27	0	1	0	1	0	0	1	0	147
	49	8.2	6.1	69.4	6.1	36.7	51.0	4.1	20.4	10.2	2.0	4.1	20.4	55.1	0.0	2.0	0.0	2.0	0.0	0.0	2.0	0.0	
B	合計点	12	33	145	22	50	103	10	42	10	8	5	20	117	2	4	4	3	0	0	1	9	600
	構成比(%)	4.0	11.0	48.3	7.3	16.7	34.3	3.3	14.0	3.3	2.7	1.7	6.7	39.0	0.7	1.3	1.3	1.0	0.0	0.0	0.3	3.0	
	選択数/人数	7	14	58	12	25	53	6	21	10	4	3	11	62	1	2	3	2	0	0	1	5	300
	100	7.0	14.0	58.0	12.0	25.0	53.0	6.0	21.0	10.0	4.0	3.0	11.0	62.0	1.0	2.0	3.0	2.0	0.0	0.0	1.0	5.0	
C	合計点	17	28	52	13	12	65	5	9	10	0	3	11	65	4	3	0	2	1	0	0	6	306
	構成比(%)	5.6	9.2	17.0	4.2	3.9	21.2	1.6	2.9	3.3	0.0	1.0	3.6	21.2	1.3	1.0	0.0	0.7	0.3	0.0	0.0	2.0	100.0
	選択数/人数	7	11	23	5	6	32	3	4	7	0	1	8	37	2	2	0	1	1	0	0	3	153
	51	13.7	21.6	45.1	9.8	11.8	62.7	5.9	7.8	13.7	0.0	2.0	15.7	72.5	3.9	3.9	0.0	2.0	2.0	0.0	0.0	5.9	
D	合計点	21	24	64	9	14	46	5	9	9	0	8	15	59	0	2	0	8	0	1	0	0	294
	構成比(%)	7.1	8.2	21.8	3.1	4.8	15.6	1.7	3.1	3.1	0.0	2.7	5.1	20.1	0.0	0.7	0.0	2.7	0.0	0.3	0.0	0.0	100.0
	選択数/人数	7	9	28	4	7	23	3	5	6	0	4	10	35	0	2	0	3	0	1	0	0	147
	49	14.3	18.4	57.1	8.2	14.3	46.9	6.1	10.2	12.2	0.0	8.2	20.4	71.4	0.0	4.1	0.0	6.1	0.0	2.0	0.0	0.0	
E	合計点	34	32	69	19	32	45	5	10	9	2	3	17	59	0	3	7	1	0	0	4	9	360
	構成比(%)	9.4	8.9	19.2	5.3	8.9	12.5	1.4	2.8	2.5	0.6	0.8	4.7	16.4	0.0	0.8	1.9	0.3	0.0	0.0	1.1	2.5	100.0
	選択数/人数	13	14	32	7	17	22	4	5	5	1	2	9	35	0	2	4	1	0	0	2	5	180
	60	21.7	23.3	53.3	11.7	28.3	36.7	6.7	8.3	8.3	1.7	3.3	15.0	58.3	0.0	3.3	6.7	1.7	0.0	0.0	3.3	8.3	
F	合計点	8	28	68	14	19	46	7	23	4	1	2	10	38	0	7	1	1	2	0	2	13	294
	構成比(%)	2.7	9.5	23.1	4.8	6.5	15.6	2.4	7.8	1.4	0.3	0.7	3.4	12.9	0.0	2.4	0.3	0.3	0.7	0.0	0.7	4.4	100.0
	選択数/人数	3	10	29	7	12	24	4	11	3	1	1	6	20	0	4	1	1	2	0	1	7	147
	49	6.1	20.4	59.2	14.3	24.5	49.0	8.2	22.4	6.1	2.0	2.0	12.2	40.8	0.0	8.2	2.0	2.0	4.1	0.0	2.0	14.3	
全体	合計点	102	152	485	85	163	352	36	109	52	14	24	88	382	6	21	12	16	3	1	8	37	2148
	構成比(%)	4.7	7.1	22.6	4.0	7.6	16.4	1.7	5.1	2.4	0.7	1.1	4.1	17.8	0.3	1.0	0.6	0.7	0.1	0.0	0.4	1.7	100.0
	選択数/人数	41	61	204	38	85	179	22	56	36	7	13	54	216	3	13	8	9	3	1	5	20	1074
	358	11.5	17.0	57.0	10.6	23.7	50.0	6.1	15.6	10.1	2.0	3.6	15.1	60.3	0.8	3.6	2.2	2.5	0.8	0.3	1.4	5.6	

第1問1の(4)全校集計

(女子)

男の子に好かれるのは、どんな女の子だと思いますか

3択回答 第1順位 3点 第2順位 2点 第3順位 1点

表1-4-2

群	選択肢	気がつく	家庭的	優しい	心が広い	素直	明るい	落ち着いた ている	面白い	活発	スポーツ 得意	てきぱき している	おしゃれ	可愛い	責任感 がある	頼りに なる	意志が 強い	自己主 張できる	勇敢	たくまし い	その他	NA	合計
A	合計点	57	16	132	4	41	93	2	29	21	3	1	23	133	3	4	1	4	0	0	0	9	576
	構成比(%)	9.9	2.8	22.9	0.7	7.1	16.1	0.3	5.0	3.6	0.5	0.2	4.0	23.1	0.5	0.7	0.2	0.7	0.0	0.0	0.0	1.6	100.0
	選択数/人数	21	7	57	2	19	49	1	16	11	2	1	16	71	3	4	1	2	0	0	0	5	288
	96	21.9	7.3	59.4	2.1	19.8	51.0	1.0	16.7	11.5	2.1	1.0	16.7	74.0	3.1	4.2	1.0	2.1	0.0	0.0	0.0	5.2	
B	合計点	63	44	123	13	37	75	2	21	9	5	0	13	88	2	6	0	1	2	0	0	6	510
	構成比(%)	12.4	8.6	24.1	2.5	7.3	14.7	0.4	4.1	1.8	1.0	0.0	2.5	17.3	0.4	1.2	0.0	0.2	0.4	0.0	0.0	1.2	100.0
	選択数/人数	23	17	55	7	24	43	1	13	5	2	0	8	47	2	3	0	1	1	0	0	3	255
	85	27.1	62.8	87.5	8.0	28.2	50.6	1.2	15.3	5.9	2.4	0.0	9.4	55.3	2.4	3.5	0.0	1.2	1.2	0.0	0.0	3.5	
C	合計点	25	30	78	3	23	46	2	8	10	3	1	25	62	2	2	0	3	0	0	1	12	336
	構成比(%)	7.4	8.9	23.2	0.9	6.8	13.7	0.6	2.4	3.0	0.9	0.3	7.4	18.5	0.6	0.6	0.0	0.9	0.0	0.0	0.3	3.6	100.0
	選択数/人数	9	11	32	2	14	28	1	3	4	1	1	16	35	2	1	0	1	0	0	1	6	168
	56	16.1	19.6	57.1	3.6	25.0	50.0	1.8	5.4	7.1	1.8	1.8	28.6	62.5	3.6	1.8	0.0	1.8	0.0	0.0	1.8	10.7	
D	合計点	29	26	69	0	17	38	5	13	3	3	1	5	52	1	6	2	0	0	0	0	12	282
	構成比(%)	10.3	9.2	24.5	0.0	6.0	13.5	1.8	4.6	1.1	1.1	0.4	1.8	18.4	0.4	2.1	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	100.0
	選択数/人数	10	10	32	0	10	22	3	7	2	1	1	5	26	1	4	1	0	0	0	0	6	141
	47	21.3	21.3	68.1	0.0	21.3	46.8	6.4	14.9	4.3	2.1	2.1	10.6	55.3	2.1	8.5	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0	12.8	
E	合計点	58	39	76	14	37	54	11	12	6	3	2	21	98	2	2	0	2	0	2	11	48	498
	構成比(%)	11.6	7.8	15.3	2.8	7.4	10.8	2.2	2.4	1.2	0.6	0.4	4.2	19.7	0.4	0.4	0.0	0.4	0.0	0.4	2.2	9.6	100.0
	選択数/人数	24	18	37	9	19	29	6	6	3	1	1	12	49	1	2	0	1	0	2	5	24	249
	83	28.9	21.7	44.6	10.8	22.9	34.9	7.2	7.2	3.6	1.2	1.2	14.5	59.0	1.2	2.4	0.0	1.2	0.0	2.4	6.0	28.9	
F	合計点	43	57	120	2	34	85	2	13	16	0	6	45	117	0	4	0	1	0	1	0	174	720
	構成比(%)	6.0	7.9	16.7	0.3	4.7	11.8	0.3	1.8	2.2	0.0	0.8	6.3	16.3	0.0	0.6	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	24.2	100.0
	選択数/人数	18	22	58	1	18	46	1	6	9	0	3	25	61	0	3	0	1	0	1	0	87	360
	120	15.0	18.3	48.3	0.8	15.0	38.3	0.8	5.0	7.5	0.0	2.5	20.8	50.8	0.0	2.5	0.0	0.8	0.0	0.8	0.0	72.5	
全体	合計点	275	212	598	36	189	391	24	96	65	17	11	132	550	10	24	3	11	2	3	12	261	2922
	構成比(%)	9.4	7.3	20.5	1.2	6.5	13.4	0.8	3.3	2.2	0.6	0.4	4.5	18.8	0.3	0.8	0.1	0.4	0.1	0.1	0.4	8.9	100.0
	選択数/人数	105	85	271	21	104	217	13	51	34	7	7	82	289	9	17	2	6	1	3	6	131	1461
	487	21.6	17.5	55.6	4.3	21.4	44.6	2.7	10.5	7.0	1.4	1.4	16.8	59.3	1.8	3.5	0.4	1.2	0.2	0.6	1.2	26.9	

第1問1の(5)全校集計 (男子)

あなた(男)は、どういふ女の子が好きですか

3択回答 第1順位 3点 第2順位 2点 第3順位 1点

表1-5-1

群	選択肢	よく気がつく	家庭的	優しい	心が広い	素直	明るい	落ち着いた	面白い	活発	スポーツが得意	できばきしている	おしゃれ	可愛い	責任感がある	頼りになる	意志が強い	自己主張できる	勇敢	たくましい	その他	NA	合計
A	合計点	9	6	95	10	21	51	4	28	5	5	4	6	30	3	2	2	2	0	2	3	6	294
	構成比(%)	3.1	2.0	32.3	3.4	7.1	17.3	1.4	9.5	1.7	1.7	1.4	2.0	10.2	1.0	0.7	0.7	0.7	0.0	0.7	1.0	2.0	100.0
	選択数/人数	4	2	35	5	11	29	2	15	4	3	2	4	16	2	2	2	2	0	1	3	3	147
	49	8.2	4.1	71.4	10.2	22.4	59.2	4.1	30.6	8.2	6.1	4.1	8.2	32.7	4.1	4.1	4.1	4.1	0.0	2.0	6.1	6.1	
B	合計点	11	37	160	26	70	77	31	28	11	6	6	12	76	8	3	9	9	0	0	4	16	600
	構成比(%)	1.8	6.2	26.7	4.3	11.7	12.8	5.2	4.7	1.8	1.0	1.0	2.0	12.7	1.3	0.5	1.5	1.5	0.0	0.0	0.7	2.7	100.0
	選択数/人数	6	15	60	14	34	43	15	16	6	3	3	7	47	4	3	7	4	0	0	4	9	300
	100	6.0	15.0	60.0	14.0	34.0	43.0	15.0	16.0	6.0	3.0	3.0	7.0	47.0	4.0	3.0	7.0	4.0	0.0	0.0	4.0	9.0	
C	合計点	17	19	54	16	27	47	21	13	8	0	2	8	41	6	4	2	3	0	0	9	9	306
	構成比(%)	5.6	6.2	17.6	5.2	8.8	15.4	6.9	4.2	2.6	0.0	0.7	2.6	13.4	2.0	1.3	0.7	1.0	0.0	0.0	2.9	2.9	100.0
	選択数/人数	7	8	22	7	17	22	11	6	5	0	1	4	25	3	2	2	2	0	0	4	5	153
	51	13.7	15.7	43.1	13.7	33.3	43.1	21.6	11.8	9.8	0.0	2.0	7.8	49.0	5.9	3.9	3.9	3.9	0.0	0.0	7.8	9.8	
D	合計点	21	15	65	11	14	44	15	15	9	1	5	14	49	3	4	4	0	0	2	3	0	294
	構成比(%)	7.1	5.1	22.1	3.7	4.8	15.0	5.1	5.1	3.1	0.3	1.7	4.8	16.7	1.0	1.4	1.4	0.0	0.0	0.7	1.0	0.0	100.0
	選択数/人数	7	7	26	5	9	20	7	8	6	1	2	7	28	2	4	3	0	0	2	3	0	147
	49	14.3	14.3	53.1	10.2	18.4	40.8	14.3	16.3	12.2	2.0	4.1	14.3	57.1	4.1	8.2	6.1	0.0	0.0	4.1	6.1	0.0	
E	合計点	14	36	70	35	29	43	16	24	3	3	0	4	39	6	6	5	5	5	1	6	10	360
	構成比(%)	3.9	10.0	19.4	9.7	8.1	11.9	4.4	6.7	0.8	0.8	0.0	1.1	10.8	1.7	1.7	1.4	1.4	1.4	0.3	1.7	2.8	100.0
	選択数/人数	7	13	30	18	16	22	9	11	3	2	0	3	22	4	2	4	2	2	1	3	6	180
	60	11.7	21.7	50.0	30.0	26.7	36.7	15.0	18.3	5.0	3.3	0.0	5.0	36.7	6.7	3.3	6.7	3.3	3.3	1.7	5.0	10.0	
F	合計点	4	18	60	16	37	34	8	15	2	0	0	9	35	2	8	12	2	0	1	2	29	294
	構成比(%)	1.4	6.1	20.4	5.4	12.6	11.6	2.7	5.1	0.7	0.0	0.0	3.1	11.9	0.7	2.7	4.1	0.7	0.0	0.3	0.7	9.9	100.0
	選択数/人数	2	8	24	7	19	19	3	8	1	0	0	5	18	2	5	7	1	0	1	1	16	147
	49	4.1	16.3	49.0	14.3	38.8	38.8	6.1	16.3	2.0	0.0	0.0	10.2	36.7	4.1	10.2	14.3	2.0	0.0	2.0	2.0	32.7	
全体	合計点	76	131	504	114	198	296	95	123	38	15	17	53	270	28	27	34	21	5	6	27	70	2148
	構成比(%)	3.5	6.1	23.5	5.3	9.2	13.8	4.4	5.7	1.8	0.7	0.8	2.5	12.6	1.3	1.3	1.6	1.0	0.2	0.3	1.3	3.3	
	選択数/人数	33	53	197	56	106	155	47	64	25	9	8	30	156	17	18	25	11	2	5	18	39	1074
	358	9.2	14.8	55.0	15.6	29.6	43.3	13.1	17.9	7.0	2.5	2.2	8.4	43.6	4.7	5.0	7.0	3.1	0.6	1.4	5.0	10.9	

第1問1の(5)全校集計

(女子)

あなた(女)は、どういふ女の子が好きですか

3択回答 第1順位 3点 第2順位 2点 第3順位 1点

表1-5-2

群	選択肢	よく気がつく	家庭的	優しい	心が広い	素直	明るい	落ち着いている	面白い	活発	スポーツが得意	できばきしている	おしゃれ	可愛い	責任感がある	頼りになる	意志が強い	自己主張できる	勇敢	たくましい	その他	NA	合計
A	合計点	47	7	119	45	38	89	1	103	18	4	6	11	17	13	25	16	15	0	1	1	0	576
	構成比(%)	8.2	1.2	20.7	7.8	6.6	15.5	0.2	17.9	3.1	0.7	1.0	1.9	3.0	2.3	4.3	2.8	2.6	0.0	0.2	0.2	0.0	100.0
	選択数/人数	18	3	48	23	18	43	1	50	12	3	3	7	9	9	19	8	12	0	1	1	0	288
	96	18.8	3.1	50.0	24.0	18.8	44.8	1.0	52.1	12.5	3.1	3.1	7.3	9.4	9.4	19.8	8.3	12.5	0.0	1.0	1.0	0.0	
B	合計点	28	1	92	58	37	89	2	87	21	8	3	18	12	14	27	3	8	0	0	2	0	510
	構成比(%)	5.5	0.2	18.0	11.4	7.3	17.5	0.4	17.1	4.1	1.6	0.6	3.5	2.4	2.7	5.3	0.6	1.6	0.0	0.0	0.4	0.0	100.0
	選択数/人数	11	1	39	25	19	46	2	39	15	4	1	13	8	7	15	3	5	0	0	2	0	255
	85	12.9	1.2	45.9	29.4	22.4	54.1	2.4	45.9	17.6	4.7	1.2	15.3	9.4	8.2	17.6	3.5	5.9	0.0	0.0	2.4	0.0	
C	合計点	27	3	60	25	31	46	6	38	10	8	7	11	12	9	18	9	4	2	2	2	6	336
	構成比(%)	8.0	0.9	17.9	7.4	9.2	13.7	1.8	11.3	3.0	2.4	2.1	3.3	3.6	2.7	5.4	2.7	1.2	0.6	0.6	0.6	1.8	100.0
	選択数/人数	10	1	25	12	14	20	3	21	7	4	3	6	8	6	12	5	3	1	2	2	3	168
	56	17.9	1.8	44.6	21.4	25.0	35.7	5.4	37.5	12.5	7.1	5.4	10.7	14.3	10.7	21.4	8.9	5.4	1.8	3.6	3.6	5.4	
D	合計点	28	1	51	43	13	29	5	48	2	0	6	6	8	13	15	3	9	0	1	1	0	282
	構成比(%)	9.9	0.4	18.1	15.2	4.6	10.3	1.8	17.0	0.7	0.0	2.1	2.1	2.8	4.6	5.3	1.1	3.2	0.0	0.4	0.4	0.0	100.0
	選択数/人数	10	1	21	19	8	15	3	25	1	0	3	4	5	6	10	2	6	0	1	1	0	141
	47	21.3	2.1	44.7	40.4	17.0	31.9	6.4	53.2	2.1	0.0	6.4	8.5	10.6	12.8	21.3	4.3	12.8	0.0	2.1	2.1	0.0	
E	合計点	29	5	63	56	41	50	7	83	9	3	5	12	21	17	33	12	8	0	3	5	36	498
	構成比(%)	5.8	1.0	12.7	11.2	8.2	10.0	1.4	16.7	1.8	0.6	1.0	2.4	4.2	3.4	6.6	2.4	1.6	0.0	0.6	1.0	7.2	100.0
	選択数/人数	13	2	27	24	21	27	4	38	5	2	4	6	9	9	22	7	6	0	2	3	18	249
	83	15.7	2.4	32.5	28.9	25.3	32.5	4.8	45.8	6.0	2.4	4.8	7.2	10.8	10.8	26.5	8.4	7.2	0.0	2.4	3.6	21.7	
F	合計点	44	9	108	71	49	123	7	109	10	2	4	18	25	15	29	11	16	3	6	5	56	720
	構成比(%)	6.1	1.3	15.0	9.9	6.8	17.1	1.0	15.1	1.4	0.3	0.6	2.5	3.5	2.1	4.0	1.5	2.2	0.4	0.8	0.7	7.8	
	選択数/人数	19	3	49	31	25	60	3	54	7	1	2	11	13	10	21	6	7	2	3	3	30	360
	120	15.8	2.5	40.8	25.8	20.8	50.0	2.5	45.0	5.8	0.8	1.7	9.2	10.8	8.3	17.5	5.0	5.8	1.7	2.5	2.5	25.0	
全体	合計点	203	26	493	298	209	426	28	468	70	25	31	76	95	81	147	54	60	5	13	16	98	2922
	構成比(%)	6.9	0.9	16.9	10.2	7.2	14.6	1.0	16.0	2.4	0.9	1.1	2.6	3.3	2.8	5.0	1.8	2.1	0.2	0.4	0.5	3.4	100.0
	選択数/人数	81	11	209	134	105	211	16	227	47	14	16	47	52	47	99	31	39	3	9	12	51	1461
	487	16.6	2.3	42.9	27.5	21.6	43.3	3.3	46.6	9.7	2.9	3.3	9.7	10.7	9.7	20.3	6.4	8.0	0.6	1.8	2.5	10.5	

第1問1の(6)全校集計

(男子)

あなた(男)は、どういふ男の子が好きですか

3択回答 第1順位 3点 第2順位 2点 第3順位 3点

表1-6-1

群	選択肢	気がつく	家庭的	優しい	心が広い	素直	明るい	落ち着いた ている	面白い	活発	スポーツ が得意	てきぱき している	おしゃれ	可愛い	責任感 がある	頼りに なる	意志が 強い	自己主 張できる	勇敢	たくまし い	その他	NA	合計
A	合計点	6	0	40	36	9	27	2	65	4	15	2	3	1	13	20	10	12	10	3	4	12	294
	構成比(%)	2.0	0.0	13.6	12.2	3.1	9.2	0.7	22.1	1.4	5.1	0.7	1.0	0.3	4.4	6.8	3.4	4.1	3.4	1.0	1.4	4.1	100.0
	選択数/人数	2	0	14	14	4	15	1	31	4	8	1	2	1	8	12	5	8	6	2	3	6	147
	49	4.1	0.0	28.6	28.6	8.2	30.6	2.0	63.3	8.2	16.3	2.0	4.1	2.0	16.3	24.5	10.2	16.3	12.2	4.1	6.1	12.2	
B	合計点	29	0	37	85	21	76	12	133	11	19	3	8	2	44	41	20	14	17	13	6	9	600
	構成比(%)	4.8	0.0	6.2	14.2	3.5	12.7	2.0	22.2	1.8	3.2	0.5	1.3	0.3	7.3	6.8	3.3	2.3	2.8	2.2	1.0	1.5	100.0
	選択数/人数	10	0	15	39	9	36	7	65	5	10	2	4	2	25	25	11	7	9	8	6	5	300
	100	10.0	0.0	15.0	39.0	9.0	36.0	7.0	65.0	5.0	10.0	2.0	4.0	2.0	25.0	25.0	11.0	7.0	9.0	8.0	6.0	5.0	
C	合計点	6	3	39	35	5	28	13	54	6	13	4	4	2	10	24	14	13	7	5	6	15	306
	構成比(%)	2.0	1.0	12.7	11.4	1.6	9.2	4.2	17.6	2.0	4.2	1.3	1.3	0.7	3.3	7.8	4.6	4.2	2.3	1.6	2.0	4.9	100.0
	選択数/人数	3	1	18	15	4	12	6	25	4	6	2	2	1	6	16	7	8	4	3	2	8	153
	51	5.9	2.0	35.3	29.4	7.8	23.5	11.8	49.0	7.8	11.8	3.9	3.9	2.0	11.8	31.4	13.7	15.7	7.8	5.9	3.9	15.7	
D	合計点	25	0	15	46	7	35	16	60	4	7	8	3	0	19	20	13	8	5	2	1	0	294
	構成比(%)	8.5	0.0	5.1	15.6	2.4	11.9	5.4	20.4	1.4	2.4	2.7	1.0	0.0	6.5	6.8	4.4	2.7	1.7	0.7	0.3	0.0	
	選択数/人数	9	0	5	21	4	14	8	29	4	5	4	1	0	10	13	9	5	3	2	1	0	147
	49	18.4	0.0	10.2	42.9	8.2	28.6	16.3	59.2	8.2	10.2	8.2	2.0	0.0	20.4	26.5	18.4	10.2	6.1	4.1	2.0	0.0	
E	合計点	6	2	10	35	0	20	11	76	13	20	4	1	2	29	38	15	16	5	10	14	33	360
	構成比(%)	1.7	0.6	2.8	9.7	0.0	5.6	3.1	21.1	3.6	5.6	1.1	0.3	0.6	8.1	10.6	4.2	4.4	1.4	2.8	3.9	9.2	100.0
	選択数/人数	2	1	5	15	0	9	4	33	7	8	3	1	1	16	19	9	12	3	8	6	18	180
	60	3.3	1.7	8.3	25.0	0.0	15.0	6.7	55.0	11.7	13.3	5.0	1.7	1.7	26.7	31.7	15.0	20.0	5.0	13.3	10.0	30.0	
F	合計点	12	2	23	27	3	18	3	47	7	8	5	0	0	19	35	14	2	4	2	5	58	294
	構成比(%)	4.1	0.7	7.8	9.2	1.0	6.1	1.0	16.0	2.4	2.7	1.7	0.0	0.0	6.5	11.9	4.8	0.7	1.4	0.7	1.7	19.7	100.0
	選択数/人数	5	1	11	13	2	10	1	21	5	3	2	0	0	9	16	8	1	3	2	4	30	147
	49	10.2	2.0	22.4	26.5	4.1	20.4	2.0	42.9	10.2	6.1	4.1	0.0	0.0	18.4	32.7	16.3	2.0	6.1	4.1	8.2	61.2	
全体	合計点	84	7	164	264	45	204	57	435	45	82	26	19	7	134	178	86	65	48	35	36	127	2148
	構成比(%)	3.9	0.3	7.6	12.3	2.1	9.5	2.7	20.3	2.1	3.8	1.2	0.9	0.3	6.2	8.3	4.0	3.0	2.2	1.6	1.7	5.9	
	選択数/人数	31	3	68	117	23	96	27	204	29	40	14	10	5	74	101	49	41	28	25	22	67	1074
	358	8.7	0.8	19.0	32.7	6.4	26.8	7.5	57.0	8.1	11.2	3.9	2.8	1.4	20.7	28.2	13.7	11.5	7.8	7.0	6.1	18.7	

第1問1の(6)全校集計

(女子)

あなた(女)は、どうい男の子が好きですか

3択回答 第1順位 3点 第2順位 2点 第3順位 3点

表1-6-2

群	選択肢	気がつく	家庭的	優しい	心が広い	素直	明るい	落ち着いた している	面白い	活発	スポーツ が得意	てきぱき している	おしゃれ	可愛い	責任感 がある	頼りに なる	意志が 強い	自己主 張できる	勇敢	たくまし い	その他	NA	合計
A	合計点	15	0	128	67	5	30	6	79	9	32	5	10	7	29	95	19	16	5	11	1	7	576
	構成比(%)	2.6	0.0	22.2	11.6	0.9	5.2	1.0	13.7	1.6	5.6	0.9	1.7	1.2	5.0	16.5	3.3	2.8	0.9	1.9	0.2	1.2	100.0
	選択数/人数	7	0	51	27	3	15	3	43	4	16	2	5	3	17	55	11	10	4	7	1	4	288
	96	7.3	0.0	53.1	28.1	3.1	15.6	3.1	44.8	4.2	16.7	2.1	5.2	3.1	17.7	57.3	11.5	10.4	4.2	7.3	1.0	4.2	
B	合計点	6	2	96	40	18	33	2	86	11	50	1	18	6	27	78	10	8	6	10	1	1	510
	構成比(%)	1.2	0.4	18.8	7.8	3.5	6.5	0.4	16.9	2.2	9.8	0.2	3.5	1.2	5.3	15.3	2.0	1.6	1.2	2.0	0.2	0.2	100.0
	選択数/人数	2	1	39	20	9	18	1	39	7	22	1	10	3	12	47	7	6	4	5	1	1	255
	85	2.4	1.2	45.9	23.5	10.6	21.2	1.2	45.9	8.2	25.9	1.2	11.8	3.5	14.1	55.3	8.2	7.1	4.7	5.9	1.2	1.2	
C	合計点	5	9	64	23	11	31	3	38	3	28	0	6	3	31	33	19	9	4	8	2	6	336
	構成比(%)	1.5	2.7	19.0	6.8	3.3	9.2	0.9	11.3	0.9	8.3	0.0	1.8	0.9	9.2	9.8	5.7	2.7	1.2	2.4	0.6	1.8	100.0
	選択数/人数	3	3	25	11	5	16	1	16	2	13	0	3	2	15	24	10	5	3	6	2	3	168
	56	5.4	5.4	44.6	19.6	8.9	28.6	1.8	28.6	3.6	23.2	0.0	5.4	3.6	26.8	42.9	17.9	8.9	5.4	10.7	3.6	5.4	
D	合計点	6	0	57	27	6	9	16	48	0	11	0	8	0	20	37	13	13	2	2	1	6	282
	構成比(%)	2.1	0.0	20.2	9.6	2.1	3.2	5.7	17.0	0.0	3.9	0.0	2.8	0.0	7.1	13.1	4.6	4.6	0.7	0.7	0.4	2.1	100.0
	選択数/人数	2	0	24	12	2	4	7	22	0	6	0	3	0	9	27	7	8	2	2	1	3	141
	47	4.3	0.0	51.1	25.5	4.3	8.5	14.9	46.8	0.0	12.8	0.0	6.4	0.0	19.1	57.4	14.9	17.0	4.3	4.3	2.1	6.4	
E	合計点	14	0	84	31	4	23	7	68	11	24	0	6	2	28	84	25	17	10	30	6	24	498
	構成比(%)	2.8	0.0	16.9	6.2	0.8	4.6	1.4	13.7	2.2	4.8	0.0	1.2	0.4	5.6	16.9	5.0	3.4	2.0	6.0	1.2	4.8	100.0
	選択数/人数	6	0	35	15	3	12	3	30	6	12	0	3	1	14	48	13	9	6	15	6	12	249
	83	7.2	0.0	42.2	18.1	3.6	14.5	3.6	36.1	7.2	14.5	0.0	3.6	1.2	16.9	57.8	15.7	10.8	7.2	18.1	7.2	14.5	
F	合計点	8	9	113	33	11	41	11	86	11	44	0	12	10	41	107	27	16	22	14	8	96	720
	構成比(%)	1.1	1.3	15.7	4.6	1.5	5.7	1.5	11.9	1.5	6.1	0.0	1.7	1.4	5.7	14.9	3.8	2.2	3.1	1.9	1.1	13.3	100.0
	選択数/人数	4	4	48	14	6	23	4	43	7	17	0	7	4	22	58	14	9	13	9	6	48	360
	120	3.3	3.3	40.0	11.7	5.0	19.2	3.3	35.8	5.8	14.2	0.0	5.8	3.3	18.3	48.3	11.7	7.5	10.8	7.5	5.0	40.0	
全体	合計点	54	20	542	221	55	167	45	405	45	189	6	60	28	176	434	113	79	49	75	19	140	2922
	構成比(%)	1.8	0.7	18.5	7.6	1.9	5.7	1.5	13.9	1.5	6.5	0.2	2.1	1.0	6.0	14.9	3.9	2.7	1.7	2.6	0.7	4.8	100.0
	選択数/人数	24	8	222	99	28	88	19	193	26	86	3	31	13	89	259	62	47	32	44	17	71	1461
	487	4.9	1.6	45.6	20.3	5.7	18.1	3.9	39.6	5.3	17.7	0.6	6.4	2.7	18.3	53.2	12.7	9.7	6.6	9.0	3.5	14.6	

第1問2の(1) 全校集計 男子 親から言われてうれしかったこと

複数回答 表1-7-1

群	有効回収者数	料理上手	よく手伝う	素直	優しい	忍耐力がある	頼りになる	たくましい	てきぱきしている	意志が強い	自己主張できる	しっかりしている	よく気がつく	男らしい	女らしい	可愛らしい	おしゃれ	面白い	明るい	特技がある	勉強ができる	その他	NA	合計
A	49	2	6	3	6	3	1	0	0	2	1	10	5	0	0	0	1	1	4	3	2	0	8	58
B	100	6	8	10	11	6	18	3	3	7	4	15	10	1	0	1	1	4	4	6	5	0	10	133
C	51	3	3	8	11	2	3	1	0	4	1	3	6	2	0	0	1	1	1	4	1	0	5	60
D	49	1	1	4	6	4	2	2	0	3	2	3	5	0	0	0	0	4	3	2	2	0	16	60
E	60	4	3	2	15	1	12	3	2	4	2	2	5	4	0	5	6	15	10	5	7	1	7	115
F	49	2	1	3	13	0	4	0	1	1	1	0	4	2	0	0	0	14	4	5	1	2	6	64
全体	358	18	22	30	62	16	40	9	6	21	11	33	35	9	0	6	9	39	26	25	18	3	52	490
	回答者比(%)	5.0	6.1	8.4	17.3	4.5	11.2	2.5	1.7	5.9	3.1	9.2	9.8	2.5	0.0	1.7	2.5	10.9	7.3	7.0	5.0	0.8	14.5	136.9
	回答数比(%)	3.7	4.5	6.1	12.7	3.3	8.2	1.8	1.2	4.3	2.2	6.7	7.1	1.8	0.0	1.2	1.8	8.0	5.3	5.1	3.7	0.6	10.6	100.0

第1問2の(1) 全校集計 女子 親から言われてうれしかったこと

複数回答 表1-7-2

群	有効回収者数	料理上手	よく手伝う	素直	優しい	忍耐力がある	頼りになる	たくましい	てきぱきしている	意志が強い	自己主張できる	しっかりしている	よく気がつく	男らしい	女らしい	可愛らしい	おしゃれ	面白い	明るい	特技がある	勉強ができる	その他	NA	合計
A	96	3	6	14	13	7	11	0	3	6	7	14	9	0	2	1	2	6	4	7	3	2	12	132
B	85	10	10	11	12	2	12	1	0	10	5	14	4	0	2	2	2	3	14	10	5	0	4	133
C	56	5	3	7	4	5	9	0	1	6	4	5	5	1	0	1	2	4	3	9	8	1	6	89
D	47	3	4	4	7	1	8	0	0	3	3	10	2	0	0	1	0	1	2	3	3	2	5	62
E	83	5	4	5	11	6	12	0	4	5	12	1	1	0	0	5	2	1	7	3	5	0	15	104
F	120	11	15	15	13	8	10	3	3	6	6	20	9	1	0	4	4	5	15	10	4	2	7	171
全体	487	37	42	56	60	29	62	4	11	36	37	64	30	2	4	14	12	20	45	42	28	7	49	691
	回答者比(%)	7.6	8.6	11.5	12.3	6.0	12.7	0.8	2.3	7.4	7.6	13.1	6.2	0.4	0.8	2.9	2.5	4.1	9.2	8.6	5.7	1.4	10.1	141.9
	回答数比(%)	5.4	6.1	8.1	8.7	4.2	9.0	0.6	1.6	5.2	5.4	9.3	4.3	0.3	0.6	2.0	1.7	2.9	6.5	6.1	4.1	1.0	7.1	100.0

第1問2の(1) 全校集計 男子 友達から言われてうれしかったこと

表1-8-1

群	有効回収者数	料理上手	よく手伝う	素直	優しい	忍耐力がある	頼りになる	たくましい	てきぱきしている	意志が強い	自己主張できる	しっかりしている	よく気がつく	男らしい	女らしい	可愛らしい	おしゃれ	面白い	明るい	特技がある	勉強ができる	その他	NA	合計
A	49	0	0	0	10	0	4	1	0	1	2	4	1	1	0	0	3	11	6	3	3	1	8	59
B	100	3	2	6	33	0	19	2	5	2	1	9	8	6	0	1	6	25	11	12	6	1	5	163
C	51	1	1	1	13	1	2	0	0	0	1	4	6	0	0	1	4	12	2	8	5	0	3	65
D	49	2	1	1	12	0	10	0	1	2	3	1	2	1	0	0	1	12	1	3	0	0	10	63
E	60	5	6	5	8	2	7	1	4	4	2	8	5	2	0	5	3	4	4	5	9	0	9	98
F	49	3	0	5	8	2	4	1	1	2	0	4	1	1	0	0	0	2	2	3	2	2	11	54
全体	358	14	10	18	84	5	46	5	11	11	9	30	23	11	0	7	17	66	26	34	25	4	46	502
	回答者比(%)	3.9	2.8	5.0	23.5	1.4	12.8	1.4	3.1	3.1	2.5	8.4	6.4	3.1	0.0	2.0	4.7	18.4	7.3	9.5	7.0	1.1	12.8	140.2
	回答数比(%)	2.8	2.0	3.6	16.7	1.0	9.2	1.0	2.2	2.2	1.8	6.0	4.6	2.2	0.0	1.4	3.4	13.1	5.2	6.8	5.0	0.8	9.2	100.0

第1問2の(1) 全校集計 女子 友達から言われてうれしかったこと

複数回答 表1-8-2

群	有効回収者数	料理上手	よく手伝う	素直	優しい	忍耐力がある	頼りになる	たくましい	てきぱきしている	意志が強い	自己主張できる	しっかりしている	よく気がつく	男らしい	女らしい	可愛らしい	おしゃれ	面白い	明るい	特技がある	勉強ができる	その他	NA	合計
A	96	3	1	5	20	3	18	1	2	0	1	10	9	0	1	13	12	28	19	3	3	0	4	156
B	85	3	0	7	21	2	11	1	0	2	1	10	4	0	2	16	12	26	24	3	4	0	3	152
C	56	4	0	5	16	1	11	1	3	4	2	6	4	1	1	6	5	15	10	6	7	0	5	113
D	47	1	0	1	11	0	7	1	0	1	1	5	3	0	5	12	4	15	7	1	2	0	2	79
E	83	7	1	8	13	2	12	2	1	3	2	8	8	1	1	15	8	18	15	4	4	0	7	140
F	120	8	1	5	28	1	15	3	1	2	1	5	3	1	2	17	8	35	24	5	2	1	4	172
全体	487	26	3	31	109	9	74	9	7	12	8	44	31	3	12	79	49	137	99	22	22	1	25	812
	回答者比(%)	5.3	0.6	6.4	22.4	1.8	15.2	1.8	1.4	2.5	1.6	9.0	6.4	0.6	2.5	16.2	10.1	28.1	20.3	4.5	4.5	0.2	5.1	166.7
	回答数比(%)	3.2	0.4	3.8	13.4	1.1	9.1	1.1	0.9	1.5	1.0	5.4	3.8	0.4	1.5	9.7	6.0	16.9	12.2	2.7	2.7	0.1	3.1	100.0

第1問2の(2) 全校集計 男子 親から言われて不快だったこと

複数回答 表1-9-1

群	有効回収者数	料理下手	手伝わない	気が強い	あきっぽい	キレやすい	泣き虫	くよくよする	ぐずぐずする	やる気がない	意気地がない	乱暴	男らしくない	女らしくない	太っている	やせている	その他	NA	合計
A	49	1	15	0	10	6	0	0	9	8	2	0	0	0	0	0	1	4	56
B	100	2	15	0	19	15	3	4	10	16	5	4	7	0	2	1	4	15	122
C	51	0	8	0	6	2	2	2	9	13	2	0	2	0	0	1	0	12	59
D	49	3	9	2	12	4	1	2	10	10	2	4	3	0	2	1	3	10	78
E	60	5	15	1	13	3	3	4	8	9	5	2	3	0	5	1	6	14	97
F	49	0	5	1	9	3	0	2	4	13	3	3	4	0	0	0	2	8	57
全体	358	11	67	4	69	33	9	14	50	69	19	13	19	0	9	4	16	63	469
	回答者比(%)	3.1	18.7	1.1	19.3	9.2	2.5	3.9	14.0	19.3	5.3	3.6	5.3	0.0	2.5	1.1	4.5	17.6	131.0
	回答数比(%)	2.3	14.3	0.9	14.7	7.0	1.9	3.0	10.7	14.7	4.1	2.8	4.1	0.0	1.9	0.9	3.4	13.4	100.0

第1問2の(2) 全校集計 女子 親から言われて不快だったこと

複数回答 表1-9-2

群	有効回収者数	料理下手	手伝わない	気が強い	あきっぽい	キレやすい	泣き虫	くよくよする	ぐずぐずする	やる気がない	意気地がない	乱暴	男らしくない	女らしくない	太っている	やせている	その他	NA	合計
A	96	11	18	8	11	7	4	6	16	15	5	4	0	8	15	2	3	3	136
B	85	3	25	10	9	12	8	3	19	9	3	4	0	10	13	1	3	6	138
C	56	1	12	2	6	8	2	8	9	6	2	1	0	2	9	0	2	10	80
D	47	3	13	1	4	5	1	0	8	14	2	0	0	1	9	0	2	0	63
E	83	2	16	12	10	14	1	3	12	9	2	3	0	8	10	1	3	10	116
F	120	4	38	3	22	13	10	7	17	21	3	5	0	11	12	0	14	13	193
全体	487	24	122	36	62	59	26	27	81	74	17	17	0	40	68	4	27	42	726
	回答者比(%)	4.9	25.1	7.4	12.7	12.1	5.3	5.5	16.6	15.2	3.5	3.5	0.0	8.2	14.0	0.8	5.5	8.6	149.1
	回答数比(%)	3.3	16.8	5.0	8.5	8.1	3.6	3.7	11.2	10.2	2.3	2.3	0.0	5.5	9.4	0.6	3.7	5.8	100.0

第1問2の(2) 全校集計 男子 友達から言われて不快だったこと

複数回答																	表1-10-1		
群	有効回収者数	料理下手	手伝わない	気が強い	あきっぽい	キレやすい	泣き虫	くよくよする	ぐずぐずする	やる気がない	意気地がない	乱暴	男らしくない	女らしくない	太っている	やせている	その他	NA	合計
A	49	0	1	1	1	6	0	1	5	13	3	3	5	0	1	2	1	8	51
B	100	0	1	0	9	12	2	1	2	24	5	7	6	0	3	7	6	23	108
C	51	0	0	2	2	3	0	0	5	7	5	3	3	1	2	3	0	16	52
D	49	2	0	2	4	7	1	4	3	11	8	2	4	0	6	4	1	16	75
E	60	1	4	3	6	5	4	3	6	10	4	2	8	0	6	4	1	16	83
F	49	0	2	2	4	5	1	2	5	3	2	2	3	0	2	2	3	12	50
全体	358	3	8	10	26	38	8	11	26	68	27	19	29	1	20	22	12	91	419
	回答者比(%)	0.8	2.2	2.8	7.3	10.6	2.2	3.1	7.3	19.0	7.5	5.3	8.1	0.3	5.6	6.1	3.4	25.4	117.0
	回答数比(%)	0.7	1.9	2.4	6.2	9.1	1.9	2.6	6.2	16.2	6.4	4.5	6.9	0.2	4.8	5.3	2.9	21.7	100.0

第1問2の(2) 全校集計 女子 友達から言われて不快だったこと

複数回答																		表1-10-2	
群	有効回収者数	料理下手	手伝わない	気が強い	あきっぽい	キレやすい	泣き虫	くよくよする	ぐずぐずする	やる気がない	意気地がない	乱暴	男らしくない	女らしくない	太っている	やせている	その他	NA	合計
A	96	2	1	11	4	6	2	7	7	13	3	1	0	8	5	1	4	29	104
B	85	3	0	13	6	11	5	7	4	7	4	2	0	8	11	3	3	21	108
C	56	1	0	4	1	4	1	3	5	6	1	0	0	2	3	4	2	18	55
D	47	2	0	0	6	2	1	1	3	9	0	0	0	2	6	2	2	14	50
E	83	0	2	8	8	8	5	4	6	7	0	2	0	8	8	1	8	18	93
F	120	1	0	5	9	17	11	5	7	14	4	3	0	12	18	3	7	27	143
全体	487	9	3	41	34	48	25	27	32	56	12	8	0	40	51	14	26	127	553
	回答者比(%)	1.8	0.6	8.4	7.0	9.9	5.1	5.5	6.6	11.5	2.5	1.6	0.0	8.2	10.5	2.9	5.3	26.1	113.6
	回答数比(%)	1.6	0.5	7.4	6.1	8.7	4.5	4.9	5.8	10.1	2.2	1.4	0.0	7.2	9.2	2.5	4.7	23.0	100.0

第2問1

性別家族役割

全校集計

男子

表2-1-1

NO1全体

男性と女性は体力が違うのだからそれを生かす場が違って当然だ

(1<4)

学校名			1賛成	2やや賛成	3やや反対	4反対	NA	父1	父2	父3	父4	父NA	母1	母2	母3	母4	母NA
全体	全体数	358	133	136	61	26	2	120	106	36	17	79	94	83	65	38	78
		構成比(%)	37.2	38.0	17.0	7.3	0.6	33.5	29.6	10.1	4.7	22.1	26.3	23.2	18.2	10.6	21.8
		人数(人)	269		87		2	226		53		79	177		103		78
		構成比(%)	75.1		24.3		0.6	63.1		14.8		22.1	49.4		28.8		21.8
	属性別回答者	人数(人)	356					279					280				
		構成比(%)	37.4	38.2	17.1	7.3		43.0	38.0	12.9	6.1		33.6	29.6	23.2	13.6	
			75.6		24.4			81.0		19.0			63.2		36.8		
		平均値	1.94					1.82					2.45				

第2問1

性別家族役割

全校集計

女子

表2-1-2

NO1全体

男性と女性は体力が違うのだからそれを生かす場が違って当然だ

(1<4)

学校名			1賛成	2やや賛成	3やや反対	4反対	NA	父1	父2	父3	父4	父NA	母1	母2	母3	母4	母NA
全体	全体数	487	172	182	78	33	4	173	128	43	20	123	142	120	78	29	118
		構成比(%)	35.3	37.4	16.0	6.8	0.8	35.5	26.3	8.8	4.1	25.3	29.2	24.6	16.0	6.0	24.2
		人数(人)	354		111		4	301		63		123	262		107		118
		構成比(%)	72.7		22.8		0.8	61.8		12.9		25.3	53.8		22.0		24.2
	属性別回答者	人数(人)	465					364					369				
		構成比(%)	37.0	39.1	16.8	7.1		47.5	35.2	11.8	5.5		38.5	32.5	21.1	7.9	
			76.1		23.9			82.7		17.3			71.0		29.0		
		平均値	1.84					1.75					1.98				

第2問1 性別家族役割 全校集計 男子 表2-2-1
NO2全体 最近は女性の権利ばかり主張されて、男性の権利が侵害されている (1<4)

学校名			1賛成	2やや賛成	3やや反対	4反対	NA	父1	父2	父3	父4	父NA	母1	母2	母3	母4	母NA
全体	全体数	358	78	135	94	48	3	55	109	85	31	78	28	74	121	57	78
		構成比(%)	21.8	37.7	26.3	13.4	0.8	15.4	30.4	23.7	8.7	21.8	7.8	20.7	33.8	15.9	21.8
		人数(人)	213		142		3	164		126		78	102		178		78
		構成比(%)	59.5		39.7		0.8	45.8		35.2		21.8	28.5		49.7		21.8
	属性別回答者	人数(人)	355					280					280				
		構成比(%)	22.0	38.0	26.5	13.5		19.6	38.9	30.4	11.1		10.0	26.4	43.2	20.4	
			60.0		40.0			58.6		41.4			36.4		63.6		
		平均値	2.32					2.33					2.74				

第2問1 性別家族役割 全校集計 女子 表2-2-2
NO2全体 最近は女性の権利ばかり主張されて、男性の権利が侵害されている (1<4)

学校名			1賛成	2やや賛成	3やや反対	4反対	NA	父1	父2	父3	父4	父NA	母1	母2	母3	母4	母NA
全体	全体数	487	32	136	179	132	8	56	143	110	53	125	23	103	154	86	121
		構成比(%)	6.6	27.9	36.8	27.1	1.6	11.5	29.4	22.6	10.9	25.7	4.7	21.1	31.6	17.7	24.8
		人数(人)	168		311		8	199		163		125	126		240		121
		構成比(%)	34.5		63.9		1.6	40.9		33.5		25.7	25.9		49.3		24.8
	属性別回答者	人数(人)	479					362					366				
		構成比(%)	6.7	28.4	37.4	27.6		15.5	39.5	30.4	14.6		6.3	28.1	42.1	23.5	
			35.1		64.9			55.0		45.0			34.4		65.6		
		平均値	2.92					2.44					2.83				

第2問1
NO3全体

性別家族役割 全校集計 男子
家族のために働いているのだから、夫は家事を手伝う必要はない

表2-3-1
(1<4)

学校名			1賛成	2やや賛成	3やや反対	4反対	NA	父1	父2	父3	父4	父NA	母1	母2	母3	母4	母NA
全体	全体数	358	17	53	132	155	1	71	82	79	50	76	16	15	82	169	76
	構成比(%)		4.7	14.8	36.9	43.3	0.3	19.8	22.9	22.1	14.0	21.2	4.5	4.2	22.9	47.2	21.2
	人数(人)		70		287		1	153		129		76	31		251		76
	構成比(%)		19.6		80.2		0.3	42.7		36.0		21.2	8.7		70.1		21.2
	属性別回答者	人数(人)	357					282					282				
	構成比(%)		4.8	14.8	37.0	43.4		25.2	29.1	28.0	17.7		5.7	5.3	29.1	59.9	
			19.6		80.4			54.3		45.7			11.0		89.0		
	平均値		3.19					2.38					3.43				

第2問1
NO3全体

性別家族役割 全校集計 女子
家族のために働いているのだから、夫は家事を手伝う必要はない

表2-3-2
(1<4)

学校名	学校名		1賛成	2やや賛成	3やや反対	4反対	NA	父1	父2	父3	父4	父NA	母1	母2	母3	母4	母NA
全体	全体数	487	16	34	137	297	3	102	90	101	73	121	16	39	112	203	117
		構成比(%)	3.3	7.0	28.1	61.0	0.6	20.9	18.5	20.7	15.0	24.8	3.3	8.0	23.0	41.7	24.0
		人数(人)	50		434		3	192		174		121	55		315		117
		構成比(%)	10.3		89.1		0.6	39.4		35.7		24.8	11.3		64.7		24.0
	属性別回答者	人数(人)	484					366					370				
		構成比(%)	3.3	7.0	28.3	61.4		27.9	24.6	27.6	19.9		4.3	10.5	30.3	54.9	
			10.3		89.7			52.5		47.5			14.9		85.1		
		平均値	3.46					2.40					3.36				

第2問1

性別家族役割 全校集計

男子

表2-4-1

NO4全体

暴力はどんな理由があっても、絶対に許されるべきでない

(1>4)

学校名			1賛成	2やや賛成	3やや反対	4反対	NA	父1	父2	父3	父4	父NA	母1	母2	母3	母4	母NA
全体	全体数	358	145	106	81	25	1	130	66	63	21	78	155	55	52	18	78
		構成比(%)	40.5	29.6	22.6	7.0	0.3	36.3	18.4	17.6	5.9	21.8	43.3	15.4	14.5	5.0	21.8
		人数(人)	251		106		1	196		84		78	210		70		78
		構成比(%)	70.1		29.6		0.3	54.7		23.5		21.8	58.7		19.6		21.8
	属性別回答者	人数(人)	357					280					280				
		構成比(%)	40.6	29.7	22.7	7.0		46.4	23.6	22.5	7.5		55.4	19.6	18.6	6.4	
			70.3		29.7			70.0		30.0			75.0		25.0		
		平均値	1.96					1.91					1.76				

第2問1

性別家族役割 全校集計

女子

表2-4-2

NO4全体

暴力はどんな理由があっても、絶対に許されるべきでない

(1>4)

学校名			1賛成	2やや賛成	3やや反対	4反対	NA	父1	父2	父3	父4	父NA	母1	母2	母3	母4	母NA		
全体	全体数	487	300	99	62	23	3	184	85	85	26	121	229	72	45	23	118		
		構成比(%)	61.6	20.3	12.7	4.7	0.6	37.8	17.5	17.5	5.3	24.8	47.0	14.8	9.2	4.7	24.2		
		人数(人)	399		85		3	269		97		121	301		68		118		
		構成比(%)	81.9		17.5		0.6	55.2		19.9		24.8	61.8		14.0		24.2		
	属性別回答者	人数(人)	484						366						369				
		構成比(%)	62.0	20.5	12.8	4.8		50.3	23.2	23.2	7.1		62.1	19.5	12.2	6.2			
			82.4		17.6			73.5		26.5			81.6		18.4				
		平均値	1.60						1.95						1.63				

第2問1 性別家族役割 全校集計 男子 表2-5-1
NO5全体 夫と妻の権利は平等とはいえ、実際には経済力のある夫の方が力をもっている (1<4)

学校名			1賛成	2やや賛成	3やや反対	4反対	NA	父1	父2	父3	父4	父NA	母1	母2	母3	母4	母NA	
全体	全体数	358	54	98	96	107	3	70	85	62	64	77	36	55	90	100	77	
		構成比(%)	15.1	27.4	26.8	29.9	0.8	19.6	23.7	17.3	17.9	21.5	10.1	15.4	25.1	27.9	21.5	
		人数(人)	152		203		3	155		126		77	91		190		77	
		構成比(%)	42.5		56.7		0.8	43.3		35.2		21.5	25.4		53.1		21.5	
	属性別回答者	人数(人)	355					281					281					
		構成比(%)	15.2	27.6	27.0	30.1		24.9	30.2	22.1	22.8		12.8	19.6	32.0	35.6		
			42.8		57.2			55.2		44.8			32.4		67.6			
		平均値	2.72					2.43					2.90					

第2問1 性別家族役割 全校集計 女子 表2-5-2
NO5全体 夫と妻の権利は平等とはいえ、実際には経済力のある夫の方が力をもっている (1<4)

学校名			1賛成	2やや賛成	3やや反対	4反対	NA	父1	父2	父3	父4	父NA	母1	母2	母3	母4	母NA
全体	全体数	487	66	117	139	159	6	92	151	69	63	125	67	84	100	116	120
		構成比(%)	13.6	24.0	28.5	32.6	1.2	18.9	31.0	14.2	12.9	25.7	13.8	17.2	20.5	23.8	24.6
		人数(人)	183		298		6	230		132		125	151		216		120
		構成比(%)	37.6		61.2		1.2	47.2		27.1		25.7	31.0		44.4		24.6
	属性別回答者	人数(人)	481					362					367				
		構成比(%)	13.7	24.3	28.9	33.1		25.4	41.7	19.1	17.4		18.3	22.9	27.2	31.6	
			38.0		62.0			67.1		36.5			41.1		58.9		
		平均値	2.81					2.61					2.72				

第2問1

性別家族役割

全校集計

男子

表2-6-1

NO6全体 相手を軽蔑したり、嫌がることを言うのも一種の暴力である

(1>4)

学校名			1賛成	2やや賛成	3やや反対	4反対	NA	父1	父2	父3	父4	父NA	母1	母2	母3	母4	母NA
全体	全体数	358	238	78	29	11	2	193	62	20	6	79	209	56	12	1	80
		構成比(%)	66.5	21.8	8.1	3.1	0.6	53.9	17.3	5.6	1.7	22.1	58.4	15.6	3.4	0.3	22.3
		人数(人)	316		40		2	255		24		79	265		13		80
		構成比(%)	88.3		11.2		0.6	71.2		6.7		22.1	74.0		3.6		22.3
	属性別回答者	人数(人)	356					279					278				
		構成比(%)	66.9	21.9	8.1	3.1		69.2	22.2	7.2	2.2		75.2	20.1	4.3	0.4	
			88.8		11.2			91.4		9.3			95.3		4.7		
		平均値	1.47					1.44					1.30				

第2問1

性別家族役割

全校集計

女子

表2-6-2

NO6全体 相手を軽蔑したり、嫌がることを言うのも一種の暴力である

(1>4)

学校名			1賛成	2やや賛成	3やや反対	4反対	NA	父1	父2	父3	父4	父NA	母1	母2	母3	母4	母NA
全体	全体数	487	338	110	21	14	4	239	81	33	8	126	263	77	14	12	121
		構成比(%)	69.4	22.6	4.3	2.9	0.8	49.1	16.6	6.8	1.6	25.9	54.0	15.8	2.9	2.5	24.8
		人数(人)	448		35		4	320		41		126	340		26		121
		構成比(%)	92.0		7.2		0.8	65.7		8.4		25.9	69.8		5.3		24.8
	属性別回答者	人数(人)	483					357					366				
		構成比(%)	70.0	22.8	4.3	2.9		66.9	22.7	9.2	2.2		71.9	21.0	3.8	3.3	
			92.8		7.2			89.6		11.4			92.9		7.1		
		平均値	1.40					2.16					1.39				

第2問1 性別家族役割 全校集計 男子 表2-7-1
NO7全体 社会でも家庭でも、体力の差があっても男女は平等に扱われるべきだ (1>4)

学校名			1賛成	2やや賛成	3やや反対	4反対	NA	父1	父2	父3	父4	父NA	母1	母2	母3	母4	母NA
全体	全体数	358	173	113	53	18	1	136	84	46	12	80	152	76	40	10	80
		構成比(%)	48.3	31.6	14.8	5.0	0.3	38.0	23.5	12.8	3.4	22.3	42.5	21.2	11.2	2.8	22.3
		人数(人)	286		71		1	220		58		80	228		50		80
		構成比(%)	79.9		19.8		0.3	61.5		16.2		22.3	63.7		14.0		22.3
	属性別回答者	人数(人)	357					278					278				
		構成比(%)	48.5	31.7	14.8	5.0		48.9	30.2	16.5	4.3		54.7	27.3	14.4	3.6	
			80.1		19.9			79.1		20.9			82.0		18.0		
		平均値	1.76					1.76					1.67				

第2問1 性別家族役割 全校集計 女子 表2-7-2
NO7全体 社会でも家庭でも、体力の差があっても男女は平等に扱われるべきだ (1>4)

学校名			1賛成	2やや賛成	3やや反対	4反対	NA	父1	父2	父3	父4	父NA	母1	母2	母3	母4	母NA
全体	全体数	487	271	144	58	11	3	175	124	49	11	128	196	96	63	8	124
		構成比(%)	55.6	29.6	11.9	2.3	0.6	35.9	25.5	10.1	2.3	26.3	40.2	19.7	12.9	1.6	25.5
		人数(人)	415		69		3	299		60		128	292		71		124
		構成比(%)	85.2		14.2		0.6	61.4		12.3		26.3	60.0		14.6		25.5
	属性別回答者	人数(人)	484					359					363				
		構成比(%)	56.0	29.8	12.0	2.3		48.7	34.5	13.6	3.1		54.0	26.4	17.4	2.2	
			85.74		14.26			83.29		16.71			80.44		19.56		
		平均値	1.61					1.71					1.68				

第2問1 性別家族役割 全校集計 男子 表2-8-1
 NO8全体 今の社会は男性に都合のよい社会で、女性の権利は軽く見られがちだ (1>4)

学校名			1賛成	2やや賛成	3やや反対	4反対	NA	父1	父2	父3	父4	父NA	母1	母2	母3	母4	母NA
全体	全体数	358	50	151	125	30	2	45	101	111	22	79	78	114	62	24	80
		構成比(%)	14.0	42.2	34.9	8.4	0.6	12.6	28.2	31.0	6.1	22.1	21.8	31.8	17.3	6.7	22.3
		人数(人)	201		155		2	146		133		79	192		86		80
		構成比(%)	56.1		43.3		0.6	40.8		37.2		22.1	53.6		24.0		22.3
	属性別回答者	人数(人)	356					279					278				
		構成比(%)	14.0	42.4	35.1	8.4		16.1	36.2	39.8	7.9		28.1	41.0	22.3	8.6	
			56.5		43.5			52.3		47.7			69.1		30.9		
		平均値	2.38					2.39					2.12				

第2問1 性別家族役割 全校集計 女子 表2-8-2
 NO8全体 今の社会は男性に都合のよい社会で、女性の権利は軽く見られがちだ (1>4)

学校名			1賛成	2やや賛成	3やや反対	4反対	NA	父1	父2	父3	父4	父NA	母1	母2	母3	母4	母NA
全体	全体数	487	118	205	126	33	5	36	154	136	32	129	88	154	93	29	123
		構成比(%)	24.2	42.1	25.9	6.8	1.0	7.4	31.6	27.9	6.6	26.5	18.1	31.6	19.1	6.0	25.3
		人数(人)	323		159		5	190		168		129	242		122		123
		構成比(%)	66.3		32.6		1.0	39.0		34.5		26.5	49.7		25.1		25.3
	属性別回答者	人数(人)	482					358					364				
		構成比(%)	24.5	42.5	26.1	6.8		10.1	43.0	38.0	8.9		24.2	42.3	25.5	8.0	
			67.0		33.0			53.1		46.9			66.5		33.5		
		平均値	2.39					2.46					2.17				

第2問1 性別家族役割 全校集計 男子 表2-9-1
NO9全体 家族の中では話し合いが自由にできることが大切だ (1>4)

学校名			1賛成	2やや賛成	3やや反対	4反対	NA	父1	父2	父3	父4	父NA	母1	母2	母3	母4	母NA	
全体	全体数	358	231	91	30	5	1	200	62	13	5	78	213	51	11	4	79	
		構成比(%)	64.5	25.4	8.4	1.4	0.3	55.9	17.3	3.6	1.4	21.8	59.5	14.2	3.1	1.1	22.1	
		人数(人)	322		35		1	262		18		78	264		15		79	
		構成比(%)	89.9		9.8		0.3	73.2		5.0		21.8	73.7		4.2		22.1	
	属性別回答者	人数(人)	357						280					279				
		構成比(%)	64.7	25.5	8.4	1.4		71.4	22.1	4.6	1.8		76.3	18.3	3.9	1.4		
			90.2		9.8			93.6		6.4			94.6		5.4			
		平均値	1.46						1.37					1.30				

第2問1 性別家族役割 全校集計 女子 表2-9-2
NO9全体 家族の中では話し合いが自由にできることが大切だ (1>4)

学校名			1賛成	2やや賛成	3やや反対	4反対	NA	父1	父2	父3	父4	父NA	母1	母2	母3	母4	母NA		
全体	全体数	487	340	109	25	10	3	281	60	16	8	122	293	56	13	7	118		
		構成比(%)	69.8	22.4	5.1	2.1	0.6	57.7	12.3	3.3	1.6	25.1	60.2	11.5	2.7	1.4	24.2		
		人数(人)	449		35		3	341		24		122	349		20		118		
		構成比(%)	92.2		7.2		0.6	70.0		4.9		25.1	71.7		4.1		24.2		
	属性別回答者	人数(人)	484						365						369				
		構成比(%)	70.2	22.5	5.2	2.1		77.0	16.4	4.4	2.2		79.4	15.2	3.5	1.9			
			72.7		7.3			93.4		6.6			94.6		5.4				
		平均値	1.39						1.32						1.28				

第2問1 性別家族役割 全校集計 男子 表2-10-1
NO10全 家庭内では結局女性の方が強くて、男性は女性の言うことに従うことになる (1<4)

学校名			1賛成	2やや賛成	3やや反対	4反対	NA	父1	父2	父3	父4	父NA	母1	母2	母3	母4	母NA
全体	全体数	358	36	75	137	109	1	40	47	95	97	79	45	75	94	64	80
		構成比(%)	10.1	20.9	38.3	30.4	0.3	11.2	13.1	26.5	27.1	22.1	12.6	20.9	26.3	17.9	22.3
		人数(人)	111		246		1	87		192		79	120		158		80
		構成比(%)	31.0		68.7		0.3	24.3		53.6		22.1	33.5		44.1		22.3
	属性別回答者	人数(人)	357					279					278				
		構成比(%)	10.1	21.0	38.4	30.5		14.3	16.8	34.1	34.8		16.2	27.0	33.8	23.0	
			31.1		68.9			31.2		68.8			43.2		56.8		
		平均値	2.89					2.89					2.64				

第2問1 性別家族役割 全校集計 女子 表2-10-2
NO10全 家庭内では結局女性の方が強くて、男性は女性の言うことに従うことになる (1<4)

学校名			1賛成	2やや賛成	3やや反対	4反対	NA	父1	父2	父3	父4	父NA	母1	母2	母3	母4	母NA
全体	全体数	487	51	115	181	131	9	40	65	133	126	123	49	82	136	102	118
		構成比(%)	10.5	23.6	37.2	26.9	1.8	8.2	13.3	27.3	25.9	25.3	10.1	16.8	27.9	20.9	24.2
		人数(人)	166		312		9	105		259		123	131		238		118
		構成比(%)	34.1		64.1		1.8	21.6		53.2		25.3	26.9		48.9		24.2
	属性別回答者	人数(人)	478					364					369				
		構成比(%)	10.7	24.1	37.9	27.4		11.0	17.9	36.5	34.6		13.3	22.2	36.9	27.6	
			34.7		65.3			28.8		71.2			35.5		64.5		
		平均値	2.80					3.44					2.79				

第2問1 性別家族役割 全校集計 男子
NO11全体 本来夫婦は平等なのだから、夫も積極的に家事を分担すべきだ

表2-11-1
(1>4)

学校名			1賛成	2やや賛成	3やや反対	4反対	NA	父1	父2	父3	父4	父NA	母1	母2	母3	母4	母NA
全体	全体数	358	131	167	43	15	2	60	101	79	38	80	168	92	17	2	79
		構成比(%)	36.6	46.6	12.0	4.2	0.6	16.8	28.2	22.1	10.6	22.3	46.9	25.7	4.7	0.6	22.1
		人数(人)	298		58		2	161		117		80	260		19		79
		構成比(%)	83.2		16.2		0.6	45.0		32.7		22.3	72.6		5.3		22.1
	属性別回答者	人数(人)	356					278					279				
		構成比(%)	36.8	46.9	12.1	4.2		21.6	36.3	28.4	13.7		60.2	33.0	6.1	0.7	
			83.7		16.3			57.9		42.1			93.2		6.8		
		平均値	1.84					2.34					1.47				

第2問1 性別家族役割 全校集計 女子
NO11全体 本来夫婦は平等なのだから、夫も積極的に家事を分担すべきだ

表2-11-2
(1>4)

学校名			1賛成	2やや賛成	3やや反対	4反対	NA	父1	父2	父3	父4	父NA	母1	母2	母3	母4	母NA	
全体	全体数	487	272	152	44	12	7	72	112	118	61	124	221	109	26	12	119	
		構成比(%)	55.9	31.2	9.0	2.5	1.4	14.8	23.0	24.2	12.5	25.5	45.4	22.4	5.3	2.5	24.4	
		人数(人)	424		56		7	184		179		124	330		38		119	
		構成比(%)	87.1		11.5		1.4	37.8		36.8		25.5	67.8		7.8		24.4	
	属性別回答者	人数(人)	480						363					368				
		構成比(%)	56.7	31.7	9.2	2.5		19.8	30.9	32.5	16.8		60.1	29.6	7.1	3.3		
			88.3		11.7			50.7		49.3			89.7		10.3			
		平均値	1.58						2.46					1.54				

第2問1 性別家族役割 全校集計 男子 表2-12-1
NO12全体 夫の意見に従わない場合、妻は暴力を振るわれても仕方がない (1<4)

学校名			1賛成	2やや賛成	3やや反対	4反対	NA	父1	父2	父3	父4	父NA	母1	母2	母3	母4	母NA
全体	全体数	358	7	11	34	305	1	8	18	48	204	80	7	3	20	248	80
		構成比(%)	2.0	3.1	9.5	85.2	0.3	2.2	5.0	13.4	57.0	22.3	2.0	0.8	5.6	69.3	22.3
		人数(人)	18		339		1	26		252		80	10		268		80
		構成比(%)	5.0		94.7		0.3	7.3		70.4		22.3	2.8		74.9		22.3
	属性別回答者	人数(人)	357					278					278				
		構成比(%)	2.0	3.1	9.5	85.4		2.9	6.5	17.3	73.4		2.5	1.1	7.2	89.2	
			5.1		94.9			9.4		90.6			3.6		96.4		
		平均値	3.78					3.61					3.83				

第2問1 性別家族役割 全校集計 女子 表2-12-2
NO12全体 夫の意見に従わない場合、妻は暴力を振るわれても仕方がない (1<4)

学校名			1賛成	2やや賛成	3やや反対	4反対	NA	父1	父2	父3	父4	父NA	母1	母2	母3	母4	母NA
全体	全体数	487	3	12	18	450	4	11	28	38	286	124	3	7	12	347	118
		構成比(%)	0.6	2.5	3.7	92.4	0.8	2.3	5.7	7.8	58.7	25.5	0.6	1.4	2.5	71.3	24.2
		人数(人)	15		468		4	39		324		124	10		359		118
		構成比(%)	3.1		96.1		0.8	8.0		66.5		25.5	2.1		73.7		24.2
	属性別回答者	人数(人)	483					363					369				
		構成比(%)	0.6	2.5	3.7	93.2		3.0	7.7	10.5	78.8		0.8	1.9	3.3	94.0	
			3.1		96.9			10.7		89.3			2.7		97.3		
		平均値	3.89					3.65					3.91				

第2問1 性別家族役割 全校集計 男子 表2-13-1
NO13全体 家族に対する優しい言葉かけを忘れてはいけない (1>4)

学校名			1賛成	2やや賛成	3やや反対	4反対	NA	父1	父2	父3	父4	父NA	母1	母2	母3	母4	母NA	
全体	全体数	358	194	133	22	7	2	142	100	28	8	80	173	83	13	9	80	
		構成比(%)	54.2	37.2	6.1	2.0	0.6	39.7	27.9	7.8	2.2	22.3	48.3	23.2	3.6	2.5	22.3	
		人数(人)	327		29		2	242		36		80	256		22		80	
		構成比(%)	91.3		8.1		0.6	67.6		10.1		22.3	71.5		6.1		22.3	
	属性別回答者	人数(人)	356						278					278				
		構成比(%)	54.5	37.4	6.2	2.0		51.1	36.0	10.1	2.9		62.2	29.9	4.7	3.2		
			91.9		8.1			87.1		12.9			92.1		7.9			
		平均値	1.56						1.65					1.49				

第2問1 性別家族役割 全校集計 女子 表2-13-2
NO13全体 家族に対する優しい言葉かけを忘れてはいけない (1>4)

学校名			1賛成	2やや賛成	3やや反対	4反対	NA	父1	父2	父3	父4	父NA	母1	母2	母3	母4	母NA	
全体	全体数	487	319	126	25	12	5	228	102	22	7	128	264	81	11	8	123	
		構成比(%)	65.5	25.9	5.1	2.5	1.0	46.8	20.9	4.5	1.4	26.3	54.2	16.6	2.3	1.6	25.3	
		人数(人)	445		37		5	330		29		128	345		19		123	
		構成比(%)	91.4		7.6		1.0	67.8		6.0		26.3	70.8		3.9		25.3	
	属性別回答者	人数(人)	482						359					364				
		構成比(%)	66.2	26.1	5.2	2.5		63.5	28.4	6.1	1.9		72.5	22.3	3.0	2.2		
			92.3		7.7			91.9		8.1			94.8		5.2			
		平均値	1.43						1.47					1.35				

第2問1 性別家族役割 全校集計 男子 表2-14-1
NO14全体 家事や育児は主として女性がするのが自然だと思う (1<4)

学校名			1賛成	2やや賛成	3やや反対	4反対	NA	父1	父2	父3	父4	父NA	母1	母2	母3	母4	母NA
全体	全体数	358	57	164	89	46	2	81	114	53	31	79	30	72	106	72	78
		構成比(%)	15.9	45.8	24.9	12.8	0.6	22.6	31.8	14.8	8.7	22.1	8.4	20.1	29.6	20.1	21.8
		人数(人)	221		135		2	195		84		79	102		178		78
		構成比(%)	61.7		37.7		0.6	54.5		23.5		22.1	28.5		49.7		21.8
	属性別回答者	人数(人)	356					279					280				
		構成比(%)	16.0	46.1	25.0	12.9		29.0	40.9	19.0	11.1		10.7	25.7	37.9	25.7	
			62.1		37.9			69.9		30.1			36.4		63.6		
		平均値	2.35					2.12					2.77				

第2問1 性別家族役割 全校集計 女子 表2-14-2
NO14全体 家事や育児は主として女性がするのが自然だと思う (1<4)

学校名			1賛成	2やや賛成	3やや反対	4反対	NA	父1	父2	父3	父4	父NA	母1	母2	母3	母4	母NA
全体	全体数	487	61	163	157	99	7	111	131	83	36	126	50	109	115	91	122
		構成比(%)	12.5	33.5	32.2	20.3	1.4	22.8	26.9	17.0	7.4	25.9	10.3	22.4	23.6	18.7	25.1
		人数(人)	224		156		7	242		119		126	159		206		122
		構成比(%)	46.0		32.0		1.4	49.7		24.4		25.9	32.6		42.3		25.1
	属性別回答者	人数(人)	480					361					365				
		構成比(%)	12.7	34.0	32.7	20.6		30.7	36.3	23.0	10.0		13.7	29.9	31.5	24.9	
			46.7		53.3			67.0		33.0			43.6		56.4		
		平均値	2.61					2.12					2.68				

第2問1 性別家族役割 全校集計 男子 表2-15-1
 NO15全体 子どもが間違っているときには、殴ってでも親は正しい考えを教えるべきだ (1<4)

学校名			1賛成	2やや賛成	3やや反対	4反対	NA	父1	父2	父3	父4	父NA	母1	母2	母3	母4	母NA
全体	全体数	358	67	103	115	70	3	78	86	74	41	79	50	79	93	56	80
		構成比(%)	18.7	28.8	32.1	19.6	0.8	21.8	24.0	20.7	11.5	22.1	14.0	22.1	26.0	15.6	22.3
		人数(人)	170		185		3	164		115		79	129		149		80
		構成比(%)	47.5		51.7		0.8	45.8		32.1		22.1	36.0		41.6		22.3
	属性別回答者	人数(人)	355					279					278				
		構成比(%)	18.9	29.0	32.4	19.7		28.0	30.8	26.5	14.7		18.0	28.4	33.5	20.1	
			47.9		52.1			58.8		41.2			46.4		53.6		
		平均値	2.53					2.28					2.54				

第2問1 性別家族役割 全校集計 女子 表2-15-2
 NO15全体 子どもが間違っているときには、殴ってでも親は正しい考えを教えるべきだ (1<4)

学校名			1賛成	2やや賛成	やや反対	4反対	NA	父1	父2	父3	父4	父NA	母1	母2	母3	母4	母NA	
全体	全体数	487	47	104	154	177	5	80	106	101	74	126	55	98	114	100	120	
		構成比(%)	9.7	21.4	31.6	36.3	1.0	16.4	21.8	20.7	15.2	25.9	11.3	20.1	23.4	20.5	24.6	
		人数(人)	151		331		5	186		175		126	153		214		120	
		構成比(%)	31.0		68.0		1.0	38.2		35.9		25.9	31.4		43.9		24.6	
	属性別回答者	人数(人)	482						361					367				
		構成比(%)	9.8	21.6	32.0	36.7		22.2	29.4	28.0	20.5		15.0	26.7	31.1	27.2		
			31.3		68.7			51.5		48.5			41.7		58.3			
		平均値	2.96						2.47					2.71				

第2問1 性別家族役割 全校集計 男子 表2-16-1
NO16全体 夫は外でがんばっているのだから、家に帰って不きげんになっても仕方ない (1<4)

学校名			1賛成	2やや賛成	3やや反対	4反対	NA	父1	父2	父3	父4	父NA	母1	母2	母3	母4	母NA
全体	全体数	358	31	94	126	102	5	75	112	58	33	80	20	44	102	112	80
		構成比(%)	8.7	26.3	35.2	28.5	1.4	20.9	31.3	16.2	9.2	22.3	5.6	12.3	28.5	31.3	22.3
		人数(人)	125		228		5	187		91		80	64		214		80
		構成比(%)	34.9		63.7		1.4	52.2		25.4		22.3	17.9		59.8		22.3
	属性別回答者	人数(人)	353					278					278				
		構成比(%)	8.8	26.6	35.7	28.9		27.0	40.3	20.9	11.9		7.2	15.8	36.7	40.3	
			35.4		64.6			67.3		32.7			23.0		77.0		
		平均値	2.85					2.18					3.1				

第2問1 性別家族役割 全校集計 女子 表2-16-2
NO16全体 夫は外でがんばっているのだから、家に帰って不きげんになっても仕方ない (1<4)

学校名			1賛成	2やや賛成	3やや反対	4反対	NA	父1	父2	父3	父4	父NA	母1	母2	母3	母4	母NA	
全体	全体数	487	16	95	163	206	7	72	140	89	60	126	13	62	127	162	123	
		構成比(%)	3.3	19.5	33.5	42.3	1.4	14.8	28.7	18.3	12.3	25.9	2.7	12.7	26.1	33.3	25.3	
		人数(人)	111		369		7	212		149		126	75		289		123	
		構成比(%)	22.8		75.8		1.4	43.5		30.6		25.9	15.4		59.3		25.3	
	属性別回答者	人数(人)	480					361					364					
		構成比(%)	3.3	19.8	34.0	42.9		19.9	38.8	24.7	16.6		3.6	17.0	34.9	44.5		
			23.1		76.9			58.7		41.3			20.6		79.4			
		平均値	3.16					3.00					3.20					

第2問1 性別家族役割 全校集計 男子 表2-17-1
NO17全体 夫も家事を手伝う方がよいが、あくまでも主体は妻だ (1<4)

学校名			1賛成	2やや賛成	3やや反対	4反対	NA	父1	父2	父3	父4	父NA	母1	母2	母3	母4	母NA
全体	全体数	358	105	155	64	32	2	115	110	30	24	79	49	85	97	48	79
		構成比(%)	29.3	43.3	17.9	8.9	0.6	32.1	30.7	8.4	6.7	22.1	13.7	23.7	27.1	13.4	22.1
		人数(人)	260		96		2	225		54		79	134		145		79
		構成比(%)	72.6		26.8		0.6	62.8		15.1		22.1	37.4		40.5		22.1
	属性別回答者	人数(人)	356					279					279				
		構成比(%)	29.5	43.5	18.0	9.0		41.2	39.4	10.8	8.6		17.6	30.5	34.8	17.2	
			73.0		27.0			80.6		19.4			48.0		52.0		
		平均値	2.06					1.87					2.25				

第2問1 性別家族役割 全校集計 女子 表2-17-2
NO17全体 夫も家事を手伝う方がよいが、あくまでも主体は妻だ (1<4)

学校名			1賛成	2やや賛成	3やや反対	4反対	NA	父1	父2	父3	父4	父NA	母1	母2	母3	母4	母NA
全体	全体数	487	92	203	121	63	8	140	146	54	20	127	60	147	98	58	124
		構成比(%)	18.9	41.7	24.8	12.9	1.6	28.7	30.0	11.1	4.1	26.1	12.3	30.2	20.1	11.9	25.5
		人数(人)	295		184		8	286		74		127	207		156		124
		構成比(%)	60.6		37.8		1.6	58.7		15.2		26.1	42.5		32.0		25.5
	属性別回答者	人数(人)	479					360					363				
		構成比(%)	19.2	42.4	25.3	13.2		38.9	40.6	15.0	5.6		16.5	40.5	27.0	16.0	
			61.6		38.4			79.4		20.6			57.0		43.0		
		平均値	2.32					1.87					2.42				

第2問1 性別家族役割 全校集計 男子 表2-18-1
NO18全体 権威や正義を守るためには暴力もやむを得ないことがある (1<4)

学校名			1賛成	2やや賛成	3やや反対	4反対	NA	父1	父2	父3	父4	父NA	母1	母2	母3	母4	母NA
全体	全体数	358	75	100	94	87	2	59	74	75	71	79	34	55	95	94	80
		構成比(%)	20.9	27.9	26.3	24.3	0.6	16.5	20.7	20.9	19.8	22.1	9.5	15.4	26.5	26.3	22.3
		人数(人)	175		181		2	133		146		79	89		189		80
		構成比(%)	48.9		50.6		0.6	37.2		40.8		22.1	24.9		52.8		22.3
	属性別回答者	人数(人)	356					279					278				
		構成比(%)	21.1	28.1	26.4	24.4		21.1	26.5	26.9	25.4		12.2	19.8	34.2	33.8	
			49.2		50.8			47.7		52.3			32.0		68.0		
		平均値	2.54					2.57					2.88				

第2問1 性別家族役割 全校集計 女子 表2-18-2
NO18全体 権威や正義を守るためには暴力もやむを得ないことがある (1<4)

学校名			1賛成	2やや賛成	3やや反対	4反対	NA	父1	父2	父3	父4	父NA	母1	母2	母3	母4	母NA
全体	全体数	487	30	114	128	208	7	38	99	97	126	127	19	75	107	161	125
		構成比(%)	6.2	23.4	26.3	42.7	1.4	7.8	20.3	19.9	25.9	26.1	3.9	15.4	22.0	33.1	25.7
		人数(人)	144		336		7	137		223		127	94		268		125
		構成比(%)	29.6		69.0		1.4	28.1		45.8		26.1	19.3		55.0		25.7
	属性別回答者	人数(人)	480					360					362				
		構成比(%)	6.3	23.8	26.7	43.3		10.6	27.5	26.9	35.0		5.2	20.7	29.6	44.5	
			30.0		70.0			38.1		61.9			26.0		74.0		
		平均値	3.07					3.53					3.13				

第2問1 性別家族役割 全校集計 男子
 NO19全体 お互いに分かり合っていれば、
 家族の間では自分の気持ちを取り立てて言葉で表現する必要はない

表2-19-1
 (1<4)

学校名			1賛成	2やや賛成	3やや反対	4反対	NA	父1	父2	父3	父4	父NA	母1	母2	母3	母4	母NA	
全体	全体数	358	73	114	112	55	4	55	103	80	38	82	44	88	89	55	82	
		構成比(%)	20.4	31.8	31.3	15.4	1.1	15.4	28.8	22.3	10.6	22.9	12.3	24.6	24.9	15.4	22.9	
		人数(人)	187		167		4	158		118		82	132		44		82	
		構成比(%)	52.2		46.6		1.1	44.1		33.0		22.9	36.9		12.3		22.9	
	属性別回答者	人数(人)	354					276					276					
		構成比(%)	20.6	32.2	31.6	15.5		19.9	37.3	29.0	13.8		15.9	31.9	32.2	19.9		
			52.8		47.2			57.2		42.8			47.8		52.2			
		平均値	2.42					2.37					2.56					

第2問1 性別家族役割 全校集計 女子
 NO19全体 お互いに分かり合っていれば、
 家族の間では自分の気持ちを取り立てて言葉で表現する必要はない

表2-19-2
 (1<4)

学校名			1賛成	2やや賛成	3やや反対	4反対	NA	父1	父2	父3	父4	父NA	母1	母2	母3	母4	母NA			
全体	全体数	487	68	124	183	103	9	55	100	135	69	128	43	88	140	93	123			
		構成比(%)	14.0	25.5	37.6	21.1	1.8	11.3	20.5	27.7	14.2	26.3	8.8	18.1	28.7	19.1	25.3			
		人数(人)	192		286		9	155		204		128	131		233		123			
		構成比(%)	39.4		58.7		1.8	31.8		41.9		26.3	26.9		47.8		25.3			
	属性別回答者	人数(人)	478					359					364							
		構成比(%)	14.2	25.9	38.3	21.5		15.3	27.9	37.6	19.2		11.8	24.2	38.5	25.5				
			40.2		59.8			43.2		56.8			36.0		64.0					
		平均値	2.67						2.61						2.78					

第2問1 性別家族役割 全校集計 男子 表2-20-1
 NO20全体 妻は家族に迷惑をかけなければ、外で働いてもよい (1>4)

学校名			1賛成	2やや賛成	3やや反対	4反対	NA	父1	父2	父3	父4	父NA	母1	母2	母3	母4	母NA	
全体	全体数	358	207	107	28	11	5	131	81	49	16	81	168	80	20	8	82	
		構成比(%)	57.8	29.9	7.8	3.1	1.4	36.6	22.6	13.7	4.5	22.6	46.9	22.3	5.6	2.2	22.9	
		人数(人)	314		39		5	212		65		81	248		28		82	
		構成比(%)	87.7		10.9		1.4	59.2		18.2		22.6	69.3		7.8		22.9	
	属性別回答者	人数(人)	353						277					276				
		構成比(%)	58.6	30.3	7.9	3.1		47.3	29.2	17.7	5.8		60.9	29.0	7.2	2.9		
			89.0		11.0			76.5		23.5			89.9		10.1			
		平均値	1.56						1.82					1.52				

第2問1 性別家族役割 全校集計 女子 表2-20-2
 NO20全体 妻は家族に迷惑をかけなければ、外で働いてもよい (1>4)

学校名			1賛成	2やや賛成	3やや反対	4反対	NA	父1	父2	父3	父4	父NA	母1	母2	母3	母4	母NA
全体	全体数	487	338	98	28	14	9	195	89	51	21	131	271	57	21	12	126
		構成比(%)	69.4	20.1	5.7	2.9	1.8	40.0	18.3	10.5	4.3	26.9	55.6	11.7	4.3	2.5	25.9
		人数(人)	436		42		9	284		72		131	328		33		126
		構成比(%)	89.5		8.6		1.8	58.3		14.8		26.9	67.4		6.8		25.9
	属性別回答者	人数(人)	478					356					361				
		構成比(%)	70.7	20.5	5.9	2.9		54.8	25.0	14.3	5.9		75.1	15.8	5.8	3.3	
			91.2		8.8			79.8		20.2			90.9		9.1		
		平均値	1.41					1.71					1.37				

第2問1 性別家族役割 全校集計 男子
NO21全体 女が家事をしない家庭があってもよい

表2-21-1
(1>4)

学校名			1賛成	2やや賛成	3やや反対	4反対	NA	父1	父2	父3	父4	父NA	母1	母2	母3	母4	母NA
全体	全体数	358	137	97	78	44	2	76	60	76	67	79	115	93	45	26	79
		構成比(%)	38.3	27.1	21.8	12.3	0.6	21.2	16.8	21.2	18.7	22.1	32.1	26.0	12.6	7.3	22.1
		人数(人)	234		122		2	136		143		79	208		71		79
		構成比(%)	65.4		34.1		0.6	38.0		39.9		22.1	58.1		19.8		22.1
	属性別回答者	人数(人)	356					279					279				
		構成比(%)	38.5	27.2	21.9	12.4		27.2	21.5	27.2	24.0		41.2	33.3	16.1	9.3	
			65.7		34.3			48.7		51.3			74.6		25.4		
		平均値	1.97					2.48					1.94				

第2問1 性別家族役割 全校集計 女子
NO21全体 女が家事をしない家庭があってもよい

表2-21-2
(1>4)

学校名			1賛成	2やや賛成	3やや反対	4反対	NA	父1	父2	父3	父4	父NA	母1	母2	母3	母4	母NA
全体	全体数	487	256	106	78	40	7	108	60	106	86	127	182	100	54	31	120
		構成比(%)	52.6	21.8	16.0	8.2	1.4	22.2	12.3	21.8	17.7	26.1	37.4	20.5	11.1	6.4	24.6
		人数(人)	362		118		7	168		192		127	282		85		120
		構成比(%)	74.3		24.2		1.4	34.5		39.4		26.1	57.9		17.5		24.6
	属性別回答者	人数(人)	480					360					367				
		構成比(%)	53.3	22.1	16.3	8.3		30.0	16.7	29.4	23.9		49.6	27.2	14.7	8.4	
			75.4		24.6			46.7		53.3			76.8		23.2		
		平均値	1.8					2.47					1.82				

第3問1 これまでの経験 男子全体

表3-1-1

			いやな経験															よい経験										
グラフ上の経験内容の番号			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15											
群			無視	意見の 押付	怒鳴る	殴る	壊す	出て行け	誰のお陰で 食べられる	お前なん か嫌いだ	産まれなけれ ばよかった	人と比較	交友干渉	無関心	信書を見 る	性的被害	その他	合計	平均経験数	傾聴	世話	褒める	いい子と いわれる	遊びや 旅行	自由	合計	平均経験数	
	有効回収者数	49	回答数	23	34	23	25	19	29	18	11	3	33	12	12	7	1	0	250	5.1	35	35	38	13	32	24	177	3.8
A	回答者数	49	回答数比率	9.2	13.6	9.2	10.0	7.6	11.6	7.2	4.4	1.2	13.2	4.8	4.8	2.8	0.4	0.0	100.0		19.8	19.8	21.5	7.3	18.1	13.6	100.0	
	無回答者数	0	回答者数比率	46.9	69.4	46.9	51.0	38.8	59.2	36.7	22.4	6.1	67.3	24.5	24.5	14.3	2.0	0.0	49		71.4	71.4	77.6	26.5	65.3	49.0	49	
	有効回収者数	100	回答数	39	55	42	39	32	43	44	18	4	52	20	10	20	5	2	425	4.4	61	65	63	27	58	42	316	3.4
B	回答者数	93	回答数比率	9.2	12.9	9.9	9.2	7.5	10.1	10.4	4.2	0.9	12.2	4.7	2.4	4.7	1.2	0.5	100.0		19.3	20.6	19.9	8.5	18.4	13.3	100.0	
	無回答者数	7	回答者数比率	41.9	59.1	45.2	41.9	34.4	46.2	47.3	19.4	4.3	55.9	21.5	10.8	21.5	5.4	2.2	93		65.6	69.9	67.7	29.0	62.4	45.2	93	
	有効回収者数	51	回答数	15	27	16	14	10	21	17	6	3	29	6	3	6	1	0	174	4.0	36	34	35	16	24	28	173	4.0
C	回答者数	43	回答数比率	8.6	15.5	9.2	8.0	5.7	12.1	9.8	3.4	1.7	16.7	3.4	1.7	3.4	0.6	0.0	100.0		20.8	19.7	20.2	9.2	13.9	16.2	100.0	
	無回答者数	8	回答者数比率	34.9	62.8	37.2	32.6	23.3	48.8	39.5	14.0	7.0	67.4	14.0	7.0	14.0	2.3	0.0	43		83.7	79.1	81.4	37.2	55.8	65.1	43	
	有効回収者数	49	回答数	17	26	20	23	16	24	19	8	4	27	10	4	8	1	1	208	4.5	32	36	34	18	23	27	170	3.7
D	有効回答者数	46	回答数比率	8.2	12.5	9.6	11.1	7.7	11.5	9.1	3.8	1.9	13.0	4.8	1.9	3.8	0.5	0.5	100.0		18.8	21.2	20.0	10.6	13.5	15.9	100.0	
	無回答者数	3	回答者数比率	37.0	56.5	43.5	50.0	34.8	52.2	41.3	17.4	8.7	58.7	21.7	8.7	17.4	2.2	2.2	46		69.6	78.3	73.9	39.1	50.0	58.7	46	
	回収者数	60	回答数	28	36	30	23	23	29	21	15	5	29	12	11	12	5	4	283	5.2	40	39	43	24	32	31	209	3.9
E	回答者数	54	回答数比率	9.9	12.7	10.6	8.1	8.1	10.2	7.4	5.3	1.8	10.2	4.2	3.9	4.2	1.8	1.4	100.0		19.1	18.7	20.6	11.5	15.3	14.8	100.0	
	無回答者数	6	回答者数比率	51.9	66.7	55.6	42.6	42.6	53.7	38.9	27.8	9.3	53.7	22.2	20.4	22.2	9.3	7.4	54		74.1	72.2	79.6	44.4	59.3	57.4	54	
	有効回収者数	49	回答数	15	19	18	16	19	17	19	7	3	22	10	5	7	4	2	183	4.4	27	24	22	13	23	16	125	3.0
F	回答者数	42	回答数比率	8.2	10.4	9.8	8.7	10.4	9.3	10.4	3.8	1.6	12.0	5.5	2.7	3.8	2.2	1.1	100.0		21.6	19.2	17.6	10.4	18.4	12.8	100.0	
	無回答者数	7	回答者数比率	35.7	45.2	42.9	38.1	45.2	40.5	45.2	16.7	7.1	52.4	23.8	11.9	16.7	9.5	4.8	42		64.3	57.1	52.4	31.0	54.8	38.1	42	
	有効回収者数	358	回答数	137	197	149	140	119	163	138	65	22	192	70	45	60	17	9	1523	4.7	231	233	235	111	192	168	1170	3.6
全体	回答者数	327	回答数比率	9.0	12.9	9.8	9.2	7.8	10.7	9.1	4.3	1.4	12.6	4.6	3.0	3.9	1.1	0.6	100.0		19.7	19.9	20.1	9.5	16.4	14.4	100.0	
	無回答者数	31	回答者数比率	41.9	60.2	45.6	42.8	36.4	49.8	42.2	19.9	6.7	58.7	21.4	13.8	18.3	5.2	2.8	327		70.6	71.3	71.9	33.9	58.7	51.4	327	

第3問1 これまでの経験 女子全体

表3-1-2

			いやな経験																	よい経験								
グラフ上の経験内容の番号			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15											
群			無視	意見の 押付	怒鳴る	殴る	壊す	出て行け	誰のお陰で 食べられる	お前なんか 嫌いだ	産まれなけれ ばよかった	人と比較	交友干渉	無関心	恨書を見 る	性的被害	その他	合計	平均経験数	傾聴	世話	褒める	いい子と いわれる	遊びや 旅行	自由	合計	平均経験数	
	回収者数	96	回答数	52	55	39	40	33	42	33	30	3	58	18	16	20	7	2	448	4.7	45	48	47	31	38	30	239	2.5
A	回答者数	95	回答数比率	11.6	12.3	8.7	8.9	7.4	9.4	7.4	6.7	0.7	12.9	4.0	3.6	4.5	1.6	0.4	100.0		18.8	20.1	19.7	13.0	15.9	12.6	100.0	
	無回答者数	1	回答者数比率	54.7	57.9	41.1	42.1	34.7	44.2	34.7	31.6	3.2	61.1	18.9	16.8	21.1	7.4	2.1	95		47.4	50.5	49.5	32.6	40.0	31.6	95	
	回収者数	85	回答数	35	46	42	37	38	43	41	13	8	55	18	10	29	14	0	429	5.2	78	72	79	47	60	42	378	4.6
B	回答者数	83	回答数比率	8.2	10.7	9.8	8.6	8.9	10.0	9.6	3.0	1.9	12.8	4.2	2.3	6.8	3.3	0.0	100.0		20.6	19.0	20.9	12.4	15.9	11.1	100.0	
	無回答者数	2	回答者数比率	42.2	55.4	50.6	44.6	45.8	51.8	49.4	15.7	9.6	66.3	21.7	12.0	34.9	16.9	0.0	83		94.0	86.7	95.2	56.6	72.3	50.6	83	
	回収者数	56	回答数	20	29	22	19	15	21	16	14	7	27	5	3	9	6	0	213	3.9	43	39	43	31	39	27	222	4.1
C	回答者数	54	回答数比率	9.4	13.6	10.3	8.9	7.0	9.9	7.5	6.6	3.3	12.7	2.3	1.4	4.2	2.8	0.0	100.0		19.4	17.6	19.4	14.0	17.6	12.2	100.0	
	無回答者数	2	回答者数比率	37.0	53.7	40.7	35.2	27.8	38.9	29.6	25.9	13.0	50.0	9.3	5.6	16.7	11.1	0.0	54		79.6	72.2	79.6	57.4	72.2	50.0	54	
	回収者数	47	回答数	22	29	22	23	17	20	17	15	6	26	8	9	12	5	1	232	5.0	37	40	36	26	29	24	192	4.2
D	回答者数	46	回答数比率	9.5	12.5	9.5	9.9	7.3	8.6	7.3	6.5	2.6	11.2	3.4	3.9	5.2	2.2	0.4	100.0		19.3	20.8	18.8	13.5	15.1	12.5	100.0	
	無回答者数	1	回答者数比率	47.8	63.0	47.8	50.0	37.0	43.5	37.0	32.6	13.0	56.5	17.4	19.6	26.1	10.9	2.2	46		80.4	87.0	78.3	56.5	63.0	52.2	46	
	回収者数	83	回答数	36	45	38	38	33	43	37	20	11	33	21	16	19	9	1	400	5.2	59	64	66	34	45	32	300	3.9
E	回答者数	77	回答数比率	9.0	11.3	9.5	9.5	8.3	10.8	9.3	5.0	2.8	8.3	5.3	4.0	4.8	2.3	0.3	100.0		19.7	21.3	22.0	11.3	15.0	10.7	100.0	
	無回答者数	6	回答者数比率	46.8	58.4	49.4	49.4	42.9	55.8	48.1	26.0	14.3	42.9	27.3	20.8	24.7	11.7	1.3	77		76.6	83.1	85.7	44.2	58.4	41.6	77	
	回収者数	120	回答数	56	68	57	55	39	66	60	27	16	64	31	17	25	18	3	602	5.2	95	93	86	62	67	52	455	4.0
F	回答者数	113	回答数比率	9.3	11.3	9.5	9.1	6.5	11.0	10.0	4.5	2.7	10.6	5.1	2.8	4.2	3.0	0.5	100.0		20.9	20.4	18.9	13.6	14.7	11.4	100.0	
	無回答者数	7	回答者数比率	49.6	60.2	50.4	48.7	34.5	58.4	53.1	23.9	14.2	56.6	27.4	15.0	22.1	15.9	2.7	113		84.1	82.3	76.1	54.9	59.3	46.0	113	
	回収者数	487	回答数	221	272	220	212	175	235	204	119	51	263	101	71	114	59	7	2324	5.0	357	356	357	231	278	207	1786	3.8
全体	回答者数	468	回答数比率	9.5	11.7	9.5	9.1	7.5	10.1	8.8	5.1	2.2	11.3	4.3	3.1	4.9	2.5	0.3	100.0		20.0	19.9	20.0	12.9	15.6	11.6	100.0	
	無回答者数	19	回答者数比率	47.2	58.1	47.0	45.3	37.4	50.2	43.6	25.4	10.9	56.2	21.6	15.2	24.4	12.6	1.5	468		76.3	76.1	76.3	49.4	59.4	44.2	468	

第3問1 いやな経験

話をろくに聞いてもらえなかった 無視された

男子 表3-2-1-1

	誰から										いつごろ					
群	父	母	兄弟	先生	男友	女友	先輩	無識	その他	計	幼児	小学	中学	高校	計	
A	1	4	5	4	8	2	0	0	0	24	1	4	15	4	24	
B	13	11	2	7	11	11	1	4	0	60	3	14	20	14	51	
C	4	6	1	2	3	0	1	1	0	18	1	6	10	2	19	
D	5	5	1	2	6	2	0	0	0	21	2	6	8	10	26	
E	6	6	3	6	9	2	2	2	0	36	1	9	15	13	38	
F	5	4	0	3	6	1	0	0	0	19	0	4	14	7	25	
合計	34	36	12	24	43	18	4	7	0	178	8	43	82	50	183	
構成比(%)	19.1	20.2	6.7	13.5	24.2	10.1	2.2	3.9	0.0	100.0	4.4	23.5	44.8	27.3	100.0	
合計	82			96						0	178					
構成比(%)	46.1			53.9						0.0	100.0					

第3問1 いやな経験

話をろくに聞いてもらえなかった 無視された

女子 表3-2-1-2

	誰から										いつごろ				
群	父	母	兄弟	先生	男友	女友	先輩	無識	その他	計	幼児	小学	中学	高校	計
A	10	16	1	7	4	29	4	1	0	72	1	17	25	6	49
B	5	8	2	8	1	15	1	1	0	41	2	13	28	15	58
C	3	10	1	3	0	8	0	0	0	25	0	10	10	5	25
D	5	5	3	2	1	11	0	0	0	27	3	10	7	9	29
E	8	16	3	6	1	15	2	0	0	51	3	10	21	22	56
F	9	15	3	14	4	21	2	1	2	71	6	21	38	25	90
合計	40	70	13	40	11	99	9	3	2	287	15	81	129	82	307
構成比(%)	13.9	24.4	4.5	13.9	3.8	34.5	3.1	1.0	0.7	100.0	4.9	26.4	42.0	26.7	100.0
合計	123			164						2	289				
構成比(%)	42.6			56.7						0.7	100.0				

第3問1 いやな経験

一方的に意見を押し付けられたり、説教されたりした 男子 表3-2-2-1

群	誰から										いつごろ				
	父	母	兄弟	先生	男友	女友	先輩	無識	その他	計	幼児	小学	中学	高校	計
A	10	9	4	11	7	0	0	1	0	42	4	11	31	8	54
B	26	13	2	17	6	2	3	3	0	72	9	24	34	13	80
C	7	10	2	9	1	0	1	1	0	31	1	7	20	10	38
D	15	7	0	6	3	0	0	0	0	31	2	8	13	11	34
E	10	10	2	14	5	2	2	1	0	46	3	16	13	16	48
F	9	9	0	2	0	0	0	3	0	23	0	5	17	6	28
合計	77	58	10	59	22	4	6	9	0	245	19	71	128	64	282
構成比(%)	31.4	23.7	4.1	24.1	9.0	1.6	2.4	3.7	0.0	100.0	6.7	25.2	45.4	22.7	100.0
合計	145			100						0	245				
構成比(%)	59.2			40.8						0.0	100.0				

第3問1 いやな経験

一方的に意見を押し付けられたり、説教されたりした 女子 表3-2-2-2

群	誰から										いつごろ				
	父	母	兄弟	先生	男友	女友	先輩	無識	その他	計	幼児	小学	中学	高校	計
A	25	19	1	15	1	9	3	0	0	73	1	8	20	5	34
B	20	15	2	13	1	4	4	2	0	61	1	7	39	25	72
C	14	8	1	9	1	1	2	0	0	36	2	14	16	15	47
D	6	10	3	13	1	2	0	2	0	37	2	12	14	14	42
E	15	20	2	16	1	2	3	2	0	61	1	11	29	29	70
F	23	29	4	17	5	9	4	4	0	95	7	21	47	31	106
合計	103	101	13	83	10	27	16	10	0	363	14	73	165	119	371
構成比(%)	28.4	27.8	3.6	22.9	2.8	7.4	4.4	2.8	0.0	100.0	3.77	19.7	44.5	32.1	100
合計	217			146						0	363				
構成比(%)	59.8			40.2						0.0	100.0				

第3問1 いやな経験

馬鹿にされたり、ののしられたり、怒鳴られたりした 男子 表3-2-3-1

	誰から											いつごろ				
群	父	母	兄弟	先生	男友	女友	先輩	無識	その他	計	幼児	小学	中学	高校	計	
A	6	3	4	5	10	1	0	1	0	30	1	9	16	5	31	
B	13	8	3	5	24	8	2	3	0	66	6	16	27	15	64	
C	6	6	2	7	7	3	1	1	0	33	0	12	13	7	32	
D	2	0	1	5	8	1	3	1	0	21	3	10	11	7	31	
E	5	3	2	7	11	2	3	2	0	35	1	11	15	10	37	
F	4	4	2	1	6	1	1	2	0	21	1	8	12	9	30	
合計	36	24	14	30	66	16	10	10	0	206	12	66	94	53	225	
構成比(%)	17.5	11.7	6.8	14.6	32.0	7.8	4.9	4.9	0.0	100.0	5.3	29.3	41.8	23.6	100.0	
合計	74			132					0	206						
構成比(%)	35.9			64.1					0.0	100.0						

第3問1 いやな経験

馬鹿にされたり、ののしられたり、怒鳴られたりした 女子 表3-2-3-2

	誰から										いつごろ					
群	父	母	兄弟	先生	男友	女友	先輩	無識	その他	計	幼児	小学	中学	高校	計	
A	16	10	10	5	12	14	1	2	0	70	4	18	27	9	58	
B	15	15	8	6	8	7	3	1	0	63	4	16	34	19	73	
C	2	3	2	2	9	1	1	1	0	21	2	9	9	3	23	
D	6	3	5	2	3	9	0	0	0	28	4	14	10	9	37	
E	11	10	4	8	9	12	3	4	0	61	2	15	24	20	61	
F	18	13	15	6	14	11	3	6	0	86	5	31	39	21	96	
合計	68	54	44	29	55	54	11	14	0	329	21	103	143	81	348	
構成比(%)	20.7	16.4	13.4	8.8	16.7	16.4	3.3	4.3	0.0	100.0	6.0	29.6	41.1	23.3	100.0	
合計	166			163					0	329						
構成比(%)	50.5			49.5					0.0	100.0						

第3問1 いやな経験

殴られたり、物でたたかれたり、蹴られたりした

男子

表3-2-4-1

群	誰から										いつごろ				
	父	母	兄弟	先生	男友	女友	先輩	無識	その他	計	幼児	小学	中学	高校	計
A	8	3	3	5	8	1	1	0	0	29	5	12	14	2	33
B	16	9	8	6	14	2	2	5	0	62	10	18	21	10	59
C	3	4	2	2	5	1	1	0	0	18	3	8	8	1	20
D	5	4	3	3	8	2	4	0	0	29	3	15	10	5	33
E	8	4	3	6	9	1	3	1	0	35	5	13	9	7	34
F	8	3	1	0	5	1	0	0	1	19	1	4	13	3	21
合計	48	27	20	22	49	8	11	6	1	192	27	70	75	28	200
構成比(%)	25.0	14.1	10.4	11.5	25.5	4.2	5.7	3.1	0.5	100.0	13.5	35.0	37.5	14.0	100.0
合計	95			97						1	192				
構成比(%)	49.5			50.5						0.5	100.0				

第3問1 いやな経験

殴られたり、物でたたかれたり、蹴られたりした

女子

表3-2-4-2

群	誰から										いつごろ				
	父	母	兄弟	先生	男友	女友	先輩	無識	その他	計	幼児	小学	中学	高校	計
A	20	16	13	3	6	3	1	0	0	62	12	29	19	7	67
B	17	18	8	3	2	1	0	0	0	49	10	25	21	14	70
C	7	5	5	2	4	0	1	0	0	24	4	2	9	3	18
D	9	13	9	1	4	0	0	0	0	36	5	18	10	6	39
E	18	14	6	4	6	5	1	0	0	54	8	17	18	16	59
F	20	24	13	3	8	1	1	1	0	71	17	36	31	13	97
合計	91	90	54	16	30	10	4	1	0	296	56	127	108	59	350
構成比(%)	30.7	30.4	18.2	5.4	10.1	3.4	1.4	0.3	0.0	100.0	16.0	36.3	30.9	16.9	100.0
合計	235			61						0	296				
構成比(%)	79.4			20.6						0.0	100.0				

第3問1 いやな経験

大切な物を壊されたり、捨てられたりした

男子

表3-2-5-1

群	誰から										計	いつごろ				
	父	母	兄弟	先生	男友	女友	先輩	無識	その他	幼児		小学	中学	高校	計	
A	3	11	3	2	2	0	0	2	0	23	3	11	8	1	23	
B	7	17	9	4	6	1	1	2	0	47	10	19	18	10	57	
C	2	5	2	0	3	0	1	0	0	13	1	7	7	1	16	
D	3	6	4	1	7	0	0	0	0	21	3	14	6	1	24	
E	5	13	4	1	3	0	0	0	0	26	4	12	7	3	26	
F	4	10	3	0	2	2	0	0	0	21	1	13	11	3	28	
合計	24	62	25	8	23	3	2	4	0	151	22	76	57	19	174	
構成比(%)	15.9	41.1	16.6	5.3	15.2	2.0	1.3	2.6	0.0	100.0	12.6	43.7	32.8	10.9	100.0	
合計	111			40					0	151						
構成比(%)	73.5			26.5					0.0	100.0						

第3問1 いやな経験

大切な物を壊されたり、捨てられたりした

女子

表3-2-5-2

	誰から										いつごろ				
群	父	母	兄弟	先生	男友	女友	先輩	無識	その他	計	幼児	小学	中学	高校	計
A	7	15	14	1	3	5	0	0	0	45	2	22	14	2	40
B	4	15	4	0	4	7	0	3	0	37	5	18	19	7	49
C	4	5	4	0	2	3	0	0	0	18	4	8	6	4	22
D	3	7	4	1	2	5	0	1	0	23	3	11	9	2	25
E	3	15	8	1	2	8	0	0	0	37	6	18	16	10	50
F	5	20	12	1	3	4	0	1	0	46	6	22	23	6	57
合計	26	77	46	4	16	32	0	5	0	206	26	99	87	31	243
構成比(%)	12.6	37.4	22.3	1.9	7.8	15.5	0.0	2.4	0.0	100.0	10.7	40.7	35.8	12.8	100.0
合計	149			57					0	206					
構成比(%)	72.3			27.7					0.0	100.0					

第3問1 いやな経験

出て行けと言われたり、家にいれてもらえなかった 男子 表3-2-6-1

群	誰から										いつごろ				
	父	母	兄弟	先生	男友	女友	先輩	無識	その他	計	幼児	小学	中学	高校	計
A	13	22	1	0	1	0	0	1	0	38	8	19	20	5	52
B	24	29	0	0	0	0	1	0	0	54	8	24	16	7	55
C	12	13	0	0	1	0	0	0	0	26	10	15	3	1	29
D	15	17	0	0	0	0	0	0	0	32	9	15	6	7	37
E	16	15	0	0	0	0	0	1	0	32	13	15	7	2	37
F	9	12	0	0	0	0	0	0	0	21	2	12	6	2	22
合計	89	108	1	0	2	0	1	2	0	203	50	100	58	24	232
構成比(%)	43.8	53.2	0.5	0.0	1.0	0.0	0.5	1.0	0.0	100.0	21.6	43.1	25.0	10.3	100.0
合計	198			5					0	203					
構成比(%)	97.5			2.5					0.0	100.0					

第3問1 いやな経験

出て行けと言われたり、家にいれてもらえなかった 女子 表3-2-6-2

群	誰から										いつごろ				
	父	母	兄弟	先生	男友	女友	先輩	無識	その他	計	幼児	小学	中学	高校	計
A	26	30	1	0	0	0	0	0	0	57	7	31	14	6	58
B	19	30	1	0	0	0	0	1	0	51	8	18	21	11	58
C	9	16	0	0	0	0	0	0	0	25	5	13	8	4	30
D	9	15	1	0	0	0	0	0	0	25	5	13	4	4	26
E	27	31	2	1	0	0	0	0	0	61	9	22	18	16	65
F	31	45	2	1	0	0	0	0	0	79	12	38	28	20	98
合計	121	167	7	2	0	0	0	1	0	298	46	135	93	61	335
構成比(%)	40.6	56.0	2.3	0.7	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	100.0	13.7	40.3	27.8	18.2	100.0
合計	295			3					0	298					
構成比(%)	99.0			1.0					0.0	100.0					

第3問1 いやな経験

誰のお陰で食べさせてもらっているのかと言われた 男子 表3-2-7-1

群	誰から										いつごろ				
	父	母	兄弟	先生	男友	女友	先輩	無識	その他	計	幼児	小学	中学	高校	計
A	11	8	0	0	1	0	1	0	0	21	8	19	12	5	44
B	26	25	0	0	1	1	1	0	0	54	9	23	31	18	81
C	11	10	0	1	2	0	0	0	0	24	4	14	8	5	31
D	12	10	0	0	0	0	0	0	0	22	2	7	9	2	20
E	10	12	0	0	1	0	0	0	0	23	2	8	11	7	28
F	16	7	1	1	0	0	0	0	0	25	1	9	13	5	28
合計	86	72	1	2	5	1	2	0	0	169	26	80	84	42	232
構成比(%)	50.9	42.6	0.6	1.2	3.0	0.6	1.2	0.0	0.0	100.0	11.2	34.5	36.2	18.1	100.0
合計	159			10						169					
構成比(%)	94.1			5.9						100.0					

第3問1 いやな経験

誰のお陰で食べさせてもらっているのかと言われた 女子 表3-2-7-2

群	誰から										いつごろ				
	父	母	兄弟	先生	男友	女友	先輩	無識	その他	計	幼児	小学	中学	高校	計
A	24	15	0	0	0	0	0	0	0	39	2	13	26	6	47
B	22	22	1	1	0	0	0	0	0	46	1	8	35	21	65
C	11	7	0	0	0	0	0	0	0	18	2	6	8	8	24
D	9	9	0	0	0	0	0	0	2	20	2	6	12	9	29
E	26	18	0	0	0	0	0	0	0	44	4	14	22	25	65
F	31	38	0	0	0	0	0	0	1	70	6	22	49	25	102
合計	123	109	1	1	0	0	0	0	3	237	17	69	152	94	332
構成比(%)	51.9	46.0	0.4	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	100.0	5.1	20.8	45.8	28.3	100.0
合計	233			4						237					
構成比(%)	98.3			1.7						100.0					

第3問1 いやな経験

あなた(おまえ)なんか嫌いだと言われた

男子

表3-2-8-1

	誰から										いつごろ				
群	父	母	兄弟	先生	男友	女友	先輩	無職	その他	計	幼児	小学	中学	高校	計
A	1	1	3	0	11	0	0	2	0	18	1	3	6	2	12
B	2	4	4	3	6	3	1	0	0	23	3	8	13	3	27
C	2	2	1	1	1	1	0	0	0	8	2	3	3	2	10
D	2	4	1	0	3	2	0	0	0	12	2	6	4	1	13
E	1	6	2	1	5	3	1	1	0	20	3	8	2	5	18
F	3	2	0	0	4	2	0	0	0	11	0	4	6	1	11
合計	11	19	11	5	30	11	2	3	0	92	11	32	34	14	91
構成比(%)	12.0	20.7	12.0	5.4	32.6	12.0	2.2	3.3	0.0	100.0	12.1	35.2	37.4	15.4	100.0
合計	41			51					0	92					
構成比(%)	44.6			55.4					0.0	100.0					

第3問1 いやな経験

あなた(おまえ)なんか嫌いだと言われた

女子

表3-2-8-2

	誰から										いつごろ				
群	父	母	兄弟	先生	男友	女友	先輩	無職	その他	計	幼児	小学	中学	高校	計
A	2	7	8	0	7	15	1	0	0	40	4	15	17	6	42
B	4	4	1	0	2	6	1	0	0	18	2	8	8	3	21
C	1	4	3	0	2	5	0	0	0	15	1	10	9	6	26
D	1	5	4	0	2	9	0	0	0	21	3	8	7	4	22
E	4	9	4	0	3	7	0	2	0	29	0	5	10	12	27
F	4	6	5	0	1	7	1	1	0	25	2	9	7	7	25
合計	16	35	25	0	17	49	3	3	0	148	12	55	58	38	163
構成比(%)	10.8	23.6	16.9	0.0	11.5	33.1	2.0	2.0	0.0	100.0	7.4	33.7	35.6	23.3	100.0
合計	76			72					0	148					
構成比(%)	51.4			48.6					0.0	100.0					

第3問1 いやな経験

産まなければよかった、生まれなければよかったと言われた 男子 表3-2-9-1

	誰から										いつごろ				
群	父	母	兄弟	先生	男友	女友	先輩	無識	その他	計	幼児	小学	中学	高校	計
A	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2	0	1	1	0	2
B	1	2	0	0	0	0	1	1	0	5	1	1	1	1	4
C	2	3	0	1	0	0	0	0	0	6	1	1	2	1	5
D	1	3	0	0	0	0	0	0	0	4	1	1	0	1	3
E	3	1	0	0	0	0	0	0	0	4	1	1	3	1	6
F	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	1	2	0	3
合計	8	10	1	1	0	1	1	1	0	23	4	6	9	4	23
構成比(%)	34.8	43.5	4.3	4.3	0.0	4.3	4.3	4.3	0.0	100.0	17.4	26.1	39.1	17.4	100.0
合計	19			4					0	23					
構成比(%)	82.6			17.4					0.0	100.0					

第3問1 いやな経験

産まなければよかった、生まれなければよかったと言われた 女子 表3-2-9-2

群	誰から										計	いつごろ				
	父	母	兄弟	先生	男友	女友	先輩	無識	その他	幼児		小学	中学	高校	計	
A	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	2	0	3	
B	4	3	0	0	0	0	0	0	0	7	0	1	6	6	13	
C	0	7	0	0	0	0	0	0	0	7	0	5	3	1	9	
D	0	6	0	0	0	0	0	0	0	6	0	4	2	0	6	
E	2	10	0	0	0	0	0	0	0	12	0	2	5	10	17	
F	2	12	1	0	3	0	0	0	0	18	2	9	13	6	30	
合計	8	40	1	0	3	0	0	0	0	52	2	22	31	23	78	
構成比(%)	15.4	76.9	1.9	0.0	5.8	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	2.6	28.2	39.7	29.5	100.0	
合計	49			3						0	52					
構成比(%)	94.2			5.8						0.0	100.0					

第3問1 いやな経験

きょうだいや友だちと比較された

男子

表3-2-10-1

	誰から										いつごろ				
群	父	母	兄弟	先生	男友	女友	先輩	無識	その他	計	幼児	小学	中学	高校	計
A	10	25	1	0	3	0	0	2	0	41	0	10	26	12	48
B	15	43	4	6	6	1	1	0	0	76	3	8	16	12	39
C	11	24	0	1	0	2	0	0	0	38	2	10	23	11	46
D	7	26	0	1	2	0	0	1	0	37	3	13	20	14	50
E	9	22	3	2	4	1	3	1	0	45	4	15	19	6	44
F	6	18	0	0	4	1	0	1	0	30	2	9	17	9	37
合計	58	158	8	10	19	5	4	5	0	267	14	65	121	64	264
構成比(%)	21.7	59.2	3.0	3.7	7.1	1.9	1.5	1.9	0.0	100.0	5.3	24.6	45.8	24.2	100.0
合計	224			43					0	267					
構成比(%)	83.9			16.1					0.0	100.0					

第3問1 いやな経験

きょうだいや友だちと比較された

女子

表3-2-10-2

	誰から										いつごろ				
群	父	母	兄弟	先生	男友	女友	先輩	無識	その他	計	幼児	小学	中学	高校	計
A	18	48	1	4	0	4	2	2	0	79	6	21	51	19	97
B	20	48	3	3	2	2	1	0	0	79	1	22	44	39	106
C	5	26	3	1	0	0	0	0	0	35	6	12	18	16	52
D	11	22	1	2	0	1	0	1	0	38	4	11	17	18	50
E	13	25	1	2	1	1	0	0	1	44	2	14	22	20	58
F	23	49	3	7	1	2	3	1	0	89	4	25	51	34	114
合計	90	218	12	19	4	10	6	4	1	364	23	105	203	146	477
構成比(%)	24.7	59.9	3.3	5.2	1.1	2.7	1.6	1.1	0.3	100.0	4.8	22.0	42.6	30.6	100.0
合計	320			44					1	364					
構成比(%)	87.9			12.1					0.3	100.0					

第3問1 いやな経験

交友関係をうるさくチェックされた

男子

表3-2-11-1

	誰から										いつごろ				
群	父	母	兄弟	先生	男友	女友	先輩	無職	その他	計	幼児	小学	中学	高校	計
A	2	9	1	0	0	1	0	0	0	13	0	4	1	7	12
B	7	15	2	2	0	0	0	0	0	26	3	8	16	12	39
C	0	6	2	0	0	1	0	0	0	9	2	3	3	4	12
D	5	8	0	0	0	0	0	0	0	13	0	2	7	7	16
E	0	8	0	1	1	1	0	1	0	12	0	4	8	4	16
F	1	8	0	1	0	0	0	0	0	10	0	4	7	3	14
合計	15	54	5	4	1	3	0	1	0	83	5	25	42	37	109
構成比(%)	18.1	65.1	6.0	4.8	1.2	3.6	0.0	1.2	0.0	100.0	4.6	22.9	38.5	33.9	100.0
合計	74			9				0		83					
構成比(%)	89.2			10.8				0.0		100.0					

第3問1 いやな経験

交友関係をうるさくチェックされた

女子

表3-2-11-2

	誰から										いつごろ				
群	父	母	兄弟	先生	男友	女友	先輩	無職	その他	計	幼児	小学	中学	高校	計
A	4	14	1	1	1	2	1	0	0	24	1	5	13	10	29
B	4	14	0	2	0	0	0	0	0	20	1	4	13	9	27
C	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
D	1	7	0	0	0	1	0	0	0	9	0	0	5	6	11
E	7	15	2	0	1	0	0	0	1	26	1	3	8	16	28
F	9	25	3	2	0	2	0	0	0	41	3	10	25	19	57
合計	25	75	6	5	2	5	1	0	1	120	6	22	64	60	152
構成比(%)	20.8	62.5	5.0	4.2	1.7	4.2	0.8	0.0	0.8	100.0	3.9	14.5	42.1	39.5	100.0
合計	106			14					1	120					
構成比(%)	88.3			11.7					0.8	100.0					

第3問1 いやな経験

放って置かれたり、関心をもってもらえなかった 男子 表3-2-12-1

	誰から										いつごろ				
群	父	母	兄弟	先生	男友	女友	先輩	無識	その他	計	幼児	小学	中学	高校	計
A	5	2	1	1	1	2	0	2	0	14	0	3	7	2	12
B	2	3	1	1	2	0	0	1	0	10	2	4	7	5	18
C	1	0	0	1	0	1	0	0	0	3	0	2	1	0	3
D	3	3	0	0	1	0	0	0	0	7	1	3	2	2	8
E	3	4	1	4	2	1	1	1	0	17	2	7	5	4	18
F	2	2	0	0	0	0	0	0	0	4	0	1	1	3	5
合計	16	14	3	7	6	4	1	4	0	55	5	20	23	16	64
構成比(%)	29.1	25.5	5.5	12.7	10.9	7.3	1.8	7.3	0.0	100.0	7.8	31.3	35.9	25.0	100.0
合計	33			22						55					
構成比(%)	60.0			40.0						100.0					

第3問1 いやな経験

放って置かれたり、関心をもってもらえなかった 女子 表3-2-12-2

	誰から										いつごろ				
群	父	母	兄弟	先生	男友	女友	先輩	無識	その他	計	幼児	小学	中学	高校	計
A	4	8	2	3	0	4	1	0	0	22	0	6	10	3	19
B	4	4	3	0	0	3	0	0	0	14	2	7	8	5	22
C	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
D	3	4	0	1	0	3	0	0	0	11	1	3	2	5	11
E	9	11	1	0	1	3	1	0	0	26	1	2	7	12	22
F	11	18	2	3	1	4	0	0	0	39	6	13	18	9	46
合計	31	45	8	7	2	17	2	0	0	112	10	31	45	34	120
構成比(%)	27.7	40.2	7.1	6.3	1.8	15.2	1.8	0.0	0.0	100.0	8.3	25.8	37.5	28.3	100.0
合計	84			28					0	112					
構成比(%)	75.0			25.0					0.0	100.0					

第3問1 いやな経験

手紙、日記、ケイタイを無断で見られた

男子

表3-2-13-1

	誰から										いつごろ				
群	父	母	兄弟	先生	男友	女友	先輩	無識	その他	計	幼児	小学	中学	高校	計
A	0	2	2	1	5	1	1	1	0	13	0	0	5	3	8
B	1	7	4	1	10	1	0	0	0	24	0	0	10	13	23
C	0	0	1	1	2	1	0	0	0	5	0	0	1	5	6
D	2	3	0	0	3	1	0	1	0	10	0	0	4	4	8
E	0	1	0	0	4	3	2	1	0	11	0	1	1	10	12
F	1	2	0	1	3	0	0	0	0	7	0	2	3	5	10
合計	4	15	7	4	27	7	3	3	0	70	0	3	24	40	67
構成比(%)	5.7	21.4	10.0	5.7	38.6	10.0	4.3	4.3	0.0	100.0	0.0	4.5	35.8	59.7	100.0
合計	26			44					0	70					
構成比(%)	37.1			62.9					0.0	100.0					

第3問1 いやな経験

手紙、日記、ケイタイを無断で見られた

女子

表3-2-13-2

	誰から										いつごろ				
群	父	母	兄弟	先生	男友	女友	先輩	無識	その他	計	幼児	小学	中学	高校	計
A	4	11	4	0	0	7	0	0	0	26	0	9	17	5	31
B	2	15	8	0	1	5	0	0	0	31	0	8	25	14	47
C	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
D	0	6	6	0	1	2	0	0	0	15	0	1	4	11	16
E	5	11	3	0	2	1	0	0	0	22	1	5	5	13	24
F	3	7	7	1	4	5	1	1	0	29	0	4	16	17	37
合計	14	50	28	1	8	20	1	1	0	123	1	27	67	60	155
構成比(%)	11.4	40.7	22.8	0.8	6.5	16.3	0.8	0.8	0.0	100.0	0.6	17.4	43.2	38.7	100.0
合計	92			31					0	123					
構成比(%)	74.8			25.2					0.0	100					

第3問1 いやな経験

性的に嫌な経験を受けた

男子 表3-2-14-1

群	誰から										いつごろ				
	父	母	兄弟	先生	男友	女友	先輩	無識	その他	計	幼児	小学	中学	高校	計
A	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1
B	1	0	0	0	2	1	0	1	0	5	0	0	3	2	5
C	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2	0	0	2	0	2
D	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2	0	0	1	1	2
E	0	0	0	3	1	0	0	1	0	5	1	4	2	0	7
F	0	0	0	2	1	1	0	0	0	4	0	1	2	2	5
合計	1	0	0	6	7	3	0	2	0	19	1	5	11	5	22
構成比(%)	5.3	0.0	0.0	31.6	36.8	15.8	0.0	10.5	0.0	100.0	4.5	22.7	50.0	22.7	100.0
合計	1			18						0	19				
構成比(%)	5.3			94.7						0.0	100.0				

第3問1 いやな経験

性的に嫌な経験を受けた

女子 表3-2-14-2

群	誰から										いつごろ				
	父	母	兄弟	先生	男友	女友	先輩	無識	その他	計	幼児	小学	中学	高校	計
A	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
B	2	1	1	3	0	0	0	10	0	17	0	2	8	8	18
C	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
D	0	0	0	0	3	0	0	2	0	5	0	0	0	5	5
E	2	0	0	0	3	0	0	6	0	11	0	4	2	6	12
F	3	1	0	0	6	3	0	4	0	17	0	5	6	8	19
合計	7	2	1	3	12	3	0	22	0	50	0	11	16	27	54
構成比(%)	14.0	4.0	2.0	6.0	24.0	6.0	0.0	44.0	0.0	100.0	0.0	20.4	29.6	50.0	100.0
合計	10			40						0	50				
構成比(%)	20.0			80.0						0.0	100.0				

第3問1 その他の経験

男子 表3-2-15-1

群	誰から										いつごろ				
	父	母	兄弟	先生	男友	女友	先輩	無識	その他	計	幼児	小学	中学	高校	計
A	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
B	0	1	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	1	1	2
C	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
D	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1
E	0	0	1	0	1	0	0	0	0	2	2	1	2	1	6
F	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	1	1	3
合計	1	2	1	0	2	0	0	1	0	7	2	3	4	3	12
構成比(%)	14.3	28.6	14.3	0.0	28.6	0.0	0.0	14.3	0.0	100.0	16.7	25.0	33.3	25.0	100.0
合計	4			3					0	7					
構成比(%)	57.1			42.9					0.0	100.0					

第3問1 その他の経験

女子 表3-2-15-2

群	誰から										いつごろ				
	父	母	兄弟	先生	男友	女友	先輩	無識	その他	計	幼児	小学	中学	高校	計
A	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
B	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	1
C	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
D	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
E	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	4
F	0	1	0	0	1	1	0	0	0	3	0	1	2	1	4
合計	0	2	0	0	1	1	0	1	0	5	2	2	3	2	9
構成比(%)	0.0	40.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	20.0	0.0	100.0	22.2	22.2	33.3	22.2	100.0
合計	2			3					0	5					
構成比(%)	40.0			60.0					0.0	100.0					

第3問1 いやな経験

男子 全体

表3-2-16-1

群	誰から										いつごろ				
	父	母	兄弟	先生	男友	女友	先輩	無識	その他	計	幼児	小学	中学	高校	計
合計	508	659	119	182	302	84	47	58	1	1960	206	665	846	463	2180
構成比(%)	25.9	33.6	6.1	9.3	15.4	4.3	2.4	3.0	0.1	100.0	9.5	30.5	38.8	21.2	100.0
合計	1286			673					1	1960					
構成比(%)	65.6			34.3					0.1	100.0					

第3問1 いやな経験

女子 全体

表3-2-16-2

群	誰から										いつごろ				
	父	母	兄弟	先生	男友	女友	先輩	無識	その他	計	幼児	小学	中学	高校	計
合計	763	1135	259	210	171	327	53	65	7	2990	251	962	1364	917	3494
構成比(%)	25.5	38.0	8.7	7.0	5.7	10.9	1.8	2.2	0.2	100.0	7.2	27.5	39.0	26.2	100.0
合計	2157			826					7	2990					
構成比(%)	72.1			27.6					0.2	100.0					

第3問2 問3 最も嫌な経験 最もよい経験

男子全体

嫌な経験とよい経験の一方だけの回答者有、

複数回答 「無い」は無回答を含む

表3-3-1

			最もいやな経験																	最もよい経験								
グラフ上の経験内容の番号			11	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15		回答者数	1	2	3	4	5	6		回答者数	
群			無視	意見の 押し	怒鳴る	殴る	壊す	出て行け	誰のお陰で 食べられる	お前なんか 嫌いだ	産まれなけれ ばよかった	人と比較	交友干渉	無関心	借書を見 る	性的被害	その他	合計	無回答 不明者数	傾聴	世話	褒める	いい子と いわれる	遊びや 旅行	自由	合計	無回答 不明者数	
A	有効回収者数 49	回答数	4	9	5	8	2	6	1	2	1	4	1	0	1	1	0	45	44	10	9	11	1	7	4	42	42	
		回答数比率	8.9	20.0	11.1	17.8	4.4	13.3	2.2	4.4	2.2	8.9	2.2	0.0	2.2	2.2	0.0	100.0	5	23.8	21.4	26.2	2.4	16.7	9.5	100.0	7	
B	有効回収者数 100	回答数	6	14	10	8	3	5	8	2	2	11	3	1	4	0	0	77	74	22	7	20	1	18	7	75	75	
		回答数比率	7.8	18.2	13.0	10.4	3.9	6.5	10.4	2.6	2.6	14.3	3.9	1.3	5.2	0.0	0.0	100.0	26	29.3	9.3	26.7	1.3	24.0	9.3	100.0	25	
C	有効回収者数 51	回答数	1	9	7	3	3	5	2	0	1	5	0	0	0	0	0	36	36	10	9	8	2	6	6	41	41	
		回答数比率	2.8	25.0	19.4	8.3	8.3	13.9	5.6	0.0	2.8	13.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	15	24.4	22.0	19.5	4.9	14.6	14.6	100.0	10	
D	有効回収者数 49	合計	7	6	7	4	2	4	1	0	0	4	3	1	2	0	0	41	41	13	7	11	1	7	4	43	43	
		回答数比率	17.1	14.6	17.1	9.8	4.9	9.8	2.4	0.0	0.0	9.8	7.3	2.4	4.9	0.0	0.0	100.0	8	30.2	16.3	25.6	2.3	16.3	9.3	100.0	6	
E	有効回収者数 60	回答数	5	7	10	2	2	1	3	2	1	7	0	0	0	0	0	40	40	16	4	13	1	2	11	47	47	
		回答数比率	12.5	17.5	25.0	5.0	5.0	2.5	7.5	5.0	2.5	17.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	20	34.0	8.5	27.7	2.1	4.3	23.4	100.0	13	
F	有効回収者数 49	回答数	3	3	6	3	4	1	3	0	0	3	2	0	1	1	0	30	29	7	4	9	1	7	3	31	31	
		回答数比率	10.0	10.0	20.0	10.0	13.3	3.3	10.0	0.0	0.0	10.0	6.7	0.0	3.3	3.3	0.0	100.0	20	22.6	12.9	29.0	3.2	22.6	9.7	100.0	18	
全体	有効回収者数 358	合計回答数	26	48	45	28	16	22	18	6	5	34	9	2	8	2	0	269	264	78	40	72	7	47	35	279	279	
		回答数比率	9.7	17.8	16.7	10.4	5.9	8.2	6.7	2.2	1.9	12.6	3.3	0.7	3.0	0.7	0.0	100.0	94	28.0	14.3	25.8	2.5	16.8	12.5	100.0	79	
		選択経験総数	137	197	149	140	119	163	138	65	22	192	70	45	60	17	9	1523		231	233	235	111	192	168	1170		
		選択経験総数比率	19.0	24.4	30.2	20.0	13.4	13.5	13.0	9.2	22.7	17.7	12.9	4.4	13.3	11.8	0.0			33.8	17.2	30.6	6.3	24.5	20.8			

第3問2 問3 最も嫌な経験 最もよい経験

女子全体

嫌な経験とよい経験の一方だけの回答者有、

複数回答 「無い」は無回答を含む

表3-3-2

		最もいやな経験																	最もよい経験								
グラフ上の経験内容の番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15		回答者数	1	2	3	4	5	6		回答者数	
群		無視	意見の 押付	怒鳴る	殴る	壊す	出て行け	誰のお陰で 食べられる	お前なん か嫌いだ	産まれなけれ ばよかった	人と比較	交友干渉	無関心	借書を見 る	性的被害	その他	合計	無回答 不明者数	傾聴	世話	褒める	いい子と いわれる	遊びや 旅行	自由	合計	無回答 不明者数	
A	有効回収者数 96	回答数	17	16	8	5	2	4	5	6	1	10	1	2	4	3	1	85	85	34	20	26	4	3	8	95	95
		回答数比率	20.0	18.8	9.4	5.9	2.4	4.7	5.9	7.1	1.2	11.8	1.2	2.4	4.7	3.5	1.2	100.0	11	35.8	21.1	27.4	4.2	3.2	8.4	100.0	1
B	有効回収者数 85	回答数	8	8	4	7	3	3	6	1	2	9	4	2	6	7	1	71	70	36	13	15	2	11	3	80	80
		回答数比率	11.3	11.3	5.6	9.9	4.2	4.2	8.5	1.4	2.8	12.7	5.6	2.8	8.5	9.9	1.4	100.0	15	45.0	16.3	18.8	2.5	13.8	3.8	100.0	5
C	有効回収者数 56	回答数	8	7	7	2	2	2	1	2	2	3	0	1	0	2	0	39	39	21	5	10	1	7	3	47	47
		回答数比率	20.5	17.9	17.9	5.1	5.1	5.1	2.6	5.1	5.1	7.7	0.0	2.6	0.0	5.1	0.0	100.0	17	44.7	10.6	21.3	2.1	14.9	6.4	100.0	9
D	有効回収者数 47	合計	4	6	7	5	1	1	3	0	0	5	0	3	1	4	0	40	39	17	3	5	1	9	7	42	42
		回答数比率	10.0	15.0	17.5	12.5	2.5	2.5	7.5	0.0	0.0	12.5	0.0	7.5	2.5	10.0	0.0	100.0	8	40.5	7.1	11.9	2.4	21.4	16.7	100.0	5
E	有効回収者数 83	回答数	8	11	5	10	1	4	2	2	5	2	1	2	5	4	0	62	61	24	14	23	6	6	4	77	69
		回答数比率	12.9	17.7	8.1	16.1	1.6	6.5	3.2	3.2	8.1	3.2	1.6	3.2	8.1	6.5	0.0	100.0	22	31.2	18.2	29.9	7.8	7.8	5.2	100.0	14
F	有効回収者数 120	回答数	6	11	9	16	4	4	5	3	3	8	4	3	4	8	0	88	88	35	20	20	3	9	13	100	100
		回答数比率	6.8	12.5	10.2	18.2	4.5	4.5	5.7	3.4	3.4	9.1	4.5	3.4	4.5	9.1	0.0	100.0	32	35.0	20.0	20.0	3.0	9.0	13.0	100.0	20
全体	有効回収者数 487	合計回答数	51	59	40	45	13	18	22	14	13	37	10	13	20	28	2	385	382	167	75	99	17	45	38	441	433
		回答数比率	13.2	15.3	10.4	11.7	3.4	4.7	5.7	3.6	3.4	9.6	2.6	3.4	5.2	7.3	0.5	100.0	105	37.9	17.0	22.4	3.9	10.2	8.6	100.0	54
		選択経験総数	221	272	220	212	175	235	204	119	51	263	101	71	114	59	7	2324		357	356	357	231	278	207	1786	
		選択経験総数比率	23.1	21.7	18.2	21.2	7.4	7.7	10.8	11.8	25.5	14.1	9.9	18.3	17.5	47.5	28.6			46.8	21.1	27.7	7.4	16.2	18.4		

第3問2 問3 最も嫌な経験に対する現在の気持ち

男子全体

複数回答 一人平均2.2件

表3-3-3

グラフ上の経験内容の番号			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11		回答者数	
群			自分が悪 かったので 仕方がない	悲しい	くやしい	相手が嫌 いになった	仕返しを したい	自信がなく なった	誰かに相 談したい	自分が強 くなれた	人に優し くなれた	その他	なし	合計	無回答 不明者数	
A	有効回収者数	49	回答数	15	9	18	15	9	8	3	8	8	4	1	103	44
			回答数比率	14.6	8.7	17.5	14.6	8.7	7.8	2.9	7.8	7.8	3.9	1.0	100.0	5
B	有効回収者数	100	回答数	18	17	31	26	13	12	1	8	6	7	0	155	84
			回答数比率	11.6	11.0	20.0	16.8	8.4	7.7	0.6	5.2	3.9	4.5	0.0	100.0	16
C	有効回収者数	51	回答数	11	7	15	10	6	7	3	5	6	3	0	87	37
			回答数比率	12.6	8.0	17.2	11.5	6.9	8.0	3.4	5.7	6.9	3.4	0.0	100.0	14
D	有効回収者数	49	回答数	9	13	19	15	9	4	2	8	6	4	0	97	41
			回答数比率	9.3	13.4	19.6	15.5	9.3	4.1	2.1	8.2	6.2	4.1	0.0	100.0	8
E	有効回収者数	60	回答数	11	5	23	15	10	6	3	7	4	7	0	107	44
			回答数比率	10.3	4.7	21.5	14.0	9.3	5.6	2.8	6.5	3.7	6.5	0.0	100.0	16
F	有効回収者数	49	回答数	6	8	11	12	4	3	0	3	2	3	1	72	29
			回答数比率	8.3	11.1	15.3	16.7	5.6	4.2	0.0	4.2	2.8	4.2	1.4	100.0	20
全体	有効回収者数	358	回答数	70	59	117	93	51	40	12	39	32	28	2	621	279
			回答数比率	11.3	9.5	18.8	15.0	8.2	6.4	1.9	6.3	5.2	4.5	0.3	100.0	79

第3問2 問3 最も嫌な経験に対する現在の気持ち

女子全体

複数回答

表3-3-4

グラフ上の経験内容の番号			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11		回答者数	
群			自分が悪 かったので 仕方がない	悲しい	くやしい	相手が嫌 いになった	仕返しを したい	自信がなく なった	誰かに相 談したい	自分が強 くなれた	人に優し くなれた	その他	なし	合計	無回答 不明者数	
A	有効回収者数	96	回答数	17	28	42	30	13	21	8	18	13	7	3	208	87
			回答数比率	8.2	13.5	20.2	14.4	6.3	10.1	3.8	8.7	6.3	3.4	1.4	100.0	9
B	有効回収者数	85	回答数	15	21	31	26	10	7	5	12	3	5	1	149	72
			回答数比率	10.1	14.1	20.8	17.4	6.7	4.7	3.4	8.1	2.0	3.4	0.7	100.0	13
C	有効回収者数	56	回答数	13	11	14	13	7	12	3	4	2	2	1	95	43
			回答数比率	13.7	11.6	14.7	13.7	7.4	12.6	3.2	4.2	2.1	2.1	1.1	100.0	13
D	有効回収者数	47	回答数	8	10	18	17	3	6	3	7	7	2	0	87	41
			回答数比率	9.2	11.5	20.7	19.5	3.4	6.9	3.4	8.0	8.0	2.3	0.0	100.0	6
E	有効回収者数	83	回答数	12	13	16	10	6	6	5	6	3	6	0	107	71
			回答数比率	11.2	12.1	15.0	9.3	5.6	5.6	4.7	5.6	2.8	5.6	0.0	100.0	12
F	有効回収者数	120	回答数	13	19	26	50	30	15	15	3	19	8	0	227	94
			回答数比率	5.7	8.4	11.5	22.0	13.2	6.6	6.6	1.3	8.4	3.5	0.0	100.0	26
全体	有効回収者数	487	回答数	78	102	147	146	69	67	39	50	47	30	5	873	408
			回答数比率	8.9	11.7	16.8	16.7	7.9	7.7	4.5	5.7	5.4	3.4	0.6	100.0	79

アンケートについてのお願い

公益社団法人家庭問題情報センター

東京都豊島区東池袋3-1-1 サンシャイン60・5階

このアンケートは、DV法（配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律）の成立・実施にちなみ、まだ結婚生活の経験がない若い青年（高校生）の意識と経験をおたずねするものです。誰もが人として尊重され、身体的・精神的暴力のない安全な家庭生活が送れるような施策に生かしてもらうことに目的がありますので、学校の成績や評価とはまったく関係ありません。また、プライバシーを守るために回答は無記名でお願いいたします。

なお、当法人は、家庭問題の相談機関でもあります。アンケートに回答くださった方で、当法人の相談を希望する方がありましたら、秘密を厳守の上、無料にてご相談にも応じます。その場合に限り、回答欄の余白にお名前と連絡先を記入してください（ケイタイも可）。担任または養護の先生に頼んで連絡していただいても結構です。

アンケート項目

回答はすべて、別紙回答用紙に記号で記入してください。

第1 好感もてる女性像・男性像について

問1 次の（1）～（6）までの各問の回答を、回答用紙の選択肢の中から3つ選んで、記号で記入してください。

- （1）女の子に好かれる女の子は、どんな子だと思いますか。
- （2）男の子に好かれる男の子は、どんな子だと思いますか。
- （3）女の子に好かれるのは、どんな男の子だと思いますか。
- （4）男の子に好かれるのは、どんな女の子だと思いますか。
- （5）あなたは、どういう女の子が好きですか。
- （6）あなたは、どういう男の子が好きですか。

問2 次の各問の回答を、回答用紙の選択肢の中から選んで、記号で記入してください。

- （1）あなたが、親や友達から言われて、うれしいと思ったのはどのようなときでしたか。
- （2）あなたが、親や友達から言われて、不快に思ったのはどのようなときでしたか。

第2 男女の役割と家族について

問 次の1から21までの意見に対して、あなたはどのように思いますか。またあなたの両親はどう考えるでしょうか、想像して答えてください。

回答用紙の選択肢 1 賛成 2 やや賛成 3 やや反対 4 反対 の中から選んで、それぞれ番号を回答欄に記入してください。

意見

- 1 男性と女性は体力が違うのだから、それを生かす場が違って当然だ。
- 2 最近^{しんがい}は女性の権利ばかり主張されて、男性の権利が侵害されている。
- 3 家族のために働いているのだから、夫は家事を手伝う必要はない。
- 4 暴力はどんな理由があっても、絶対に許されるべきではない。
- 5 夫と妻の権利は平等とはいえ、実際には経済力のある夫の方が力を持っている。
- 6 相手を軽蔑^{けいべつ}したり、いやがることを言うのも一種の暴力である。
- 7 社会でも家庭でも、体力の差があっても男女は平等に扱われるべきだ。
- 8 今の社会は男性に都合のよい社会で、女性の権利は軽く見られがちだ。
- 9 家族の中では話し合いが自由にできることが大切だ。
- 10 家庭内では結局女性の方が強くて、男性は女性の言うことに従うことになる。
- 11 本来夫婦は平等なのだから、夫も積極的に家事を分担すべきだ。
- 12 夫の意見に従わない場合、妻は暴力を振るわれても仕方がない。
- 13 家族に対する優しい言葉かけを忘れてはいけない。
- 14 家事や育児は主として女性がするのが自然だと思う。
- 15 子どもが間違っているときには、殴ってでも親は正しい考えを教えるべきだ。
- 16 夫は外でがんばっているのだから、家に帰って不きげんになっても仕方がない。
- 17 夫も家事を手伝う方がよいが、あくまでも主体は妻だ。
- 18 権威^{けんい}や正義を守るためには暴力もやむを得ないことがある。
- 19 お互いに分かり合っていれば、家族の間では自分の気持ちを取り立てて言葉で表現する必要はない。
- 20 妻は家族にめいわくをかけなければ、外で働いてもよい。
- 21 女が家事をしない家庭があってもよい。

第3 あなたの経験について

問1

- (1) 人は、よい経験はもとより、そのときは嫌だと思った経験からも、多くのことを学び、成長の糧にすることができます。あなたには、下の1～20のような経験がありますか。当てはまる経験があれば、回答用紙の経験の番号を○で囲んでください。
- (2) 番号を○で囲んだ経験は、おもに誰からの経験で、いつごろのことですか。回答用紙の選択肢から選んで、それぞれの欄に記号で記入してください。

経験

- 1 話をよく聞いてもらえた。気持ちがわかってもらえた。
- 2 話をろくに聞いてもらえなかった。無視された。
- 3 一方的に意見を押し付けられたり、説教されたりした。
- 4 馬鹿にされたり、ののしられたり、どなられたりした。
- 5 なぐられたり、物でたたかれたり、蹴られたりした。
- 6 つらいとき、病気のときなどに心配したり、支えてくれた
- 7 大切なものをこわされたり、捨てられたりした。
- 8 ほめてくれたり、励ましてくれた。
- 9 出て行けと言われたり、家に入れてもらえなかった。
- 10 誰のおかげで食べさせてもらっているのかと言われた。
- 11 あなた（おまえ）はかわいい子だ、いい子だといわれた。
- 12 あなた（おまえ）なんか嫌いだと言われた。
- 13 産なければよかった、生まれなければよかったと言われた。
- 14 きょうだいや友達と比較された。
- 15 交友関係をうるさくチェックされた。
- 16 遊びや旅行によく連れて行ってくれた。
- 17 放っておかれたり、関心をもってもらえなかった。
- 18 自分の判断や行動の自由を認めてもらえた。
- 19 手紙、日記、ケイタイを無断で見られた。
- 20 性的にいやな経験を受けた。
- 21 その他

問2 番号を○で囲んだ経験の中で、最もよかったのは何番の経験ですか。
回答用紙の回答欄に番号で記入してください。

問3 番号を○で囲んだ経験の中で

- (1) 最も嫌だったのは何番の経験ですか。回答用紙の回答欄に番号で記入してください。
- (2) 最も嫌だった経験について、あなたの現在の気持ちに近いものを回答用紙の選択肢から選んで回答欄に記号で記入してください。

回 答 用 紙 1

回答者 男 女 学 年 歳

第 1 好感のもてる女性像・男性像について

問 1 下の選択肢の中から3つずつ選んで記号で記入してください。

- | | | |
|-------------|-------------|----------|
| ア よく気がつく子 | イ 家庭的な子 | ウ 優しい子 |
| エ 心の広い子 | オ 素直な子 | カ 明るい子 |
| キ おちついた子 | ク おもしろい子 | ケ 活発な子 |
| コ スポーツができる子 | サ てきぱきした子 | シ おしゃれな子 |
| ス かわいらしい子 | セ 責任感のある子 | ソ 頼りになる子 |
| タ 意志の強い子 | チ 自己主張のできる子 | ツ 勇かな子 |
| テ たくましい子 | ト その他 | |

回答欄

質問番号	3つの選択			質問番号	3つの選択		
(1) 女→女				(4) 男→女			
(2) 男→男				(5) あなた→女			
(3) 女→男				(6) あなた→男			

問 2 下の選択肢の中から、該当するものがあれば記号で記入してください。

- | | | |
|------------|---------------|----------|
| ア 料理が上手 | イ 手伝いをよくしてくれる | ウ 素直 |
| エ 優しい | オ 忍耐力がある | カ 頼りになる |
| キ たくましい | ク てきぱきしている | ケ 意志が強い |
| コ 自己主張ができる | サ しっかりしている | シ よく気がつく |
| ス 男らしい | セ 女らしい | ソ かわいらしい |
| タ おしゃれ | チ おもしろい | ツ 明るい |
| テ 特技がある | ト 勉強ができる | |
| | | |
| ナ 料理ができない | ニ 手伝いをしない | ヌ 気が強い |
| ネ あきっぽい | ノ キレやすい | ハ 泣き虫 |
| ヒ くよくよする | フ ぐずぐずしている | ヘ やる気がない |
| ホ いくじがない | マ 乱暴 | ミ 男らしくない |
| ム 女らしくない | メ ふとっている | モ やせている |

回答欄 (複数回答可)

質 問 項 目	親から	友達から
(1) うれしかった		
(2) 不快だった		

その他を選んだ場合は、具体的に書いてください。

()

回 答 用 紙 2

第2 男女の役割と家庭について

それぞれの人の意見を、下の1～4の選択肢の中から選んで、回答欄に番号で記入してください。

選択肢

1 賛成	2 やや賛成	3 やや反対	4 反対
------	--------	--------	------

回答欄

意見の番号	あなたの意見	父親の意見	母親の意見
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			

回 答 用 紙 3

第3 あなたの経験について

- 問1 (1) 経験のあること：回答欄の経験番号を○で囲んでください。
 (2) 誰からの経験か：下のア～クの中から選んで、回答欄の「誰から」の欄に記号で記入してください。

ア父	イ母	ウきょうだい	エ先生
オ男友達	カ女友達	キ先輩	ク知らない人

- (3) いつ頃の経験か：下のA～Dの中から選んで、回答欄の「いつ頃」の欄に記号で記入してください。

A 幼児期	B 小学生頃	C 中学生頃	D 高校生頃
-------	--------	--------	--------

回答欄

経験番号	誰から	いつ頃
例 8	イ	A B
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		

経験番号	誰から	いつ頃
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		

* 21 の場合は、その経験をここに具体的に書いてください。

- 問2 最もよかった経験の番号を右の□に記入してください。

- 問3 (1) 最も嫌だった経験の番号を右の□に記入してください。

- (2) 嫌だった経験への現在の気持ちを下のアからコの番号から選んで記号を右の□の中に記入してください。

(複数回答可)

- ア 自分が悪かったので仕方がない イ 悲しい ウ くやしい
 エ 相手が嫌いになった オ 仕返しをしたい カ 自信がなくなった
 キ 誰かに相談したい ク 自分が強くなれた ケ 人にやさしくなれた
 コ その他(ここに具体的に書いてください。)

ご協力たいへんありがとうございました。

相談を希望する方は、名前と連絡先を記入してください。

名 前	
連 絡 先	

アジア女性基金について

財団法人女性のためのアジア平和国民基金は、元「慰安婦」の方々への国民的な償いを行うこと、女性の名誉と尊厳に関わる今日的な問題の解決に取り組むことを目的として、1995年7月に発足いたしました。以来、政府と国民の協力によって具体的な事業を実施してまいりました。

元「慰安婦」の方々に対する事業は、1) 元「慰安婦」の方々の苦痛を受けとめ心からの償いを示す事業として、国民の皆様のご協力を得た募金による「償い金」のお届け、2) 国としての率直なお詫びと反省を表す日本国内閣総理大臣の「お詫びの手紙」、3) 政府拠出金による医療・福祉支援事業から成り立っていました。この償い事業は、フィリピン、韓国、台湾において、285名の元「慰安婦」の方々に実施し、2002年9月末、終了いたしました。さらに医療・福祉支援を中心としたオランダでの事業は2001年7月に終了し、インドネシアでの事業は2007年3月まで継続いたします。

他方、武力紛争下における女性の人権問題、国際的人身売買およびドメスティック・バイオレンス（夫や恋人からの暴力）など、女性や子どもに対する暴力や人権侵害によって苦しむ方々は後を絶ちません。

アジア女性基金では、過去の問題についての償いだけでなく、女性に対する暴力のない国際社会を築くため、国内外に女性の名誉と尊厳を守ることの重要性について啓発活動等、以下の活動にも積極的に取り組んでまいります。

- ◇女性に対する暴力のない社会をめざすための啓発活動
- ◇女性が直面している問題についての国際会議の開催
- ◇女性の人権問題に取り組んでいる団体などへの活動支援
- ◇女性に対する人権侵害などについての原因と防止に関する調査・研究
- ◇暴力被害を受けた女性に対する援助者を育成するための研修

財団法人女性のためのアジア平和国民基金（アジア女性基金）

102-0074東京都千代田区九段南2-7-6相互九段南ビル4階

電話03-3514-4071 ファックス03-3514-4072

Home Page: <http://www.awf.or.jp> E-mail: dignity@awf.or.jp